

	俳句	年代	季節	分類	季語
1	我も画にかゝれて見たし春の野辺	23	春	時候	春
2	此春は空しくならず花と鳥	24	春	時候	春
3	はしょったる裾の落つるや春の旅	24	春	時候	春
4	はしょったる裾のゆるむや春の旅	24	春	時候	春
5	松の戸や春を薫るは宿の妻	24	春	時候	春
6	若くなる人の心や春の旅	24	春	時候	春
7	さゝ波をおさへて春の氷哉	25	春	時候	春
8	さゝ波をおさへる春の氷哉	25	春	時候	春
9	得ならぬは春の錦の匂ひ哉	26	春	時候	春
10	この春を王子の方へ追て行ケ	26	春	時候	春
11	旅なれば春なればこの朝ぼらけ	26	春	時候	春
12	年の矢はつきてくる春梓弓	26	春	時候	春
13	緋の蕪や膳のまはりも春けしき	26	春	時候	春
14	ふしの雪春ともしらぬ姿哉	26	春	時候	春
15	ぼんやりと大きく出たり春の不二	26	春	時候	春
16	いつまでか春の枯木の古わらじ	27	春	時候	春
17	雲ぬれて春の山寺碁をかこむ	27	春	時候	春
18	泣く人もありけり春の壇の浦	27	春	時候	春
19	春四月女に似たる男かな	27	春	時候	春
20	春はものゝ余りに人のうとましき	27	春	時候	春
21	木の間にも名のなき宮も春なれや	28	春	時候	春
22	木の下にも名のなき宮も春なれや	28	春	時候	春
23	口をしや春の筍水薬	28	春	時候	春
24	春の寺枯木の中を上りけり	28	春	時候	春
25	春の閨に散るや一九の膝栗毛	28	春	時候	春
26	春や千代君と北斗と南山と	28	春	時候	春
27	春や昔古白といへる男あり	28	春	時候	春
28	春や昔十五万石の城下哉	28	春	時候	春
29	春らしきものもなし只角の声	28	春	時候	春
30	仏壇も仏も春の光り哉	28	春	時候	春
31	ゆらりゆらり春の小舟ぞおもしろき	28	春	時候	春
32	鴛鴦の思ひ羽春を乱れけり	28	春	時候	春
33	朝飯や寝過ぎて春の四つ時分	29	春	時候	春
34	紙あまず日記も春のなごり哉	29	春	時候	春
35	鴉なく春の七浦七夷子	29	春	時候	春
36	この春を鏡見ることなかりけり	29	春	時候	春
37	此春を君薩州へ行かんとす	29	春	時候	春
38	十字架に春の鳥や屋根の上	29	春	時候	春
39	縞縷子の帯にも春のなごり哉	29	春	時候	春
40	須磨の浦に波打つ春のなごり哉	29	春	時候	春
41	其春も二十五年の春かな	29	春	時候	春
42	ぞろぞろと土手の上行く春の人	29	春	時候	春
43	鶏遊び機織る春の戸口かな	29	春	時候	春
44	蜻蛉のすこしは春に居るさうな	29	春	時候	春
45	初音聞け春の根岸の枕売	29	春	時候	春
46	春の館三つ目一つ目など集ふ	29	春	時候	春
47	春ひとり香焚いて歌をよめとこそ	29	春	時候	春
48	灯ともして笙吹く春の社かな	29	春	時候	春
49	灯ともすや春の七浦七夷子	29	春	時候	春
50	日に鳥それがどうして春の朝	29	春	時候	春
51	普陀落や春の順礼名はお鶴	29	春	時候	春
52	まんりようや春ともつかぬ実の赤さ	29	春	時候	春
53	宿帳や春の旅人異名書く	29	春	時候	春
54	我老いぬ春の湯たんぼ維摩経	29	春	時候	春
55	女ありく春の砂原下駄を没す	29	春	時候	春
56	帰り給ふ都は春になりぬれど	30	春	時候	春
57	亀祝し鶴賀す春の翁かな	30	春	時候	春
58	雲吐くは三上山なり春の寺	30	春	時候	春
59	還幸を拝する春の名残哉	30	春	時候	春
60	茶屋ある日春の草花売りに来る	30	春	時候	春
61	婿となり嫁となる春の契り哉	30	春	時候	春
62	女くさみ鼻動く春の仇心	30	春	時候	春
63	大家の一間に春の楽器哉	31	春	時候	春

64	大勢のさゝめく春の旅籠哉	31	春	時候	春
65	大勢のとよめく春の旅籠哉	31	春	時候	春
66	大船の一間に春の楽器哉	31	春	時候	春
67	狸々の影をたゞへて鸞の春	31	春	時候	春
68	三味線を掛けて留守也春の宿	31	春	時候	春
69	旅に病んで春の蜜柑を求めけり	31	春	時候	春
70	鳶にくむ心に春はなかりけり	31	春	時候	春
71	春古りし三味線箱の題詩哉	31	春	時候	春
72	油画の極彩色や春の宿	32	春	時候	春
73	短冊に春の句書いて破りけり	32	春	時候	春
74	春の旅小き山を越えにけり	32	春	時候	春
75	蒲団著て手紙書く也春の風邪	32	春	時候	春
76	古文に羅馬の春の残りけり	32	春	時候	春
77	干柿の次の便や春半	32	春	時候	春
78	蜜柑くふて咳入春の風邪哉	32	春	時候	春
79	餅買ひにやりけり春の伊勢旅籠	32	春	時候	春
80	雪の絵を春も掛けたる埃哉	32	春	時候	春
81	善き妻の春の社に詣でけり	32	春	時候	春
82	詠人を知らさる春の秀歌哉	32	春	時候	春
83	料理屋を兼ねたる春の宿屋哉	32	春	時候	春
84	銭なくて恋する春の旅籠哉	33	春	時候	春
85	鳥籠に木を植ゑて見ん春の庭	33	春	時候	春
86	名も知らぬ春の小鳥や腹青き	33	春	時候	春
87	野に出でゝ写生する春となりけり	33	春	時候	春
88	春此頃化石せんとの願あり	33	春	時候	春
89	味噌和を用ゐる春の料理哉	33	春	時候	春
90	昔知る水夫に逢ひぬ春の町	33	春	時候	春
91	もらひ鯛もらひ鯉春の厨哉	33	春	時候	春
92	洛陽の春色動く埃かな	34	春	時候	春
93	春や今浜荻筆ノ穂ノ長キ	35	春	時候	春
94	春ヲ湛フ浜荻筆ノ穂ノ長キ	35	春	時候	春
95	日本の春の名残や豆腐汁	35	春	時候	春
96	昔絵の春や弁慶藤娘	35	春	時候	春
97	春立て鴨の心のいそがしき	26	春	時候	立春
98	雪解や春立つ一日あたゝかし	26	春	時候	立春
99	我王の二月に春の立ちにけり	26	春	時候	立春
100	春立つや昼の灯暗き山やしる	27	春	時候	立春
101	洛陽に春立つ二月三日かな	28	春	時候	立春
102	春立つ日御柩を迎へ奉る	30	春	時候	立春
103	蕪村集に春立つといふ句なかりけり	33	春	時候	立春
104	印肉の油かわきし二月かな	26	春	時候	二月
105	雁がねに二月とつぐることなかれ	26	春	時候	二月
106	天竺や花ちる二月十五日	26	春	時候	二月
107	寝るひまもあつてうれしき二月哉	26	春	時候	二月
108	ふりしきる一夜嬉しき二月哉	26	春	時候	二月
109	焼芋のさかり過たる二月哉	26	春	時候	二月
110	一村の梅咲きこぞる二月哉	27	春	時候	二月
111	旃檀のほろほろ落る二月哉	27	春	時候	二月
112	大砲を海へうちこむ二月哉	27	春	時候	二月
113	大仏の胸中まはる二月哉	27	春	時候	二月
114	旅人の八重山こゆる二月哉	27	春	時候	二月
115	葉ののびて独活の木になる二月哉	27	春	時候	二月
116	中山をひとりこえたる二月哉	28	春	時候	二月
117	年々にへるや睦月のおもしろさ	24	春	時候	睦月
118	春早しまだ芽もふかぬ藤の棚	23	春	時候	春浅し
119	春めきし海や日の旗月の旗	26	春	時候	春浅し
120	小便の音春めきぬ練馬道	27	春	時候	春浅し
121	庭荒れて鳶の声など春めかす	29	春	時候	春浅し
122	春浅く乳も涙も氷りけり	33	春	時候	春浅し
123	病床の匂袋や浅き春	33	春	時候	春浅し
124	何も書かぬ赤短冊や春浅し	34	春	時候	春浅し
125	鶯の目を細うする余寒かな	25	春	時候	余寒
126	烏帽子着て万歳走る余寒哉	25	春	時候	余寒
127	鳴さして鶯むせふ余寒哉	25	春	時候	余寒

128	一枚の紙衣久しき余寒哉	26	春	時候	余寒
129	鶯の猶々やせる余寒哉	26	春	時候	余寒
130	唐人の夕くれいそぐ余寒哉	26	春	時候	余寒
131	だまされて紅梅うらむ余寒哉	26	春	時候	余寒
132	二三文財布の底の余寒哉	26	春	時候	余寒
133	雛鶴のうぶ毛吹かるゝ余寒哉	26	春	時候	余寒
134	病人の巨燵消えたる余寒哉	26	春	時候	余寒
135	水漬の泪にまじる余寒かな	26	春	時候	余寒
136	都にはまだ火事多き余寒哉	26	春	時候	余寒
137	四人の丸くなつたる余寒かな	26	春	時候	余寒
138	馬立てゝ勿来の関の余寒哉	27	春	時候	余寒
139	鍛冶か火に梅ちりかゝる余寒哉	27	春	時候	余寒
140	唐船の此頃よらぬ余寒哉	27	春	時候	余寒
141	濁酒の頭に上る余寒哉	27	春	時候	余寒
142	日影薄く梅の野茶屋の余寒かな	27	春	時候	余寒
143	夕くれの風になりたる余寒哉	27	春	時候	余寒
144	穴にのぞく余寒の蟹の爪赤し	28	春	時候	余寒
145	残り少なに余寒もものゝなつかしき	28	春	時候	余寒
146	雨だらだら余寒をふつて落しけり	29	春	時候	余寒
147	僧返る竹の小道の余寒哉	29	春	時候	余寒
148	手向くるや余寒の豆腐初桜	29	春	時候	余寒
149	手向けばや余寒の豆腐初桜	29	春	時候	余寒
150	冬はさもなくて余寒の強さ哉	29	春	時候	余寒
151	漂母我をあはれむ旅の余寒哉	29	春	時候	余寒
152	篝火のあはれにもゆる余寒哉	30	春	時候	余寒
153	魚市に魚の少き余寒哉	31	春	時候	余寒
154	紅梅に囊のかゝる余寒かな	31	春	時候	余寒
155	鶯の荊飛び出る余寒哉	32	春	時候	余寒
156	泥深く蛤ひそむ余寒哉	33	春	時候	余寒
157	海苔鹿朶に海苔の少き余寒哉	33	春	時候	余寒
158	春寒し風の動かす床の軸	22	春	時候	春寒し
159	陸奥を出てまだ江戸の春寒し	27	春	時候	春寒し
160	松明持ちて春寒さうな丁哉	30	春	時候	春寒し
161	鈍色の命婦の袴春寒し	30	春	時候	春寒し
162	春寒や牛肅として車泣く	30	春	時候	春寒し
163	陵や春まだ寒き十日月	30	春	時候	春寒し
164	春寒し鶯移る江の東	31	春	時候	春寒し
165	春寒き椽に乾かぬ鑄形哉	32	春	時候	春寒し
166	春寒き机の下の湯婆哉	32	春	時候	春寒し
167	春寒き手を握りたる別哉	32	春	時候	春寒し
168	春寒き南近江や鮎鱈	32	春	時候	春寒し
169	揚土にうごめく鮎や春寒し	33	春	時候	春寒し
170	月人八逝イテ麦人春寒シ	33	春	時候	春寒し
171	春寒き寒暖計や水仙花	33	春	時候	春寒し
172	春寒く痰の薬をもらひけり	33	春	時候	春寒し
173	君行かばわれとゞまらば冴返る	26	春	時候	冴返る
174	菴翦の水さえ返る濁りかな	26	春	時候	冴返る
175	冴返るけふにはありけり何年忌	26	春	時候	冴返る
176	寝て聞けば外は冴返る風の音	26	春	時候	冴返る
177	野辺送りきのふもけふも冴え返る	26	春	時候	冴返る
178	馬の息市冴返るあした哉	28	春	時候	冴返る
179	小城下や辰の太鼓の冴え返る	28	春	時候	冴返る
180	冴え返る空に愛宕の雲寒し	28	春	時候	冴返る
181	今返す冬の発句ぞ冴えかへる	29	春	時候	冴返る
182	立たんとす腰のつがひの冴え返る	29	春	時候	冴返る
183	なにがしの忌日ぞけふは冴え返れ	29	春	時候	冴返る
184	忌日なり又冴え返る風の音	30	春	時候	冴返る
185	冴え返る音や霰の十粒程	30	春	時候	冴返る
186	御鏡に篝火映り冴え返る	30	春	時候	冴返る
187	御鏡に松明映り冴え返る	30	春	時候	冴返る
188	冴え返る春日風や薪能	32	春	時候	冴返る
189	冴え返る三笠風や薪能	32	春	時候	冴返る
190	鶴病みて梅散る頃や冴返る	33	春	時候	冴返る
191	鶴病んで梅散る頃や冴え返る	33	春	時候	冴返る

192	蝶ノ羽二霜置ク夜半ヤ冴工返ル	35	春	時候	冴返る
193	三月をえらんで人の死なれける	27	春	時候	三月
194	三月を此能故に冴え返る	27	春	時候	三月
195	三月や小松の枝に雀二羽	28	春	時候	三月
196	たれこめて已に三月二十日かな	28	春	時候	三月
197	きさらぎに桜驚く暑さ哉	23	春	時候	如月
198	衣更着や稍なまぬるき不二風	25	春	時候	如月
199	きさらぎや雪の石鉄雨の久万	25	春	時候	如月
200	衣更着や爺が紙衣の衣がへ	26	春	時候	如月
201	二月や人の油断を花になる	26	春	時候	如月
202	二月や物見車をつくるはん	26	春	時候	如月
203	きさらぎの笈摺赤し子順礼	27	春	時候	如月
204	虫穴を出て殺生石に魂もなし	35	春	時候	啓蟄
205	鷹鳩になる此頃の朧かな	25	春	時候	鷹化為鳩
206	春めくや鷹さへ鳩となりかけて	26	春	時候	鷹化為鳩
207	春めくや鷹さへ鳩になりかけて	26	春	時候	鷹化為鳩
208	鷹鳩と化す藤房は容れられず	32	春	時候	鷹化為鳩
209	鷹鳩と化す藤房は隠れけり	32	春	時候	鷹化為鳩
210	鷹鳩になりけり鳥は帰りけり	32	春	時候	鷹化為鳩
211	鷹鳩に雀の代とぞなりにける	35	春	時候	鷹化為鳩
212	鷹鳩になる還暦の祝かな	35	春	時候	鷹化為鳩
213	鷹鳩になるや二代の君愚なり	35	春	時候	鷹化為鳩
214	鷹は鳩に鉄砲は豆に御世静か	35	春	時候	鷹化為鳩
215	此頃はひらたくなりぬ弥生不二	25	春	時候	弥生
216	奥山にひとり香炊く弥生かな	26	春	時候	弥生
217	すさましく蝶の出て来る弥生哉	26	春	時候	弥生
218	寝られぬを恋ときかるゝ弥生哉	26	春	時候	弥生
219	寝られぬを恋ときかれん弥生哉	26	春	時候	弥生
220	春風のとり乱したる弥生哉	26	春	時候	弥生
221	春もはや弥生となりて老にけり	26	春	時候	弥生
222	辻堂に絵馬のふゑたる弥生哉	27	春	時候	弥生
223	法界平等鳩も餌に飽く弥生哉	27	春	時候	弥生
224	虚無僧の願長き弥生かな	28	春	時候	弥生
225	鯛提げて裏町帰る弥生哉	29	春	時候	弥生
226	鯛提けて裏家へ這入る弥生哉	29	春	時候	弥生
227	古御所や弥生の鴉草に鳴く	29	春	時候	弥生
228	あたゝかな雨がふるなり枯葎	23	春	時候	暖か
229	朝日より猶あたゝかき入日かな	26	春	時候	暖か
230	あたゝかに白壁ならぶ入江哉	26	春	時候	暖か
231	あたゝかに立上る船の煙かな	27	春	時候	暖か
232	鉄の生温かになる夜かな	27	春	時候	暖か
233	あたゝかに雲をいどる夕日哉	28	春	時候	暖か
234	あたたかになるへき朝の日和かな	28	春	時候	暖か
235	あたゝかや壁を漏る日に舞ふ埃	28	春	時候	暖か
236	大船や波あたゝかに鳴うく	28	春	時候	暖か
237	くるかねの橋あたゝかき都哉	28	春	時候	暖か
238	人ちらほら風あたゝかに松葉閑	28	春	時候	暖か
239	浅草ややゝあたゝかき撫仏	29	春	時候	暖か
240	あたゝかき風がぐるぐる風車	29	春	時候	暖か
241	あたゝかやなみすべき夜と人のいふ	29	春	時候	暖か
242	赤飯の湯気あたゝかに野の小店	29	春	時候	暖か
243	田楽や庵あたゝか笑ひ声	29	春	時候	暖か
244	生ぬるき風吹く闇の汐路かな	29	春	時候	暖か
245	あたゝかな窓に風邪の名残かな	30	春	時候	暖か
246	あたゝかな窓に病気の名残かな	30	春	時候	暖か
247	売れずして玉に毛生る暖かさ	30	春	時候	暖か
248	暖かき座敷の庭に洗濯す	31	春	時候	暖か
249	生ぬるき振舞水や市の家	32	春	時候	暖か
250	ツリ上ゲシ魚ノ光ヤ暖キ	35	春	時候	暖か
251	うらゝかや空を見つめる病ミ上り	26	春	時候	麗か
252	うらゝかや見つめる空も病み上り	26	春	時候	麗か
253	うらゝかや女つれだつ嵯峨御室	26	春	時候	麗か
254	うらゝかや氷の解けし諏訪の湖	27	春	時候	麗か
255	うらゝかになりぬ舞ふ鶯鳴く鴉	29	春	時候	麗か

256	うらゝかや牛の間の善光寺	29	春	時候	麗か
257	うらゝかささはりのあとのたへられぬ	30	春	時候	麗か
258	うらゝかや岡に上りつ野に下りつ	30	春	時候	麗か
259	長閑さや原に残りし牛一ツ	22	春	時候	長閑
260	長閑さや雨も霞と思はれて	24	春	時候	長閑
261	のどかさや野には用なき人許り	24	春	時候	長閑
262	この頃やまだ長閑さもあすここゝ	25	春	時候	長閑
263	此頃やまだのどかさもあそこゝ	25	春	時候	長閑
264	長閑さや親子つれたつ鶴の顔	25	春	時候	長閑
265	長閑さや障子の穴に海見えて	25	春	時候	長閑
266	のどかさや松にすわりし真帆片帆	25	春	時候	長閑
267	鶴の声これより空の長閑なり	26	春	時候	長閑
268	のどかさや哀れ少なき野辺送り	26	春	時候	長閑
269	のどかさや海土と木こりの物語り	26	春	時候	長閑
270	長閑や樵夫と海人のものかたり	26	春	時候	長閑
271	のどかさやしくれた山と思はれず	26	春	時候	長閑
272	のどかさや背にとりつく孫二人	26	春	時候	長閑
273	野開きて夕日のどかに八百里	27	春	時候	長閑
274	大仏のうしろ姿も長閑なり	27	春	時候	長閑
275	のどかさや内海川の如くなり	27	春	時候	長閑
276	のどかさや鐘つき山を上る見ゆ	27	春	時候	長閑
277	長閑さや干瀉の石の鶴一羽	27	春	時候	長閑
278	のどかさや麦の畑の爪上り	27	春	時候	長閑
279	出女の声のどかなり石薬師	28	春	時候	長閑
280	のどかさやうれしき旅の夕哉	28	春	時候	長閑
281	のどかさや仁王見て立つ女哉	28	春	時候	長閑
282	のどかさは錨抜く船の拍子哉	28	春	時候	長閑
283	のどかさや一年ごしの橋普請	28	春	時候	長閑
284	のどかさや一の鳥居は麦の中	28	春	時候	長閑
285	のどかさや駅のはづれの伊勢の海	28	春	時候	長閑
286	のどかさや小山小山の寺の塔	28	春	時候	長閑
287	のどかさや小山つゝきに塔二つ	28	春	時候	長閑
288	のどかさや少しくねりし松縄手	28	春	時候	長閑
289	のどかさや軒端の山の麦畠	28	春	時候	長閑
290	のどかさや野中に丸き草の山	28	春	時候	長閑
291	のどかさや畑をへだてゝ町一つ	28	春	時候	長閑
292	のどかさや昼は白壁夜は灯	28	春	時候	長閑
293	のどかさや豆のやうなる小豆島	28	春	時候	長閑
294	のどかさや岡は松一つ堂一つ	28	春	時候	長閑
295	のどかさや小娘一人一軒家	29	春	時候	長閑
296	のどかさや里の祭の蛇遣ひ	29	春	時候	長閑
297	のどかさや千住曲れば野が見ゆる	29	春	時候	長閑
298	のどかさや杖ついて庭を徘徊す	29	春	時候	長閑
299	のどかさや出茶屋の煙土手の人	29	春	時候	長閑
300	のどかさや煮売屋のぞく旅の人	29	春	時候	長閑
301	のどかさや娘が眠る猫が鳴く	29	春	時候	長閑
302	君か代や死て生返る日はのどか	30	春	時候	長閑
303	鶴の首のどかに亀の首あたゝかに	30	春	時候	長閑
304	のどかさの独り行き独り面白き	30	春	時候	長閑
305	のどかさや白帆過ぎ行く垣の外	30	春	時候	長閑
306	のどかさを独り行き独り面白き	30	春	時候	長閑
307	のどかさや象引いて行く原の中	31	春	時候	長閑
308	のどかさや障子あくれば野が見ゆる	31	春	時候	長閑
309	行き過ぎし短き駅や海のとどか	32	春	時候	長閑
310	のどかさや餅くふ三井の茶店哉	33	春	時候	長閑
311	のどかさやつゝいて見たる蟹の穴	33	春	時候	長閑
312	ノドカサ二昼餉も食ハデ歩キケリ	35	春	時候	長閑
313	ノドカサや案内者ツレシ田舎者	35	春	時候	長閑
314	二日路は筑波にそふて日ぞ長き	22	春	時候	日永
315	あくびした口に花ちる日永哉	24	春	時候	日永
316	虹の影障子にうなる日永かな	25	春	時候	日永
317	うたゝねを針にさゝれる日永哉	25	春	時候	日永
318	馬の眼の糸によれたる日永哉	25	春	時候	日永
319	馬の眼のとろとろとなる日永哉	25	春	時候	日永

320	書置をつゝき出したる日永哉	25	春	時候	日永
321	菟菟ののびさうになる日永哉	25	春	時候	日永
322	さゝかにの糸ひきのはす日永哉	25	春	時候	日永
323	死んだ子の道具とり出す日永かな	25	春	時候	日永
324	ちりはてゝ花も地をはふ日永哉	25	春	時候	日永
325	つゞらから臍の緒出たる日永哉	25	春	時候	日永
326	永き日や鸚鵡にくれる長局	25	春	時候	日永
327	永き日やじつと出て居るひるの月	25	春	時候	日永
328	永き日や菜種つたひの七曲り	25	春	時候	日永
329	永き日をつぶしかねたる虱哉	25	春	時候	日永
330	日永さや鉄道馬車のゆれ心地	25	春	時候	日永
331	ひよひよと遠矢のゆるむ日永哉	25	春	時候	日永
332	蟹の子につれだつ磯の日長哉	26	春	時候	日永
333	飴売の弁慶のびる日長哉	26	春	時候	日永
334	霞んだり曇つたり日の長さ哉	26	春	時候	日永
335	永き日や隣の屋根を窓の影	26	春	時候	日永
336	永き日を柳の風の幾かはり	26	春	時候	日永
337	永き日を柳の風のよわりけり	26	春	時候	日永
338	雨一日二日山家の暮遅し	27	春	時候	日永
339	牛に乗て飴買ひに行く日永哉	27	春	時候	日永
340	馬方と一つ床几の日永哉	27	春	時候	日永
341	舵を絶えて船流れよる日永哉	27	春	時候	日永
342	亀の子の盥這ひ出る日永哉	27	春	時候	日永
343	くま蜂のさわぎ立たる日永哉	27	春	時候	日永
344	金比羅に大絵馬あげる日永哉	27	春	時候	日永
345	順礼の乳しぼり出す日永哉	27	春	時候	日永
346	永き日の滋賀の山越湖見えて	27	春	時候	日永
347	永き日の鳶か鳥か塔の尖	27	春	時候	日永
348	永き日の村まだ遠し馬の足	27	春	時候	日永
349	引きすてし大鋸の日永かな	27	春	時候	日永
350	一日一日富士細り行く日永哉	27	春	時候	日永
351	病人の仰向になる日永哉	27	春	時候	日永
352	百人の人夫土掘る日永哉	27	春	時候	日永
353	吹て消えて石鱈の玉の日永哉	27	春	時候	日永
354	又今日も又今日も日の永くなる	27	春	時候	日永
355	水上は花絶えて日の永哉	27	春	時候	日永
356	芳野出て十里はなるゝ日永哉	27	春	時候	日永
357	女つれて中川つたひ日永哉	27	春	時候	日永
358	石手寺やこゝも日永の婆許り	28	春	時候	日永
359	春日野に神馬草はむ日永哉	28	春	時候	日永
360	汽車道にならんでありく日永哉	28	春	時候	日永
361	高麗船の来るとはかりに日永哉	28	春	時候	日永
362	順礼の札所出て行く日永哉	28	春	時候	日永
363	大仏の廻廊めぐる日永哉	28	春	時候	日永
364	峠より海を見下す日永哉	28	春	時候	日永
365	托鉢の尼につれだつ日永哉	28	春	時候	日永
366	辻駕に女乗せたる日永哉	28	春	時候	日永
367	鳶の居る物干竿の日永哉	28	春	時候	日永
368	永き日の脚や障子の三段目	28	春	時候	日永
369	永き日の奈良は大寺許りなり	28	春	時候	日永
370	永き日や飴売わたる瀬田の橋	28	春	時候	日永
371	永き日や静かにまゐる神路山	28	春	時候	日永
372	永き日や塔の五重のむら雀	28	春	時候	日永
373	永き日や松の梢に鶴の首	28	春	時候	日永
374	永き日や飯くれといふ猫の声	28	春	時候	日永
375	永き日や驢馬を追ひ行く鞭の影	28	春	時候	日永
376	永き日を明夜の屋根に睡り猫	28	春	時候	日永
377	永き日を胡座かきたる羅漢哉	28	春	時候	日永
378	永き日を海月ふうわりふうわりと	28	春	時候	日永
379	永き日を仁王の腕のたるみ哉	28	春	時候	日永
380	櫛子から海を見て居る日永哉	28	春	時候	日永
381	ぶらぶらとして居れば日の永さ哉	28	春	時候	日永
382	道ばたに絵馬売る婆々の日永哉	28	春	時候	日永
383	群れ上る人や日永の二月堂	28	春	時候	日永

384	飯くふて又歩行出す日永哉	28	春	時候	日永
385	世の中はいそがしさうに日永哉	28	春	時候	日永
386	斧の柄のいくたび朽ちて日永哉	28	春	時候	日永
387	足弱の八里に永き日は暮れぬ	29	春	時候	日永
388	鬼事に髪のかづれる日永哉	29	春	時候	日永
389	亀と共にぶら下りたる日永哉	29	春	時候	日永
390	狩衣をかけて日永し金屏風	29	春	時候	日永
391	櫛挽と木こりと話す日永哉	29	春	時候	日永
392	山門に鹿の寝て居る日永かな	29	春	時候	日永
393	使者一人悠然と居る日永哉	29	春	時候	日永
394	杉の木に絵馬掛けて来る日永哉	29	春	時候	日永
395	捨鍬に蟻這ひ上る日永哉	29	春	時候	日永
396	砂浜にささ波よする日永哉	29	春	時候	日永
397	棚の上に日の永さうな小達磨よ	29	春	時候	日永
398	旅人の都々逸うたふ日永哉	29	春	時候	日永
399	綱かけて蔵を引きずる日永哉	29	春	時候	日永
400	出女のあくびして居る日永かな	29	春	時候	日永
401	永き日に富士のふくれる思ひあり	29	春	時候	日永
402	永き日の暮れんとすなり二月堂	29	春	時候	日永
403	永き日の兵糧はこぶ大手哉	29	春	時候	日永
404	永き日やくたびれもせぬ波の音	29	春	時候	日永
405	永き日や太刀かざりたる居合抜	29	春	時候	日永
406	永き日や鶴下りて居る岡の上	29	春	時候	日永
407	永き日や鶏上る堂の屋根	29	春	時候	日永
408	永き日や鶏うたふ塔の屋根	29	春	時候	日永
409	永き日や人集めたる居合抜	29	春	時候	日永
410	永き日や本堂めぐる蟻の道	29	春	時候	日永
411	永き日や目口しまらぬ人の顔	29	春	時候	日永
412	永き日や衛門三郎浄瑠璃寺	29	春	時候	日永
413	永き日を蟻上るらん塔の尖	29	春	時候	日永
414	永き日を蝦夷の草原田ともならず	29	春	時候	日永
415	永き日を銭にもならぬ砂画かな	29	春	時候	日永
416	永き日を麩に隠れたる金魚哉	29	春	時候	日永
417	風船のふわりふわりと日永哉	29	春	時候	日永
418	舟曳に女のまじる日永哉	29	春	時候	日永
419	舟と岸と話して居る日永哉	29	春	時候	日永
420	麩を投げて鯉を養ふ日ぞ長き	29	春	時候	日永
421	下手の暮の四隅かためる日永哉	29	春	時候	日永
422	鳳凰も鳴かず日永の不老門	29	春	時候	日永
423	舞ひながら鶯の糞する日永哉	29	春	時候	日永
424	物思ひ別れて後の日の永さ	29	春	時候	日永
425	川に沿ふて行けど橋なし日の永き	30	春	時候	日永
426	長安の市に日永し売卜者	30	春	時候	日永
427	長き日の鷗は飛んで暮れんとす	30	春	時候	日永
428	永き日の人ぞろぞろと上野哉	30	春	時候	日永
429	永き日の山越えて伊予の城見ゆる	30	春	時候	日永
430	永き日や頻りに股のいらかゆき	30	春	時候	日永
431	永き日を蟻の合戦の始め	30	春	時候	日永
432	パノラマ見て玉乗りを見て日永哉	30	春	時候	日永
433	パノラマを見て玉乗を見て日の永き	30	春	時候	日永
434	馬士につれ車夫につれ旅の日ぞ長き	30	春	時候	日永
435	大船に汐汲んで居る日永かな	31	春	時候	日永
436	大船に水汲んで居る日永哉	31	春	時候	日永
437	永き日や雑報書きの耳に筆	31	春	時候	日永
438	蓑掛けし病の床や日の永き	32	春	時候	日永
439	大仏の観音を訪ふ日の永き	33	春	時候	日永
440	追込の鳥早く寝る日永かな	34	春	時候	日永
441	パン売の太鼓も鳴らず日の永き	34	春	時候	日永
442	日ノ永キ浜荻筆ノ穂ノ長キ	35	春	時候	日永
443	遅き日も暮れぬ鸚鵡の物語	26	春	時候	遅き日
444	おそき日や鼓の紐の幾ゆるみ	26	春	時候	遅き日
445	旅籠屋に夕餉待つ間の暮遅し	26	春	時候	遅き日
446	遅き日の四時打ちきりし時計哉	31	春	時候	遅き日
447	うつくしき春の夕や人ちらほら	26	春	時候	春の夕

448	灯ちらちら洛陽の春の夕哉	26	春	時候	春の夕
449	面白い事許り春の夕哉	27	春	時候	春の夕
450	影長し春の夕日の大草鞋	27	春	時候	春の夕
451	弁慶の鐘売る春の夕哉	27	春	時候	春の夕
452	宮島や春の夕波うねり来る	27	春	時候	春の夕
453	踊るかな春の夕日の影法師	27	春	時候	春の夕
454	少し病んでおもしろき春の夕哉	28	春	時候	春の夕
455	須磨寺や春の夕雲夕嵐	28	春	時候	春の夕
456	何として春の夕をまぎらさん	28	春	時候	春の夕
457	紫の火をともしけり春の夕	28	春	時候	春の夕
458	喇叭吹けば鹿かへる春の夕哉	28	春	時候	春の夕
459	雲消えて花ふる春の夕かな	29	春	時候	春の夕
460	地震して春の夕の風になる	29	春	時候	春の夕
461	旅籠屋に春の夕の仮寝かな	29	春	時候	春の夕
462	灯ともすや春の夕の古館	29	春	時候	春の夕
463	宿とりて春の夕の仮寝かな	29	春	時候	春の夕
464	逆上す春の夕の仇心	30	春	時候	春の夕
465	うたゝ寝に風引く春の夕哉	31	春	時候	春の夕
466	駒鳥鳴くや唐人町の春の暮	25	春	時候	春の暮
467	馬は皆よしのをあとに春のくれ	26	春	時候	春の暮
468	この春も維摩の像にくれてけり	26	春	時候	春の暮
469	春くれてみだれそめにし心かな	26	春	時候	春の暮
470	浅草に鴉啼くなり春の暮	27	春	時候	春の暮
471	錦帳に春暮れて行色紙哉	27	春	時候	春の暮
472	ごくもんの八道の辻に春くれぬ	27	春	時候	春の暮
473	御座船や須磨を離るゝ春の暮	27	春	時候	春の暮
474	この春もうつらうつらと暮にけり	27	春	時候	春の暮
475	鳥の声春は緑に暮れて行	27	春	時候	春の暮
476	春暮れて千里の駒の行へ哉	27	春	時候	春の暮
477	牢を出る朝鮮人や春のくれ	27	春	時候	春の暮
478	石手寺へまはれば春の日暮れたり	28	春	時候	春の暮
479	小桜といふ遊女を買ひぬ春の暮	28	春	時候	春の暮
480	此春は金州城に暮れてけり	28	春	時候	春の暮
481	小春といふ遊女を買ひぬ春の暮	28	春	時候	春の暮
482	須磨の笛明石の琴と春暮るゝ	28	春	時候	春の暮
483	そばふるや誰が枕橋春暮るゝ	28	春	時候	春の暮
484	大仏に戸帳垂れたり春の暮	28	春	時候	春の暮
485	乗り捨てし鷓首の船や春暮るゝ	28	春	時候	春の暮
486	いちはつの一輪白し春の暮	29	春	時候	春の暮
487	瓜の苗胡瓜の苗に暮るゝ春	29	春	時候	春の暮
488	瓜の苗茄子の苗のくるゝ春	29	春	時候	春の暮
489	売れ残る大津画の鬼の春暮るゝ	29	春	時候	春の暮
490	植込に春暮れんとす何の花	29	春	時候	春の暮
491	思ひあり琴をかゝへて春暮れぬ	29	春	時候	春の暮
492	加茂川や流るゝ木履暮るゝ春	29	春	時候	春の暮
493	春の暮忍恋てふ題を得たり	29	春	時候	春の暮
494	大和をめぐり伊勢に出でこゝに春暮ぬ	30	春	時候	春の暮
495	病人に酒しふる春の名残哉	31	春	時候	春の暮
496	橋の側に仮橋かゝる暮の春	32	春	時候	春の暮
497	筍に虫歯痛みて暮の春	34	春	時候	春の暮
498	面白さ皆夢にせん宵の春	26	春	時候	春の宵
499	じだらくに寝たる官女や宵の春	26	春	時候	春の宵
500	移り香や御所より下る春の宵	28	春	時候	春の宵
501	春の宵小万と書きし名札あり	28	春	時候	春の宵
502	紫の灯をともしけり春の宵	28	春	時候	春の宵
503	怪談に女まじりて春の宵	29	春	時候	春の宵
504	寝よとすれば門叩く也春の宵	29	春	時候	春の宵
505	小格子や遊女と語る春の宵	30	春	時候	春の宵
506	頭痛すと先づ寝る妻や春の宵	32	春	時候	春の宵
507	亡き妻のまほろし見たり春の宵	32	春	時候	春の宵
508	病床の浄瑠璃本や春の宵	33	春	時候	春の宵
509	若き時は酒ものみしが春の宵	33	春	時候	春の宵
510	薄雪のふるや春の夜うつくしき	26	春	時候	春の夜
511	春の夜に火のなき火桶抱へけり	26	春	時候	春の夜

512	春の夜の雨も朧の姿かな	26	春	時候	春の夜
513	春の夜の千賀の塩かま煙たつ	26	春	時候	春の夜
514	春の夜の仏壇見ゆる燈哉	26	春	時候	春の夜
515	春の夜の三保の松原煙たつ	26	春	時候	春の夜
516	春の夜や髪のごぼるゝ額つき	26	春	時候	春の夜
517	春の夜やくらがり走る小提灯	26	春	時候	春の夜
518	春の夜や相談事に夜中過	26	春	時候	春の夜
519	春の夜や何の夢見て蝶一つ	26	春	時候	春の夜
520	春の夜や灯にそむきたる瘦女	26	春	時候	春の夜
521	春の夜や笑ほのかに長局	26	春	時候	春の夜
522	春の夜や女見返る柳橋	26	春	時候	春の夜
523	春の夜を鎌倉山のはなし哉	26	春	時候	春の夜
524	何事のなしに春の夜面白き	27	春	時候	春の夜
525	春の夜の石壇上るともし哉	27	春	時候	春の夜
526	春の夜の稲荷に隣るともしかな	27	春	時候	春の夜
527	春の夜の妹がり行けば小雨ふる	27	春	時候	春の夜
528	春の夜のうたゝね更けぬ牡丹亭	27	春	時候	春の夜
529	春の夜の小唄聞ゆる長局	27	春	時候	春の夜
530	春の夜のともし火赤し金屏風	27	春	時候	春の夜
531	春の夜や重ねかけたる緋の袴	27	春	時候	春の夜
532	春の夜や京の大路の化爺	27	春	時候	春の夜
533	春の夜や廓へはいる小提灯	27	春	時候	春の夜
534	春の夜や傾城買ひに小提灯	27	春	時候	春の夜
535	春の夜や朗詠うたふ舟の中	27	春	時候	春の夜
536	春の夜を稲荷に隣るともし哉	27	春	時候	春の夜
537	春の夜を語れ式部も小式部も	27	春	時候	春の夜
538	琵琶やんで小窓に春の夜更けたり	27	春	時候	春の夜
539	春の夜の几帳に漏るゝともし哉	28	春	時候	春の夜
540	春の夜の小窓にうつる島田かな	28	春	時候	春の夜
541	春の夜の醜女の顔に更けにける	28	春	時候	春の夜
542	春の夜の三味線に倚る男かな	28	春	時候	春の夜
543	春の夜の三味線箱を枕かな	28	春	時候	春の夜
544	春の夜のそこ行くは誰そ行くは誰そ	28	春	時候	春の夜
545	春の夜のともし消ちたり小傾城	28	春	時候	春の夜
546	春の夜のともし火多し奈良の山	28	春	時候	春の夜
547	春の夜の鈍子に寝たる旅籠哉	28	春	時候	春の夜
548	春の夜の人通りあり広小路	28	春	時候	春の夜
549	春の夜の枕にゆるき鼓かな	28	春	時候	春の夜
550	春の夜の夢をさますや白拍子	28	春	時候	春の夜
551	春の夜の連歌くつれて端唄哉	28	春	時候	春の夜
552	春の夜や綾の小路の人通り	28	春	時候	春の夜
553	春の夜や傾城町の電気燈	28	春	時候	春の夜
554	春の夜や醜女の顔に更けにける	28	春	時候	春の夜
555	春に夜や下京更けて琴の音	28	春	時候	春の夜
556	春の夜やそこ行くは誰そ誰そ	28	春	時候	春の夜
557	春の夜や松明捨つる妹が門	28	春	時候	春の夜
558	春の夜や茶屋の二階の影法師	28	春	時候	春の夜
559	春の夜や局女の草双紙	28	春	時候	春の夜
560	春の夜や奈良の町家の懸行燈	28	春	時候	春の夜
561	春の夜や二階の窓の影法師	28	春	時候	春の夜
562	春の夜や船へ召さるゝ白拍子	28	春	時候	春の夜
563	春の夜や寄席の崩れの人通り	28	春	時候	春の夜
564	春の夜を屏風囲うて遊びけり	28	春	時候	春の夜
565	蠟燭に春の夜明るる別れ哉	28	春	時候	春の夜
566	三献の盃春の夜は更けぬ	29	春	時候	春の夜
567	春の夜の妹が手枕更けにけり	29	春	時候	春の夜
568	春の夜の讚美歌歌ふ男女かな	29	春	時候	春の夜
569	春の夜の水晶包む錦かな	29	春	時候	春の夜
570	春の夜の月や出づらん人の声	29	春	時候	春の夜
571	春の夜の鈍子屋に寝る二人哉	29	春	時候	春の夜
572	春の夜の燭消してお化物語	29	春	時候	春の夜
573	春の夜の夢の浮橋踏み絶えぬ	29	春	時候	春の夜
574	春の夜の女も見えぬ都かな	29	春	時候	春の夜
575	春の夜や伊予簾隠れの長烏帽子	29	春	時候	春の夜

576	春の夜や妻なき男何を読む	29	春	時候	春の夜
577	春の夜や屏風の陰に物の息	29	春	時候	春の夜
578	春の夜や百物語升降し	29	春	時候	春の夜
579	春の夜や伏見の宿の坊主落	29	春	時候	春の夜
580	春の夜や男もまじる歌がるた	29	春	時候	春の夜
581	春の夜を尺八吹いて通りけり	29	春	時候	春の夜
582	春の夜を三味線引いて遊びけり	29	春	時候	春の夜
583	春の夜の辻占呼ぶや忍び声	30	春	時候	春の夜
584	春の夜の二階三階灯をともす	30	春	時候	春の夜
585	春の夜や三味線引いて下り舟	30	春	時候	春の夜
586	まはし部屋に手を鳴らす春の夜更たり	30	春	時候	春の夜
587	満都昼の如き春の夜よみに行き給ふ	30	春	時候	春の夜
588	縁日の油煙に春の夜は更ぬ	31	春	時候	春の夜
589	春の夜の明けなんとする廓哉	31	春	時候	春の夜
590	春の夜の風引声や禿呼ぶ	31	春	時候	春の夜
591	春の夜の五條東す車かな	31	春	時候	春の夜
592	春の夜の三味の空音や三味線屋	31	春	時候	春の夜
593	春の夜や隣を起す忍び声	31	春	時候	春の夜
594	春の夜の酒に更けしも昔哉	32	春	時候	春の夜
595	春の夜の旅草臥や道中画	32	春	時候	春の夜
596	春の夜の燈心長き行燈哉	32	春	時候	春の夜
597	春の夜の蒲団かぶりて話しけり	32	春	時候	春の夜
598	春の夜や妻にならうの私語	32	春	時候	春の夜
599	春の夜や見知顔する小傾城	33	春	時候	春の夜
600	ほれられて通ひし春の夜も昔	33	春	時候	春の夜
601	うたゝ寝に春の夜浅し牡丹亭	35	春	時候	春の夜
602	春の夜や無紋あやしき小提灯	35	春	時候	春の夜
603	春の夜や料理屋を出る小提灯	35	春	時候	春の夜
604	春深し眠る海棠醒る梨	26	春	時候	春深し
605	恋かあらぬ妹かあらぬ春深み	28	春	時候	春深し
606	春深く腐りし蜜柑好みけり	34	春	時候	春深し
607	行春や硯にならぶ蕪村集	25	春	時候	行く春
608	行く春や大根の花も菜の花も	25	春	時候	行く春
609	行春や柳の糸も地について	25	春	時候	行く春
610	いそがしう春行く八百八町哉	26	春	時候	行く春
611	鶯の松にとまりて春ぞ行く	26	春	時候	行く春
612	掃溜のはまぐりがらや春の行	26	春	時候	行く春
613	春行くやある夜鳴神稲光り	26	春	時候	行く春
614	松杉の不破の関屋に春くれぬ	26	春	時候	行く春
615	行く春に猿男のうしろ姿哉	26	春	時候	行く春
616	行く春の月もなくなる山家哉	26	春	時候	行く春
617	行く春の釣針にかゝる魚もなし	26	春	時候	行く春
618	行く春のもたれ心や床柱	26	春	時候	行く春
619	行く春や商人船の立烏帽子	26	春	時候	行く春
620	行春や鶯下手に鳴きさがり	26	春	時候	行く春
621	行く春や牛の涎は何と読む	26	春	時候	行く春
622	行く春や尺に満ちたる露の臺	26	春	時候	行く春
623	行く春や園姫様の都入り	26	春	時候	行く春
624	行春や妻も子もなき草の庵	26	春	時候	行く春
625	行く春や腸洗ふ水の味	26	春	時候	行く春
626	行春や目を煩ひし京の人	26	春	時候	行く春
627	行く春をうれしさうなる鴉かな	26	春	時候	行く春
628	行く春をなれも惜むか白拍子	26	春	時候	行く春
629	行春を病人多き都かな	26	春	時候	行く春
630	行く春をものいひたげな姿かな	26	春	時候	行く春
631	暮れて行く春をぶらりと下りけり	27	春	時候	行く春
632	行春に達磨の躰聞かばやな	27	春	時候	行く春
633	行春に手をひろげたる蕨哉	27	春	時候	行く春
634	行春の石ともならで尼一人	27	春	時候	行く春
635	行春の魚のはらわた腐りけり	27	春	時候	行く春
636	行春の紅はげる野山かな	27	春	時候	行く春
637	行春の爪紅落す女かな	27	春	時候	行く春
638	行く春を雨に暮れ行く車かな	27	春	時候	行く春
639	行春を嵯峨や御室の蜆壳	27	春	時候	行く春

640	行春を乗合船の女かな	27	春	時候	行く春
641	行く春を鉢巻したる頭痛かな	27	春	時候	行く春
642	行く春を無言の人のあはれなり	27	春	時候	行く春
643	行春をものうけに眠る女御哉	27	春	時候	行く春
644	行春ををしむや平家物語	27	春	時候	行く春
645	行春を女車の人もなし	27	春	時候	行く春
646	緑青の八重山かくれ春の行く	27	春	時候	行く春
647	行く春の鉄漿つけなやむ女哉	28	春	時候	行く春
648	行く春の酒をたまはる陣屋哉	28	春	時候	行く春
649	行く春の二藍の衣酒しみたり	28	春	時候	行く春
650	行く春の牡丹咲きたる広間哉	28	春	時候	行く春
651	行く春や足くたびれし奈良廻り	28	春	時候	行く春
652	行く春や奈良の夜店の古扇	28	春	時候	行く春
653	行く春を翠帳の鸚鵡黙りけり	28	春	時候	行く春
654	行く春をひとり寝るべき宵も哉	28	春	時候	行く春
655	夕雲のいざよふ空や春の行く	28	春	時候	行く春
656	植込みに春行かんとす何の花	29	春	時候	行く春
657	何いそぐ春よりさきに行く君は	29	春	時候	行く春
658	春行くとつしる向いたる女かな	29	春	時候	行く春
659	春行くと片手出したる芭蕉哉	29	春	時候	行く春
660	行く春の烏帽子買ひけり白拍子	29	春	時候	行く春
661	行く春の狩衣姿乱れけり	29	春	時候	行く春
662	行く春の釘うちこみし杉を見たり	29	春	時候	行く春
663	行く春の三味線草や鏡草	29	春	時候	行く春
664	行く春や喧嘩のあとに鴉鳴く	29	春	時候	行く春
665	行春や忍ぶ恋てふ題を得たり	29	春	時候	行く春
666	行春や喧嘩のあとに鳴く鴉	29	春	時候	行く春
667	行く春や須磨の磯家の繋ぎ馬	29	春	時候	行く春
668	行く春やほうほうとして蓬原	29	春	時候	行く春
669	行く春や宿替したる臍の穴	29	春	時候	行く春
670	行く春や女載せたるいくさ船	29	春	時候	行く春
671	行く春を徐福がたよりなかりけり	29	春	時候	行く春
672	行春を尋ねて見ばや京女郎	29	春	時候	行く春
673	行く春を電話の糸の乱れ哉	29	春	時候	行く春
674	行く春をひとり鼻ひる女かな	29	春	時候	行く春
675	行く春を山青く水緑なり	29	春	時候	行く春
676	摺鉢の挿木に逢ず行春や	30	春	時候	行く春
677	七八騎過ぎ行く春の小村哉	31	春	時候	行く春
678	病む君に春行く宿や琴の塵	31	春	時候	行く春
679	天を刺す松の緑や夏近し	33	春	時候	行く春
680	行く春の硯に印す梅の花	33	春	時候	行く春
681	行く春の山吹散つて蝶白し	33	春	時候	行く春
682	行く春や日記を結ぶ藤の歌	34	春	時候	行く春
683	行く春ややぶれかぶれの迎酒	34	春	時候	行く春
684	ゆく春のさくらさかりて山の宿	不詳	春	時候	行く春
685	草の戸や春ををしみに人のくる	26	春	時候	春惜しむ
686	けふに成て頻りに春の惜くなる	26	春	時候	春惜しむ
687	傾城の文にも春を惜むかな	29	春	時候	春惜しむ
688	春惜む一日画をかき詩を作る	35	春	時候	春惜しむ
689	春惜む宿や日本の豆腐汁	35	春	時候	春惜しむ
690	草の戸に春の行くへの哀れなり	26	春	時候	春の行方
691	花ちりて春の行へのあはれなり	26	春	時候	春の行方
692	桜日記三月尽と書き納む	26	春	時候	三月尽
693	不尽のねに三月尽の青さ哉	26	春	時候	三月尽
694	行脚とめてはなす八十八夜かな	26	春	時候	八十八夜
695	出流れの晩茶も八十八夜かな	26	春	時候	八十八夜
696	山里に花咲く八十八夜かな	26	春	時候	八十八夜
697	霜なくて曇る八十八夜かな	34	春	時候	八十八夜
698	やすやすと青葉になりて夏近	25	春	時候	夏近し
699	はきだめの蛤がらや夏隣	26	春	時候	夏近し
700	夏近き俳句の会や夏の題	32	春	時候	夏近し
701	夏近く薔薇咲いて居る杉垣根	34	春	時候	夏近し
702	淡雪のうしろ明るき月夜哉	26	春	天文	淡雪
703	淡雪や覚束なくも雲はなれ	28	春	天文	淡雪

704	青柳にふりけされけり春の雪	25	春	天文	春の雪
705	粉になつて朝日にちるや春の雪	25	春	天文	春の雪
706	春の来し道や一筋雪の中	25	春	天文	春の雪
707	油断して雨になりけり春の雪	25	春	天文	春の雪
708	思ひ出し思ひ出しふる春の雪	26	春	天文	春の雪
709	傘干すや其影丸き春の雪	26	春	天文	春の雪
710	春日野は青み勝なり春の雪	26	春	天文	春の雪
711	狩衣やはらひもあへす春の雪	26	春	天文	春の雪
712	下町は雨に成りけり春のゆき	26	春	天文	春の雪
713	たなそこに受けて見る也春の雪	26	春	天文	春の雪
714	辻占をとけて見せたり春の雪	26	春	天文	春の雪
715	旅籠屋の前まだ白し春の雪	26	春	天文	春の雪
716	春の雪小草かくれに残りけり	26	春	天文	春の雪
717	春になりて二度目の雪や二三尺	29	春	天文	春の雪
718	春の雪雫も垂れず消えにけり	30	春	天文	春の雪
719	春の雪胡葱畑に積りけり	32	春	天文	春の雪
720	入海や海苔麓遠く春の雪	33	春	天文	春の雪
721	顔包む騎馬の土官や春の雪	34	春	天文	春の雪
722	君を待つ蛤鍋や春の雪	34	春	天文	春の雪
723	酒薄き車力の嘆や春の雪	34	春	天文	春の雪
724	春雪を侵して僧の下山かな	34	春	天文	春の雪
725	白魚取る舟の篝や春の雪	34	春	天文	春の雪
726	花早き梅をあはれむ春の雪	34	春	天文	春の雪
727	春の雪罪々として又降つて来る	34	春	天文	春の雪
728	これもまた花の一寸や春の霜	22	春	天文	春の霜
729	春の霜糸遊となつて燃にけり	25	春	天文	春の霜
730	吹くや東風附木の真帆にそよそよと	29	春	天文	東風
731	開帳の東風に吹かるゝ秘仏哉	31	春	天文	東風
732	病癒えて門を出づれば東風が吹く	31	春	天文	東風
733	病起椽にいつれは東風吹入るゝ衣の裾	31	春	天文	東風
734	東風吹クヤ船ノ寄ル待ツ離レ島	35	春	天文	東風
735	夕東風ヤ火ヲトモシタル漁舟	35	春	天文	東風
736	力なき風とは見えてよせる貝	25	春	天文	貝寄風
737	貝よせや磯は花貝さくら貝	26	春	天文	貝寄風
738	貝寄ノ風敷波ノ汀カナ	35	春	天文	貝寄風
739	貝寄ノ風ニカクヨル玉藻カナ	35	春	天文	貝寄風
740	貝寄ノ風ニタゞヨフ玉藻カナ	35	春	天文	貝寄風
741	佐保姫とともに笑ふや山の景	21	春	天文	佐保姫
742	佐保姫の眉についたる柳哉	22	春	天文	佐保姫
743	佐保姫は裾のすがるや富士の山	23	春	天文	佐保姫
744	佐保姫に笑はれてこそたびの顔	24	春	天文	佐保姫
745	佐保姫のもてなしあつし桃椿	24	春	天文	佐保姫
746	佐保ひめの笑はゞ笑へこげたかほ	24	春	天文	佐保姫
747	佐保ひめの笑はゞ笑へたびのかほ	24	春	天文	佐保姫
748	佐保姫のもてなしあつし独りたひ	24	春	天文	佐保姫
749	佐保姫のもてなしふりや独りたひ	24	春	天文	佐保姫
750	佐保姫は臍を常の姿かな	26	春	天文	佐保姫
751	佐保姫を思へば千島蝦夷が島	26	春	天文	佐保姫
752	佐保姫を恋に都のそめ物屋	26	春	天文	佐保姫
753	春の日は湖一はいに霞哉	22	春	時候・天文	春日
754	浅草に一日くらす春日哉	26	春	時候・天文	春日
755	浅草に一日暮れる春日哉	26	春	時候・天文	春日
756	十四五羽鶏のつれだつ春日哉	26	春	時候・天文	春日
757	大仏のうつらうつらと春日哉	26	春	時候・天文	春日
758	萱の木に雀囀る春日哉	26	春	時候・天文	春日
759	豆腐屋の根岸にかゝる春日哉	26	春	時候・天文	春日
760	はりものゝもみ衣匂ふ春日哉	26	春	時候・天文	春日
761	春の日や鼓のひもの幾ゆるみ	26	春	時候・天文	春日
762	春の日を一日眠る子猫かな	26	春	時候・天文	春日
763	春の日を奥山人と語りける	26	春	時候・天文	春日
764	春の日を鼓のひものゆるみけり	26	春	時候・天文	春日
765	春の日を屋根にゐ眠る大工哉	26	春	時候・天文	春日
766	大和路や春日も見えて宵月夜	26	春	時候・天文	春日
767	蛭の子の足に波うつ春日哉	27	春	時候・天文	春日

768	蛸の子の足に波よる春日かな	27	春	時候・天文	春日
769	雨霽れて鳥啼く塔の春日哉	27	春	時候・天文	春日
770	入相の山むらさきに春日かな	27	春	時候・天文	春日
771	鐘子さげて畑より戻る春日哉	27	春	時候・天文	春日
772	小舟漕で大船めぐる春日哉	27	春	時候・天文	春日
773	大木の下に子のよる春日哉	27	春	時候・天文	春日
774	鳳凰のしだり尾ゆらく春日哉	27	春	時候・天文	春日
775	女若く馬糞ひろふ春日哉	27	春	時候・天文	春日
776	鶺鴒の人に糞する春日哉	28	春	時候・天文	春日
777	仮橋のひよひよとなる春日哉	28	春	時候・天文	春日
778	きらきらと鳥の飛び行く春日哉	28	春	時候・天文	春日
779	砂浜に足跡長き春日かな	28	春	時候・天文	春日
780	大仏の膝に雲おく春日哉	28	春	時候・天文	春日
781	鳥飛んで砂に影ある春日哉	28	春	時候・天文	春日
782	春の日の暮れて野末に灯ともれり	28	春	時候・天文	春日
783	埃舞ふや春の日脚の壁のすき	28	春	時候・天文	春日
784	紫のがらすにうつる春日かな	28	春	時候・天文	春日
785	紫の雲に鶯舞ふ春日哉	28	春	時候・天文	春日
786	紫の雲間を漏るゝ春日かな	28	春	時候・天文	春日
787	雨晴れて春の日光る野山かな	29	春	時候・天文	春日
788	椽側に奴髻そる春日かな	29	春	時候・天文	春日
789	香も焚かず屁もひらず春の日半日	29	春	時候・天文	春日
790	櫳の木に春の日光る宮居哉	29	春	時候・天文	春日
791	蜘蛛の囀の五色に光る春日かな	29	春	時候・天文	春日
792	翠帳にさしこむ春の朝日かな	29	春	時候・天文	春日
793	双六の三島に春の日は暮れぬ	29	春	時候・天文	春日
794	砂浜にきらゝの光る春日かな	29	春	時候・天文	春日
795	赤飯に春日さしたる祠かな	29	春	時候・天文	春日
796	垂れこめて古人を思ふ春日哉	29	春	時候・天文	春日
797	ちらちらと花簪の春日かな	29	春	時候・天文	春日
798	春の日や馬上の使者の片手綱	29	春	時候・天文	春日
799	春の日や踊教ふる足拍子	29	春	時候・天文	春日
800	春の日を絶頂はまだ嵐かな	29	春	時候・天文	春日
801	低き木に鶯の下り居る春日かな	29	春	時候・天文	春日
802	古城になみふる春の日中かな	29	春	時候・天文	春日
803	窓にさす春の日影の九時過ぎぬ	29	春	時候・天文	春日
804	水底に魚の影さす春日哉	29	春	時候・天文	春日
805	三尺の庭を詠むる春日哉	30	春	時候・天文	春日
806	春の日の人何もせぬ小村哉	30	春	時候・天文	春日
807	春の日や草花売の背戸に来る	30	春	時候・天文	春日
808	春の日の友訪ふ舟や江の東	31	春	時候・天文	春日
809	鶯の来ぬ春の日となりけり	31	春	時候・天文	春日
810	うつくしき鳥に餌をやる春日哉	33	春	時候・天文	春日
811	カナリヤは逃げて春の日くれにけり	33	春	時候・天文	春日
812	韓王の行列来る春日哉	33	春	時候・天文	春日
813	橋を行く長柄の傘や春日影	33	春	時候・天文	春日
814	春の日や楽声起る堀の中	33	春	時候・天文	春日
815	春の日や根岸の店の赤団子	33	春	時候・天文	春日
816	春の日や紫の袴茶の袴	33	春	時候・天文	春日
817	春日さす庭の小松菜薑立ちぬ	33	春	時候・天文	春日
818	紫の袴をつけし春日かな	33	春	時候・天文	春日
819	紫の蒲団に座る春日かな	33	春	時候・天文	春日
820	忘れ居りし鉢に花さく春日哉	33	春	時候・天文	春日
821	写生して病間なり春一日	34	春	時候・天文	春日
822	爺は釣婆は念仏の春日かな	34	春	時候・天文	春日
823	春の日や七部巡りの第二番	34	春	時候・天文	春日
824	春の日や素人細工の鉋屑	34	春	時候・天文	春日
825	春の日や千代紙の鶴藁の虎	34	春	時候・天文	春日
826	春の日や病床にして絵の稽古	34	春	時候・天文	春日
827	春の日や牧師と僧を庵の客	34	春	時候・天文	春日
828	春ノ日ノ御願ホドキモツイデカナ	35	春	時候・天文	春日
829	春ノ日ヤ賞牌胸ニ美少年	35	春	時候・天文	春日
830	春ノ日ヤ時計屋ニ立ツ田舎人	35	春	時候・天文	春日
831	永代や春の夕日の橋の影	27	春	時候	春の夕日

832	薄墨てかいた様なり春の月	23	春	天文	春の月
833	かけたよりみちておほろや春の月	23	春	天文	春の月
834	風に吹きけされさう也春の月	23	春	天文	春の月
835	土手三里花にはなれぬ春の月	23	春	天文	春の月
836	取り落すおならかすむや春の月	23	春	天文	春の月
837	花か人が影もおほろや春の月	23	春	天文	春の月
838	花にいで花にかくるや春の月	23	春	天文	春の月
839	春の月一重の雲にかくれけり	23	春	天文	春の月
840	鶯のねくらさかささん春の月	25	春	天文	春の月
841	下町や女もまじる春の月	25	春	天文	春の月
842	須磨を出て明石は見えぬ春の月	25	春	天文	春の月
843	つくはねも見ゆるやう也春の月	25	春	天文	春の月
844	傘をたゝめば白し春の月	26	春	天文	春の月
845	紗の窓や官女琴ひく春の月	26	春	天文	春の月
846	春の月なき名とさへもあはれ也	26	春	天文	春の月
847	春の月御格子あげて人もなし	26	春	天文	春の月
848	婿がねに誰がなるらん春の月	26	春	天文	春の月
849	寺見えて月てる島の朧なり	27	春	天文	春の月
850	生酔の隣たゝくや春の月	27	春	天文	春の月
851	奈良の町の昔くさしや春の月	27	春	天文	春の月
852	春月や五條橋上の大躰	27	春	天文	春の月
853	池上を立つて戻るや春の月	28	春	天文	春の月
854	春の月鴉は森に寝たさうな	28	春	天文	春の月
855	春の月枯木の中を上りけり	28	春	天文	春の月
856	春の月芝居の木戸に湧く女	28	春	天文	春の月
857	春の月簾の外にかゝりけり	28	春	天文	春の月
858	湖や山朦朧と春の月	28	春	天文	春の月
859	吉原や橋ひきあげて春の月	28	春	天文	春の月
860	御手討のさわぎ静まる春の月	29	春	天文	春の月
861	婚礼の乗物多し春の月	29	春	天文	春の月
862	禰宜も居らず野社荒れて春の月	29	春	天文	春の月
863	人も居らず楽屋狼藉春の月	29	春	天文	春の月
864	ぼろぼろと尺八吹くや春の月	29	春	天文	春の月
865	満汐や春の月夜海のはて	29	春	天文	春の月
866	目さませば我裾に春の月出たり	29	春	天文	春の月
867	居酒屋に馬繋ぎけり春の月	29	春	天文	春の月
868	妓をつれて上野を下る春の月	30	春	天文	春の月
869	酒くさき衣干す春の月夜哉	30	春	天文	春の月
870	笛吹くは東の対よ春の月	31	春	天文	春の月
871	一里行く春の月夜や村芝居	32	春	天文	春の月
872	宴はてゝ車呼ぶ也春の月	32	春	天文	春の月
873	小道して廊に出でぬ春の月	32	春	天文	春の月
874	羽衣の太鼓聞えぬ春の月	32	春	天文	春の月
875	春の月恋する人を照しけり	32	春	天文	春の月
876	吉原の裏を通るや春の月	32	春	天文	春の月
877	十二橋どちら向いても春の月	35	春	天文	春の月
878	橋十二どちら向いても春の月	35	春	天文	春の月
879	四辻やどちら向いても春の月	35	春	天文	春の月
880	ふじよりも立つ陽炎や春の空	25	春	天文	春の月
881	庵の空鶯二十程春に舞ふ	29	春	天文	春の月
882	いろいろのもの飛びかひぬ春の空	29	春	天文	春の月
883	椽へ出て見れば鳥飛ぶ春の空	29	春	天文	春の月
884	霞より上にうきけり春のくも	25	春	天文	春の雲
885	曇りははず又夕ばえぬ春の雲	29	春	天文	春の雲
886	錦絵やお城の上に春の雲	31	春	天文	春の雲
887	春雨や柳の糸もまじるらん	20	春	天文	春の雨
888	霞みながら春雨ふるや湖の上	22	春	天文	春の雨
889	春雨に傘をたゝんであるきけり	22	春	天文	春の雨
890	春雨にぬるゝもうれし旅心	22	春	天文	春の雨
891	春雨のとほさぬ松の縄手かな	22	春	天文	春の雨
892	春雨や傘をたゝんであるきけり	22	春	天文	春の雨
893	春雨や旅の衣のぬれぬほと	22	春	天文	春の雨
894	春雨をもらさぬ松の縄手かな	22	春	天文	春の雨
895	燈籠の花にはくらし春の雨	23	春	天文	春の雨

896	春雨にふられて居るや酔心	23	春	天文	春の雨
897	春雨やふるもふらぬも花のため	23	春	天文	春の雨
898	日のくれて花に声なし春の雨	23	春	天文	春の雨
899	ふり出しも晴れぎはもなし春の雨	23	春	天文	春の雨
900	鶯や傘をたゝめ八春の雨	24	春	天文	春の雨
901	これほどにふつて音なし春の雨	24	春	天文	春の雨
902	うぐひすの茶の木くゝるや春の雨	25	春	天文	春の雨
903	枯枝に鳥なじむや春の雨	25	春	天文	春の雨
904	島島やわら屋根かすんで春の雨	25	春	天文	春の雨
905	杉の木の下をふりけり春の雨	25	春	天文	春の雨
906	たそかれや松に消えこむ春の雨	25	春	天文	春の雨
907	兎角して霞になりぬ春の雨	25	春	天文	春の雨
908	花に酔ふた頭重たし春の雨	25	春	天文	春の雨
909	花もなき配所の夜や春の雨	25	春	天文	春の雨
910	春雨に白木よごるゝ宮ゐかな	25	春	天文	春の雨
911	春雨や新しうなる小笹原	25	春	天文	春の雨
912	春雨や家老の門とする手綱	25	春	天文	春の雨
913	春雨や空乾きする虎子石	25	春	天文	春の雨
914	春雨や空がわきなる虎子石	25	春	天文	春の雨
915	ふる壁に草青みけり春の雨	25	春	天文	春の雨
916	馬子歌の鈴鹿上るや春の雨	25	春	天文	春の雨
917	よし原の桜にたらず春の雨	25	春	天文	春の雨
918	禅僧の眠りこけたる春の雨	26	春	天文	春の雨
919	花ちるや跡心よき春の雨	26	春	天文	春の雨
920	春雨にぬれて野牛の眠り哉	26	春	天文	春の雨
921	春雨に婿の寝ざまを見付けたり	26	春	天文	春の雨
922	春雨のまゝで夜に入る上野哉	26	春	天文	春の雨
923	春雨やお堂の中は鳩だらけ	26	春	天文	春の雨
924	春雨や傘を提げ行く女あり	26	春	天文	春の雨
925	春雨や晴れて田を打つ土のうら	26	春	天文	春の雨
926	春雨や楼上の人笛を吹く	26	春	天文	春の雨
927	琵琶抱て千手泣く夜や春の雨	26	春	天文	春の雨
928	蓑見ても旅したく成る春の雨	26	春	天文	春の雨
929	夢に見ん遊女もしらず春の雨	26	春	天文	春の雨
930	女一人ふゑ二人ふゑ春の雨	26	春	天文	春の雨
931	物たゝく庫裏のひゞきや春の雨	26	春	天文	春の雨
932	石投げて堀の深さを春の雨	27	春	天文	春の雨
933	傘さして筑波見に出ん春の雨	27	春	天文	春の雨
934	屑籠の文殻赤し春の雨	27	春	天文	春の雨
935	摺鉢をかぶつて行くや春の雨	27	春	天文	春の雨
936	泥舟や三艘ならぶ春の雨	27	春	天文	春の雨
937	春雨に暮れ行く沖の小島哉	27	春	天文	春の雨
938	春雨によごれて黒し赤鳥居	27	春	天文	春の雨
939	春雨の築地にとまる鴉かな	27	春	天文	春の雨
940	春雨の築地にむるゝ雀哉	27	春	天文	春の雨
941	春雨の築地にむれる雀哉	27	春	天文	春の雨
942	春雨の土堀にとまる鳥かな	27	春	天文	春の雨
943	春雨の蓑あぶりけり渡し守	27	春	天文	春の雨
944	春雨の朗詠うたふ女かな	27	春	天文	春の雨
945	春雨や油したゝる牛の肉	27	春	天文	春の雨
946	春雨や檻に寝ねたる大狸	27	春	天文	春の雨
947	春の雨摺鉢買ふて戻りけり	27	春	天文	春の雨
948	人もなし鶯横町春の雨	27	春	天文	春の雨
949	鶯の湯殿のそくや春の雨	28	春	天文	春の雨
950	宇治川やほつりほつりと春の雨	28	春	天文	春の雨
951	貝塚や土に下駄くふ春の雨	28	春	天文	春の雨
952	春雨の舟にゝむ女かな	28	春	天文	春の雨
953	春雨や仮鬢掛けたる床柱	28	春	天文	春の雨
954	春雨や埴生の小屋のさゝめ言	28	春	天文	春の雨
955	春の雨花担ひ来る娘かな	28	春	天文	春の雨
956	古杉の五本並ぶや春の雨	28	春	天文	春の雨
957	古杉の四五本ならぶ春の雨	28	春	天文	春の雨
958	又つゞく三十石や春の雨	28	春	天文	春の雨
959	松島の紀行直すや春の雨	28	春	天文	春の雨

960	鴛鴦の濡れて居るなり春の雨	28	春	天文	春の雨
961	板塀に春雨白し上根岸	29	春	天文	春の雨
962	垣低し番傘通る春の雨	29	春	天文	春の雨
963	傘さして傾城なぶる春の雨	29	春	天文	春の雨
964	傘の化物出たり春の雨	29	春	天文	春の雨
965	狩衣や北野にはいる春の雨	29	春	天文	春の雨
966	行列の草津に入るや春の雨	29	春	天文	春の雨
967	行列の勢田にかゝるや春の雨	29	春	天文	春の雨
968	傾城の裯襦着て見つ春の雨	29	春	天文	春の雨
969	粉になつて春雨とふや電気燈	29	春	天文	春の雨
970	地震して障子あくれば春の雨	29	春	天文	春の雨
971	血のあとの蒼ともならで春の雨	29	春	天文	春の雨
972	つれづれに書くや春雨物語	29	春	天文	春の雨
973	つれづれやわれ寝て居れば春の雨	29	春	天文	春の雨
974	兀山や春雨まじり嵐吹く	29	春	天文	春の雨
975	旅籠屋の門を出づれば春の雨	29	春	天文	春の雨
976	畑見ゆる杉垣低し春の雨	29	春	天文	春の雨
977	春雨になるや広野の南風	29	春	天文	春の雨
978	春雨の鳩と鳥と雀かな	29	春	天文	春の雨
979	春雨のわれまぼろしに近き身ぞ	29	春	天文	春の雨
980	春雨のわれ蓑着たり笠着たり	29	春	天文	春の雨
981	春雨や傘高低に渡し舟	29	春	天文	春の雨
982	春雨や金箔はげし粟田御所	29	春	天文	春の雨
983	春雨や心得顔の太郎冠者	29	春	天文	春の雨
984	春雨や関の小まんが出て招く	29	春	天文	春の雨
985	春雨や何々青む花の草	29	春	天文	春の雨
986	春雨や二十五番の観世音	29	春	天文	春の雨
987	春雨や日記をしるす船の中	29	春	天文	春の雨
988	春雨や蓑の下より赤い花	29	春	天文	春の雨
989	春雨や葭簀に立てし槍二本	29	春	天文	春の雨
990	春の雨松三寸の小苗かな	29	春	天文	春の雨
991	人に貸して我に傘なし春の雨	29	春	天文	春の雨
992	風呂の蓋取るやほつほつ春の雨	29	春	天文	春の雨
993	宿替の行燈濡れけり春の雨	29	春	天文	春の雨
994	山鳥の尾に春雨の雫かな	29	春	天文	春の雨
995	裏町は春雨ふるか蛇目傘	30	春	天文	春の雨
996	高麗つきて義州を望む春の雨	30	春	天文	春の雨
997	傘さして引舟通り春の雨	30	春	天文	春の雨
998	傘なしに行けば春雨降て居る	30	春	天文	春の雨
999	高麗尽きて義州を望む春の雨	30	春	天文	春の雨
1000	双陸や瀟々として春の雨	30	春	天文	春の雨
1001	雪院に鶯聞くや春の雨	30	春	天文	春の雨
1002	春雨に濡れてこそ来れ恋衣	30	春	天文	春の雨
1003	春雨の川をながむる格子窓	30	春	天文	春の雨
1004	春雨のふる葉の薄刈りもすてず	30	春	天文	春の雨
1005	春雨の温泉に酔て海をながめ居る	30	春	天文	春の雨
1006	春雨の女花売蓑を著て	30	春	天文	春の雨
1007	春雨や帰る須崎の裏田圃	30	春	天文	春の雨
1008	春雨や車を下りる白拍子	30	春	天文	春の雨
1009	春雨や木立緑に十万家	30	春	天文	春の雨
1010	春雨や僧愚にして文珠を画く	30	春	天文	春の雨
1011	真先に何が芽をふく春の雨	30	春	天文	春の雨
1012	春雨や配達叱る十時過	31	春	天文	春の雨
1013	会の日や晴れて又ふる春の雨	32	春	天文	春の雨
1014	小芝居の幟濡れけり春の雨	32	春	天文	春の雨
1015	暮に負けて忍ぶ恋路や春の雨	32	春	天文	春の雨
1016	中入や芝居出づれば春の雨	32	春	天文	春の雨
1017	楠公の墓に屋根あり春の雨	32	春	天文	春の雨
1018	春雨のふるき小笠や霞の匂	32	春	天文	春の雨
1019	春雨や傘さして見る絵草紙屋	32	春	天文	春の雨
1020	顔を出す長屋の窓や春の雨	33	春	天文	春の雨
1021	春雨や裏戸明け来る傘は誰	33	春	天文	春の雨
1022	春雨や裏戸入り来る傘は誰	33	春	天文	春の雨
1023	春雨や追込籠に黄なる鳥	33	春	天文	春の雨

1024	松風の謠半ばや春の雨	33	春	天文	春の雨
1025	屋根のある橋に物売る春の雨	33	春	天文	春の雨
1026	苔を包む紙のしめりや春の雨	34	春	天文	春の雨
1027	低過ぎし牡丹の傘や春の雨	34	春	天文	春の雨
1028	稽古する腹切の場や春の雨	35	春	天文	春の雨
1029	化物の名所通るや春の雨	35	春	天文	春の雨
1030	化物の名所へ来たり春の雨	35	春	天文	春の雨
1031	律院の苔の光や春の雨	35	春	天文	春の雨
1032	春風を片手に握るいかあけて	21	春	天文	春風
1033	はる風の吹きちゞめたりふしの雪	22	春	天文	春風
1034	春風の吹きちゞめたる不尽の雪	22	春	天文	春風
1035	春風や野にも山にも梅の花	22	春	天文	春風
1036	春風や吹のこしたる富士の雪	22	春	天文	春風
1037	駒の尾に春の風吹く牧場哉	23	春	天文	春風
1038	菜には蝶、麦に雲雀や春の風	23	春	天文	春風
1039	はる風に若駒の尾のなびきけり	23	春	天文	春風
1040	春風の姿やさしき柳かな	23	春	天文	春風
1041	春風の手柄見せけり桃柳	23	春	天文	春風
1042	春風の吹き残したり富士の雪	23	春	天文	春風
1043	春風の油断も見えぬ柳かな	23	春	天文	春風
1044	春風も眠る日和や子守うた	23	春	天文	春風
1045	春風やおとづれそむる風	23	春	天文	春風
1046	春風やまりを投げたき草原	23	春	天文	春風
1047	春風をかたちに見せる柳哉	23	春	天文	春風
1048	春風をにぎつてのびし蕨かな	23	春	天文	春風
1049	馬ほくほく吹くともなしの春の風	24	春	天文	春風
1050	春風や海に花さく真帆片帆	24	春	天文	春風
1051	春風や順礼てなく用てなく	24	春	天文	春風
1052	灰汁桶や花の波よる春の風	25	春	天文	春風
1053	鏡台に花吹きこむや春の風	25	春	天文	春風
1054	草か木かセントヘレナの春の風	25	春	天文	春風
1055	とやかうと杉にはなれず春の風	25	春	天文	春風
1056	生壁に花ふきつける春の風	25	春	天文	春風
1057	花に酔ふた頭重たし春の風	25	春	天文	春風
1058	春風にしばむものあり干大根	25	春	天文	春風
1059	春風の脊丈みしかし不二のやま	25	春	天文	春風
1060	春風のどちらを見ても白帆哉	25	春	天文	春風
1061	春風の吹けばしばむや干大根	25	春	天文	春風
1062	春風のふつとふくらむ木芽哉	25	春	天文	春風
1063	春風や巨燧櫓のよそよそし	25	春	天文	春風
1064	春風やごみ吹きよせて不二の影	25	春	天文	春風
1065	春風や花吹きつける都とり	25	春	天文	春風
1066	春風や柳のなでる古やぐら	25	春	天文	春風
1067	春風や井戸へはひりしつはくらめ	25	春	天文	春風
1068	蕙帆の重た過たり春の風	25	春	天文	春風
1069	蕙帆のたるみ見えけり春の風	25	春	天文	春風
1070	むしる帆のたるミ見二けり春の風	25	春	天文	春風
1071	歌にせん何山彼山春の風	26	春	天文	春風
1072	竹切りにどこまで行かん春の風	26	春	天文	春風
1073	妻もたぬ人のうとまし春の風	26	春	天文	春風
1074	春風に顔ならべけり燕の子	26	春	天文	春風
1075	春風にふとりもせぬか虎子石	26	春	天文	春風
1076	春風の高さくらべん富士筑波	26	春	天文	春風
1077	春風の中に一筋寒さ哉	26	春	天文	春風
1078	春風の吹くにつけても草の庵	26	春	天文	春風
1079	春風や伊勢をの海人のさばき髪	26	春	天文	春風
1080	春風や牛売りありく京の町	26	春	天文	春風
1081	春風や海は海苔取鮑取	26	春	天文	春風
1082	春風や起きも直らぬ磯馴松	26	春	天文	春風
1083	春風や霞破れて村一つ	26	春	天文	春風
1084	春風や蟹つる女年二八	26	春	天文	春風
1085	春風や三味線堀のさゝら波	26	春	天文	春風
1086	春風や白帆にまじる蜆舟	26	春	天文	春風
1087	春風や何の夢見る朽柳	26	春	天文	春風

1088	春風や庭で三味ひく老葉子	26	春	天文	春風
1089	春風や荷船こみあふ日本橋	26	春	天文	春風
1090	春風や根岸の寮に女客	26	春	天文	春風
1091	春風や箒目入れし鳩の海	26	春	天文	春風
1092	春風や榛名の山の牛の牧	26	春	天文	春風
1093	春風や干潟にのこる三味の舟	26	春	天文	春風
1094	春風や人の波うつ淡路町	26	春	天文	春風
1095	春風や吹かれ吹かれて三百里	26	春	天文	春風
1096	春風や不二を見こみの木賃宿	26	春	天文	春風
1097	春風や紅の干衣ひらひらと	26	春	天文	春風
1098	春風や皆似た顔の官女達	26	春	天文	春風
1099	春風や淀川下る琵琶法師	26	春	天文	春風
1100	春風や井戸は昔しの星月夜	26	春	天文	春風
1101	春風や女酒売る船の中	26	春	天文	春風
1102	春風や女つみ出す越後船	26	春	天文	春風
1103	病人のあるき出したり春の風	26	春	天文	春風
1104	油揚に羽が生えたり春の風	27	春	天文	春風
1105	岩間より春風の里見ゆる哉	27	春	天文	春風
1106	薄絹に鴛鴦縫ふや春の風	27	春	天文	春風
1107	海見ゆる町のはづれや春の風	27	春	天文	春風
1108	大江戸や錦絵を吹く春の風	27	春	天文	春風
1109	軍艦の沖にかゝるや春の風	27	春	天文	春風
1110	さまざまに染むる画筆や春の風	27	春	天文	春風
1111	三重に白帆かけたり春の風	27	春	天文	春風
1112	昇天の夢や見るらん春の風	27	春	天文	春風
1113	そよそよと杉の間より春の風	27	春	天文	春風
1114	旅人の上向いて行く春の風	27	春	天文	春風
1115	玉売を呼びこむ家や春の風	27	春	天文	春風
1116	橋ぎはや帆を下したる春の風	27	春	天文	春風
1117	鳩鳴くや大提灯に春の風	27	春	天文	春風
1118	鳩鳴くや大提灯の春の風	27	春	天文	春風
1119	春風に鍛冶の烏帽子のゆがみけり	27	春	天文	春風
1120	春風に線香の煙まぎれけり	27	春	天文	春風
1121	春風の辻堂めの字めの字哉	27	春	天文	春風
1122	春風や青物市の跡広し	27	春	天文	春風
1123	春風や郵便車肥車	27	春	天文	春風
1124	春風や石に字を書く旅硯	27	春	天文	春風
1125	春風や馬糞車引けよとて	27	春	天文	春風
1126	春風や馬馳せ違ふ吾妻橋	27	春	天文	春風
1127	春風や永代橋の人通り	27	春	天文	春風
1128	春風や大風車小風船	27	春	天文	春風
1129	春風や肩をはなるゝ力石	27	春	天文	春風
1130	春風や木の中に赤き寺一つ	27	春	天文	春風
1131	春風や木の中に青き耶蘇の寺	27	春	天文	春風
1132	春風や黒船雲をいづる見ゆ	27	春	天文	春風
1133	春風や群馬三々五々遊ぶ	27	春	天文	春風
1134	春風や去年の落葉の小石原	27	春	天文	春風
1135	春風や五反帆川をさかのぼる	27	春	天文	春風
1136	春風や御殿にひゞく大鼓	27	春	天文	春風
1137	春風や侍町の枕売	27	春	天文	春風
1138	春風や四階五階貸座敷	27	春	天文	春風
1139	春風や書院の棚の大硯	27	春	天文	春風
1140	春風や獄渡りのこそばゆき	27	春	天文	春風
1141	春風や大神宮の柱だて	27	春	天文	春風
1142	春風や大紋そろふ男山	27	春	天文	春風
1143	春風や鳥居の内の子守唄	27	春	天文	春風
1144	春風や鳥居の笹木帆掛船	27	春	天文	春風
1145	春風や目にあまりたる大般若	27	春	天文	春風
1146	春風や森のはづれの天王寺	27	春	天文	春風
1147	春風や山紫に水青し	27	春	天文	春風
1148	春風や横町横町の赤鳥居	27	春	天文	春風
1149	春風や田舎の娘我を見る	27	春	天文	春風
1150	春風や威しかへたる鎧橋	27	春	天文	春風
1151	春風や女後推す肥車	27	春	天文	春風

1152	日の旗や四階五階の春の風	27	春	天文	春風
1153	古川や鱧泡吹く春の風	27	春	天文	春風
1154	牡丹裁て美人土かふ春の風	27	春	天文	春風
1155	莛帆の筑波にかたぐ春の風	27	春	天文	春風
1156	六郷の橋まで来たり春の風	27	春	天文	春風
1157	六国の印章重し春の風	27	春	天文	春風
1158	仰向に地蔵こけたり春の風	28	春	天文	春風
1159	漁船の安房へ流るる春の風	28	春	天文	春風
1160	大城の不恰好なり春の風	28	春	天文	春風
1161	枯蘆に春の風吹く湖水哉	28	春	天文	春風
1162	金州や矢の根をひろふ春の風	28	春	天文	春風
1163	金箔の袂につくや春の風	28	春	天文	春風
1164	廻廊や燈籠動く春の風	28	春	天文	春風
1165	廻廊や燈籠ゆるる春の風	28	春	天文	春風
1166	堂の名はみな忘れけり春の風	28	春	天文	春風
1167	堂の名はみな忘れたり春の風	28	春	天文	春風
1168	人間が動き出しけり春の風	28	春	天文	春風
1169	春風が吹くとて遊ぶ女かな	28	春	天文	春風
1170	春風に針の折れたる女かな	28	春	天文	春風
1171	春風に尾をひろげたる孔雀哉	28	春	天文	春風
1172	春風のぼつちり白し都鳥	28	春	天文	春風
1173	春風や赤きもの何やらひるがへる	28	春	天文	春風
1174	春風や赤きもの皆ひるがへる	28	春	天文	春風
1175	春風や一膳めしの大行燈	28	春	天文	春風
1176	春風や湖をへだてゝ比良の雪	28	春	天文	春風
1177	春風や草をくふ牛眠る牛	28	春	天文	春風
1178	春風や四條五條の牛車	28	春	天文	春風
1179	春風や白帆重なりあふて行	28	春	天文	春風
1180	春風や城あらはるゝ松の上	28	春	天文	春風
1181	春風やちよろりちよろりと波の音	28	春	天文	春風
1182	春風や天上の人我を招く	28	春	天文	春風
1183	春風や土手は水音馬の鈴	28	春	天文	春風
1184	春風や仁王の腕の馬の沓	28	春	天文	春風
1185	春風や鳩飛び出でし額のうら	28	春	天文	春風
1186	春風や東へ片帆西へ真帆	28	春	天文	春風
1187	春風やほろりほろりと折れる蘆	28	春	天文	春風
1188	春風や都につゞく松縄手	28	春	天文	春風
1189	春風や落書したる仁王門	28	春	天文	春風
1190	春風や女つれだつ橋の上	28	春	天文	春風
1191	春の風二つ帆のある小舟哉	28	春	天文	春風
1192	人もなき几帳を吹くや春の風	28	春	天文	春風
1193	不破こえて春風吹くや鳩の海	28	春	天文	春風
1194	ぼうと行けば鷗立ちけり春の風	28	春	天文	春風
1195	四柱の神むつまじや春の風	28	春	天文	春風
1196	鴛鴦の羽搔いて居る春風	28	春	天文	春風
1197	赤紙や南京町の春の風	29	春	天文	春風
1198	浅茅生や春風吹けば猫二匹	29	春	天文	春風
1199	足二本同行二人春の風	29	春	天文	春風
1200	おろしおくらんぶ屋の荷に春の風	29	春	天文	春風
1201	ぐるりから春風吹くや鳩の海	29	春	天文	春風
1202	これはこれは腰が立つたか春の風	29	春	天文	春風
1203	三尺の帯のゆるさよ春の風	29	春	天文	春風
1204	三條や袂吹かるる春の風	29	春	天文	春風
1205	三條を真中にして春の風	29	春	天文	春風
1206	使者一騎大手はいるや春の風	29	春	天文	春風
1207	使者一人大手はいるや春の風	29	春	天文	春風
1208	詩や歌や帳紙を吹く春の風	29	春	天文	春風
1209	銭亀や釣り下げられて春の風	29	春	天文	春風
1210	旅人の城へ上るや春の風	29	春	天文	春風
1211	出て見れば春の風吹く戸口哉	29	春	天文	春風
1212	田楽や春風渡る雑司ヶ谷	29	春	天文	春風
1213	春風にこぼれて赤し齒磨粉	29	春	天文	春風
1214	春風の断頭台に上りけり	29	春	天文	春風
1215	春風の戸口に赤き幟かな	29	春	天文	春風

1216	春風の人欄に倚る閣の上	29	春	天文	春風
1217	春風の吹けども黒き仏かな	29	春	天文	春風
1218	春風の舟飄々と流れけり	29	春	天文	春風
1219	春風の女吹くなり二月堂	29	春	天文	春風
1220	春風や鹿の出て来る赤鳥居	29	春	天文	春風
1221	春風や白帆つらなる麦畑	29	春	天文	春風
1222	春風や何の木高き武家屋敷	29	春	天文	春風
1223	春風や直衣狩衣五つ衣	29	春	天文	春風
1224	春風や沼をへだてゝ水戸の町	29	春	天文	春風
1225	春風や鋸山を砕く音	29	春	天文	春風
1226	春風や白骨草になりかゝる	29	春	天文	春風
1227	春風や遍路飯くふ仁王門	29	春	天文	春風
1228	春風やまだ赤さびの杉の色	29	春	天文	春風
1229	春風や眼も鼻もなき石仏	29	春	天文	春風
1230	春の風断頭台に上りけり	29	春	天文	春風
1231	春の風馬肉売る店の並ひけり	29	春	天文	春風
1232	文台や二見が浦の春の風	29	春	天文	春風
1233	ぼろぼろと袴綻ぶ春の風	29	春	天文	春風
1234	めでたさに春風吹くや御首途	29	春	天文	春風
1235	行き行きて町はつれけり春の風	29	春	天文	春風
1236	行き行きて町を出でけり春の風	29	春	天文	春風
1237	らんぶ屋の荷にちろちろと春の風	29	春	天文	春風
1238	欄間には二十五菩薩春の風	29	春	天文	春風
1239	料理屋の看板吹くや春の風	29	春	天文	春風
1240	小原女をめづらしがるや春の風	29	春	天文	春風
1241	銚子緋繻春風吹くや古衣店	30	春	天文	春風
1242	春風の女凌雲閣に上る	30	春	天文	春風
1243	春風や象引いて行く町の中	30	春	天文	春風
1244	春風や水楼に上る舟の酔	30	春	天文	春風
1245	春風や鳩飛ぶ処本願時	30	春	天文	春風
1246	平家方の赤禪や春の風	30	春	天文	春風
1247	浮き上る鯉の頭を春の風	31	春	天文	春風
1248	枯蘆に春風吹けば目高哉	31	春	天文	春風
1249	小城下に春風吹くや馬芝居	31	春	天文	春風
1250	宝積む船の著きけり春の風	31	春	天文	春風
1251	鳩抱いて遊ぶ童や春の風	31	春	天文	春風
1252	春風の句を案じつゝ散歩哉	31	春	天文	春風
1253	春風の船に酔ふたる女哉	31	春	天文	春風
1254	春風の文殻吹くや留守の宿	31	春	天文	春風
1255	春風や飛ばんともせず畑の鶴	31	春	天文	春風
1256	病人の顔出す窓や春の風	31	春	天文	春風
1257	南より春風吹くや東大寺	31	春	天文	春風
1258	檻狭し虎の尾をふる春の風	31	春	天文	春風
1259	江の島へ女の旅や春の風	32	春	天文	春風
1260	不忍に鷓首の船や春の風	32	春	天文	春風
1261	剥製の山鳥の尾や春の風	32	春	天文	春風
1262	春風や嫁を載せたる飾り馬	32	春	天文	春風
1263	春の風帆のなき舟も流れけり	32	春	天文	春風
1264	春風や阿波へ渡りの旅役者	33	春	天文	春風
1265	春風や扇流しの裾模様	33	春	天文	春風
1266	春風や橋長うして馬二つ	33	春	天文	春風
1267	海原や夜に入りてから風光る	26	春	天文	風光る
1268	海山や土佐が画に似て風光る	26	春	天文	風光る
1269	文金の合せ鏡や風ひかる	26	春	天文	風光る
1270	初雷や蚊帳は未だ櫃の底	25	春	天文	春雷
1271	初雷や荷馬ひきこむ遊行寺	26	春	天文	春雷
1272	初雷や仁王の陰の悪太郎	26	春	天文	春雷
1273	初雷の汽車の響に紛れけり	32	春	天文	春雷
1274	初雷の二つばかりで止みにけり	32	春	天文	春雷
1275	初雷や物に驚く病み上り	32	春	天文	春雷
1276	初雷を恐るゝ妻や針仕事	32	春	天文	春雷
1277	初雷やはしめて落しわらは病	35	春	天文	春雷
1278	花曇りついふり出してちる桜	24	春	天文	花曇
1279	花曇り都の隅の飛鳥山	26	春	天文	花曇

1280	花の空薄紅に曇りけり	26	春	天文	花曇
1281	庵からは杉の上野の花曇	29	春	天文	花曇
1282	花曇稲荷の森にかゝりけり	29	春	天文	花曇
1283	咲満る花に淋しき曇り哉	30	春	天文	花曇
1284	うたゝ寝の顔に桜の雫かな	23	春	天文	花の雨
1285	傘に落つる桜の雫かな	23	春	天文	花の雨
1286	大名にならばちらさじ雨の花	25	春	天文	花の雨
1287	何程の事かあるべき花の雨	25	春	天文	花の雨
1288	寒げだつ賤か夜明や花時雨	26	春	天文	花の雨
1289	花に来て都の雨にふられけり	27	春	天文	花の雨
1290	真直にふるや都の花の雨	28	春	天文	花の雨
1291	面白いかな花の雨雨の月	29	春	天文	花の雨
1292	権現や桜もまじる杉の雨	31	春	天文	花の雨
1293	花の雨僅に晴れて群衆哉	31	春	天文	花の雨
1294	遠足の十人ばかり花の雨	32	春	天文	花の雨
1295	案内者も紳士も濡れて花の雨	35	春	天文	花の雨
1296	案内者も我等も濡れて花の雨	35	春	天文	花の雨
1297	あめりかの波打ちよする霞かな	22	春	天文	霞
1298	見渡せとはて八霞の浦けしき	22	春	天文	霞
1299	見渡せとはては霞の浦の春	22	春	天文	霞
1300	見渡せははては霞の浦の春	22	春	天文	霞
1301	むさしのはどこまで行くも霞哉	22	春	天文	霞
1302	雪ながら霞もたつや不二の山	22	春	天文	霞
1303	海も山も只一すぢに霞みけり	23	春	天文	霞
1304	海も山もたゞ一ひきや春霞	23	春	天文	霞
1305	来て見れば都一目の霞哉	23	春	天文	霞
1306	花はかり引きのこしたる霞哉	23	春	天文	霞
1307	筆草やいそはかすみて一文字	23	春	天文	霞
1308	むさしのや霞の中に水の音	23	春	天文	霞
1309	山を出て海にひろがる霞かな	23	春	天文	霞
1310	アメリカもろしやも一つや春霞	24	春	天文	霞
1311	霞こき処やさかみいづむさし	24	春	天文	霞
1312	霞む日や一本杉をかきりにて	24	春	天文	霞
1313	霞む日や見ゆる限りは同じ国	24	春	天文	霞
1314	霞むるや見ゆる限りは同じ国	24	春	天文	霞
1315	樺太をさかひかけふの朝かすみ	24	春	天文	霞
1316	手紙もつ人はたちまちかすみ哉	24	春	天文	霞
1317	七浦や一浦さきは春霞	24	春	天文	霞
1318	一ひきや都もひなもうす霞	24	春	天文	霞
1319	見ゆるだけ同じ国なり春霞	24	春	天文	霞
1320	我身までういたやうなるかすみかな	24	春	天文	霞
1321	朝々の霞のいろや峯の花	25	春	天文	霞
1322	家々のきれめきれめや薄霞	25	春	天文	霞
1323	薄墨は花に霞の夕哉	25	春	天文	霞
1324	霞にも雲にもあらずよしの山	25	春	天文	霞
1325	草餅につきませである霞哉	25	春	天文	霞
1326	網干さぬ蟹か家はなし夕霞	26	春	天文	霞
1327	一村は柳ばかりや朝かすみ	26	春	天文	霞
1328	牛馬の遊ぶ野広し春霞	26	春	天文	霞
1329	宇治下る柴つみ船や夕霞	26	春	天文	霞
1330	霞みけり山消えうせて塔一つ	26	春	天文	霞
1331	霞む日や八島は遠き海の上	26	春	天文	霞
1332	霞む山根本中堂中にして	26	春	天文	霞
1333	唐船と人はいふなり夕かすみ	26	春	天文	霞
1334	猿引の木曾路を下る霞かな	26	春	天文	霞
1335	三国は海をへたつる霞哉	26	春	天文	霞
1336	十国の一つ一つに霞みけり	26	春	天文	霞
1337	そこいらに都の見えぬ霞哉	26	春	天文	霞
1338	大仏は前とうしろの霞哉	26	春	天文	霞
1339	朝鮮をうしろにかすむ対馬哉	26	春	天文	霞
1340	土佐流の刷毛のつかひや横霞	26	春	天文	霞
1341	飛び込んで鳶も鳥も霞みけり	26	春	天文	霞
1342	日本の霞目がけていそぐらん	26	春	天文	霞
1343	野の宮のあはれをこゝに霞みけり	26	春	天文	霞

1344	離れ家の隣に遠き霞哉	26	春	天文	霞
1345	松島は松それぞれの霞哉	26	春	天文	霞
1346	真帆片帆沖はかすみてもなし	26	春	天文	霞
1347	真帆片帆行く手行く手の海霞む	26	春	天文	霞
1348	見送るや引鶴海に霞む迄	26	春	天文	霞
1349	簀の毛は晴れて漁村の霞哉	26	春	天文	霞
1350	宮島をすぢかひに引く霞哉	26	春	天文	霞
1351	武蔵野の一隅かすみつく波哉	26	春	天文	霞
1352	山一つこえてうら手の霞哉	26	春	天文	霞
1353	与謝の海かすんで赤き入日哉	26	春	天文	霞
1354	薄緑お行の松は霞みけり	27	春	天文	霞
1355	沖中の白石かすみ日和哉	27	春	天文	霞
1356	奥の院霞の中に見ゆるかな	27	春	天文	霞
1357	霞みけり大島小島真帆片帆	27	春	天文	霞
1358	霞みけり山一番の大檜	27	春	天文	霞
1359	霞絶えて村見えて又霞あり	27	春	天文	霞
1360	霞み行く奥街道の車哉	27	春	天文	霞
1361	霞む日や屋根許りなる本願寺	27	春	天文	霞
1362	木の間紙すく小村霞みけり	27	春	天文	霞
1363	品川の霞んで遠き入江哉	27	春	天文	霞
1364	大国の使者船で来る霞哉	27	春	天文	霞
1365	大仏の横顔かすみ夕哉	27	春	天文	霞
1366	狸棲む一本榎かすみけり	27	春	天文	霞
1367	鳶一つ都のはてにかすみけり	27	春	天文	霞
1368	鳥飛ぶや霞はづれて塔一つ	27	春	天文	霞
1369	鼻先の富士も箱根も霞みけり	27	春	天文	霞
1370	一つづゝ霞みそめけり大八洲	27	春	天文	霞
1371	厚杯の木のでつしり座る霞かな	27	春	天文	霞
1372	山のへや霞一の字水くの字	27	春	天文	霞
1373	行く人の霞になつてしまひけり	27	春	天文	霞
1374	赤帯の女野辺行く霞哉	28	春	天文	霞
1375	有明の燈明台をかすみけり	28	春	天文	霞
1376	一銭の釣鐘撞くや昼霞	28	春	天文	霞
1377	伊豆の鼻安房の岬もかすみけり	28	春	天文	霞
1378	薄霞東大寺の赤さ哉	28	春	天文	霞
1379	薄霞南大門の赤さかな	28	春	天文	霞
1380	大寺の屋根あちこちと霞哉	28	春	天文	霞
1381	大船の小舟引き行く霞哉	28	春	天文	霞
1382	霞む日や筑波小さき窓の中	28	春	天文	霞
1383	霞む日や村の伽藍の屋根許り	28	春	天文	霞
1384	かへり見れば行きあひし人の霞みけり	28	春	天文	霞
1385	漕ぎぬけて霞の外の海広し	28	春	天文	霞
1386	鷺消えて片帆の残る霞哉	28	春	天文	霞
1387	三千坊はなれはなれの霞かな	28	春	天文	霞
1388	三重に淡路のかすみ日和哉	28	春	天文	霞
1389	汐満ちて鳥居の霞む入江哉	28	春	天文	霞
1390	蒸気ヤ出て行く残る煙が霞哉	28	春	天文	霞
1391	線香の煙にかすみ御堂哉	28	春	天文	霞
1392	餞別を担ふて出たる霞哉	28	春	天文	霞
1393	其中に富士ぼつかりと霞哉	28	春	天文	霞
1394	其人の霞んでぞあらんことづてよ	28	春	天文	霞
1395	大国の山皆低きかすみ哉	28	春	天文	霞
1396	大仏の霞まぬやうに御堂哉	28	春	天文	霞
1397	近き山遠き渚やむら霞	28	春	天文	霞
1398	天上に何おはす日ぞ薄霞	28	春	天文	霞
1399	天人が帰りしあとの霞かな	28	春	天文	霞
1400	天人の裾引きのこす霞哉	28	春	天文	霞
1401	遠霞近江の山もまじりけり	28	春	天文	霞
1402	長橋の向ふに低き霞かな	28	春	天文	霞
1403	日本のぼつちり見ゆる霞哉	28	春	天文	霞
1404	野の末や霞んで丸き入日影	28	春	天文	霞
1405	砲台の舳に霞む港かな	28	春	天文	霞
1406	畑中に雪隠小屋の霞みけり	28	春	天文	霞
1407	はつきりと霞の中に鳶黒し	28	春	天文	霞

1408	福原に霞みて赤きともし哉	28	春	天文	霞
1409	富士薄く雲より上に霞みけり	28	春	天文	霞
1410	富士の根の霞みて青き夕哉	28	春	天文	霞
1411	武蔵野やはるかに霞む村一つ	28	春	天文	霞
1412	紫に霞みて暮るゝ都かな	28	春	天文	霞
1413	山伏の山のぼり行く霞哉	28	春	天文	霞
1414	行く程の人馬小さき霞かな	28	春	天文	霞
1415	夕栄の五色が浜をかすみけり	28	春	天文	霞
1416	女引く車と見しかかすみけり	28	春	天文	霞
1417	霞む日や真乳山から見渡せば	29	春	天文	霞
1418	霞むらん一の鳥居の小さゝよ	29	春	天文	霞
1419	かへり見れば西と南にかすみけり	29	春	天文	霞
1420	上市は灯をともしけり夕霞	29	春	天文	霞
1421	傾城は五階の上の霞哉	29	春	天文	霞
1422	品川の白帆かすむや遠眼鏡	29	春	天文	霞
1423	田の中に稲荷の杜の霞みけり	29	春	天文	霞
1424	塔に上れば南住吉薄かすみ	29	春	天文	霞
1425	地震やんで門を出づれば霞哉	29	春	天文	霞
1426	つくばねの昨日も今日もかすみけり	29	春	天文	霞
1427	天辺に秀でたる眉をかすみけり	29	春	天文	霞
1428	並杉の日光領はかすみけり	29	春	天文	霞
1429	日本は霞んで富士もなかりけり	29	春	天文	霞
1430	堀割をのぞけば霞む人夫かな	29	春	天文	霞
1431	見下せば夜の明けて居る霞哉	29	春	天文	霞
1432	武蔵野にかすまぬものもなかりけり	29	春	天文	霞
1433	娘率て吾妻に下る霞かな	29	春	天文	霞
1434	山寺に城を見下す霞哉	29	春	天文	霞
1435	山寺の昼飯遅き霞かな	29	春	天文	霞
1436	岡に上り南を見れば霞かな	29	春	天文	霞
1437	朝凧や霞みて遠き島一つ	30	春	天文	霞
1438	馬霞み左に低き山を見る	30	春	天文	霞
1439	駅前出れば東海道の霞哉	30	春	天文	霞
1440	街道の旅人多き霞かな	30	春	天文	霞
1441	鶴翼の備くづるゝ霞哉	30	春	天文	霞
1442	書に倦んで野に出れば野の霞哉	30	春	天文	霞
1443	杉垣の上に筑波の尖霞む	30	春	天文	霞
1444	裾山の土堀る人や遠霞	30	春	天文	霞
1445	鳶舞ふてきのふもけふも霞哉	30	春	天文	霞
1446	野の果や霞んで丸き入日影	30	春	天文	霞
1447	氷魚死んで宇治の川上霞みけり	30	春	天文	霞
1448	町中や揚げば鳶の霞む空	30	春	天文	霞
1449	右の手に指すや御室の塔霞む	30	春	天文	霞
1450	病起椽に出れば上野の森霞む	30	春	天文	霞
1451	夕霞連吾を待つ宿はづれ	30	春	天文	霞
1452	夕霞星見えて灯のともりたる	30	春	天文	霞
1453	岡の茶屋に駄菓子くふ日や昼霞	30	春	天文	霞
1454	霞む日や鳶舞ひ落つる西の京	31	春	天文	霞
1455	大仏の頭出したる霞かな	31	春	天文	霞
1456	大兵の野山に満つる霞かな	31	春	天文	霞
1457	灯一つ星二つ三つ夕霞	32	春	天文	霞
1458	霞む日の湖見渡すや橋半	32	春	天文	霞
1459	霞む日の海に釣して舟の酔	33	春	天文	霞
1460	帆の向のかはるや須磨の鐘霞む	26	春	天文	鐘霞む
1461	鬚剃ルヤ上野ノ鐘ノ霞ム日ニ	35	春	天文	鐘霞む
1462	陽炎はなひかぬものか春の風	24	春	天文	陽炎
1463	陽炎や草の中なる馬のくそ	24	春	天文	陽炎
1464	陽炎や南無とかいたる笠の上	24	春	天文	陽炎
1465	陽炎の一かたまりやはなれ島	25	春	天文	陽炎
1466	陽炎の水にちらつく子鮎哉	25	春	天文	陽炎
1467	陽炎や草くふ馬の鼻の穴	25	春	天文	陽炎
1468	陽炎や苔にもならぬ玉の石	25	春	天文	陽炎
1469	陽炎や三千軒の家のあと	25	春	天文	陽炎
1470	陽炎やセントヘレナのしま一つ	25	春	天文	陽炎
1471	かけろふや空までたつて朧月	25	春	天文	陽炎

1472	陽炎や昼寝の爺の白髪なり	25	春	天文	陽炎
1473	陽炎となるやへり行く古柱	26	春	天文	陽炎
1474	陽炎に牛の涎のかゝりけり	26	春	天文	陽炎
1475	陽炎に狂ふ牡猫の眼ざし哉	26	春	天文	陽炎
1476	陽炎の次第にふゑる野茶屋哉	26	春	天文	陽炎
1477	陽炎の次第にふとる野茶屋哉	26	春	天文	陽炎
1478	陽炎の下に背をほす翁かな	26	春	天文	陽炎
1479	陽炎のたつや翁の背中より	26	春	天文	陽炎
1480	陽炎の野中に立つや大師堂	26	春	天文	陽炎
1481	陽炎の一筋白し丸木ばし	26	春	天文	陽炎
1482	陽炎の古し新らし塚の石	26	春	天文	陽炎
1483	陽炎や梅ちりかゝる石の上	26	春	天文	陽炎
1484	陽炎や大船かゝる真昼中	26	春	天文	陽炎
1485	陽炎や枯野の時の馬の糞	26	春	天文	陽炎
1486	陽炎や虚空に上る東大寺	26	春	天文	陽炎
1487	陽炎や小雨のあとの南風	26	春	天文	陽炎
1488	陽炎や此頃できし小石道	26	春	天文	陽炎
1489	陽炎や小松の中の古すゝき	26	春	天文	陽炎
1490	陽炎や芝に桶干す乳母か宿	26	春	天文	陽炎
1491	陽炎や簀の子日のもる辻談義	26	春	天文	陽炎
1492	陽炎や大砲けふる那須野原	26	春	天文	陽炎
1493	陽炎や何やら芽さす雨上り	26	春	天文	陽炎
1494	陽炎や野寺の墓の一つづゝ	26	春	天文	陽炎
1495	陽炎や鼻血のにじむ紙の屑	26	春	天文	陽炎
1496	陽炎やはり物かわく真昼中	26	春	天文	陽炎
1497	陽炎や桶をはなれて桶の上	26	春	天文	陽炎
1498	陽炎を打ち消す磯の男波哉	26	春	天文	陽炎
1499	炭竈に陽炎立つや昼下り	26	春	天文	陽炎
1500	陽炎や小松が中の古すゝき	26	春	天文	陽炎
1501	兀山や陽炎のたつ思ひあり	26	春	天文	陽炎
1502	雨晴れて鶏陽炎の土を掘る	27	春	天文	陽炎
1503	馬糞の陽炎になつてしまひ鳧	27	春	天文	陽炎
1504	陽炎に乱れ入たる刀哉	27	春	天文	陽炎
1505	陽炎の笠ならびけり薬師道	27	春	天文	陽炎
1506	陽炎の兀山低し雨上り	27	春	天文	陽炎
1507	陽炎の兀山一つこえにけり	27	春	天文	陽炎
1508	陽炎のひねもす動くあちこちと	27	春	天文	陽炎
1509	陽炎の昔にかへる命哉	27	春	天文	陽炎
1510	陽炎のもゆる因果の車哉	27	春	天文	陽炎
1511	陽炎や幾十丈の大鯨	27	春	天文	陽炎
1512	陽炎や小窓に見ゆる浅間山	27	春	天文	陽炎
1513	陽炎やしきりに動く要石	27	春	天文	陽炎
1514	陽炎や其切口の幾ところ	27	春	天文	陽炎
1515	陽炎や土に埋もる力石	27	春	天文	陽炎
1516	陽炎やはじけてひぞる塩煎餅	27	春	天文	陽炎
1517	川船や陽炎のせて三十里	27	春	天文	陽炎
1518	しほがまにかけるふの中の煙哉	27	春	天文	陽炎
1519	塩竈に陽炎低き煙かな	27	春	天文	陽炎
1520	ないものゝ有て陽炎燃えにけり	27	春	天文	陽炎
1521	逃水の逃て陽炎燃えにけり	27	春	天文	陽炎
1522	暁の陽炎とこそなりにけれ	28	春	天文	陽炎
1523	陽炎に心許すな草枕	28	春	天文	陽炎
1524	陽炎に心許すな人の国	28	春	天文	陽炎
1525	陽炎の立つや野末の浅間山	28	春	天文	陽炎
1526	陽炎のはつたりやみぬ雲の影	28	春	天文	陽炎
1527	陽炎の舳に上る錨かな	28	春	天文	陽炎
1528	陽炎も長柄の橋のあともなし	28	春	天文	陽炎
1529	陽炎や獅子のかしらの行く小道	28	春	天文	陽炎
1530	陽炎や石碑倒るゝ草の上	28	春	天文	陽炎
1531	草原や陽炎もゆる捨簀	28	春	天文	陽炎
1532	とりつきて見れば陽炎何もなし	28	春	天文	陽炎
1533	古社陽炎力無くもえぬ	28	春	天文	陽炎
1534	糸ゆふや里の祭の独楽まわし	29	春	天文	陽炎
1535	陽炎の立つや立たすや牛の角	29	春	天文	陽炎

1536	陽炎は目にも見ゆるを君が顔	29	春	天文	陽炎
1537	陽炎や火あぶりの用意しきり也	29	春	天文	陽炎
1538	台湾や陽炎毒を吹くさうな	29	春	天文	陽炎
1539	昼見れば陽炎もゆる土饅頭	29	春	天文	陽炎
1540	陽炎や七年前の顔見ゆる	30	春	天文	陽炎
1541	日のかげや陽炎動く障子窓	30	春	天文	陽炎
1542	日の影や陽炎映る障子窓	30	春	天文	陽炎
1543	陽炎や砂画の跡の赤き砂	31	春	天文	陽炎
1544	我胸に陽炎もゆる思ひ哉	32	春	天文	陽炎
1545	陽炎や石の仁王の力瘤	34	春	天文	陽炎
1546	陽炎ヤ石ノ魂猶死ナズ	35	春	天文	陽炎
1547	陽炎や日本の土に殞	35	春	天文	陽炎
1548	朧とは桜の中の柳かな	23	春	天文	朧
1549	烏帽子きた殿居姿の朧なり	25	春	天文	朧
1550	面顔の声朧也春の陣	25	春	天文	朧
1551	白き山青き山皆おぼろなり	25	春	天文	朧
1552	朧より朧に人の咄かな	26	春	天文	朧
1553	小夜更て上戸の声の朧なり	26	春	天文	朧
1554	昼の月さらに朧と見えぬなり	26	春	天文	朧
1555	行燈を消せば小窓の朧かな	28	春	天文	朧
1556	男やら女やら更に朧かな	29	春	天文	朧
1557	ある夜更けて貴人来ます朧哉	30	春	天文	朧
1558	茶屋を出る箱提灯や朧人	30	春	天文	朧
1559	京の灯や朧の上る東山	31	春	天文	朧
1560	吾折々死なんと思ふ朧かな	33	春	天文	朧
1561	朧野ヤ朧ヲ破ル藁砧	35	春	天文	朧
1562	未遂ゲ又恋ノ始ヤオボロナル	35	春	天文	朧
1563	背ノ高キ人佇メリ朧陰	35	春	天文	朧
1564	背ノ高キ人二逢ヒケル朧哉	35	春	天文	朧
1565	大仏ノ目二八吾等モ朧カナ	35	春	天文	朧
1566	遠クトモ近クトモ見エテ灯朧	35	春	天文	朧
1567	篷アゲテ見ル兩岸ノ朧カナ	35	春	天文	朧
1568	話シナガラ土手ノ上行ク人朧	35	春	天文	朧
1569	見返レバ住吉ノ灯ノ朧ナル	35	春	天文	朧
1570	闇ヲ出テ朧二人ノ陰ニツ	35	春	天文	朧
1571	兩岸ノ人家朧二下リ舟	35	春	天文	朧
1572	路次口ヲ出デ、朧ノ大路カナ	35	春	天文	朧
1573	大空は夜半も霞むやおほろ月	21	春	天文	朧月
1574	煙硝の煙かすむや朧月	23	春	天文	朧月
1575	朧月ものくふ音のかすかなり	23	春	天文	朧月
1576	かいた字も影の様なり朧月	23	春	天文	朧月
1577	霞とも山とも見えず朧月	23	春	天文	朧月
1578	川水も流れぬさまや朧月	23	春	天文	朧月
1579	月おほろ簾に動く花の影	23	春	天文	朧月
1580	月おほろ花の間にまつち山	23	春	天文	朧月
1581	月朧花の下には火の往来	23	春	天文	朧月
1582	月おほろ夜ふけて帰る話し声	23	春	天文	朧月
1583	人黒し朧月夜の花あかり	23	春	天文	朧月
1584	真白な花に影なし朧月	23	春	天文	朧月
1585	翠簾ごしの美人の顔や朧月	23	春	天文	朧月
1586	物くらふ音もかすかや朧月	23	春	天文	朧月
1587	家根舟の提灯多し朧月	23	春	天文	朧月
1588	屋根舟の提灯ゆかし朧月	23	春	天文	朧月
1589	牛部屋に牛のうなりや朧月	25	春	天文	朧月
1590	奥底のなきのどかさや朧月	25	春	天文	朧月
1591	気車戻る三津街道や朧月	25	春	天文	朧月
1592	下宿屋の窓皆あかし朧月	25	春	天文	朧月
1593	心得ぬばたの匂ひや朧つき	25	春	天文	朧月
1594	永き日やじつと出て居る朧月	25	春	天文	朧月
1595	舟一つ花を出てけり朧月	25	春	天文	朧月
1596	舟一つ花を出たり朧月	25	春	天文	朧月
1597	やけ残る松にもものうし朧月	25	春	天文	朧月
1598	あひのりのさゝめごとあり朧月	26	春	天文	朧月
1599	行燈の火を消して見ん朧月	26	春	天文	朧月

1600	家焼けたあとの匂ひや朧月	26	春	天文	朧月
1601	馬ひとり帰る小道やおほろ月	26	春	天文	朧月
1602	朧月四條をとほる小歌哉	26	春	天文	朧月
1603	朧月四條をわたる小唄かな	26	春	天文	朧月
1604	朧月どこまで川の長いやら	26	春	天文	朧月
1605	朧月耳なし山を見に行かん	26	春	天文	朧月
1606	蟹の泡流れて白し朧月	26	春	天文	朧月
1607	御所を出る小溝の音や朧月	26	春	天文	朧月
1608	大名のしのびありきや朧月	26	春	天文	朧月
1609	月朧窓ありありと影法師	26	春	天文	朧月
1610	月や朧窓やはつきり影法師	26	春	天文	朧月
1611	どこ見ても高い山なし朧月	26	春	天文	朧月
1612	ならぶ火は隣の国よ朧月	26	春	天文	朧月
1613	羽衣の裾かけて月や朧なる	26	春	天文	朧月
1614	弁慶の足音高し朧月	26	春	天文	朧月
1615	居酒屋の喧嘩押し出す朧月	26	春	天文	朧月
1616	兵船の笛吹きやみぬ朧月	27	春	天文	朧月
1617	どぶ六に野茶屋は暮て朧月	27	春	天文	朧月
1618	奈良の町の昔くさしや朧月	27	春	天文	朧月
1619	女負ふて川渡りけり朧月	27	春	天文	朧月
1620	明寺やいくさのあとの朧月	28	春	天文	朧月
1621	敦盛の笛聞こえけり朧月	28	春	天文	朧月
1622	朧月五條の橋の人もなし	28	春	天文	朧月
1623	朧月須磨の釣舟ありやなし	28	春	天文	朧月
1624	朧月女車の帰りけり	28	春	天文	朧月
1625	立ち出でゝ蕎麦屋の門の朧月	28	春	天文	朧月
1626	だんだらのかつきに逢ひぬ朧月	28	春	天文	朧月
1627	辻君を待たずしもあらず朧月	28	春	天文	朧月
1628	舟やあると呼べど答へず朧月	28	春	天文	朧月
1629	古城やいくさのあとの朧月	28	春	天文	朧月
1630	古寺やいくさのあとの朧月	28	春	天文	朧月
1631	三筋程雲たなびきぬ朧月	28	春	天文	朧月
1632	足音や胸のとゞろく朧月	29	春	天文	朧月
1633	小少将の君呼び出さん朧月	29	春	天文	朧月
1634	禰宜も居らす野社荒れて朧月	29	春	天文	朧月
1635	朧月男女の影遠し	30	春	天文	朧月
1636	岸に立て女舟呼ぶ朧月	30	春	天文	朧月
1637	恋やあらぬ我や昔の朧月	30	春	天文	朧月
1638	犬吠えて足音近し朧月	31	春	天文	朧月
1639	大門を出て朧なり土手の月	31	春	天文	朧月
1640	獺の祭も過ぎぬ朧月	31	春	天文	朧月
1641	ともし火の漏れて留守也朧月	31	春	天文	朧月
1642	長刀の影おぼろなり橋の月	31	春	天文	朧月
1643	長刀の影も更けたり朧月	31	春	天文	朧月
1644	垣間見やそらたきもるゝ朧月	32	春	天文	朧月
1645	気に入らぬ遊女眠りぬ朧月	32	春	天文	朧月
1646	下駄借りて宿屋出づるや朧月	32	春	天文	朧月
1647	惟光をひとり供したり朧月	32	春	天文	朧月
1648	そゝろありく朧月夜や酒の酔	32	春	天文	朧月
1649	亡き妻のまほろし消えておほろ月	32	春	天文	朧月
1650	人を呼ぶ矢場の女や朧月	32	春	天文	朧月
1651	ふらでやみし朧月夜や新能	32	春	天文	朧月
1652	麦畑の南に低し朧月	32	春	天文	朧月
1653	由良さんと呼ぶ声更ぬ朧月	32	春	天文	朧月
1654	よき人の小歌うたふや朧月	32	春	天文	朧月
1655	よき人の小歌聞きけり朧月	32	春	天文	朧月
1656	兔。薬を搗く此頃月の朧なる	33	春	天文	朧月
1657	大森や海苔取る頃の朧月	33	春	天文	朧月
1658	小格子より出す手を握る朧月	33	春	天文	朧月
1659	化物の噂やみけり朧月	33	春	天文	朧月
1660	幽霊ノ如キ東寺ヤ朧月	35	春	天文	朧月
1661	朧月狐二魚ヲ取ラレケリ	35	春	天文	朧月
1662	取り残ス棚ノ糸瓜ヤオボロ月	35	春	天文	朧月
1663	朧夜にくづれかゝるや浪かしら	25	春	時候	朧夜

1664	朧夜になりても久し猫の恋	25	春	時候	朧夜
1665	朧夜にものくひふかす舟の中	25	春	時候	朧夜
1666	朧夜はこ齒黒どぶの匂ひ哉	25	春	時候	朧夜
1667	朧夜を匂ふ春風松の花	25	春	時候	朧夜
1668	此頃の夜の朧さや白き花	25	春	時候	朧夜
1669	このごろの夜の朧さや白椿	25	春	時候	朧夜
1670	朧夜に何やらものゝ遠音哉	26	春	時候	朧夜
1671	朧夜や潮来をうたふ舟の中	26	春	時候	朧夜
1672	朧夜やまぼろし通ふ衣紋坂	26	春	時候	朧夜
1673	朧夜の銭湯匂ふ小村哉	27	春	時候	朧夜
1674	薄黒う見えよ朧夜朧不二	29	春	時候	朧夜
1675	朧夜や狸群れたる古社	29	春	時候	朧夜
1676	朧夜やともし火帰る鳩の海	29	春	時候	朧夜
1677	朧夜や用ありげに狸戸を叩く	29	春	時候	朧夜
1678	朧夜や悪い宿屋を立ち出づる	29	春	時候	朧夜
1679	朧夜や女盗まんばかりごと	29	春	時候	朧夜
1680	会堂に手を握る夜の朧なり	29	春	時候	朧夜
1681	外通る侍の謠おぼる也	29	春	時候	朧夜
1682	朧夜の犬を恐るゝ女かな	30	春	時候	朧夜
1683	おぼる夜や一騎東へ白き母呂	31	春	時候	朧夜
1684	朧夜や島原さして小提灯	31	春	時候	朧夜
1685	朧夜や誰を咎むる犬の声	31	春	時候	朧夜
1686	物にすねて揚屋出る夜の朧なる	31	春	時候	朧夜
1687	男呼ぶ女の声や夜朧	33	春	時候	朧夜
1688	朧灯ヲ見ナガラ歩行ク疲レ足	35	春	時候	朧夜
1689	朧夜ノ端唄ヲ歌フ往来カナ	35	春	時候	朧夜
1690	朧夜ノ眼薬買ヒニ薬師道	35	春	時候	朧夜
1691	朧夜ヤ遠灯見ナガラ疲レ足	35	春	時候	朧夜
1692	初虹や梅の花まだ白許り	25	春	天文	初虹
1693	うすうすと初虹うつる外山哉	26	春	天文	初虹
1694	初虹の初雪よりも消えやすき	26	春	天文	初虹
1695	初虹や下に横たふ東山	26	春	天文	初虹
1696	初虹や初雪よりも消易き	26	春	天文	初虹
1697	初虹や大内山をすぢかひに	27	春	天文	初虹
1698	板屋根に見れども見えず別れ霜	26	春	天文	別れ霜
1699	陽炎ののぼる待つ間の別れ霜	26	春	天文	別れ霜
1700	きぬきぬのあしたを霜の別れ哉	26	春	天文	別れ霜
1701	曇り気も嵐もなくて別れ霜	26	春	天文	別れ霜
1702	別れ霜身にしむ春の名残かな	26	春	天文	別れ霜
1703	別れ霜庭はく男老にけり	27	春	天文	別れ霜
1704	茶を摘むや桃散る畑の別霜	33	春	天文	別れ霜
1705	桑の芽の遅き在所や別霜	34	春	天文	別れ霜
1706	雑炊のこれを名残や別霜	34	春	天文	別れ霜
1707	石にそふ狐の跡や別れ霜	35	春	天文	別れ霜
1708	雪なたれ箱庭の人家つぶれたり	26	春	天文	雪なだれ
1709	氷解けぬ鯉の吹き出すさゝれ波	25	春	地理	凍解
1710	凍解や鯉の吹き出すさゝれ波	25	春	地理	凍解
1711	凍解や宗祇が髭の風さばき	26	春	地理	凍解
1712	凍解や戸口にしけるさん俵	26	春	地理	凍解
1713	氷解けて古藻に動く小海老かな	28	春	地理	凍解
1714	さゝ波に解けたる池の氷かな	28	春	地理	凍解
1715	山の井や氷解けて石落ち入れり	28	春	地理	凍解
1716	凍解に木履はいたる女かな	29	春	地理	凍解
1717	氷解けて網にかゝりし仏かな	29	春	地理	凍解
1718	胡地に入って氷流るゝ江を見たり	34	春	地理	凍解
1719	氷解けて馬に水かふ胡人かな	34	春	地理	凍解
1720	氷解けて湖辺の路の往来かな	34	春	地理	凍解
1721	氷解けて江を溯る蒸気かな	34	春	地理	凍解
1722	氷解けて初めて船を見る江かな	34	春	地理	凍解
1723	氷解けて水の流るゝ音すなり	34	春	地理	凍解
1724	氷解けて渡しに舟もなかりけり	34	春	地理	凍解
1725	まだ解けぬ氷に人の往来かな	34	春	地理	凍解
1726	鶯の笥のみほす雪解哉	25	春	地理	雪解
1727	豆腐買に女の出たる雪解哉	26	春	地理	雪解

1728	庭先に槌の出てる雪解哉	26	春	地理	雪解
1729	雪解けて魚の腸あらはるゝ	26	春	地理	雪解
1730	雪解けてかるき雨戸のはしり哉	26	春	地理	雪解
1731	雪解や戸口にしけるさん俵	26	春	地理	雪解
1732	雪解や檐端に絶えず来る雀	26	春	地理	雪解
1733	雪解や日和うれしき軒雲	26	春	地理	雪解
1734	なかなか雪と消えなばうれしからん	29	春	地理	雪解
1735	雪解に馬放ちたる部落哉	30	春	地理	雪解
1736	雪解や竹はね返る日の表	31	春	地理	雪解
1737	門に出て行軍を見る雪解かな	34	春	地理	雪解
1738	雪垣をのけて明るき雪解かな	34	春	地理	雪解
1739	雪解けて雪踏の音の嬉しさよ	34	春	地理	雪解
1740	雪解や旅人通る麓町	34	春	地理	雪解
1741	雪解や町を走らす裸馬	34	春	地理	雪解
1742	雪解ケテ熊来ズナリシ孤村カナ	35	春	地理	雪解
1743	四国から中国見れば残る雪	25	春	天文	残雪
1744	朝見れば雪も残らず宵の雨	26	春	天文	残雪
1745	武蔵野を囲む山々雪残る	27	春	天文	残雪
1746	あれなるか越の山々のこる雪	28	春	天文	残雪
1747	いたゞきやわつか許りを残る雪	28	春	天文	残雪
1748	敷芝や松の下陰雪残る	28	春	天文	残雪
1749	長岡や律の中に残る雪	28	春	天文	残雪
1750	霜よけの垣の北側残る雪	31	春	天文	残雪
1751	雪残る頂一つ国境	32	春	天文	残雪
1752	残雪二鶏白キ余寒カナ	35	春	天文	残雪
1753	霜解や杭にふるふ下駄の土	27	春	天文	霜解け
1754	万歳の渡りしあとや水温む	25	春	地理	水温む
1755	流れ行どんどの灰や水ぬるむ	26	春	地理	水温む
1756	蛇の渡るや沼の水ぬるむ	27	春	地理	水温む
1757	禰宜渡る水のぬるみや紙屋川	27	春	地理	水温む
1758	御手洗の水ぬるみけり男山	27	春	地理	水温む
1759	銭亀や水ぬるみたる手水鉢	29	春	地理	水温む
1760	玉川や分れてぬるむ水の音	29	春	地理	水温む
1761	温むより何やら萌ゆる水の底	30	春	地理	水温む
1762	浮き上る泥鱈の泡や水ぬるむ	32	春	地理	水温む
1763	上水のぬるみし粥の名残哉	32	春	地理	水温む
1764	馬の沓沈みてぬるむ清水哉	32	春	地理	水温む
1765	裏溝やお玉杓子の水ぬるむ	32	春	地理	水温む
1766	氷張る谷の小川や水ぬるむ	32	春	地理	水温む
1767	臺の立つ菜を洗ひけり温む水	32	春	地理	水温む
1768	ぬるむかと寄れば清水の氷哉	32	春	地理	水温む
1769	水草は底にもゆらん水温む	32	春	地理	水温む
1770	水ぬるむ南に鯉のつどひけり	32	春	地理	水温む
1771	古沼や泥の中より春の水	21	春	地理	春の水
1772	春水の四沢にみつる常陸哉	22	春	地理	春の水
1773	菅笠のおちて流れず春の水	24	春	地理	春の水
1774	一日に一里は行くかはるの水	25	春	地理	春の水
1775	業平の狩衣しぼる春の水	25	春	地理	春の水
1776	菜を洗ふ濁り流れず春の水	25	春	地理	春の水
1777	三つまたにわれて音なし春の水	25	春	地理	春の水
1778	おかざりの藁たゞよふや春の水	26	春	地理	春の水
1779	下萌を催す音や春の水	26	春	地理	春の水
1780	春の水どんどの灰にぬるみけり	26	春	地理	春の水
1781	春の水女の足にぬるみけり	26	春	地理	春の水
1782	輪かざりの藁たゞよふや春の水	26	春	地理	春の水
1783	馬引で渡る女や春の水	27	春	地理	春の水
1784	大石に逢ふて消えけり春の水	27	春	地理	春の水
1785	盃にすくふてのむや春の水	27	春	地理	春の水
1786	さゝやかな舟浮かしけり春の水	27	春	地理	春の水
1787	背を見せて魚泳ぐ春の水浅し	27	春	地理	春の水
1788	春の水石をめぐりて流れけり	27	春	地理	春の水
1789	春の水背戸の小川を流れけり	27	春	地理	春の水
1790	春の水都の方へ流れ行く	27	春	地理	春の水
1791	春の水武蔵の国に山もなし	27	春	地理	春の水

1792	吹く方へ流るゝと見えて春の水	27	春	地理	春の水
1793	山もなし武蔵流るゝ春の水	27	春	地理	春の水
1794	六丁の權したゝるや春の水	27	春	地理	春の水
1795	紅の影流れけり春の水	28	春	地理	春の水
1796	底見えて何草青む春の水	28	春	地理	春の水
1797	其底に何草青む春の水	28	春	地理	春の水
1798	橋踏めば魚沈みけり春の水	28	春	地理	春の水
1799	春の水宇治をめぐりて流れけり	28	春	地理	春の水
1800	春の水音無川と申しけり	28	春	地理	春の水
1801	春の水出茶屋の前を流れけり	28	春	地理	春の水
1802	春の水根岸にそふてくねりけり	28	春	地理	春の水
1803	春の水龍の口よりこぼれけり	28	春	地理	春の水
1804	春の水蕨の中を流れけり	28	春	地理	春の水
1805	町と村と其あひなかの春の水	28	春	地理	春の水
1806	一尺の舟浮かしけり春の水	29	春	地理	春の水
1807	草青き洲を巡りけり春の水	29	春	地理	春の水
1808	不忍に蓮の芽見えず春の水	29	春	地理	春の水
1809	砂川や流れ初めたる春の水	29	春	地理	春の水
1810	白雲の影も動かさず春の水	29	春	地理	春の水
1811	春の水妹が垣根を流れけり	29	春	地理	春の水
1812	春の水きたなきものゝ流れけり	29	春	地理	春の水
1813	春の水小山の中を流れけり	29	春	地理	春の水
1814	春の水蛇籠にそふてめぐりけり	29	春	地理	春の水
1815	春の水楷子の下を流れけり	29	春	地理	春の水
1816	弁天や江戸へ流るゝ春の水	30	春	地理	春の水
1817	鉄橋を五つ掛けたり春の水	33	春	地理	春の水
1818	頭並ぶ盥の鯉や春の水	34	春	地理	春の水
1819	鯉多く狭き盥や春の水	34	春	地理	春の水
1820	鯉の背に春水そゝぐ盥かな	34	春	地理	春の水
1821	鯉の吐く泡や盥の春の水	34	春	地理	春の水
1822	鯉の尾の動く盥や春の水	34	春	地理	春の水
1823	鯉はねて浅き盥や春の水	34	春	地理	春の水
1824	春水の盥に鯉のげんぎょうかな	34	春	地理	春の水
1825	春水の盥に満ちて鯉の肩	34	春	地理	春の水
1826	盥浅く鯉の背見ゆる春の水	34	春	地理	春の水
1827	春の水鯉の活きたる盥かな	34	春	地理	春の水
1828	下総ノ国ノ低サヨ春ノ水	35	春	地理	春の水
1829	春水ヤ圀ヒ分ケタル金魚ノ子	35	春	地理	春の水
1830	春ノ水都二入りテ濁リケリ	35	春	地理	春の水
1831	ある時は上へ流れつ春の川	26	春	地理	春の川
1832	銭亀の首出す岸や春の川	26	春	地理	春の川
1833	鶴一羽渡りそむるや春の川	26	春	地理	春の川
1834	春の川泥ぬるぬると亙りけり	26	春	地理	春の川
1835	春の川淀の別れの又わかれ	26	春	地理	春の川
1836	あちへ舟こちへ此橋春の川	27	春	地理	春の川
1837	裏口や白帆の通る春の川	27	春	地理	春の川
1838	駅見えて芥流るゝ春の川	27	春	地理	春の川
1839	そめ物や紅流す春の川	27	春	地理	春の川
1840	土橋あり肥舟つどふ春の川	27	春	地理	春の川
1841	何染めて紅流す春の川	27	春	地理	春の川
1842	吹く方へながるゝ春の小川哉	27	春	地理	春の川
1843	棚橋や春の小川のおもしろき	28	春	地理	春の川
1844	泥勝に足跡勝に春の川	28	春	地理	春の川
1845	春川や鯿隠るゝわれ徳利	28	春	地理	春の川
1846	春の川出茶屋の前を流れけり	28	春	地理	春の川
1847	一桶の藍流しけり春の川	28	春	地理	春の川
1848	此橋の上に橋無し春の川	33	春	地理	春の川
1849	橋を渡り橋を渡る春の川二つ	33	春	地理	春の川
1850	春の野や霞の中に水の音	23	春	地理	春野
1851	春の野や小川の音もたゞならず	23	春	地理	春野
1852	画をかいて人に見せし春の野辺	23	春	地理	春野
1853	春の野やしはし預る蝶の留守	24	春	地理	春野
1854	たんほゝをちらしに青む春野哉	25	春	地理	春野
1855	春の野に女見返る女かな	25	春	地理	春野

1856	野は春となりけり馬の笑ひ声	26	春	地理	春野
1857	春の野にうちいでゝ見たる女哉	26	春	地理	春野
1858	春の野や牛と馬との道二つ	26	春	地理	春野
1859	春の野に丸く広がる霞哉	27	春	地理	春野
1860	春の野に都見かへる女かな	27	春	地理	春野
1861	春の野や何に人行き人帰る	27	春	地理	春野
1862	女つれて春の野ありき日は暮ぬ	27	春	地理	春野
1863	三味線を掛けたる春の野茶屋哉	29	春	地理	春野
1864	春の野の人なつかしみ嵯峨御室	29	春	地理	春野
1865	春の野や旅人何にくたびれる	29	春	地理	春野
1866	春野より帰れば地蔵せしといふ	29	春	地理	春野
1867	春の野や女四五人弁当持	35	春	地理	春野
1868	馬士帰る焼野の月の薄寒き	22	春	地理	焼野
1869	橋一つ置てどちらも焼野哉	25	春	地理	焼野
1870	焼野から焼野へわたる小橋哉	25	春	地理	焼野
1871	雉子の声あらはに悲し焼野原	26	春	地理	焼野
1872	野は焼けてすつくり高し一里塚	26	春	地理	焼野
1873	をさな子の母呼び返す焼野哉	26	春	地理	焼野
1874	きのふも焼けふも春日野焼にけり	27	春	地理	焼野
1875	そほふるや焼野の石に雀鳴く	27	春	地理	焼野
1876	焼残る広野の中の地蔵哉	27	春	地理	焼野
1877	下駄はいて行くや焼野の薄月夜	28	春	地理	焼野
1878	さびしげに白雲わたる焼野哉	28	春	地理	焼野
1879	そほふるや雉の走る焼野原	28	春	地理	焼野
1880	野辺焼くも見えて淋しや城の跡	28	春	地理	焼野
1881	野は焼けて茨の中の卵かな	29	春	地理	焼野
1882	旅人の焼野に迷ひとげを踏む	30	春	地理	焼野
1883	野を焼く火木立の中に燃え入りぬ	30	春	地理	焼野
1884	焼けながら黒き実残る野の葎	30	春	地理	焼野
1885	雨をよぶ春田の畔の烏哉	27	春	地理	春田
1886	鶴下りて田螺を捜す春田かな	34	春	地理	春田
1887	蛙やら種井の中に声すなり	26	春	人事	種井
1888	ふつつつと泡の出てくる種井哉	26	春	人事	種井
1889	草籠をおいて人なし春の山	24	春	地理	春の山
1890	江戸人は上野をさして春の山	25	春	地理	春の山
1891	上野飛鳥高からぬをぞ春の山	26	春	地理	春の山
1892	さゝめくや春の山ふみ女づれ	26	春	地理	春の山
1893	花鯛の終り処や春の山	26	春	地理	春の山
1894	春の山馬引きてくる伯楽哉	26	春	地理	春の山
1895	春の山瓢さげ行く女かな	26	春	地理	春の山
1896	雲雀程の高さを来たり春の山	26	春	地理	春の山
1897	松風をくゞりぬけたり春の山	26	春	地理	春の山
1898	家ありや牛引き帰る春の山	27	春	地理	春の山
1899	恋かあらぬ春の山ふみ酔ひ心	27	春	地理	春の山
1900	僧や俗や春の山寺碁を囲む	27	春	地理	春の山
1901	真先に女行くなり春の山	27	春	地理	春の山
1902	呉かあらぬ春の裾山灯をともす	28	春	地理	春の山
1903	廻廊や手すりに並ぶ春の山	28	春	地理	春の山
1904	三條のつきあたりなり春の山	28	春	地理	春の山
1905	城壁の上に見えけり春の山	28	春	地理	春の山
1906	春の山重なりあふて皆丸し	28	春	地理	春の山
1907	春の山一つになりて暮れにけり	28	春	地理	春の山
1908	富士は雲に隠れて春の山許り	28	春	地理	春の山
1909	麦畑や刻みあげたる春の山	28	春	地理	春の山
1910	欄干や東に見ゆる春の山	28	春	地理	春の山
1911	どこやらに下駄ぬぎ忘れ春の山	29	春	地理	春の山
1912	土佐が画や春の裾山緋の袴	29	春	地理	春の山
1913	春の山弘法金時二子など	29	春	地理	春の山
1914	春の山畠となつてしまひけり	29	春	地理	春の山
1915	雪もあり牧場を囲む春の山	29	春	地理	春の山
1916	運動会の旗あちこちす春の山	30	春	地理	春の山
1917	同じ道に入らせ給ひぬ春の山	30	春	地理	春の山
1918	前栽や小き丸き春の山	30	春	地理	春の山
1919	春の山いくつとも無く越えにけり	30	春	地理	春の山

1920	春の山春の水御魂鎮りぬ	30	春	地理	春の山
1921	欄干と平らに春の山低し	30	春	地理	春の山
1922	上臈の駕に逢ひけり春の山	31	春	地理	春の山
1923	春の山越えて日高き疲れ哉	32	春	地理	春の山
1924	春の山浅きに蘭を尋ねけり	33	春	地理	春の山
1925	西行の自炊の跡や春の山	35	春	地理	春の山
1926	西行の飯たく跡や春の山	35	春	地理	春の山
1927	茶屋アリテ夫婦餅売ル春の山	35	春	地理	春の山
1928	春ノ山女夫ノ神ヲ祀リケリ	35	春	地理	春の山
1929	高縄やこちが笑へば笑ふ山	25	春	地理	山笑う
1930	不二の山笑はねばこそ二千年	25	春	地理	山笑う
1931	よも山に笑はれて炉を塞きけり	25	春	地理	山笑う
1932	朝な朝な笑ひこぼすや山の雪	26	春	地理	山笑う
1933	恐ろしき灘をへだてて山笑ふ	26	春	地理	山笑う
1934	故郷やどちらを見ても山笑ふ	26	春	地理	山笑う
1935	山寺に笑ふやうなり鐘の声	26	春	地理	山笑う
1936	のどかさに耳なし山も笑ひけり	27	春	地理	山笑う
1937	蒲団着て山笑ふ姿や東山	27	春	地理	山笑う
1938	兀山の笑ふすべさへ知らぬなり	28	春	地理	山笑う
1939	人去りて虎溪の山の笑ひけり	28	春	地理	山笑う
1940	鉄砲の筈や山の笑ひ声	29	春	地理	山笑う
1941	榛名笑ひ赤城泣き妙義怒る哉	29	春	地理	山笑う
1942	笑ふ山中に妙技のむつかしき	29	春	地理	山笑う
1943	霞より上に浮きけり春の海	25	春	地理	春の海
1944	塗り椀の流れよりけり春の海	26	春	地理	春の海
1945	春の海用なき船も帆を拳けて	26	春	地理	春の海
1946	二つ三つ船も置きたし春の海	26	春	地理	春の海
1947	鼓うつ浅妻船や春の海	27	春	地理	春の海
1948	二位の尼泣く夜や春の海あるゝ	27	春	地理	春の海
1949	二見からさきは果なし春の海	27	春	地理	春の海
1950	うつくしき海月浮きたり春の海	28	春	地理	春の海
1951	春の海鷗が浮いておもしろや	28	春	地理	春の海
1952	堀割や遥かに見ゆる春の海	28	春	地理	春の海
1953	松原の中から見えて春の海	28	春	地理	春の海
1954	満汐や橋の下まで春の海	28	春	地理	春の海
1955	塔に上れば南住吉春の海	29	春	地理	春の海
1956	春の海こゝ松島と申しけり	29	春	地理	春の海
1957	島々に灯をともしけり春の海	30	春	地理	春の海
1958	宮島の廻廊浮くや春の海	31	春	地理	春の海
1959	肺病を養ふ春の海辺かな	33	春	地理	春の海
1960	春の海鯛も金毘羅参り哉	35	春	地理	春の海
1961	川裾やさしあふ春の汐かしら	28	春	地理	春潮
1962	岩の間にうづまく春のうしほ哉	33	春	地理	春潮
1963	手に鉄刀何摘む人か春の園	32	春	地理	春の園
1964	西洋の花を植けり春の園	33	春	地理	春の園
1965	一畝は菜をつくりけり春の園	33	春	地理	春の園
1966	梅正に綻びそむる紀元節	25	春	人事	紀元節
1967	人の世になりても久し紀元節	26	春	人事	紀元節
1968	二千五百五十六年梅の花	29	春	人事	紀元節
1969	梅に遊ぶ委任官や紀元節	33	春	人事	紀元節
1970	苗代の泥足はこぶ絵踏哉	26	春	人事	踏絵
1971	花に行く足に二日の灸かな	20	春	人事	二日灸
1972	死はいやぞ其きさらぎの二日灸	25	春	人事	二日灸
1973	野山焼く頃や足にも二日灸	25	春	人事	二日灸
1974	落ちぶれし平家の末や二日灸	26	春	人事	二日灸
1975	灸点をぬるや二月の筆初	26	春	人事	二日灸
1976	還俗の僧のいやがる二日灸	26	春	人事	二日灸
1977	西行やわらじのまゝの二日灸	26	春	人事	二日灸
1978	十郎や五郎も共に二日灸	26	春	人事	二日灸
1979	出女を相手や旅の二日灸	26	春	人事	二日灸
1980	婆々様の顔をしぞ思ふ二日灸	26	春	人事	二日灸
1981	二日灸ばゞ様の顔ありありと	26	春	人事	二日灸
1982	二日灸未たきに起きて腹さする	26	春	人事	二日灸
1983	山も焼き野も焼く頃や二日灸	26	春	人事	二日灸

1984	わびしさは親なき人の二日灸	26	春	人事	二日灸
1985	無病なる人のいたがる二日灸	28	春	人事	二日灸
1986	二日灸和尚は灸の上手なり	34	春	人事	二日灸
1987	初午やくれて狸の腹鼓	26	春	人事	初午
1988	初午や薄はいまだ芽にいでず	26	春	人事	初午
1989	初午や土手は行来の馬の糞	26	春	人事	初午
1990	初午や禰宣と坊主の従弟どし	26	春	人事	初午
1991	初午や半日程は田舎道	26	春	人事	初午
1992	初午やふけて狸の腹鼓	26	春	人事	初午
1993	初午や枕にひゞく大々鼓	26	春	人事	初午
1994	初午や嫁入したるまな娘	26	春	人事	初午
1995	初午の禰宣と女と渡し船	27	春	人事	初午
1996	初午の狐を馬にのせにけり	28	春	人事	初午
1997	初午は思はぬ森の太鼓かな	29	春	人事	初午
1998	初午に貧なる里の幟哉	30	春	人事	初午
1999	初午に鶯春亭の行燈哉	31	春	人事	初午
2000	初午や幟立たる人の庭	31	春	人事	初午
2001	馬の子や親につれだつ摩耶参	33	春	人事	摩耶詣
2002	今流行ル馬ノ病ヤ摩耶参	35	春	人事	摩耶詣
2003	馬カザル心ヤサシヤ摩耶参	35	春	人事	摩耶詣
2004	馬ノ灸ノ張紙出タリ摩耶参	35	春	人事	摩耶詣
2005	釈奠や流れてやまめ御茶の水	26	春	人事	釈奠
2006	水取ヤ杉ノ梢ノ天狗星	35	春	人事	お水取
2007	韓愈推し買島は敲く彼岸哉	26	春	人事	彼岸
2008	山門に鼠のはしる彼岸かな	26	春	人事	彼岸
2009	彼岸とて誰に手向けん露の花	26	春	人事	彼岸
2010	仏達を笑ふてくらす彼岸哉	26	春	人事	彼岸
2011	毎年よ彼岸の入に寒いのは	26	春	人事	彼岸
2012	世の中を笑ふてくらす彼岸哉	26	春	人事	彼岸
2013	うき人よ彼岸参りの薄化粧	27	春	人事	彼岸
2014	草臥はせぬか彼岸の鉦叩き	27	春	人事	彼岸
2015	珠数さげて彼岸参りにまかられぬ	27	春	人事	彼岸
2016	珠数ひろふ人や彼岸の天王寺	27	春	人事	彼岸
2017	順礼と泊り合せる彼岸哉	27	春	人事	彼岸
2018	昼中の彼岸の月や杉木立	27	春	人事	彼岸
2019	ほろほろと椿こぼるゝ彼岸哉	27	春	人事	彼岸
2020	雲はあれど彼岸の入日赤かりし	28	春	人事	彼岸
2021	牡丹餅の昼夜を分つ彼岸哉	29	春	人事	彼岸
2022	賽銭の椽にこぼるゝ彼岸哉	30	春	人事	彼岸
2023	旅人のついでに参る彼岸哉	30	春	人事	彼岸
2024	野の道に彼岸の人のつゞきけり	30	春	人事	彼岸
2025	彼岸過ぎて草花の種貰ひけり	30	春	人事	彼岸
2026	彼岸には死れける往生疑ひなし	30	春	人事	彼岸
2027	人について行くや彼岸の無量寺へ	30	春	人事	彼岸
2028	手に握る彼岸の小銭こぼしけり	32	春	人事	彼岸
2029	瘡癩の神へ彼岸詣のついで哉	32	春	人事	彼岸
2030	病床に日毎餅食ふ彼岸かな	34	春	人事	彼岸
2031	おくればせに蓬摘む也彼岸過	35	春	人事	彼岸
2032	紅梅に中日過し彼岸哉	35	春	人事	彼岸
2033	泥膾肥え根芹こぼるゝ彼岸かな	35	春	人事	彼岸
2034	牡丹餅ノ使行キ逢フ彼岸カナ	35	春	人事	彼岸
2035	寒食の一日綺麗な花見哉	26	春	人事	寒食
2036	寒食の日より巨燵を塞ぎ鼻	26	春	人事	寒食
2037	寒食や山を焼く日の消え残り	26	春	人事	寒食
2038	寒食や煙草をのまぬ子は哀れ	33	春	人事	寒食
2039	かんじきに馴れたる奥の女かな	34	春	人事	寒食
2040	寒食の村を過行飛脚かな	35	春	人事	寒食
2041	寒食や庚申堂の線香立	35	春	人事	寒食
2042	涅槃会の一夜は闇もなかりけり	25	春	人事	涅槃会
2043	涅槃会や地獄大夫の名もありて	25	春	人事	涅槃会
2044	涅槃会や何見て帰る子供達	25	春	人事	涅槃会
2045	涅槃会や蚯蚓ちきれし鍬の先	25	春	人事	涅槃会
2046	米つきの涙見せたる涅槃哉	26	春	人事	涅槃会
2047	黙す也涅槃の寺の裏門に	28	春	人事	涅槃会

2048	涅槃会の鐘鳴らしけり真昼時	29	春	人事	涅槃会
2049	紫の雲も出て居る涅槃哉	31	春	人事	涅槃会
2050	ネハン経めでたくかしくと結びけり	32	春	人事	涅槃会
2051	ネハン会の日を開帳の初哉	32	春	人事	涅槃会
2052	ネハン会や沙羅蒲団の花の色	32	春	人事	涅槃会
2053	人多き庭に仏の別哉	32	春	人事	涅槃会
2054	七情の外の姿や涅槃像	24	春	人事	涅槃像
2055	鳥ばかり見たる子供や涅槃像	25	春	人事	涅槃像
2056	涅槃像胡蝶の夢もなかりけり	25	春	人事	涅槃像
2057	涅槃像写真なき世こそたふとけれ	25	春	人事	涅槃像
2058	見覚えの出来てこのもし涅槃像	25	春	人事	涅槃像
2059	見覚えの出来てたのもし涅槃像	25	春	人事	涅槃像
2060	大寺の本堂すごしねはん像	26	春	人事	涅槃像
2061	涅槃像鼠の尿もあはれなり	26	春	人事	涅槃像
2062	涅槃像見かけて鳴くや山鴉	26	春	人事	涅槃像
2063	春三月中にあはれな涅槃像	26	春	人事	涅槃像
2064	足もとに雲もゐるなり涅槃像	27	春	人事	涅槃像
2065	涅槃像一休の朝寝起しけり	27	春	人事	涅槃像
2066	寺浅し夕日さしこむ涅槃像	28	春	人事	涅槃像
2067	涅槃像仏一人は笑ひけり	28	春	人事	涅槃像
2068	見苦しい仏の顔の並びけり	28	春	人事	涅槃像
2069	金箔の兀げて尊し涅槃像	29	春	人事	涅槃像
2070	信心の人とも見えず涅槃像	29	春	人事	涅槃像
2071	古店や買人もなくて涅槃像	29	春	人事	涅槃像
2072	曲線のたふとかりけりネハン像	32	春	人事	涅槃像
2073	死ぬ死ぬと申し給ひぬネハン像	32	春	人事	涅槃像
2074	すね給ふ東面やネハン像	32	春	人事	涅槃像
2075	フランスのネーハン像や外光派	32	春	人事	涅槃像
2076	ほろほると籠の涙やネハン像	32	春	人事	涅槃像
2077	里寺の仏小き甘茶哉	31	春	人事	甘茶
2078	極楽は何もしらねと花御堂	24	春	人事	花御堂
2079	白い花なくてあさまし花御堂	25	春	人事	花御堂
2080	大仏の夢に低し花御堂	26	春	人事	花御堂
2081	王城や見事に出来て花御堂	26	春	人事	花御堂
2082	今朝見れば萎れし花の御堂哉	35	春	人事	花御堂
2083	みなし子のひとりで遊ぶ雛哉	23	春	人事	雛
2084	抱上て麩相わびたるひいな哉	25	春	人事	雛
2085	抱き上て麩相をわびるひゝな哉	25	春	人事	雛
2086	名をつけて鶉母にするや崩れ雛	25	春	人事	雛
2087	雛様の知らぬ道具や煙草盆	25	春	人事	雛
2088	水尾谷がしころちぎれし雛かな	25	春	人事	雛
2089	朝見れば笑ひこけたる雛哉	26	春	人事	雛
2090	一日の間に見ふるせしひゝな哉	26	春	人事	雛
2091	面白や脇目もふらぬ夫婦雛	26	春	人事	雛
2092	思ひ出に雛と遊ばんよもすがら	26	春	人事	雛
2093	紙雛や恋したさうな顔許り	26	春	人事	雛
2094	きぬぎぬや来年契る雛の顔	26	春	人事	雛
2095	ことごとく誰やらに似る雛哉	26	春	人事	雛
2096	時世にはつれぬひゝなの姿哉	26	春	人事	雛
2097	時代にもつれず雛の姿かな	26	春	人事	雛
2098	抱きとつて何やはなす雛哉	26	春	人事	雛
2099	探訪の道々見るや雛の市	26	春	人事	雛
2100	年々や若くなり行く雛の顔	26	春	人事	雛
2101	初花の匂ひこぼれつ雛の袖	26	春	人事	雛
2102	一枝の桃の木陰の雛哉	26	春	人事	雛
2103	人は寝て雛がはやしの大鼓哉	26	春	人事	雛
2104	一夜さに見ふるす宿の雛哉	26	春	人事	雛
2105	雛抱て何やはなす小供哉	26	春	人事	雛
2106	雛のふり更に肥たるはなかりけり	26	春	人事	雛
2107	雛も出てしばし浮世のほこり哉	26	春	人事	雛
2108	姫君のあはれや雛の子守歌	26	春	人事	雛
2109	夜の雛を鬼一口の鼠かな	26	春	人事	雛
2110	雨そぼそぼかすかに雛の笑ひかな	27	春	人事	雛
2111	三日月のそれより細し雛の眉	27	春	人事	雛

2112	首途やきぬぎぬをしむ雛もなし	28	春	人事	雛
2113	はれてあふ雛に人目の関もなし	28	春	人事	雛
2114	雛殿に海月の笠を参らせん	28	春	人事	雛
2115	雛もなし男許りの桃の宿	28	春	人事	雛
2116	おもしろいことして雛の夕哉	29	春	人事	雛
2117	淋しさや羅漢の前の雛二つ	29	春	人事	雛
2118	なみせしかけさ見れば雛の倒れたる	29	春	人事	雛
2119	灯ともして淋しや雛の影法師	29	春	人事	雛
2120	雛売れて達磨淋しや道の端	29	春	人事	雛
2121	雛売れて達磨さびしき道の端	29	春	人事	雛
2122	雛の影桃の影壁に重なりぬ	29	春	人事	雛
2123	比翼連理棚の雛と契るべし	29	春	人事	雛
2124	仏壇にかざりてぞあらん古雛	29	春	人事	雛
2125	古雛のはづかしげなり市の月	29	春	人事	雛
2126	家浅く雛立てゝある店の先	30	春	人事	雛
2127	片隅につくづく小き雛哉	30	春	人事	雛
2128	小夜更て雛の鼓の聞えけり	30	春	人事	雛
2129	白酒の酔やひゝなに恨あり	30	春	人事	雛
2130	黄昏や雛の灯に桜散る	30	春	人事	雛
2131	小き雛の小き大鼓など敲く	30	春	人事	雛
2132	箱をかやす麦藁の虎雛の首	30	春	人事	雛
2133	雛あらば娘あらばと思ひけり	30	春	人事	雛
2134	昼過や隣の雛を見に行かん	30	春	人事	雛
2135	古雛の古きを愛す男かな	30	春	人事	雛
2136	幼き時本多忠勝といふ雛ありき	30	春	人事	雛
2137	梅捨てゝ桜活けたる雛哉	32	春	人事	雛
2138	天冠を雛に著せたり桃の花	32	春	人事	雛
2139	灯ともせば雛に影あり一つつゝ	32	春	人事	雛
2140	伏して念ふ雛の如き御契	33	春	人事	雛
2141	右の手の紛失したり古雛	33	春	人事	雛
2142	君か代や千島の奥も雛祭	26	春	人事	雛祭
2143	棚に余る雛やならぶ古畳	26	春	人事	雛祭
2144	雛遊び都の宿ぞ思はるゝ	26	春	人事	雛祭
2145	雛立てゝ庵は神代の姿哉	26	春	人事	雛祭
2146	雛棚を見ながら寝入る小供哉	26	春	人事	雛祭
2147	雛の日や誰と遊ばん白拍子	26	春	人事	雛祭
2148	雛の日や娘にまじる大男	26	春	人事	雛祭
2149	雛祭り二日の宵ぞたのもしき	26	春	人事	雛祭
2150	めでたしや娘ばかりの雛の宿	26	春	人事	雛祭
2151	雛立てゝ人待つ夜のけしき哉	27	春	人事	雛祭
2152	雛二つ桃一枝や床の上	29	春	人事	雛祭
2153	雛祭古白に妻はなかりしよ	29	春	人事	雛祭
2154	おびたゞしく古雛祭る小家かな	30	春	人事	雛祭
2155	おびたゞしく古雛祭る座敷かな	30	春	人事	雛祭
2156	雛棚の小き雪洞灯のともる	30	春	人事	雛祭
2157	雛棚の瑠璃燈暗き雨夜かな	30	春	人事	雛祭
2158	雛棚や幕紫に桃赤し	30	春	人事	雛祭
2159	雛の前に娘四五人酒を酌む	30	春	人事	雛祭
2160	わが庵の淋しき雛も三日かな	30	春	人事	雛祭
2161	雛の間やきのふ火燵を塞きけり	31	春	人事	雛祭
2162	二番目の娘みめよし雛の宴	32	春	人事	雛祭
2163	二番目の娘みめよし雛祭	32	春	人事	雛祭
2164	母方は善き家柄や雛祭	32	春	人事	雛祭
2165	人老いて末子可愛し雛祭	32	春	人事	雛祭
2166	雛過ぎて瓶の桜の盛り哉	32	春	人事	雛祭
2167	雛立てゝ花屋呼び込む戸口哉	32	春	人事	雛祭
2168	雛棚に桜活けたり三段目	32	春	人事	雛祭
2169	雛棚に桜は低し三段目	32	春	人事	雛祭
2170	雛祭姉の娘に惚れて見ん	32	春	人事	雛祭
2171	雛祭る田舎の家や桃の雨	32	春	人事	雛祭
2172	まじへ買ふ桃と桜や雛祭	32	春	人事	雛祭
2173	雛棚や雛の中の小雪洞	33	春	人事	雛祭
2174	雛祭る節供になりて春の雪	34	春	人事	雛祭
2175	菱餅の色々になる雛心	26	春	人事	菱餅

2176	菱餅を気かけ給ふ一夜哉	26	春	人事	菱餅
2177	うつくしきが中に菱餅絵蠟燭	30	春	人事	菱餅
2178	妹が頬のほのかに赤し桃の宴	28	春	人事	桃の宴
2179	桃酒やためしめでたき西王母	21	春	人事	桃酒
2180	酒は桃鯛は桜を草の庵	26	春	人事	桃酒
2181	桃酒や大事の大事の小盃	26	春	人事	桃酒
2182	薄赤き顔並びけり桃の酒	27	春	人事	桃酒
2183	雛もなし男ばかりの桃の酒	28	春	人事	桃酒
2184	曲水や細き流れも加茂の枝	26	春	人事	曲水
2185	曲水や細き流れも淀の枝	26	春	人事	曲水
2186	曲水やよどみに迷ふ小盃	26	春	人事	曲水
2187	永き日をあら面白の曲水やな	26	春	人事	曲水
2188	永き日をあら曲水の面白や	26	春	人事	曲水
2189	曲水や盃の舟筆の棹	28	春	人事	曲水
2190	曲水の詩や盃に遅れたる	33	春	人事	曲水
2191	鎌倉や今は草屋のとり合	26	春	人事	鶏合
2192	鶏合せ勝たる方へ花がふる	26	春	人事	鶏合
2193	六波羅や今は草家の鶏合	26	春	人事	鶏合
2194	出代りの英語をつかふ別れ哉	25	春	人事	出代
2195	出代やまだ初恋のきのふけふ	25	春	人事	出代
2196	出代の別れかねたる小犬哉	26	春	人事	出代
2197	出代や養子になりし丁稚なり	26	春	人事	出代
2198	大幅の帯結びけり出代女	27	春	人事	出代
2199	出代の人許りなり浅草寺	27	春	人事	出代
2200	出代の便船たのむ潮来哉	27	春	人事	出代
2201	出代の傘をさしたる女かな	28	春	人事	出代
2202	出代や尾の道船を聞き合せ	28	春	人事	出代
2203	出代や尾の道舟を聞き歩行	28	春	人事	出代
2204	出代に傘見て行くや智恩院	29	春	人事	出代
2205	出代に飯櫃かやす庵こつ哉	29	春	人事	出代
2206	出代の人か傘見る智恩院	29	春	人事	出代
2207	出代の人につれだつ野道哉	29	春	人事	出代
2208	出代の又この婆も知り人よ	29	春	人事	出代
2209	出代の飯櫃かへす庵忽かな	29	春	人事	出代
2210	出代や包さげたる大女	29	春	人事	出代
2211	出女の出代見たり石薬師	29	春	人事	出代
2212	出代の畑打て居る門の前	30	春	人事	出代
2213	やぶ入やのんで見せたる巻煙草	25	春	人事	藪入
2214	煎餅売る門をやぶ入の通りけり	27	春	人事	藪入
2215	藪入の祇園清水清閑寺	27	春	人事	藪入
2216	やぶ入の人許りなり浅草寺	27	春	人事	藪入
2217	やぶ入のあすをものうき雲の脚	28	春	人事	藪入
2218	やぶ入の馬にのれば又馬遅し	28	春	人事	藪入
2219	やぶ入の帰りに犬をもらひけり	29	春	人事	藪入
2220	やぶ入の興さましたる地震かな	29	春	人事	藪入
2221	やぶ入の見下して居る小村かな	29	春	人事	藪入
2222	やぶ入やいさむ駒下駄に鞭うちて	29	春	人事	藪入
2223	わりなしややぶ入に来て泣く女	29	春	人事	藪入
2224	やぶ入の母待ち居るよ門の外	30	春	人事	藪入
2225	やぶ入や袂に鳴らすはした銭	30	春	人事	藪入
2226	藪入を母まちあるよ門の外	30	春	人事	藪入
2227	やぶ入の早きをそねむ隣哉	31	春	人事	藪入
2228	藪入や小銭かそふる懐手	32	春	人事	藪入
2229	恐ろしき女も出たる花見哉	25	春	人事	花見
2230	骸骨となつて木陰の花見哉	25	春	人事	花見
2231	骸骨となりて木陰の花見哉	25	春	人事	花見
2232	猿曳のけふは子を負ふ花見哉	25	春	人事	花見
2233	相撲取の大きすぎたる花見哉	25	春	人事	花見
2234	殿方に手をひかれたる花見哉	25	春	人事	花見
2235	日本の花見下さんふしの山	25	春	人事	花見
2236	花見には大き過たり相撲取	25	春	人事	花見
2237	已む事をえずんば隅田の花見哉	25	春	人事	花見
2238	入相や花見小袖の一衣桁	26	春	人事	花見
2239	すさまじや花見戻りの下駄の音	26	春	人事	花見

2240	すさまじや花見戻りの橋の音	26	春	人事	花見
2241	二の尼の一の尼とふ花見哉	26	春	人事	花見
2242	晩鐘も聞かぬ都の花見哉	26	春	人事	花見
2243	待つ人も待たるゝ人も花見哉	26	春	人事	花見
2244	松深き城に太守の花見哉	26	春	人事	花見
2245	三十の人摺鉢山の花見哉	26	春	人事	花見
2246	留守番に餅買ふてくる花見哉	26	春	人事	花見
2247	若党や松の木向て花見酒	26	春	人事	花見
2248	一杯に下戸の酔ひたる花見哉	28	春	人事	花見
2249	同じ人も乗らで花見の渡し舟	28	春	人事	花見
2250	狂ひ馬花見の人をちらしけり	28	春	人事	花見
2251	妻無しのとまる覚悟で花見哉	28	春	人事	花見
2252	花なくと銭なくと只酒あらば	28	春	人事	花見
2253	ふんどしのゆるんで暮るゝ花見哉	28	春	人事	花見
2254	真黒に花見る人のさかりかな	28	春	人事	花見
2255	同じ人もなくて日毎の花見かな	29	春	人事	花見
2256	叱られて酔のさめたる花見かな	29	春	人事	花見
2257	三味太鼓花見の舟の花も見ず	29	春	人事	花見
2258	大将の酔ふておくるゝ花見かな	29	春	人事	花見
2259	只一人花見の留守の地震かな	29	春	人事	花見
2260	散つて一度に花見の人を埋めかし	29	春	人事	花見
2261	中啓を襟にさしたる花見哉	29	春	人事	花見
2262	二三町押されてありく花見哉	29	春	人事	花見
2263	二大隊花見の中を通りけり	29	春	人事	花見
2264	又けふも花見の茶番雨になる	29	春	人事	花見
2265	夜明から俄に曇る花見かな	29	春	人事	花見
2266	釵は花見戻りの女哉	31	春	人事	花見
2267	三味線に樽をかけたる花見哉	31	春	人事	花見
2268	錠おろす花見の留守や夫婦者	31	春	人事	花見
2269	錠かけて花見の留守や夫婦者	31	春	人事	花見
2270	一群の芸妓に出逢ふ花見哉	31	春	人事	花見
2271	病人の車て出たる花見哉	31	春	人事	花見
2272	異様なる粧ひの人の花見哉	32	春	人事	花見
2273	小坊主や花見の供のひもし顔	32	春	人事	花見
2274	女生徒の手を繋ぎ行く花見哉	32	春	人事	花見
2275	花の宴琴弾かさりし不興かな	32	春	人事	花見
2276	絵巻物三月の部は花見也	32	春	人事	花見
2277	橋杭の間を漕ぎ出る花見舟	33	春	人事	花見
2278	案内者の楠語る花見かな	35	春	人事	花見
2279	たらちねの花見の留守や時計見る	35	春	人事	花見
2280	花見つゝ吉野の町に入りけり	35	春	人事	花見
2281	袂へも花の散りけり桜がり	23	春	人事	桜狩
2282	花の顔花のかんざし桜狩	23	春	人事	桜狩
2283	幕吹て人の背丸し桜がり	25	春	人事	桜狩
2284	唐衣筒袖を来て桜狩	26	春	人事	桜狩
2285	桜狩上野王子は山つゞき	26	春	人事	桜狩
2286	桜狩深入りすぎて杉木立	26	春	人事	桜狩
2287	炭売はなじみなりけり桜狩	26	春	人事	桜狩
2288	罪深き顔の多さよ桜狩	26	春	人事	桜狩
2289	大粒な雨ふりいでぬ桜狩	28	春	人事	桜狩
2290	杉による花見車の小牛哉	26	春	人事	花見車
2291	紋は誰花見車の人もなし	26	春	人事	花見車
2292	春殿に玉藻の前の光かな	35	春	人事	春殿
2293	黄金箔の年々はげて御身拭ひ	26	春	人事	御身拭
2294	水仙も黄をさく頃や御身拭	26	春	人事	御身拭
2295	世の花に汚れしとてや御身拭	26	春	人事	御身拭
2296	黄金の年々はげて御身拭ひ	26	春	人事	御身拭
2297	御普請の出来て御影供の鐘が鳴る	29	春	人事	御影供
2298	御影供に近道わたる野川哉	30	春	人事	御影供
2299	御影供こめて十日の雨や苗代田	33	春	人事	御影供
2300	壬生念仏頃は蛙のさかりかな	25	春	人事	壬生念仏
2301	雲水の折しもうれし壬生念仏	26	春	人事	壬生念仏
2302	見る人のかしかましきよ壬生念仏	26	春	人事	壬生念仏
2303	つれて来し嫁の貞負や御忌詣	32	春	人事	御忌

2304	柳なく花なき里の西行忌	26	春	人事	西行忌
2305	其杖に花咲きけらし西行忌	27	春	人事	西行忌
2306	橋ノ曙覚ノ庵ヤ人丸忌	35	春	人事	人丸忌
2307	土佐力昼ノ人丸兀ゲシ忌日カナ	35	春	人事	人丸忌
2308	春の人松の葉ごしにちらちらと	26	春	人事	春人
2309	春の人このもかのもに見ゆる哉	27	春	人事	春人
2310	山焼くや胡蝶の羽のくすぶるか	21	春	人事	山焼
2311	春の山焼いたあとから笑ひけり	25	春	人事	山焼
2312	春の山やくやそこらに人もなし	25	春	人事	山焼
2313	山やくやどこから人の通ふらん	25	春	人事	山焼
2314	三日三夜草山一つ焼にけり	27	春	人事	山焼
2315	薄曇り隣の山を焼きにけり	28	春	人事	山焼
2316	山焼きて雲のかゝらぬあした哉	28	春	人事	山焼
2317	焼山の太石ころりころりかな	29	春	人事	山焼
2318	山焼くとばかりに空のほの赤き	29	春	人事	山焼
2319	雨ならん山を焼く火の広がりぬ	30	春	人事	山焼
2320	薄月の山焼きに行く小路かな	30	春	人事	山焼
2321	薄月の山焼きに行く路遠み	30	春	人事	山焼
2322	出て見れば南の山を焼きにけり	30	春	人事	山焼
2323	山焼く火左に見えて路曲る	30	春	人事	山焼
2324	山を焼く火に近く我夜越ゆる	30	春	人事	山焼
2325	あちら側の山を焼くらん雲明り	33	春	人事	山焼
2326	遠山の焼くる火見えて夕淋し	34	春	人事	山焼
2327	山焼きの爺を鬼爺と思ひけり	34	春	人事	山焼
2328	山焼くよと門にゝむ独言	34	春	人事	山焼
2329	湯の山も田上も焼くや雨近み	34	春	人事	山焼
2330	幼子や青きを踏みし足の裏	31	春	人事	青き踏む
2331	弁当くふて青きを踏んで遊びけり	32	春	人事	青き踏む
2332	踏青や飴屋にかゝる綺羅の塵	34	春	人事	青き踏む
2333	踏青や草履駒下駄足袋はだし	34	春	人事	青き踏む
2334	踏青や山谷の詩を吟じつゝ	34	春	人事	青き踏む
2335	踏青や美人群れたる水の隈	34	春	人事	青き踏む
2336	畑打や草の戸つゞく内裏跡	26	春	人事	畑打
2337	畑打やふじの裾野に人一人	26	春	人事	畑打
2338	畑を打つ男呼び出す雲雀哉	26	春	人事	畑打
2339	名所とも知らで畑打つ男哉	26	春	人事	畑打
2340	牛のせて畑打ちに行く小島舟哉	27	春	人事	畑打
2341	汽車道の左右に畑打つ夫婦哉	27	春	人事	畑打
2342	子を負てひとり畑打つやもめかな	27	春	人事	畑打
2343	鷺寒しまだ耕さぬ畑のくろ	27	春	人事	畑打
2344	奈良阪や鹿追ひのけて畠打つ	27	春	人事	畑打
2345	畑うつや石ずゑ起す城の跡	27	春	人事	畑打
2346	畠打つ大原山の男かな	27	春	人事	畑打
2347	武蔵野や畑打ち広げ打ち広げ	27	春	人事	畑打
2348	武蔵野や畑打つ女帯赤し	27	春	人事	畑打
2349	山一つこえて畑打つ翁かな	27	春	人事	畑打
2350	畑打の掘り起したる石碑哉	28	春	人事	畑打
2351	畑打や八重山陰に只一人	28	春	人事	畑打
2352	畑打よこゝらあたりは打ち残せ	28	春	人事	畑打
2353	日一日同じ処に畠打つ	28	春	人事	畑打
2354	ものいはず夫婦畑うつ麓かな	28	春	人事	畑打
2355	金州にいくさせし人よ畠打つ	29	春	人事	畑打
2356	畑打の王莽が錢掘り出しぬ	29	春	人事	畑打
2357	山畑や猪の足跡を打ち返す	29	春	人事	畑打
2358	行列を見返りもせぬ畑打や	30	春	人事	畑打
2359	雲無心南山の下畑打つ	30	春	人事	畑打
2360	先生の畑打て居る門の前	30	春	人事	畑打
2361	畑打の牛の群にまじり帰り行	30	春	人事	畑打
2362	めつらしや畑打つ女五年ぶり	31	春	人事	畑打
2363	打ち残す二畝の畠や暮の雨	32	春	人事	畑打
2364	畑打や谷中の森を出る雲	32	春	人事	畑打
2365	経を講しあるは畑打ち釣を垂れ	33	春	人事	畑打
2366	畑打に問へとも知らぬ石碑哉	33	春	人事	畑打
2367	畑打や大根花咲く傍に	33	春	人事	畑打

2368	畑打や遠の畔道行く柩	33	春	人事	畑打
2369	畑打やゆふべの恋も忘れ顔	33	春	人事	畑打
2370	畑打つていたく疲れし病後哉	33	春	人事	畑打
2371	故郷や知らぬ男の畠打つ	33	春	人事	畑打
2372	山陰の木の間の畑やひとり打	33	春	人事	畑打
2373	嫁と見え娘と見えて畠打つ	33	春	人事	畑打
2374	女手に庭の畑打つ小鍬哉	33	春	人事	畑打
2375	あちら向いて畑打ち居る二人かな	34	春	人事	畑打
2376	畑打の孝行上に聞えけり	34	春	人事	畑打
2377	畑打や飛鳥の桜見ゆるなり	34	春	人事	畑打
2378	畑打や子は徴せられて近衛に在り	34	春	人事	畑打
2379	榛の木の下に畑打つ一人かな	34	春	人事	畑打
2380	我行けば畑打ちやめて我を見る	34	春	人事	畑打
2381	巻わらのとれて蘇鉄のそよぎ哉	26	春	人事	巻藁を解
2382	田かへすや牛が近よる鷺が立つ	28	春	人事	田打
2383	鎌倉に九代栄ゆる接木哉	26	春	人事	接木
2384	去年うせし親がかたみの接木哉	26	春	人事	接木
2385	やとわれて接木する身の頬冠り	26	春	人事	接木
2386	来年の命を契る接木哉	26	春	人事	接木
2387	あこがれて寝るや接木の夜の雨	27	春	人事	接木
2388	朝な朝な心にかゝる接木哉	27	春	人事	接木
2389	君が代は足も腕も接木かな	28	春	人事	接木
2390	燭を取つて雨の接木を見る夜哉	28	春	人事	接木
2391	椿から李も咲かぬ接木かな	28	春	人事	接木
2392	まだら也接木の椿花一つ	30	春	人事	接木
2393	零落や竹刀を削り接木をす	30	春	人事	接木
2394	垣ごしに接穂与へし隣哉	32	春	人事	接木
2395	後園の接木を覗く散歩哉	32	春	人事	接木
2396	さかしらの駱駝が妻の接木哉	32	春	人事	接木
2397	十本の二本つきたる接穂哉	32	春	人事	接木
2398	吝き人の善き柿得たる接木哉	32	春	人事	接木
2399	水仙の花萎みたる接木哉	32	春	人事	接木
2400	そばふるや接木枯れたる庭淋し	32	春	人事	接木
2401	接木して縁に駱駝か物語	32	春	人事	接木
2402	接木して帰去来賦を誦しけり	32	春	人事	接木
2403	接木する片手に蜂を拂ひけり	32	春	人事	接木
2404	名を得たる接木の親爺雇ひけり	32	春	人事	接木
2405	ぬれなから接木して居る小雨哉	32	春	人事	接木
2406	桃に梅を杏に梨をつきし哉	32	春	人事	接木
2407	わがわざの接木芽を出す嬉しさよ	32	春	人事	接木
2408	芋植ふし日にふりそめて雨十日	29	春	人事	芋植う
2409	お城から見るや種蒔く三十里	26	春	人事	種蒔
2410	種蒔の花に咲く頃帰り来ん	26	春	人事	種蒔
2411	種蒔や妻も子も出て野弁当	26	春	人事	種蒔
2412	種蒔や五風十雨は御代の常	26	春	人事	種蒔
2413	道々や種まく人にいとま乞	26	春	人事	種蒔
2414	種まきや狩出したる泥鼠	27	春	人事	種蒔
2415	蒔や今孔邱の種釈迦の種	30	春	人事	種蒔
2416	庭に出でゝ物種蒔くや病上り	32	春	人事	種蒔
2417	蛙皆うたふ水口まつり哉	26	春	人事	水口祭
2418	摘草やふさいだ目にもつくつくし	23	春	人事	摘草
2419	摘草や菅の小笠にこほれつゝ	24	春	人事	摘草
2420	摘草の道々さそふをとめ哉	26	春	人事	摘草
2421	摘草や京の女の数数は	26	春	人事	摘草
2422	摘草や三寸程の天王寺	26	春	人事	摘草
2423	摘草の頃としなれば田甫哉	30	春	人事	摘草
2424	摘草や善き衣著たる女の童	31	春	人事	摘草
2425	摘草や根岸をいでゝ田甫道	32	春	人事	摘草
2426	摘草やげんげんの束茅花の束	33	春	人事	摘草
2427	摘草や裁縫の師につれられて	33	春	人事	摘草
2428	垣ごしに菊の根わけてもらひ梟	26	春	人事	摘草
2429	昔女菊の根分くる跣足哉	27	春	人事	摘草
2430	根分せん我は黄菊を白菊を	28	春	人事	摘草
2431	それぞれに菊の根分くる鉢の中	29	春	人事	摘草

2432	萩の根を移しつ菊の根を分けつ	30	春	人事	摘草
2433	寧ろ花の小さかれと菊の根も分けず	30	春	人事	摘草
2434	萩の芽にさきだつ菊の根分哉	31	春	人事	摘草
2435	家買ふて古菊の根を分ちけり	32	春	人事	摘草
2436	茶を飲で菊の根分の疲哉	32	春	人事	摘草
2437	おのが身に着もせぬ人の蚕飼哉	26	春	人事	蚕飼
2438	木曾の奥宿りことはる蚕飼哉	26	春	人事	蚕飼
2439	蚕飼せぬ上野人はなかりけり	26	春	人事	蚕飼
2440	姫君の恋に待つ夜を蚕飼哉	26	春	人事	蚕飼
2441	姫君は恋に待つ夜の蚕飼哉	26	春	人事	蚕飼
2442	夕月やほのほの白き蚕棚	26	春	人事	蚕飼
2443	山里は蚕飼ふなり花盛	27	春	人事	蚕飼
2444	信濃路や宿借る家の蚕棚	30	春	人事	蚕飼
2445	カナリヤに餌やる蚕飼の暇かな	32	春	人事	蚕飼
2446	蚕飼する此頃妻のやつれ哉	32	春	人事	蚕飼
2447	一夜二夜夜を寝ぬ蚕飼盛哉	35	春	人事	蚕飼
2448	川越えて桑つみに行蚕飼哉	35	春	人事	蚕飼
2449	蚕飼スル国ヤ仏ノ善光寺	35	春	人事	蚕飼
2450	蚕飼する村過行や薬売	35	春	人事	蚕飼
2451	蚕飼する村に宿屋もなかりけり	35	春	人事	蚕飼
2452	田を売りて今年始むる蚕飼かな	35	春	人事	蚕飼
2453	寝どころも無き賤が家の蚕棚かな	35	春	人事	蚕飼
2454	婆殿の念仏講や蚕飼時	35	春	人事	蚕飼
2455	道ばたの小家々々も蚕飼かな	35	春	人事	蚕飼
2456	上総までかちわたりせん汐干瀉	24	春	人事	汐干狩
2457	上総までかち渡りせん汐干狩	24	春	人事	汐干狩
2458	遠浅や雲までつゝく汐干狩	24	春	人事	汐干狩
2459	一休に歌よませばや汐干狩	25	春	人事	汐干狩
2460	貝とりの沙島へつゞく汐干哉	25	春	人事	汐干狩
2461	小娘の上総覚えし汐干哉	25	春	人事	汐干狩
2462	内海の幅狭くなる汐干哉	25	春	人事	汐干狩
2463	大船の真向に居る汐干哉	27	春	人事	汐干狩
2464	大船の真向に座る汐干かな	27	春	人事	汐干狩
2465	下駄番のひとりはなれて汐干かな	27	春	人事	汐干狩
2466	波音の須磨をはなるゝ汐干哉	27	春	人事	汐干狩
2467	船底を蟹這ひ上る汐干かな	27	春	人事	汐干狩
2468	振袖を背中に結ぶ汐干哉	27	春	人事	汐干狩
2469	龍宮の鐘聞えたる汐干哉	27	春	人事	汐干狩
2470	歩みけり汐干の海をすぢかひに	28	春	人事	汐干狩
2471	大船の尻のそきたる汐干哉	28	春	人事	汐干狩
2472	大船の底のぞきたる汐干かな	28	春	人事	汐干狩
2473	汐干瀉海月がさして泣く女	28	春	人事	汐干狩
2474	汐干瀉隣の国へつゞきけり	28	春	人事	汐干狩
2475	墨吐て烏賊の死居る汐干哉	28	春	人事	汐干狩
2476	墨吐て烏賊め死居る汐干哉	28	春	人事	汐干狩
2477	人妻の男呼ぶなる汐干哉	28	春	人事	汐干狩
2478	釵のぬしを尋ぬる汐干哉	29	春	人事	汐干狩
2479	傾城の汐干見て居る二階哉	31	春	人事	汐干狩
2480	蜷得て舟に戻るや汐干狩	32	春	人事	汐干狩
2481	貝のつきし岩あらはるゝ汐干哉	32	春	人事	汐干狩
2482	汽車に乗て汐干の浜を通りけり	32	春	人事	汐干狩
2483	雲に入る汐干の人や安房の山	32	春	人事	汐干狩
2484	紅のもすそかゝげぬ汐干人	32	春	人事	汐干狩
2485	汐干狩の舟通りけり窓の外	32	春	人事	汐干狩
2486	汐干狩の窓通りけり窓の外	32	春	人事	汐干狩
2487	汐干より今帰りたる隣哉	32	春	人事	汐干狩
2488	末の子や汐干の留守の離遊	32	春	人事	汐干狩
2489	海苔取の知らず顔なる汐干哉	32	春	人事	汐干狩
2490	二舟に汐干の連を分ちけり	32	春	人事	汐干狩
2491	汐干瀉うれし物皆生きて居る	35	春	人事	汐干狩
2492	おのが子の夢見てさめぬ泊り山	26	春	人事	泊り山
2493	朧にもなき夜のさまや泊り狩	26	春	人事	泊り山
2494	鐘三更月落ちかゝる泊り山	26	春	人事	泊り山
2495	三浦の介上総の介や泊り山	35	春	人事	泊り山

2496	炉塞や椽へ出て見る不二の山	25	春	人事	炉塞
2497	炉塞や花見に行きし其日より	25	春	人事	炉塞
2498	炉塞や六畳の間のひろくなる	25	春	人事	炉塞
2499	炉塞で天地の広き心哉	26	春	人事	炉塞
2500	炉塞に又若返るこゝろ哉	26	春	人事	炉塞
2501	炉塞や炭団の尽きし其日より	26	春	人事	炉塞
2502	炉を閉て猫の寝処かはりけり	26	春	人事	炉塞
2503	炉塞で足に鼠を負ふ夜かな	27	春	人事	炉塞
2504	炉塞いで畳の海に波もなし	27	春	人事	炉塞
2505	炉塞で種芋植ゑんとぞ思ふ	27	春	人事	炉塞
2506	炉塞で花に行くべき日ぞ多き	27	春	人事	炉塞
2507	今日か明日か炉を塞がうかどうせうか	29	春	人事	炉塞
2508	炉塞いで書読む夜の地震かな	29	春	人事	炉塞
2509	炉塞いで遠公がもとに訪ひよりぬ	29	春	人事	炉塞
2510	炉塞ぎて草鞋はき居る首途哉	29	春	人事	炉塞
2511	炉塞やよんどころなく妻を去る	29	春	人事	炉塞
2512	炉塞ぐや菊の根もとを掘る男	29	春	人事	炉塞
2513	炉塞ぎて庭へ出て見る空緑	30	春	人事	炉塞
2514	炉塞取りて六畳の間の広さかな	34	春	人事	炉塞
2515	引受の月次の会や炉の名残	34	春	人事	炉塞
2516	巨燧なき衾や足ののべ心	26	春	人事	炬燧塞ぐ
2517	巨燧なき蒲団や足ののべ心	26	春	人事	炬燧塞ぐ
2518	火燧塞ぐ今に主の病かな	34	春	人事	炬燧塞ぐ
2519	烏帽子着て花守なくや小夜嵐	25	春	人事	花守
2520	花守の烏帽子かけたる桜哉	25	春	人事	花守
2521	花守の子に折らせたる桜哉	25	春	人事	花守
2522	花守の花よりさきに老にける	26	春	人事	花守
2523	花守や修業者とめて物語り	26	春	人事	花守
2524	花守や夜は燈下に莊子読む	26	春	人事	花守
2525	一枝や花守叱らんさもあらばあれ	26	春	人事	花守
2526	花守の花に負きし恨みかな	30	春	人事	花守
2527	うとうとと春の寝心夢もなし	26	春	人事	春眠
2528	君が家に春の寝心夢もなし	26	春	人事	春眠
2529	海を行く百里蓬萊に倒り春夢醒む	30	春	人事	春眠
2530	ものかはといひけん春の朝寝哉	31	春	人事	春眠
2531	峯入の道々古き都かな	26	春	人事	峰入
2532	峯入や禁の道の花の雲	26	春	人事	峰入
2533	峯入やもの書きつける袖の裏	26	春	人事	峰入
2534	峯入の明け行顔や山かつら	28	春	人事	峰入
2535	峯入や顔のあたりの山かつら	28	春	人事	峰入
2536	汲鮎や釣瓶の中の不二の山	26	春	人事	鮎汲
2537	魚肥たり七十二灘上り築	26	春	人事	上築
2538	うら若き声のみ多き茶摘哉	26	春	人事	茶摘
2539	留守の家は花に預けて茶摘哉	26	春	人事	茶摘
2540	我庭に歌なき妹の茶摘哉	26	春	人事	茶摘
2541	木隠れて手拭赤き茶摘哉	27	春	人事	茶摘
2542	旅人や茶摘を尋ね山の裾	28	春	人事	茶摘
2543	木の上に見ゆや茶摘の顔許り	29	春	人事	茶摘
2544	一番茶二番茶既につみにけり	33	春	人事	茶摘
2545	五六人茶を摘む岡の高みかな	33	春	人事	茶摘
2546	摘みためし手のひらの茶のこぼれけり	33	春	人事	茶摘
2547	水清き宇治に生れて茶摘哉	33	春	人事	茶摘
2548	夜芝居や昼の茶摘の勞れ顔	33	春	人事	茶摘
2549	口紅にそんだ声なり茶摘歌	23	春	人事	茶摘唄
2550	気の軽き拍子也けり茶摘歌	25	春	人事	茶摘唄
2551	よそながら妹尋ぬるや茶摘歌	25	春	人事	茶摘唄
2552	顔見ねば恋にぞ似たる茶摘歌	26	春	人事	茶摘唄
2553	茶つみ歌お駕籠の垂れの上りけり	26	春	人事	茶摘唄
2554	茶つみ歌東大寺の塔は霞みけり	26	春	人事	茶摘唄
2555	人も見ず山の凹みの茶摘歌	27	春	人事	茶摘唄
2556	寝ぬ恋の眠たき節や茶摘歌	33	春	人事	茶摘唄
2557	不破の閑桑とる女こととはん	25	春	人事	桑摘
2558	桑つみのふらんす語るやすみ哉	26	春	人事	桑摘
2559	すごすごと桑摘む背戸の小雨哉	29	春	人事	桑摘

2560	野のみとり搗込にけり草の餅	21	春	人事	草餅
2561	風呂敷をとけば風あり草の餅	25	春	人事	草餅
2562	草餅のこゝは灸の名所哉	26	春	人事	草餅
2563	草餅のこゝは蓬の名所かな	26	春	人事	草餅
2564	草餅や思ひ思ひの旅出立ち	26	春	人事	草餅
2565	西行も名物あがれ草の餅	26	春	人事	草餅
2566	旅人や馬から落す草の餅	26	春	人事	草餅
2567	婆々の留守草餅つゝく鴉哉	26	春	人事	草餅
2568	草餅や実業団子召すまいか	27	春	人事	草餅
2569	大仏に草餅あげて戻りけり	27	春	人事	草餅
2570	餅になる草何何ぞうなる達	28	春	人事	草餅
2571	餅になる草何々ぞ背戸畑	28	春	人事	草餅
2572	草餅や蓬か原の葎簀店	31	春	人事	草餅
2573	尋ねよる蓬か宿や草の餅	31	春	人事	草餅
2574	草餅は蓬黄粉は豆にして	34	春	人事	草餅
2575	草餅を売り尽したる彼岸かな	34	春	人事	草餅
2576	桜餅草餅春も半かな	34	春	人事	草餅
2577	婆殿の忌日忘れそ蓬餅	34	春	人事	草餅
2578	雛様をなくさめ顔の蓬餅	34	春	人事	草餅
2579	鄙なれば蓬草餅まゐらす	34	春	人事	草餅
2580	鄙はものゝ蓬の餅も四角なる	34	春	人事	草餅
2581	故郷や母がいまさば蓬餅	34	春	人事	草餅
2582	蓬草餅にもならで伸びにけり	34	春	人事	草餅
2583	薄き葉の中に朱味や桜餅	21	春	人事	桜餅
2584	葉にまきて出すまこゝろや桜餅	21	春	人事	桜餅
2585	贈られし鮎を膾につくりけり	32	春	人事	鮎膾
2586	孝行なる漁師ありけり鮎膾	32	春	人事	鮎膾
2587	尚白の家に会して鮎膾	32	春	人事	鮎膾
2588	旅人に鮎の膾の好みあり	32	春	人事	鮎膾
2589	夏近き膳所の舎りや鮎膾	32	春	人事	鮎膾
2590	鮎膾草津の駅は荒れにけり	32	春	人事	鮎膾
2591	鮎膾鮎に片目の由来あり	32	春	人事	鮎膾
2592	ある時はすねて落ちけり凧	25	春	人事	凧
2593	かゝり凧奴は骨となつてけり	25	春	人事	凧
2594	傾城の門まで出たり凧	25	春	人事	凧
2595	凧の尾に二日の月のもつれけり	25	春	人事	凧
2596	凧見れば東風ばかりでもなかりけり	25	春	人事	凧
2597	よく見れば昼の月あり凧	25	春	人事	凧
2598	凧与市が弓の稽古哉	26	春	人事	凧
2599	凧に乗る姿は軽し鳳巾	26	春	人事	凧
2600	きれ凧の川渡り行く嵐哉	26	春	人事	凧
2601	きれ凧や糸くひとむる鬼瓦	26	春	人事	凧
2602	鶏あがる梅の枯枝やかゝり凧	26	春	人事	凧
2603	羽衣を誰にとられてかゝり凧	26	春	人事	凧
2604	人もなし野中の杭の凧	26	春	人事	凧
2605	雨晴れて一本榎凧高し	27	春	人事	凧
2606	凧鏡が浦八真ツ平	27	春	人事	凧
2607	大凧や伽藍の屋根に人の声	27	春	人事	凧
2608	大凧や階子に並ぶ庭の隅	27	春	人事	凧
2609	切れ凧の切れて帰らぬ行へ哉	27	春	人事	凧
2610	切れ凧や中国さして飛んで行	27	春	人事	凧
2611	切れ凧やふわりふわりと沖の方	27	春	人事	凧
2612	そこらから江戸が見えるか奴凧	27	春	人事	凧
2613	凧高し鏡が浦は真ツ平	27	春	人事	凧
2614	電信や糸のたよりのかゝり凧	27	春	人事	凧
2615	夕まぐれ凧売る家の嵐かな	27	春	人事	凧
2616	きれ凧の広野の中に落ちにけり	28	春	人事	凧
2617	凧さわぐ夕風雲のそゞるなり	28	春	人事	凧
2618	夕暮や都の空の凧一つ	28	春	人事	凧
2619	大凧に近よる鳶もなかりけり	29	春	人事	凧
2620	切れ凧や道灌山を越えて行く	29	春	人事	凧
2621	切れ凧を犬の追行く野道かな	29	春	人事	凧
2622	切れ凧を追ひ行く人か野の小道	29	春	人事	凧
2623	凧揚げて天狗をたのむ童かな	29	春	人事	凧

2624	ぱちんこに大風切れてしまひけり	29	春	人事	凧
2625	二村の凧集まりし河原かな	29	春	人事	凧
2626	緑子の凧あげながらこけにけり	29	春	人事	凧
2627	凧あくる子守女や御院田	30	春	人事	凧
2628	人の子の凧あげて居る我は旅	30	春	人事	凧
2629	夕風の俄に起る凧	30	春	人事	凧
2630	あがりつくうれしさを凧きれてけり	31	春	人事	凧
2631	糸のべて凧の尾垂るゝ水田哉	31	春	人事	凧
2632	風しばし受けつ梢のかゝり凧	31	春	人事	凧
2633	感に堪へて大凧きつて放しけり	31	春	人事	凧
2634	切凧の落行さきは淡路哉	31	春	人事	凧
2635	忽然と凧落ち来る小庭哉	31	春	人事	凧
2636	しばし風受けつ梢のかゝり凧	31	春	人事	凧
2637	狭き庭に一枚凧の上りけり	31	春	人事	凧
2638	凧切れて泣く泣く帰り行く児よ	31	春	人事	凧
2639	凧の尾の筑波の山をはなれけり	31	春	人事	凧
2640	凧の尾の屋根をはなるゝうれしさよ	31	春	人事	凧
2641	凧の尾をつかまんとする弟哉	31	春	人事	凧
2642	小き子の小き凧を揚げて居る	31	春	人事	凧
2643	楷子して凧取る屋根の童哉	31	春	人事	凧
2644	夕嵐切凧西に飛んで行	31	春	人事	凧
2645	夕風や空に日暮るゝ凧	31	春	人事	凧
2646	夕風や空に日暮るゝ凧一つ	31	春	人事	凧
2647	小夜更し鼓の音や新能	32	春	人事	新能
2648	新能京より叔父のまかりけり	32	春	人事	新能
2649	新燃えて静の顔を照しけり	32	春	人事	新能
2650	鉢の木や薪に遠き最明寺	32	春	人事	新能
2651	月出づる橋弁慶や新能	34	春	人事	新能
2652	ふらこゝの遊びに飽きし女哉	32	春	人事	ふらここ
2653	明家やところどころに猫の恋	21	春	動物	猫の恋
2654	恋知らぬ猫のふり也球あそび	23	春	動物	猫の恋
2655	浅ましやもらふた日より猫の恋	24	春	動物	猫の恋
2656	歌よまばやさしかるべきに猫の恋	24	春	動物	猫の恋
2657	内でなけば外でもなくやうかれ猫	24	春	動物	猫の恋
2658	神代より誰か教へて猫の恋	24	春	動物	猫の恋
2659	恋猫はあらきこゑさへあはれなり	24	春	動物	猫の恋
2660	恋は皆やせるならひか猫の五器	24	春	動物	猫の恋
2661	乳のみ子は恋猫程になきにけり	24	春	動物	猫の恋
2662	飼猫や思ひのたけを鳴あかし	25	春	動物	猫の恋
2663	きけばやさし見ればこはらし猫の恋	25	春	動物	猫の恋
2664	五器の飯ほとびる猫の思ひかや	25	春	動物	猫の恋
2665	恋猫やたしかにやねをとんだ音	25	春	動物	猫の恋
2666	こひ猫や何の思ひを忍びあし	25	春	動物	猫の恋
2667	恋猫や物干竿の丸木橋	25	春	動物	猫の恋
2668	竹椽を踏みわる猫の思ひ哉	25	春	動物	猫の恋
2669	竹椽をふみ折る猫の思ひかな	25	春	動物	猫の恋
2670	鉄門に爪の思ひや廓の猫	25	春	動物	猫の恋
2671	虎といふ仇名の猫ぞ恋の邪魔	25	春	動物	猫の恋
2672	猫の恋がらす障子に無分別	25	春	動物	猫の恋
2673	猫のこひ巨燵をふんで忍ひけり	25	春	動物	猫の恋
2674	猫の恋やんだ其夜や雨の音	25	春	動物	猫の恋
2675	猫の恋やんだ其夜や春の雨	25	春	動物	猫の恋
2676	猫居らず一夜やもめの泣きにけり	25	春	動物	猫の恋
2677	のら猫も女の声はやさしとや	25	春	動物	猫の恋
2678	松の木の間にかけこむ猫の恋	25	春	動物	猫の恋
2679	目も見えぬやうなふり也猫の恋	25	春	動物	猫の恋
2680	あの声は何いふ事ぞ猫の恋	26	春	動物	猫の恋
2681	恋猫の足の跡あり化粧部屋	26	春	動物	猫の恋
2682	恋猫のあはれやある夜泣寝入	26	春	動物	猫の恋
2683	地震して恋猫屋根をころげけり	26	春	動物	猫の恋
2684	どら猫に恋の名もあり祇園町	26	春	動物	猫の恋
2685	猫の恋お堀をこえて通ひけり	26	春	動物	猫の恋
2686	野の宮や垣の内外に猫の恋	26	春	動物	猫の恋
2687	のら猫や思ふがまゝに恋ひわたる	26	春	動物	猫の恋

2688	花嫁の声とも聞かじ猫の恋	26	春	動物	猫の恋
2689	二つ来てしばしはよらず猫の恋	26	春	動物	猫の恋
2690	よもすがら簀の子の下や猫の恋	26	春	動物	猫の恋
2691	うき人に石投げらるゝ猫の恋	27	春	動物	猫の恋
2692	大猫の恋にやつるゝあはれさよ	27	春	動物	猫の恋
2693	巨燵の山流しの川や猫の恋	27	春	動物	猫の恋
2694	恋猫や城の石垣かけのぼる	27	春	動物	猫の恋
2695	猫の恋大長刀をわたりけり	27	春	動物	猫の恋
2696	猫迷ふ恋の闇路や牛の角	27	春	動物	猫の恋
2697	我事とうらやむ猫の恋路哉	27	春	動物	猫の恋
2698	我事となくともものうし猫の恋	27	春	動物	猫の恋
2699	我恋のかくても猫に劣りけん	27	春	動物	猫の恋
2700	我恋のそれにも猫のうらみ哉	27	春	動物	猫の恋
2701	おそろしや石垣崩す猫の恋	28	春	動物	猫の恋
2702	恋猫の雲に隠れぬ塔の屋根	28	春	動物	猫の恋
2703	忍ぶれど猫に出でにけり我恋は	28	春	動物	猫の恋
2704	日の入やはや屋根に出る猫の恋	28	春	動物	猫の恋
2705	内のチヨマが隣のタマを待つ夜かな	29	春	動物	猫の恋
2706	恨みわびニヤニヤと泣く也猫の妻	29	春	動物	猫の恋
2707	喧嘩とも恋とも知らず猫の声	29	春	動物	猫の恋
2708	恋猫の別れを惜む戸口かな	29	春	動物	猫の恋
2709	三匹になりて喧嘩す猫の恋	29	春	動物	猫の恋
2710	忍びあへず男猫泣くなり塀の上	29	春	動物	猫の恋
2711	初恋の心を猫に尋ねばや	29	春	動物	猫の恋
2712	振袖を着せてやりたや猫の妻	29	春	動物	猫の恋
2713	待つ恋にこがれて泣くや白の猫	29	春	動物	猫の恋
2714	両方で睨みあひけり猫の恋	29	春	動物	猫の恋
2715	うき猫をくどく声音や屋根の上	30	春	動物	猫の恋
2716	水鉢の水呑む猫のこがれかな	30	春	動物	猫の恋
2717	宵の間や小猫が恋のあわたゞし	30	春	動物	猫の恋
2718	きぬきぬの猫を見てやる夜明哉	31	春	動物	猫の恋
2719	恋猫の別れ見てやる夜明哉	31	春	動物	猫の恋
2720	猫の恋隣の屋根へ移りけり	32	春	動物	猫の恋
2721	我心猫にうつりてうかるゝか	32	春	動物	猫の恋
2722	恋しらぬ猫や鶉を取らんとす	33	春	動物	猫の恋
2723	中垣や行きあふ猫のいどみ顔	33	春	動物	猫の恋
2724	破垣や行きあふ猫のいどみ顔	33	春	動物	猫の恋
2725	獺の祭を画く意匠かな	35	春	動物	獺祭魚
2726	茶器どもを獺の祭の並べ方	35	春	動物	獺祭魚
2727	うら若き禰宜になるゝや孕鹿	26	春	動物	孕鹿
2728	孕鹿来れば漁夫の餌をやりて	26	春	動物	孕鹿
2729	孕鹿若草山を辿りけり	26	春	動物	孕鹿
2730	三日月を夢みて鹿の孕むらん	26	春	動物	孕鹿
2731	町中や孕みし鹿の不形なり	28	春	動物	孕鹿
2732	恥かしいか眼を細くして孕鹿	29	春	動物	孕鹿
2733	鹿の角落てさびしき月夜哉	25	春	動物	鹿の角落
2734	鹿の角月の重みに落にけり	25	春	動物	鹿の角落
2735	鹿の角ふりむく時に落にけり	25	春	動物	鹿の角落
2736	鹿の角ふり向く時に落しけり	25	春	動物	鹿の角落
2737	曙禰宜の戸口の落し角	26	春	動物	鹿の角落
2738	新らしきものとは見えず鹿の角	26	春	動物	鹿の角落
2739	其角の落ちかゝりてや鳴く男鹿	26	春	動物	鹿の角落
2740	谷底へうつむく鹿や落し角	26	春	動物	鹿の角落
2741	明星や忽然として落し角	26	春	動物	鹿の角落
2742	角落ちてあちら向いたる男鹿哉	28	春	動物	鹿の角落
2743	驚くやさはれば落つる鹿の角	29	春	動物	鹿の角落
2744	思ひきりぬ角無き鹿を見るからに	29	春	動物	鹿の角落
2745	獵人の夢見て鹿の角落す	29	春	動物	鹿の角落
2746	角落ちて淋しき奈良の月夜哉	29	春	動物	鹿の角落
2747	蛙出て蓮の安否尋ねけり	20	春	動物	蛙
2748	昼は青田夜は蛙聞く往来哉	20	春	動物	蛙
2749	仰き見る芭せをの上に蛙かな	23	春	動物	蛙
2750	蛙のつらに小便をするいたづら子	23	春	動物	蛙
2751	きようきようし田螺おさへて鳴く蛙	25	春	動物	蛙

2752	雪院の月に蛙を聞く夜哉	25	春	動物	蛙
2753	はきだめやひたひた水に鳴蛙	25	春	動物	蛙
2754	樋の口にせかれて鳴や夕蛙	25	春	動物	蛙
2755	樋の口にせかれながらや鳴蛙	25	春	動物	蛙
2756	ふしの影ふんて啼出す蛙哉	25	春	動物	蛙
2757	門しめに出て聞て居る蛙かな	25	春	動物	蛙
2758	小川からぬれて蛙の上りけり	25	春	動物	蛙
2759	あぜ道や蛙とびこす牛の糞	26	春	動物	蛙
2760	雨を呑む蛙の声の冴て行	26	春	動物	蛙
2761	いつまでも貧しき声の蛙哉	26	春	動物	蛙
2762	入相の頃を蛙のさわぎかな	26	春	動物	蛙
2763	牛の子に踏み出されたる蛙哉	26	春	動物	蛙
2764	牛の子の鼻をつき出す蛙哉	26	春	動物	蛙
2765	牛は寝て小田の蛙のさかり哉	26	春	動物	蛙
2766	牛部屋の破れをのぞく蛙哉	26	春	動物	蛙
2767	馬牛の市しづまりて鳴く蛙	26	春	動物	蛙
2768	枝蛙利休の窓に上りけり	26	春	動物	蛙
2769	金杉や寝床めぐって蛙鳴く	26	春	動物	蛙
2770	蛙鳴く浅瀬もありや大井河	26	春	動物	蛙
2771	蛙鳴く処処や水明り	26	春	動物	蛙
2772	蛙鳴く水田の底の底明り	26	春	動物	蛙
2773	蛙鳴く井手の玉川春深し	26	春	動物	蛙
2774	蛙むれて雨をよぶ声あはれ也	26	春	動物	蛙
2775	枯蘆の中にごそつく蛙哉	26	春	動物	蛙
2776	肥壺や蛙とびこむ夕まぐれ	26	春	動物	蛙
2777	新田に声うす塩の蛙哉	26	春	動物	蛙
2778	たそがれや蛙の小道牛戻る	26	春	動物	蛙
2779	つりさげてなぶられて居る蛙哉	26	春	動物	蛙
2780	戸の口にたて出されたる蛙かな	26	春	動物	蛙
2781	飛びこんで泥にかくるゝ蛙哉	26	春	動物	蛙
2782	飛びこんで泥に隠れる蛙かな	26	春	動物	蛙
2783	泥に酔ふて赤子のまねを鳴く蛙	26	春	動物	蛙
2784	泥水と見れば飛びこむ蛙かな	26	春	動物	蛙
2785	名所に住んでつたなき蛙哉	26	春	動物	蛙
2786	逃げさまに足つかまれし蛙哉	26	春	動物	蛙
2787	春もはや蛙鳴くなり手水鉢	26	春	動物	蛙
2788	ひよいひよいとこゝ迄ござれ蛙殿	26	春	動物	蛙
2789	古井戸の底にかはづの死骸かな	26	春	動物	蛙
2790	行く牛の股の下とぶ蛙哉	26	春	動物	蛙
2791	宵闇や蛙とびつく牛の足	26	春	動物	蛙
2792	老牛とにらみあいたる蛙哉	26	春	動物	蛙
2793	仰向になりて流るゝ蛙哉	27	春	動物	蛙
2794	枝蛙見下して居る厨かな	27	春	動物	蛙
2795	選ばれて蛙の中の蛙かな	27	春	動物	蛙
2796	甕われて流れ出でたる蛙哉	27	春	動物	蛙
2797	声高に瘦田の水の蛙哉	27	春	動物	蛙
2798	声に皆なつてかわすの水田哉	27	春	動物	蛙
2799	翠帳に御池の蛙聞く夜かな	27	春	動物	蛙
2800	捨舟をめぐって蛙鳴く夜かな	27	春	動物	蛙
2801	田四五反蛙になつてしまひけり	27	春	動物	蛙
2802	泥すみて影の動かぬ蛙かな	27	春	動物	蛙
2803	本陣の夜は更けたり初蛙	27	春	動物	蛙
2804	又もとの井戸に飛び込む蛙哉	27	春	動物	蛙
2805	溝川の澄で行く中蛙かな	27	春	動物	蛙
2806	夕月や田舟めぐって鳴く蛙	27	春	動物	蛙
2807	蛙鳴く田毎の間の月もなし	28	春	動物	蛙
2808	蛙はや日本の歌を詠みにけり	28	春	動物	蛙
2809	くゝと鳴く昼の蛙そうとましき	28	春	動物	蛙
2810	くゝとなく昼の蛙のうとましや	28	春	動物	蛙
2811	外濠の水くさりけり蛙の子	28	春	動物	蛙
2812	とりつきて浮木に上る蛙かな	28	春	動物	蛙
2813	夕雨に蛙鳴くなり橋の上	28	春	動物	蛙
2814	夜越して麓に近き蛙かな	28	春	動物	蛙
2815	庵の夜や蛙春の蚊春の蚤	29	春	動物	蛙

2816	蛙鳴く頃しも小田の月夜かな	29	春	動物	蛙
2817	蛙鳴くや蛙やしなふ君のため	29	春	動物	蛙
2818	蛙なけ蛙やしなふ君がため	29	春	動物	蛙
2819	ぎやあぎやあとなみふるあとの蛙哉	29	春	動物	蛙
2820	野はづれや家絶えだえに蛙鳴く	29	春	動物	蛙
2821	勝鬨や小便すれば蛙飛ぶ	30	春	動物	蛙
2822	蛙を愛す蛙露石を愛す哉	30	春	動物	蛙
2823	鉦屑に蛙は勝と衆議判	30	春	動物	蛙
2824	岸の蛙底の泥鰌のあきれ顔	30	春	動物	蛙
2825	齋泥に咲て蛙なく田の薄月夜	30	春	動物	蛙
2826	石垣や蛙も鳴かず深き堀	31	春	動物	蛙
2827	大なる蛙は井出を名のりけり	31	春	動物	蛙
2828	大声に鳴いてきよろりと蛙哉	31	春	動物	蛙
2829	ぎようぎようと地租を論ずる蛙哉	31	春	動物	蛙
2830	達磨句あり蛙飛びこむ水の音	31	春	動物	蛙
2831	貫之の蛙芭蕉の蛙哉	31	春	動物	蛙
2832	とも知らで鳴くか蛙の哀なる	31	春	動物	蛙
2833	向きあふて歌ふ二つの蛙かな	31	春	動物	蛙
2834	吉原の火事映る田や鳴く蛙	31	春	動物	蛙
2835	灯暗く蛙間く夜や写し物	32	春	動物	蛙
2836	曇りぬと妻の話や遠蛙	32	春	動物	蛙
2837	暗き灯や蛙鳴く夜の写し物	32	春	動物	蛙
2838	古池に蛙とびこむ俳画哉	32	春	動物	蛙
2839	やゝ古き犬の屍や蛙の子	32	春	動物	蛙
2840	今もある恋の棚橋鳴く蛙	33	春	動物	蛙
2841	蛙なく苗代小田となりけり	33	春	動物	蛙
2842	客観の蛙飛んで主観の蛙鳴く	33	春	動物	蛙
2843	蛙鳴く水や上野の台の下	34	春	動物	蛙
2844	蛙鳴くや村居の心落ちつかず	34	春	動物	蛙
2845	ラムプ消して行燈ともすや遠蛙	34	春	動物	蛙
2846	蛙なくやそろそろ蛇の穴を出る	26	春	動物	蛇穴を出づ
2847	蛇の穴を見ずてる日和哉	26	春	動物	蛇穴を出づ
2848	蛇穴を出たりあるいははいつたり	26	春	動物	蛇穴を出づ
2849	蛇穴を出るや其まゝ臍を巻く	26	春	動物	蛇穴を出づ
2850	蛇穴を出るややしろの古榎	26	春	動物	蛇穴を出づ
2851	穴を出て古石垣の蛇細し	27	春	動物	蛇穴を出づ
2852	穴を出た蛇も参りしネハン像	32	春	動物	蛇穴を出づ
2853	神いまだ穴を出でざる白蛇かな	34	春	動物	蛇穴を出づ
2854	蛇穴を出て三分の天下かな	34	春	動物	蛇穴を出づ
2855	蛇穴を出て人間を恐れけり	34	春	動物	蛇穴を出づ
2856	蛇穴を出る野に遺賢なかりけり	34	春	動物	蛇穴を出づ
2857	蛇穴を出るよりのたりくたりかな	34	春	動物	蛇穴を出づ
2858	世の中や出ずとも蛇穴を出る	34	春	動物	蛇穴を出づ
2859	鶯や木魚にまじる寺の春	20	春	動物	鶯
2860	鶯や木魚にまじる寛永寺	20	春	動物	鶯
2861	鶯になしみのつきし小庭哉	22	春	動物	鶯
2862	鶯の声になまりはなかりけり	22	春	動物	鶯
2863	鶯の声はなまらぬ田舎哉	22	春	動物	鶯
2864	鶯や誰が許して庭の梅	22	春	動物	鶯
2865	鶯や隣も窓をあける音	22	春	動物	鶯
2866	鶯やとなりつたひに梅の花	23	春	動物	鶯
2867	鶯や梅花の徳に隣あり	23 ~ 25	春	動物	鶯
2868	鶯の声の細さよ岨五丈	24	春	動物	鶯
2869	鶯や田を見下せは早苗とり	24	春	動物	鶯
2870	鶯や窓をひらけば竹の藪	24	春	動物	鶯
2871	鶯や窓を開けは松林	24	春	動物	鶯
2872	鶯や山をいづれば誕生寺	24	春	動物	鶯
2873	うくひすや落花粉々たり手水鉢	24	春	動物	鶯
2874	鶯や我がげうつす手水鉢	24	春	動物	鶯
2875	堀割ややふ鶯の両かわに	24	春	動物	鶯
2876	堀割や藪鶯を両の耳	24	春	動物	鶯
2877	うかうかと来て鶯を逃しけり	25	春	動物	鶯
2878	鶯の影とびこむや皮文庫	25	春	動物	鶯
2879	鶯の声には近し老の耳	25	春	動物	鶯

2880	鶯の隣にほそきいほりかな	25	春	動物	鶯
2881	鶯の遠のいてなく汽車の音	25	春	動物	鶯
2882	鶯の根岸はなるゝ日永かな	25	春	動物	鶯
2883	鶯や同じ深山の門の松	25	春	動物	鶯
2884	鶯や傘をたゝめば竹の露	25	春	動物	鶯
2885	鶯や傘をれ八竹の霰哉	25	春	動物	鶯
2886	鶯や此山出れば誕生寺	25	春	動物	鶯
2887	鶯や雑木つゞきの小篠原	25	春	動物	鶯
2888	鶯や不尽の裾野の花千里	25	春	動物	鶯
2889	鶯やみあかしのこる杉の杜	25	春	動物	鶯
2890	鶯や藪の隅には去年の雪	25	春	動物	鶯
2891	鶯や藪の中には去年の雪	25	春	動物	鶯
2892	梅に来て鶯の身のかるさ哉	25	春	動物	鶯
2893	その辺にうぐひす居らず汽車の音	25	春	動物	鶯
2894	竹藪や鶯の鳴く窓二つ	25	春	動物	鶯
2895	掘割やなく鶯の両かわに	25	春	動物	鶯
2896	鶯に明石の城の夜明哉	26	春	動物	鶯
2897	鶯に撥投げつけん破れ窓	26	春	動物	鶯
2898	鶯に胸うちさわぐ初音哉	26	春	動物	鶯
2899	鶯に名所の声は何となく	26	春	動物	鶯
2900	鶯の淡路へわたる日和哉	26	春	動物	鶯
2901	鶯の一日鳴くや塚の松	26	春	動物	鶯
2902	鶯の梅に下痢する余寒かな	26	春	動物	鶯
2903	鶯の覚束なくも初音哉	26	春	動物	鶯
2904	鶯の来る事にする小藪哉	26	春	動物	鶯
2905	鶯の黒焼もかな上根岸	26	春	動物	鶯
2906	鶯の声に明け行く筑波哉	26	春	動物	鶯
2907	鶯の下に庭掃く男かな	26	春	動物	鶯
2908	鶯のせはしうなりぬ夕嵐	26	春	動物	鶯
2909	鶯の啼きそこなふて逃にけり	26	春	動物	鶯
2910	鶯のなくや三くだり半許り	26	春	動物	鶯
2911	鶯の根岸の里はかしかまし	26	春	動物	鶯
2912	鶯の初音は風にとらけり	26	春	動物	鶯
2913	鶯の二ツになつて逃にけり	26	春	動物	鶯
2914	鶯の二つになりてだまりけり	26	春	動物	鶯
2915	鶯の糞の黒さよ篠の雪	26	春	動物	鶯
2916	鶯の糞の黒さよ笹の雪	26	春	動物	鶯
2917	鶯の糞の黒さよ豆腐汁	26	春	動物	鶯
2918	鶯のむれて見舞を申す也	26	春	動物	鶯
2919	鶯は坊のものぢやとおしやりけり	26	春	動物	鶯
2920	鶯はやさしきものゝ哀れなり	26	春	動物	鶯
2921	鶯は女に似たり松の枝	26	春	動物	鶯
2922	鶯や朝寝を起す人もなし	26	春	動物	鶯
2923	鶯や雨にもぬれず松のあひ	26	春	動物	鶯
2924	鶯や梅には居らで松の中	26	春	動物	鶯
2925	鶯や梅のあたりに声がする	26	春	動物	鶯
2926	鶯や梅へも竹へも柳へも	26	春	動物	鶯
2927	鶯や奥商人とつれたちて	26	春	動物	鶯
2928	鶯や表通りは馬の鈴	26	春	動物	鶯
2929	鶯や神の火残る杉の杜	26	春	動物	鶯
2930	鶯やからたちくゞる身のひねり	26	春	動物	鶯
2931	鶯や京へ売らるゝ小傾城	26	春	動物	鶯
2932	鶯や黒木つたひに八瀬大原	26	春	動物	鶯
2933	鶯や黒木つたひに八瀬小原	26	春	動物	鶯
2934	鶯や琴柱はつれて逃て行	26	春	動物	鶯
2935	鶯やこの山もまた汽車の音	26	春	動物	鶯
2936	鶯や小藪の奥の片庇	26	春	動物	鶯
2937	鶯や里へ売らるゝ小傾城	26	春	動物	鶯
2938	鶯や十万石をふみつけて	26	春	動物	鶯
2939	鶯や新聞売りの鈴の音	26	春	動物	鶯
2940	鶯や竹の中道牛帰る	26	春	動物	鶯
2941	鶯や竹の柱の離れ部屋	26	春	動物	鶯
2942	鶯や竹へも梅へも柳へも	26	春	動物	鶯
2943	鶯や旅駕籠おろす箱根山	26	春	動物	鶯

2944	鶯や主税今年々十七	26	春	動物	鶯
2945	鶯や白水流す垣の外	26	春	動物	鶯
2946	鶯や年々ふゑる梅の花	26	春	動物	鶯
2947	鶯や隣へ通ふ犬くゞり	26	春	動物	鶯
2948	鶯やとりつく沖の大鳥居	26	春	動物	鶯
2949	鶯や鳴きそこなふて風になる	26	春	動物	鶯
2950	鶯や畠境の小笹垣	26	春	動物	鶯
2951	鶯や畠つゞきの寺の庭	26	春	動物	鶯
2952	鶯や左の耳は馬の鈴	26	春	動物	鶯
2953	鶯や人を尋ぬる隅田川	26	春	動物	鶯
2954	鶯や人を見て居る逃げかゝる	26	春	動物	鶯
2955	鶯や真葛か原の思ひもの	26	春	動物	鶯
2956	鶯や馬子を相手の鈴鹿越	26	春	動物	鶯
2957	鶯や又この山も汽車の音	26	春	動物	鶯
2958	鶯や山から京へ三十里	26	春	動物	鶯
2959	鶯や大和を出る翁あり	26	春	動物	鶯
2960	鶯や行けば飛びのく竹の藪	26	春	動物	鶯
2961	腰元は藪鶯の在所かな	26	春	動物	鶯
2962	雀より鶯多き根岸哉	26	春	動物	鶯
2963	摺小木に鶯とまる根岸哉	26	春	動物	鶯
2964	とびこんで鶯見えぬ柳哉	26	春	動物	鶯
2965	鶯や小藪の中に寺一つ	27	春	動物	鶯
2966	鶯にわがくふだけの畠哉	27	春	動物	鶯
2967	鶯の梅島村に笠買はん	27	春	動物	鶯
2968	鶯の小村より菜をつんで来る	27	春	動物	鶯
2969	鶯の尻のす見たり檐の梅	27	春	動物	鶯
2970	鶯の飛で出でけり笹の中	27	春	動物	鶯
2971	鶯の宿に僧ありとろゝ汁	27	春	動物	鶯
2972	鶯の吉野を出たる初音かな	27	春	動物	鶯
2973	鶯や梅の木つたひ都まで	27	春	動物	鶯
2974	鶯や梅の湯戻り五六町	27	春	動物	鶯
2975	鶯や軽石さげて風呂戻り	27	春	動物	鶯
2976	鶯や枯木の中の一軒家	27	春	動物	鶯
2977	鶯や官林の樹木伐るべからず	27	春	動物	鶯
2978	鶯やこゝもことしは新屋敷	27	春	動物	鶯
2979	鶯よ名所の声は何となく	26	春	動物	鶯
2980	鶯やしんかんとして南禅寺	27	春	動物	鶯
2981	鶯や団子くひ行くうつ山	27	春	動物	鶯
2982	鶯や筑波紫の朝ぼらけ	27	春	動物	鶯
2983	鶯や女車の加茂詣	27	春	動物	鶯
2984	勅なるぞ深山鶯はや来鳴け	27	春	動物	鶯
2985	啼きやめて鶯逃げぬ垣の外	27	春	動物	鶯
2986	なきやめばうくひすにけぬ垣の外	27	春	動物	鶯
2987	鶯に小判投げたる禿かな	28	春	動物	鶯
2988	鶯の足跡細し鍋の尻	28	春	動物	鶯
2989	鶯の口のさきなり三万戸	28	春	動物	鶯
2990	鶯の啼けばなつかし嵯峨の家	28	春	動物	鶯
2991	鶯のものしり顔に初音哉	28	春	動物	鶯
2992	鶯は飛んで酢瓶の匂ひ哉	28	春	動物	鶯
2993	鶯や顔見られたる道の端	28	春	動物	鶯
2994	鶯や小山の裾の卵塔場	28	春	動物	鶯
2995	鶯や男生るゝ午の刻	28	春	動物	鶯
2996	琴やめて鶯聞くや下屋敷	28	春	動物	鶯
2997	棧橋に鶯啼くや向島	28	春	動物	鶯
2998	神殿や鶯走るとゆの中	28	春	動物	鶯
2999	どこやらに鶯啼くよ出でゝ見ん	28	春	動物	鶯
3000	井戸端や鶯遊ぶ鍋の蓋	28	春	動物	鶯
3001	鶯に顔見らるゝも恥かしや	29	春	動物	鶯
3002	鶯に煙のかゝる伏家かな	29	春	動物	鶯
3003	鶯の今朝も啼くなり櫓の枝	29	春	動物	鶯
3004	鶯の鐘楼に鳴くや朝の内	29	春	動物	鶯
3005	鶯のすねてだまりし寒さ哉	29	春	動物	鶯
3006	鶯の鳴きさうな家ばかりなり	29	春	動物	鶯
3007	鶯の鳴けども腰の立たぬなり	29	春	動物	鶯

3008	鶯の一声雀の十声哉	29	春	動物	鶯
3009	鶯の見まはしておいてちよいと鳴く	29	春	動物	鶯
3010	鶯や江戸を見下す坂の上	29	春	動物	鶯
3011	鶯やお上屋敷の供揃へ	29	春	動物	鶯
3012	鶯や垣をへだてゝ君と我	29	春	動物	鶯
3013	鶯や銃さげて森を出づる人	29	春	動物	鶯
3014	鶯や畠づたひに野から来る	29	春	動物	鶯
3015	鶯や低い茶の木の中で鳴く	29	春	動物	鶯
3016	鶯や路に垂れたる竹の枝	29	春	動物	鶯
3017	椽の下に鶯鳴くや知恩院	29	春	動物	鶯
3018	汽車の音鶯逃げてしまひけり	29	春	動物	鶯
3019	さすが鶯鼻などは飛び込まず	29	春	動物	鶯
3020	岨道に鶯聞くと馬の上	29	春	動物	鶯
3021	飯たかぬ朝も鶯啼きにけり	29	春	動物	鶯
3022	鶯に米の飯くふ根岸かな	30	春	動物	鶯
3023	鶯に目さめたまはぬ悲しさよ	30	春	動物	鶯
3024	鶯のうたゝ眼白の眼を妬む	30	春	動物	鶯
3025	鶯の籠をかけた上根岸	30	春	動物	鶯
3026	鶯の松になく也寛永寺	30	春	動物	鶯
3027	鶯もよい時来たり庵の閑	30	春	動物	鶯
3028	鶯や寺子屋に行く道の藪	30	春	動物	鶯
3029	鶯や陵拜む門の外	30	春	動物	鶯
3030	鶯横町塀に梅なく柳なし	30	春	動物	鶯
3031	梅が枝にあれ鶯が鶯が	30	春	動物	鶯
3032	木さへあれば鶯啼くや垣つたひ	30	春	動物	鶯
3033	寺町の鶯鳴くや垣つたひ	30	春	動物	鶯
3034	十日ばかり鶯遅し椎の雨	30	春	動物	鶯
3035	櫓の木や鶯来鳴く家の北	30	春	動物	鶯
3036	根岸行けば鶯なくや垣の内	30	春	動物	鶯
3037	我病んで鶯を待つ西枕	30	春	動物	鶯
3038	鶯や椽に捨てたる小三味線	31	春	動物	鶯
3039	鶯や川そひ小路寺の裏	31	春	動物	鶯
3040	鶯の荊飛び出て鳴にけり	32	春	動物	鶯
3041	鶯の来もせで松の雀かな	33	春	動物	鶯
3042	鶯の踏んたる跡もなかりけり	33	春	動物	鶯
3043	蓬つむや鶯遅き蟹か里	35	春	動物	鶯
3044	ふる様なひばりの声やけふの晴	22	春	動物	雲雀
3045	家の上に雲雀鳴きけり町はづれ	23	春	動物	雲雀
3046	半日は空にあそぶや舞雲雀	23	春	動物	雲雀
3047	牛は野に雲雀は空やまほ片帆	24	春	動物	雲雀
3048	馬の背に雲雀は高く麦低し	24	春	動物	雲雀
3049	馬の背や雲雀は高く麦低し	24	春	動物	雲雀
3050	晴れきつた空やひばりの声高し	24	春	動物	雲雀
3051	雲雀なく其下や花に草枕	24	春	動物	雲雀
3052	よく見ればたつた一羽の雲雀哉	24	春	動物	雲雀
3053	我顔に雲雀落つるや草まくら	24	春	動物	雲雀
3054	五六尺不二を離るゝひばりかな	25	春	動物	雲雀
3055	野は暗く雲雀一羽の夕日哉	25	春	動物	雲雀
3056	一ツ家の空はひばりの嵐かな	25	春	動物	雲雀
3057	雲雀野や花嫁鞍にしがみつく	25	春	動物	雲雀
3058	雲雀野や眼障りになる不二の山	25	春	動物	雲雀
3059	化し野の露にそだちし雲雀哉	26	春	動物	雲雀
3060	霞から真下に下す雲雀哉	26	春	動物	雲雀
3061	から白に落て消たる雲雀かな	26	春	動物	雲雀
3062	声ばかり見えて雲雀の上り下り	26	春	動物	雲雀
3063	菅笠の音は雲雀の礫かな	26	春	動物	雲雀
3064	大砲の煙の上や舞雲雀	26	春	動物	雲雀
3065	大砲の煙を下に舞雲雀	26	春	動物	雲雀
3066	とんと落ちつゝと上りて雲雀哉	26	春	動物	雲雀
3067	呼べば呼ぶ草と霞の雲雀哉	26	春	動物	雲雀
3068	天つ雲雀霞となりて失せにけり	26	春	動物	雲雀
3069	馬細く雲雀鳴く野の広さ哉	27	春	動物	雲雀
3070	旅人の舟に仰向く雲雀哉	27	春	動物	雲雀
3071	鳥さしを見下ろして居る雲雀哉	27	春	動物	雲雀

3072	一雨にしほれて落つる雲雀かな	27	春	動物	雲雀
3073	雲雀より外は動かぬ日和哉	27	春	動物	雲雀
3074	吹かるゝや鳴門の上の舞雲雀	27	春	動物	雲雀
3075	山陰を斜にのぼる雲雀哉	27	春	動物	雲雀
3076	昼中や雲にとまりて鳴く雲雀	28	春	動物	雲雀
3077	舞雲雀捨身になつて落つる也	28	春	動物	雲雀
3078	舞雲雀捨身になりて落る也	28	春	動物	雲雀
3079	麦畑や驢馬の耳より舞雲雀	28	春	動物	雲雀
3080	山畑や雲より落つる舞雲雀	28	春	動物	雲雀
3081	旅人の城へ上るや舞雲雀	29	春	動物	雲雀
3082	灯ちらちら夕日の雲雀寝に下りる	29	春	動物	雲雀
3083	一つ家の風呂の中より舞雲雀	29	春	動物	雲雀
3084	灯ともすや畑の雲雀寝に下りる	29	春	動物	雲雀
3085	よく聞けば畠の中の雲雀哉	29	春	動物	雲雀
3086	市川の渡し渡れば雲雀哉	30	春	動物	雲雀
3087	鶯も啼くそ雲雀も囀るそ	31	春	動物	雲雀
3088	子雲雀のそだつ日頃や麦の風	32	春	動物	雲雀
3089	神の子に追はれて上る雲雀かな	34	春	動物	雲雀
3090	雲雀派と蛙派と歌の議論かな	34	春	動物	雲雀
3091	きえ残る星のなきけり揚雲雀	22	春	動物	揚雲雀
3092	晴天やこゝもかしこも揚雲雀	22	春	動物	揚雲雀
3093	晴天や声のふりくる揚ひばり	22	春	動物	揚雲雀
3094	足もとのすみれふみけり揚雲雀	23	春	動物	揚雲雀
3095	江戸までは見えじ浪華の揚雲雀	23	春	動物	揚雲雀
3096	きえ残る星と間近や揚ひばり	23	春	動物	揚雲雀
3097	雲をふみ霞を吸ふや揚雲雀	23	春	動物	揚雲雀
3098	これ見よといはぬ許りや揚雲雀	23	春	動物	揚雲雀
3099	どこへ行くも声は真上や揚雲雀	23	春	動物	揚雲雀
3100	目の役を耳にゆづるや揚雲雀	23	春	動物	揚雲雀
3101	揚雲雀下に菜畑麦畑	24	春	動物	揚雲雀
3102	馬の背に菅笠広し揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3103	落ち行けば隣のくにや揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3104	おりるかと待てばきえけり揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3105	子や帰る一寸見てこよ揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3106	すげ笠の着具合わるし揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3107	菜の花を上から見るか揚げ雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3108	はしょつたる裾の落つるや揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3109	花あらは我に教えよ揚雲雀	24	春	動物	揚雲雀
3110	あれとれと乳母をせがむや揚雲雀	25	春	動物	揚雲雀
3111	追かけて犬の吠けり揚ひばり	25	春	動物	揚雲雀
3112	下りゆけ八隣の国や揚雲雀	25	春	動物	揚雲雀
3113	陽炎のもつれてあがるひばり哉	25	春	動物	揚雲雀
3114	峠まで来ても真上や揚雲雀	25	春	動物	揚雲雀
3115	蝶々の中つきわけて揚雲雀	25	春	動物	揚雲雀
3116	年よりの杖にすかるやあげひばり	25	春	動物	揚雲雀
3117	飛びにくうないか真上へ揚ひばり	25	春	動物	揚雲雀
3118	鳥部山煙にそれて揚雲雀	25	春	動物	揚雲雀
3119	盗人の昼寝の上や揚雲雀	25	春	動物	揚雲雀
3120	輪に吹いた煙草の煙や揚ひばり	25	春	動物	揚雲雀
3121	揚雲雀啼くや我田の見えぬ時	26	春	動物	揚雲雀
3122	揚雲雀都の家を数へ居る	26	春	動物	揚雲雀
3123	夕風に寒ささそふや揚雲雀	26	春	動物	揚雲雀
3124	夕雲雀もつと揚つて消えて見よ	26	春	動物	揚雲雀
3125	吉原や真昼の頃の揚雲雀	26	春	動物	揚雲雀
3126	世の中を下ににらみて揚雲雀	26	春	動物	揚雲雀
3127	新田にたまさかあがる雲雀哉	27	春	動物	揚雲雀
3128	新田にたまたま揚る雲雀哉	27	春	動物	揚雲雀
3129	雲雀落ち雲雀揚り人鎌を荷ふ	27	春	動物	揚雲雀
3130	麦畑や驢馬の耳より揚雲雀	28	春	動物	揚雲雀
3131	一つ家の風呂の中より揚雲雀	29	春	動物	揚雲雀
3132	雲雀今揚りぬそこに巢やあらん	29	春	動物	揚雲雀
3133	磯畑や干鰯を出でゝ揚雲雀	30	春	動物	揚雲雀
3134	鶯なくや花も実もなき梅嫌	26	春	動物	鶯
3135	こよひこそ嬉しそうなり雉の声	20	春	動物	雉

3136	にげて行く雉うつくしや筒のさき	23	春	動物	雉
3137	山道や足もとに雉子野に雲雀	23	春	動物	雉
3138	雉啼や草に一筋風の道	25	春	動物	雉
3139	子に鳴いて見せるか雉の高調子	25	春	動物	雉
3140	足引の山もさけよと雉の声	26	春	動物	雉
3141	一村は谷の底なり雉の声	26	春	動物	雉
3142	岩角をふんばる雉の高ね哉	26	春	動物	雉
3143	うしろから白む端山の雉の声	26	春	動物	雉
3144	雉子鳴く嵯峨野の奥や雨ほろほろ	26	春	動物	雉
3145	雉鳴くや背丈にそろふ小松原	26	春	動物	雉
3146	雉鳴くや庭の中なる東山	26	春	動物	雉
3147	雉の鳴く嵯峨野の奥や雨ほろほろ	26	春	動物	雉
3148	けんどんな庄屋なにと雉哉	26	春	動物	雉
3149	豆腐屋の豆腐を崩す雉の声	26	春	動物	雉
3150	泊り山夢見る雉の声すなり	26	春	動物	雉
3151	はりつめし親の心や雉の声	26	春	動物	雉
3152	我もいざ焼野の雉に音をそへん	26	春	動物	雉
3153	尾のさきのつゝじに余る雉哉	26	春	動物	雉
3154	今更に悲しき籠の雉子かな	27	春	動物	雉
3155	生れ落ちて雉蛇をくふ勢ひあり	27	春	動物	雉
3156	雉聞て山に上れば白帆かな	27	春	動物	雉
3157	雉の尾や葎に隠れ松に見え	27	春	動物	雉
3158	山道や人去て雉あらはるゝ	27	春	動物	雉
3159	折々に雉子飛び立つ広野哉	27	春	動物	雉
3160	折々は雉子飛立つ広野かな	27	春	動物	雉
3161	雉啼いて磐梯山の崩れけり	28	春	動物	雉
3162	雉鳴くや雲裂けて岩現はるゝ	28	春	動物	雉
3163	雉鳴くや雲裂けて山あらはるゝ	28	春	動物	雉
3164	雉鳴くや那須の裾山家もなし	28	春	動物	雉
3165	木曾川や舟危しと雉の鳴く	28	春	動物	雉
3166	姫松に身を隠したる雉子哉	28	春	動物	雉
3167	雉しきりに鳴いて其後声もなし	29	春	動物	雉
3168	四五寸の葎に雉の見えずなりぬ	29	春	動物	雉
3169	平沙万里草少しありて雉の声	29	春	動物	雉
3170	雉一羽吊りし山路の茶店哉	30	春	動物	雉
3171	雉追へば隠れ又追へば終に飛びぬ	30	春	動物	雉
3172	裾山や雉子隠るゝ杉の苗	30	春	動物	雉
3173	裾山や雉子くゝりゆく杉の苗	30	春	動物	雉
3174	雉鳴て日の出る旅の朝かな	32	春	動物	雉
3175	雉の子をつかんで帰る童哉	32	春	動物	雉
3176	雉の子を取りて帰るや雉の声	32	春	動物	雉
3177	雉の尾のつゝじにさはる長さ哉	32	春	動物	雉
3178	知らぬ野を通る旅路や雉の声	32	春	動物	雉
3179	野を焼いて雉子は啼かずなりにけり	32	春	動物	雉
3180	蛇にまかれて鳴くか雉の声	32	春	動物	雉
3181	尾をかはず雉の番や台の上	32	春	動物	雉
3182	雉提げし主や狗の手柄顔	33	春	動物	雉
3183	雉なくや燃ゆる涙の血写経	33	春	動物	雉
3184	三寸の麦のいづこになく鶉	26	春	動物	麦鶉
3185	麦鶉猫の夢見て鳴きにけり	26	春	動物	麦鶉
3186	瘦村の昼静かなり麦鶉	26	春	動物	麦鶉
3187	たまたまに鶉なくなり麦畠	27	春	動物	麦鶉
3188	麦畠たまさか鶉啼きにけり	27	春	動物	麦鶉
3189	麦一畝二うね鶉三四声	27	春	動物	麦鶉
3190	朝鷹の眼に有明のうつり哉	26	春	動物	朝鷹
3191	去年の巢を尋ねて来たり燕	18	春	動物	燕
3192	つき当るまで一息に乙鳥	22	春	動物	燕
3193	つきあたる迄一いきに燕哉	22	春	動物	燕
3194	燕の飛ぶや町家の蔵がまへ	22	春	動物	燕
3195	燕や間違へさうな家の向き	22	春	動物	燕
3196	壁ぬりの小手先すかすつばめ哉	25	春	動物	燕
3197	大仏を取て返すや燕	25	春	動物	燕
3198	燕の何聞くふりぞ電信機	25	春	動物	燕
3199	燕の鼻先くゝる小家哉	25	春	動物	燕

3200	燕の折々くゝる小家かな	25	春	動物	燕
3201	燕や二つにわれし尾のひねり	25	春	動物	燕
3202	とろとろと左官眠るや燕	25	春	動物	燕
3203	長町のかどや燕の十文字	25	春	動物	燕
3204	鼻先を燕くゝる小家哉	25	春	動物	燕
3205	行き行きてひらりと返す燕哉	25	春	動物	燕
3206	あら海や燕ゆらるゝ椀の上	26	春	動物	燕
3207	あら波や燕ゆらるゝ椀の上	26	春	動物	燕
3208	烏帽子屋の店に舞ひけり燕	26	春	動物	燕
3209	高どのや雲に巢をくふ燕	26	春	動物	燕
3210	燕に祇王の家は知られけり	26	春	動物	燕
3211	燕の足より太し泥のあと	26	春	動物	燕
3212	燕のとびかふ下や蓮根堀	26	春	動物	燕
3213	燕の普請出来たり春の風	26	春	動物	燕
3214	燕の窓にゐならぶ田舎哉	26	春	動物	燕
3215	燕や腹ぬらしたる波かしら	26	春	動物	燕
3216	燕や昼餉の煙立ちしきる	26	春	動物	燕
3217	時頼の留守にも来たり燕	26	春	動物	燕
3218	腹つけて燕とび行く小川哉	26	春	動物	燕
3219	引舟に乗て引かるゝ燕哉	26	春	動物	燕
3220	引舟にひかれて上る燕哉	26	春	動物	燕
3221	本町のかどや燕の十文字	26	春	動物	燕
3222	松島や松に巢をくふ燕	26	春	動物	燕
3223	山里は梅さく頃の燕哉	26	春	動物	燕
3224	浅草の本堂めぐる乙鳥哉	27	春	動物	燕
3225	馬の尾やひらりとかはす乙鳥	27	春	動物	燕
3226	大橋の長さをはかる乙鳥哉	27	春	動物	燕
3227	大仏につきあたりたる燕哉	27	春	動物	燕
3228	燕太平洋へのして行く	27	春	動物	燕
3229	燕やくねりて長き千住道	27	春	動物	燕
3230	燕や千住女郎をなぶり行	27	春	動物	燕
3231	裏町や窮屈さうに飛ぶ燕	28	春	動物	燕
3232	大家の建坪はかる燕哉	28	春	動物	燕
3233	大橋や群衆の中の燕	28	春	動物	燕
3234	川舟の上を越え行く燕哉	28	春	動物	燕
3235	戦ひのあとに少き燕哉	28	春	動物	燕
3236	燕につきあたりけり燕	28	春	動物	燕
3237	燕のいそがしがるもあはれなり	28	春	動物	燕
3238	燕の取て返すや袋町	28	春	動物	燕
3239	燕や酒蔵つゞく灘伊丹	28	春	動物	燕
3240	金谷より島田へ通ふ燕哉	29	春	動物	燕
3241	川中や島田金谷の燕	29	春	動物	燕
3242	燕の吹きかへさるゝ嵐かな	29	春	動物	燕
3243	行列につきあたりたる燕かな	29	春	動物	燕
3244	淋しさや人に驚く燕	29	春	動物	燕
3245	すれ違ふ汽車の小窓の燕哉	29	春	動物	燕
3246	燕のうしろも向かぬ別れ哉	29	春	動物	燕
3247	燕の巢迄うつしてしまひけり	29	春	動物	燕
3248	燕の高く揚りし嵐かな	29	春	動物	燕
3249	燕やひらりひらりと町の中	29	春	動物	燕
3250	出女の声の中飛ぶ燕かな	29	春	動物	燕
3251	戸口出て左へ曲る燕哉	29	春	動物	燕
3252	日光の向ふ上りに燕かな	29	春	動物	燕
3253	我床を出る時燕室に入る	29	春	動物	燕
3254	大道をかたよつて飛び燕かな	31	春	動物	燕
3255	新しき主に馴るゝ燕哉	30	春	動物	燕
3256	逢阪の山を越え行く燕哉	31	春	動物	燕
3257	藍壺に泥落したる燕哉	31	春	動物	燕
3258	首途の日に見初めたる燕哉	31	春	動物	燕
3259	川舟の窓を掠むる燕哉	31	春	動物	燕
3260	燕の過ぎ行くあとや伝令使	31	春	動物	燕
3261	燕の物くはへ来る昼餉哉	31	春	動物	燕
3262	吊したる駕籠の埃や燕の巢	31	春	動物	燕
3263	海苔麩朶に遊ぶ漁村の燕哉	31	春	動物	燕

3264	もとの巢へ燕の卵返しけり	31	春	動物	燕
3265	自転車と路を争ふ燕かな	34	春	動物	燕
3266	燕や丁稚飯食ふ台所	34	春	動物	燕
3267	燕や根岸の町の幾曲り	34	春	動物	燕
3268	燕飛ぶ一筋町の駅かな	34	春	動物	燕
3269	村閑に郵便も来ぬ燕かな	34	春	動物	燕
3270	居酒屋によらで過ぎ行く燕かな	34	春	動物	燕
3271	空家や孕雀の夕稼	31	春	動物	孕雀
3272	捕へタル孕雀ヲ放チケリ	35	春	動物	孕雀
3273	子雀や大竹藪の広座敷	26	春	動物	雀の子
3274	雀子や日毎に声の高うなる	26	春	動物	雀の子
3275	井の上やあぶなくとまる雀の子	26	春	動物	雀の子
3276	井の陰に身ふるひするや雀の子	26	春	動物	雀の子
3277	絵馬堂に鳴くや子雀親雀	27	春	動物	雀の子
3278	雀子や人居らぬさまの壺伏せ	28	春	動物	雀の子
3279	寝おくれて鳴くや月夜の雀の子	28	春	動物	雀の子
3280	腹中に吹矢立ちけり雀の子	28	春	動物	雀の子
3281	垣に来て雀親呼ぶ声せはし	29	春	動物	雀の子
3282	雀子や学門にうとく見え給ふ	29	春	動物	雀の子
3283	干松や壺で伏せし雀の子	29	春	動物	雀の子
3284	雀子や馴れて物くふ掌	32	春	動物	雀の子
3285	雀の子忠三郎も二代かな	35	春	動物	雀の子
3286	いそがしや昼飯頃の親雀	26	春	動物	親雀
3287	子の口に餌をふくめたる雀哉	28	春	動物	親雀
3288	呼ぶは子よ何をくはへて親雀	28	春	動物	親雀
3289	人近く来るや雀の親心	30	春	動物	親雀
3290	草の家のあるじ頼むか雀の巢	26	春	動物	雀の巢
3291	春宮の軒端かしこし雀の巢	26	春	動物	雀の巢
3292	年々や藁家もすてず雀の巢	26	春	動物	雀の巢
3293	わが庵も打ち崩されし雀の巢	26	春	動物	雀の巢
3294	雀の巢産婆の檐は傾きぬ	27	春	動物	雀の巢
3295	人も来ず神殿古りて雀の巢	27	春	動物	雀の巢
3296	鳶の巢や樹下石上の座禅僧	26	春	動物	鳥の巢
3297	鳶の巢を見下す岨や五十丈	26	春	動物	鳥の巢
3298	鳥の巢や浮世はなれし塔の上	26	春	動物	鳥の巢
3299	鳥の巢や内藤様の奥御殿	26	春	動物	鳥の巢
3300	年々に鳥の巢をくふ古家哉	26	春	動物	鳥の巢
3301	屋根茸の鳥の巢のぞく夕日哉	26	春	動物	鳥の巢
3302	鳶の巢の下をつゝくやてらつゝき	27	春	動物	鳥の巢
3303	鶺鴒の巢くふ古木や石の堀	29	春	動物	鳥の巢
3304	巢やあらん樅の梢に鳥の声	29	春	動物	鳥の巢
3305	鶯の巢と見えて大きな卵哉	29	春	動物	鳥の巢
3306	鳥の巢や人に依る鳥依らぬ鳥	34	春	動物	鳥の巢
3307	鳥の巢を取らずに置かぬ童かな	34	春	動物	鳥の巢
3308	町中の高き銀杏や鴉の巢	34	春	動物	鳥の巢
3309	鳥の巢も頼むや子安観世音	35	春	動物	鳥の巢
3310	ぬくぬくと日向かゝえて鶏つるむ	25	春	動物	鳥の巢
3311	妻こひの鳥啼きたつる松か岡	26	春	動物	鳥の巢
3312	鳥さかる明屋の屋根の小草哉	26	春	動物	鳥の巢
3313	小鳥交る大鳥も交るべく	30	春	動物	鳥の巢
3314	口あけて屋根迄来るや鳥の子	29	春	動物	鳥の子
3315	親鳥の子を取られたる悲鳴かな	34	春	動物	鳥の子
3316	鳥の子の飛ぶ時親はなかりけり	35	春	動物	鳥の子
3317	巢立して鳩の居らざるから巢哉	32	春	動物	巢立
3318	巢立して鳩も居らざるから巢哉	32	春	動物	巢立
3319	細道のひたと消けり呼子鳥	25	春	動物	呼子鳥
3320	けものとも鳥ともいふや呼子鳥	26	春	動物	呼子鳥
3321	何やらの鳴く声すなり呼子鳥	26	春	動物	呼子鳥
3322	巫峡に猿あり化して鳥となる呼子鳥	26	春	動物	呼子鳥
3323	三井寺の鐘さびついて呼子鳥	26	春	動物	呼子鳥
3324	木母寺や柳は枯れて呼子鳥	26	春	動物	呼子鳥
3325	宵宵やたゞ鳴きくれて呼子鳥	26	春	動物	呼子鳥
3326	うしろから前から我を呼子鳥	27	春	動物	呼子鳥
3327	猿八見えてうしろに人を呼子鳥	28	春	動物	呼子鳥

3328	洗ひ髪顔にかゝるや帰る雁	25	春	動物	帰雁
3329	洗ひ髪つかんて見るや帰る雁	25	春	動物	帰雁
3330	帰る雁風船玉の行方哉	25	春	動物	帰雁
3331	越路から不二を見返せ帰る雁	25	春	動物	帰雁
3332	山を焼く煙の中や帰る雁	25	春	動物	帰雁
3333	あて人の田の米くふて帰る雁	26	春	動物	帰雁
3334	帰るかやあれあれ雁が向ふから	26	春	動物	帰雁
3335	帰る雁臙に奈良や見ゆらんか	26	春	動物	帰雁
3336	帰る雁七艘ならぶ船の上	26	春	動物	帰雁
3337	帰るとて雁は二つに分れけり	26	春	動物	帰雁
3338	帰るにも朋有り雁の二羽三羽	26	春	動物	帰雁
3339	雁金の背戸から立て帰りけり	26	春	動物	帰雁
3340	白い山白い山へと帰る雁	26	春	動物	帰雁
3341	なまぬるき水がいやのか帰る雁	26	春	動物	帰雁
3342	松前の雪が見えるか帰る雁	26	春	動物	帰雁
3343	道つれにせばやなふなふ帰る雁	26	春	動物	帰雁
3344	山をこす提灯もあり帰る雁	26	春	動物	帰雁
3345	今朝も雁帰りけり雁帰りけり	27	春	動物	帰雁
3346	帰る雁行く人さらになかりけり	28	春	動物	帰雁
3347	帆揚げゝり船出でけり雁帰りけり	28	春	動物	帰雁
3348	去なうかと相談し居る夜の雁	29	春	動物	帰雁
3349	椽端に見送る雁の名残哉	29	春	動物	帰雁
3350	帰る雁今不忍を立ちにけり	29	春	動物	帰雁
3351	殺生石の空や遙かに帰る雁	29	春	動物	帰雁
3352	大声に鳴き行く雁の名残哉	31	春	動物	帰雁
3353	行かんとして雁飛び戻る美人哉	31	春	動物	帰雁
3354	殺生石の空はるかなる帰雁かな	35	春	動物	帰雁
3355	鶴引て行くや海より峠より	26	春	動物	引鶴
3356	引鶴の又舞ひ戻る名残哉	26	春	動物	引鶴
3357	引鶴やいざわれのせて故郷へ	26	春	動物	引鶴
3358	引鶴や白根の雲に紛れ行	26	春	動物	引鶴
3359	引鶴や白根の雪に紛れ行く	26	春	動物	引鶴
3360	引鶴や鳶より上を飛んで行	26	春	動物	引鶴
3361	引鶴やまた切れ風をさそひ行	26	春	動物	引鶴
3362	引鶴や頼朝死して七百年	26	春	動物	引鶴
3363	鶴一羽楊州さして引きにけり	28	春	動物	引鶴
3364	鶴引クヤ蓬萊ノ松遠霞	35	春	動物	引鶴
3365	海原や一むれづゝの鳥帰る	27	春	動物	鳥帰る
3366	湖青しとりまく山々鳥帰る	27	春	動物	鳥帰る
3367	湖青し雪の比良三上鳥帰る	27	春	動物	鳥帰る
3368	湖青し雪の山々鳥帰る	27	春	動物	鳥帰る
3369	飼鳥は籠に馴けり鳥帰る	32	春	動物	鳥帰る
3370	帰る鳥帰らぬ鳥もまじりけり	32	春	動物	鳥帰る
3371	帰る鳥に行き違ひけり清水越	32	春	動物	鳥帰る
3372	恙なく鳥は帰りぬ小鳥網	32	春	動物	鳥帰る
3373	鉄砲のとゞかぬ空や鳥帰る	32	春	動物	鳥帰る
3374	鳥帰る蝦夷の広野や集治監	32	春	動物	鳥帰る
3375	もるともに帰れと鶉を放ちけり	32	春	動物	鳥帰る
3376	行く鳥や傾城国に帰る船	32	春	動物	鳥帰る
3377	鴨引いて小池淋しやさゝら波	34	春	動物	鳥帰る
3378	旅鴉帰る処もなかりけり	34	春	動物	鳥帰る
3379	鳥帰る空や関所のかざり槍	34	春	動物	鳥帰る
3380	すうすうと鳥雲に入てしまひけり	25	春	動物	鳥雲に入る
3381	すうすうと鳥雲に入るひゝき哉	25	春	動物	鳥雲に入る
3382	朝鳥のいくつ箱根の雲に入	26	春	動物	鳥雲に入る
3383	鳥の飛ぶ道や一すぢ雲に入	26	春	動物	鳥雲に入る
3384	みよしのや鳥は桜の雲に入	26	春	動物	鳥雲に入る
3385	鳥雲に湯谷は田舎へ帰りけり	34	春	動物	鳥雲に入る
3386	入り乱れ乱れつゝ百千鳥	26	春	動物	百千鳥
3387	きのふふゑけふふゑ明日や百千鳥	26	春	動物	百千鳥
3388	きのふふゑけふふゑ今や百千鳥	26	春	動物	百千鳥
3389	声遠し風におさるゝ百千鳥	26	春	動物	百千鳥
3390	百千鳥山の上よりあらはるゝ	26	春	動物	百千鳥
3391	すばまつて飛ぶやはさまの百千鳥	27	春	動物	百千鳥

3392	百千鳥柳少き関屋哉	32	春	動物	百千鳥
3393	囀りや十日許りは日和にて	26	春	動物	囀
3394	囀りの横町につゞく柳哉	27	春	動物	囀
3395	初蝶のさはれば折れる枯薄	26	春	動物	初蝶
3396	初蝶や氷見つけてとまらんとす	26	春	動物	初蝶
3397	蝶一ツ優しう出たり長堤	20	春	動物	蝶
3398	まだ花に心のこすか蝶の夢	20	春	動物	蝶
3399	蝶飛ぶや山は霞に遠くなる	23	春	動物	蝶
3400	蝶の飛ぶあたりに賤の摘菜哉	23	春	動物	蝶
3401	蝶ふたつ風にもつれて水の上	23	春	動物	蝶
3402	追ひかけた蝶や桜の河むかひ	24	春	動物	蝶
3403	てふてふやあひ宿たのむ草まくら	24	春	動物	蝶
3404	てふやてふや汝とならほどこまでも	24	春	動物	蝶
3405	さかさまに何の夢見る草の蝶	25	春	動物	蝶
3406	蝶蝶や順礼の子のおくれがち	25	春	動物	蝶
3407	蝶蝶やをさな子つまむ馬の沓	25	春	動物	蝶
3408	蝶一ツ迷ひこんだり大書院	25	春	動物	蝶
3409	蝶ふせた五器は欠けたり面白や	25	春	動物	蝶
3410	石に寝る蝶薄命の我を夢むらん	26	春	動物	蝶
3411	萍の生初て蝶のやどり哉	26	春	動物	蝶
3412	かへす田や何を尋ねて蝶一ツ	26	春	動物	蝶
3413	旅人のこゝにも寝たり笠の蝶	26	春	動物	蝶
3414	蝶くるや長押にかけし槍の先	26	春	動物	蝶
3415	蝶しばし舞ふや翁の夢の上	26	春	動物	蝶
3416	蝶々の黒きは男姿かな	26	春	動物	蝶
3417	蝶々や牛皆眠る八ツ下り	26	春	動物	蝶
3418	蝶々や下山の若衆たゞ一人	26	春	動物	蝶
3419	蝶々や人なき茶屋の十団子	26	春	動物	蝶
3420	蝶飛て琴ひく局々かな	26	春	動物	蝶
3421	蝶飛ぶや二子の山の山はづれ	26	春	動物	蝶
3422	蝶とぶや道々かはる子守歌	26	春	動物	蝶
3423	蝶ぬるや波にぬれたる石の上	26	春	動物	蝶
3424	蝶一つひらひらひらと又一つ	26	春	動物	蝶
3425	蝶一つ仏の花に狂ひけり	26	春	動物	蝶
3426	蝶舞ふや太刀ふりかざす居合抜	26	春	動物	蝶
3427	花売と蝶と別るゝ夕かな	26	春	動物	蝶
3428	一つとび一つとまるや花の蝶	26	春	動物	蝶
3429	ひらひらと風に流れて蝶一つ	26	春	動物	蝶
3430	横にくみ豎にほくれて蝶二つ	26	春	動物	蝶
3431	蓬生や蝶吹き返す夕嵐	26	春	動物	蝶
3432	大橋の裏に蝶飛ぶ日和哉	27	春	動物	蝶
3433	蝶追ふや旅人餅を喰ひながら	27	春	動物	蝶
3434	蝶々に手鞠あやつる唐子かな	27	春	動物	蝶
3435	蝶々や旅人になつて見たく思ふ	27	春	動物	蝶
3436	蝶ひらひら御橋の裏に朝日さす	27	春	動物	蝶
3437	人の背に蝶蝶なぶる小猿哉	27	春	動物	蝶
3438	傾城も居らず蝶飛ぶ仲の町	28	春	動物	蝶
3439	ひらひらと蝶々黄なり水の上	28	春	動物	蝶
3440	窓の影やとまりて動く蝶の羽	28	春	動物	蝶
3441	浅草や鳩の羽風離れ蝶	29	春	動物	蝶
3442	たましひは蝶に取られてもぬけ姫	29	春	動物	蝶
3443	虻よりも小き蝶の飛んで居る	30	春	動物	蝶
3444	椽へ出てたまたま蝶を見る日哉	30	春	動物	蝶
3445	写生并日堂成りて今や蝶を着く	30	春	動物	蝶
3446	蝶いろいろ揚羽山女郎なんと来る	30	春	動物	蝶
3447	蝶々の高く飛ぶ五階かな	30	春	動物	蝶
3448	蝶々や唐子行列して遊ぶ	30	春	動物	蝶
3449	蝶々や一かたまりになつて飛ぶ	30	春	動物	蝶
3450	野の道や書生美しき蝶を網す	30	春	動物	蝶
3451	箱の画や子供に蝶の羽生えたる	30	春	動物	蝶
3452	蝶飛ぶや双鞭將の鞭の尖	33	春	動物	蝶
3453	蝶飛ぶや人なき城に日のあたる	33	春	動物	蝶
3454	蝶飛んでゆすらの花のこぼれけり	33	春	動物	蝶
3455	菜の花を出でゝ飛び行く蝶黄なり	33	春	動物	蝶

3456	山越えて蝶見そむるや家少し	33	春	動物	蝶
3457	春の間に雄蝶雌蝶の銚子かな	34	春	動物	蝶
3458	蝶々や駅々ノ子守歌	35	春	動物	蝶
3459	蝶飛ブヤアダムモイブモ裸也	35	春	動物	蝶
3460	蝶飛や蘇山人の魂遊ぶらん	35	春	動物	蝶
3461	胡蝶飛ぶ簾のうちの人もなし	20	春	動物	胡蝶
3462	胡蝶飛び風吹き胡蝶又来る	23	春	動物	胡蝶
3463	菜の花のたましい遊ぶ胡蝶かな	23	春	動物	胡蝶
3464	うつ杖のはづれて嬉しとぶ胡蝶	24	春	動物	胡蝶
3465	こてふこてふ合宿たのむ草枕	24	春	動物	胡蝶
3466	こてふこてふさあこい我も花狂ひ	24	春	動物	胡蝶
3467	ちよとふせた笠の上飛ぶこてふ哉	24	春	動物	胡蝶
3468	ちよとふせて笠の上とぶ胡蝶哉	24	春	動物	胡蝶
3469	電信をはなれた道や飛ぶこてふ	24	春	動物	胡蝶
3470	花を見し其の夜の夢は胡蝶哉	24	春	動物	胡蝶
3471	道づれば胡蝶たのむやひとり旅	24	春	動物	胡蝶
3472	道づれば胡蝶をたのむ旅路哉	24	春	動物	胡蝶
3473	わらしの緒結ぶや笠にくるこてふ	24	春	動物	胡蝶
3474	わらじの緒結ぶや笠にとぶ胡蝶	24	春	動物	胡蝶
3475	五ツ六ツかたまつてとぶ胡蝶哉	25	春	動物	胡蝶
3476	風に来て石臼たのむ胡蝶哉	25	春	動物	胡蝶
3477	軽きものさにはあれと胡蝶哉	25	春	動物	胡蝶
3478	ちよとうせた笠の上飛ぶこてふ哉	25	春	動物	胡蝶
3479	ちる花と胡蝶とつひに別れけり	25	春	動物	胡蝶
3480	同行八胡蝶たのんで二人哉	25	春	動物	胡蝶
3481	迷ひ行く胡蝶哀れや小松原	25	春	動物	胡蝶
3482	見残した胡蝶の夢や遅桜	25	春	動物	胡蝶
3483	牛寝るや一かたまりに飛ぶ胡蝶	26	春	動物	胡蝶
3484	うつくしき胡蝶のはての浮世哉	26	春	動物	胡蝶
3485	垣こえて又低く飛ぶ胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3486	陽炎の中に舞ひこむ胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3487	草の葉に兎の這ひよる胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3488	くみあふて一つに見ゆる胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3489	胡蝶三つ二つ一つに分れけり	26	春	動物	胡蝶
3490	小比丘尼の抓みかねたる胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3491	そよそよと胡蝶の鬚のたわみ哉	26	春	動物	胡蝶
3492	近道をこえ行く山の胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3493	何色に染めても若き胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3494	二三町出舟追はへる胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3495	庭あれば花々あれば胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3496	猫の夢上に胡蝶の狂ひ哉	26	春	動物	胡蝶
3497	のとかさや亀の背中に寝る胡蝶	26	春	動物	胡蝶
3498	人もなし闕迦桶の花に舞ふ胡蝶	26	春	動物	胡蝶
3499	世の中の夢は夢見る胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3500	我儘をいはさぬ風の胡蝶哉	26	春	動物	胡蝶
3501	折々は馬の尾近し寝る胡蝶	26	春	動物	胡蝶
3502	あら海や風より下を飛ぶ胡蝶	27	春	動物	胡蝶
3503	海茫茫風より下をこてふとぶ	27	春	動物	胡蝶
3504	並松に人もなし胡蝶ひらりひらり	27	春	動物	胡蝶
3505	船橋のふわふわ動く胡蝶哉	27	春	動物	胡蝶
3506	水鉢の水のみに来る胡蝶哉	27	春	動物	胡蝶
3507	蜘蛛の巣に胡蝶のからのあはれ也	28	春	動物	胡蝶
3508	曳舟の綱にまつはる胡蝶哉	28	春	動物	胡蝶
3509	茨にかけし胡蝶の羽の破れたる	29	春	動物	胡蝶
3510	うつくしき胡蝶を網す嬉しさよ	30	春	動物	胡蝶
3511	虻の居る花に過ぎ行く胡蝶かな	33	春	動物	胡蝶
3512	いくさ負けて人なき城の胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3513	牛糞にとまらんとせし胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3514	ガラス戸の外を飛び行く胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3515	草荒れて人なき城の胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3516	胡蝶々として二つ飛び又一つ来る	33	春	動物	胡蝶
3517	菜畠に見失ひたる胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3518	菜畠を出でゝ飛び行く胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3519	庭に来る胡蝶うれしき病後哉	33	春	動物	胡蝶

3520	花多き隣へ去りし胡蝶哉	33	春	動物	胡蝶
3521	花くはぬ心たうとき蚕哉	25	春	動物	蚕
3522	花衣蚕の命いく千万	25	春	動物	蚕
3523	毛虫てふうき名のがれて蚕哉	26	春	動物	蚕
3524	賤が屋に蚕は白く牛黒し	26	春	動物	蚕
3525	ほちほちと桑くふ夜の蚕哉	26	春	動物	蚕
3526	熊蜂のふし穴のぞく日和哉	26	春	動物	蜂
3527	蜂一つ花なき此枝を上り行く	26	春	動物	蜂
3528	蜂一つ穴を尋ねて竹格子	27	春	動物	蜂
3529	草原や蜂を恐るゝ狐の子	28	春	動物	蜂
3530	蜂群れて飛びぬそこらに巣やあらん	29	春	動物	蜂
3531	目の上の瘤に蜂飛ぶ日和哉	30	春	動物	蜂
3532	葡萄酒の蜂の広告や一頁	31	春	動物	蜂
3533	熊蜂の巣を打落す恐哉	32	春	動物	蜂
3534	西洋の花に蜂去り蜂来る	32	春	動物	蜂
3535	憎まるゝ小僧は蜂にさゝれけり	32	春	動物	蜂
3536	蜂追ふて蜂の巣を取る子供哉	32	春	動物	蜂
3537	蜂にさゝれ大声あげて泣く子哉	32	春	動物	蜂
3538	蜂の子の蜂になること遅き哉	32	春	動物	蜂
3539	蜂の巣に蜂の居らざる日和哉	32	春	動物	蜂
3540	蜂の巣のありて蜂飛ぶ竹格子	32	春	動物	蜂
3541	蜂の巣や人の到らぬ堂の裏	32	春	動物	蜂
3542	蜂を飼ふ隣は蜂を憎む哉	32	春	動物	蜂
3543	人の目を螫したる蜂の怒哉	32	春	動物	蜂
3544	虻よ虻世にうとましき名なりけり	26	春	動物	虻
3545	馬の股ぬけつくゞりつ虻遊ぶ	26	春	動物	虻
3546	一鞭に打たれにけりな虻三つ	26	春	動物	虻
3547	一鞭に打ちすゑたりな虻二つ	26	春	動物	虻
3548	釣鐘を蹴落さんと虻の飛びめぐる	27	春	動物	虻
3549	大仏の鼻の穴より虻一つ	28	春	動物	虻
3550	蝶待つと端居し居れば虻の声	29	春	動物	虻
3551	ぶんぶんと虻の舞ひこむ馬の耳	29	春	動物	虻
3552	虻の声臍のあたりを飛去らず	30	春	動物	虻
3553	開帳の仏や虻の飛てくる	30	春	動物	虻
3554	障子明け居れば病床に虻の来る	30	春	動物	虻
3555	寺の春蚊の出るまでになりけり	26	春	動物	春の蚊
3556	独酌のある夜春の蚊あらはるゝ	26	春	動物	春の蚊
3557	春風の塵かと思れば蚊の一つ	26	春	動物	春の蚊
3558	春の蚊や一つとまりし雛の顔	26	春	動物	春の蚊
3559	古沼の芥に春の小魚かな	27	春	動物	春の魚
3560	藻かくれや春の小魚のちらちらと	27	春	動物	春の魚
3561	藻隠れや春の小魚のちろちろと	27	春	動物	春の魚
3562	栗ちる鱗は花か桜鯛	25	春	動物	桜鯛
3563	草の戸や桜の鯛に桃の酒	26	春	動物	桜鯛
3564	桜鯛頃は明石の月夜哉	26	春	動物	桜鯛
3565	松原や荷ひつれたる桜鯛	26	春	動物	桜鯛
3566	俎板に鱗ちりしく桜鯛	26	春	動物	桜鯛
3567	板の間にはねけり須磨の桜鯛	27	春	動物	桜鯛
3568	板の間にひちひちはねるさくらたい	27	春	動物	桜鯛
3569	洛陽の水に浮けり桜鯛	27	春	動物	桜鯛
3570	初会かな台に小さき春の鯛	31	春	動物	桜鯛
3571	飯蛸の手をひろげたり檐の花	25	春	動物	飯蛸
3572	飯蛸の手をひろげたるなごり哉	25	春	動物	飯蛸
3573	飯蛸の手をひろげたる檐端哉	25	春	動物	飯蛸
3574	飯草魚の花に死んだるほまれ哉	25	春	動物	飯蛸
3575	飯鱒や身を八つ裂きのなれのはて	26	春	動物	飯蛸
3576	飯蛸や雪にならべる越の国	26	春	動物	飯蛸
3577	飯蛸の大地をつかむで死る哉	27	春	動物	飯蛸
3578	飯蛸の蒼の花と見ゆるかな	28	春	動物	飯蛸
3579	飯蛸の蒼の花と見ゆるとな	28	春	動物	飯蛸
3580	飯蛸の蒼の花と見ゆるよな	28	春	動物	飯蛸
3581	手にとれば飯蛸笑ふけしきあり	28	春	動物	飯蛸
3582	白魚や紅見する花の陰	24	春	動物	白魚
3583	白魚や紅見すく花の陰	24	春	動物	白魚

3584	白魚や氷の中に生れけむ	24	春	動物	白魚
3585	あら笑止又白魚を買ひはづす	25	春	動物	白魚
3586	あら笑止やまた白魚を買ひはづす	25	春	動物	白魚
3587	この頃の月に肥えたる白魚哉	25	春	動物	白魚
3588	白魚かそもそも氷のかけなるか	25	春	動物	白魚
3589	白魚は霰ばかりの重さ哉	25	春	動物	白魚
3590	白魚や小判の色のあさましき	25	春	動物	白魚
3591	白魚や小判の色のむねわるさ	25	春	動物	白魚
3592	白魚やそめ物洗ふすみた川	25	春	動物	白魚
3593	白魚や物の命のとりはじめ	25	春	動物	白魚
3594	白魚をくぐって出るや都鳥	25	春	動物	白魚
3595	濁り江の闇路をたどる白魚哉	25	春	動物	白魚
3596	思ひきや白魚汐にそだつとは	26	春	動物	白魚
3597	白魚のすみ田河原と申さばや	26	春	動物	白魚
3598	白魚の其はらわたも猶白し	26	春	動物	白魚
3599	白魚のひんとすねたる姿かな	26	春	動物	白魚
3600	白魚や箸こぼれて煮る水	26	春	動物	白魚
3601	白魚や月の夜念仏もるともに	26	春	動物	白魚
3602	白魚や水へ戻さば泳ぐべし	26	春	動物	白魚
3603	白魚や椀の中にも角田川	26	春	動物	白魚
3604	網の目や白魚おちる二ツ三ツ	27	春	動物	白魚
3605	白魚瘦せて網の目もるゝわりなさよ	27	春	動物	白魚
3606	三日の月白魚生るゝ頃ならん	27	春	動物	白魚
3607	消えて零生きて目のある白魚かな	29	春	動物	白魚
3608	小夜更けて永代行けば白魚取る	31	春	動物	白魚
3609	白魚や氷を捨つる佃島	32	春	動物	白魚
3610	初鮎や宿に病気の親一人	26	春	動物	初鮎
3611	若鮎や石をころがす谷の水	23	春	動物	若鮎
3612	若鮎の二手になりて流れけり	25	春	動物	若鮎
3613	若鮎の二手になりて上りけり	25	春	動物	若鮎
3614	若鮎や早瀬つんきる身の細り	25	春	動物	若鮎
3615	若鮎の岩つきぬけん勢ひ哉	26	春	動物	若鮎
3616	若鮎や浮世の中をいそぎ行く	26	春	動物	若鮎
3617	鮎いまだ上らずといひぬ多摩の里	29	春	動物	若鮎
3618	一むれや水の色なる上り鮎	29	春	動物	若鮎
3619	見ればたゞ水の色なる小鮎哉	21	春	動物	小鮎
3620	牛若をたとへて見れば小鮎哉	25	春	動物	小鮎
3621	足もとに小鮎飛ぶなり夕まくれ	26	春	動物	小鮎
3622	うれしがりて早瀬に遊ぶ小鮎哉	26	春	動物	小鮎
3623	草にさして小鮎提げたり里童	26	春	動物	小鮎
3624	砂川に鍋ふみかへす小鮎かな	26	春	動物	小鮎
3625	玉川や小鮎たばしる晒し布	26	春	動物	小鮎
3626	ちらちらと小鮎ののぼる夕日哉	26	春	動物	小鮎
3627	小鮎ちろ小鮎ちろ小鮎ちろりちろり	27	春	動物	小鮎
3628	夕暮の雨ふり出だす小鮎哉	28	春	動物	小鮎
3629	夕暮の小雨ふり出す小鮎哉	28	春	動物	小鮎
3630	水浅く小鮎ばかりの早瀬哉	29	春	動物	小鮎
3631	砂川や小鮎ちらつく日の光り	29	春	動物	小鮎
3632	砂川や小鮎ちろつく日の光	29	春	動物	小鮎
3633	小鮎釣橋より上のわたり哉	32	春	動物	小鮎
3634	湖やもろこ釣る日の薄曇り	26	春	動物	諸子
3635	降り出すや頬冠するもろこ釣	35	春	動物	諸子
3636	足音にはつと散りけり柳鮠	26	春	動物	柳鮠
3637	土手三里こえて池あり柳鮠	26	春	動物	柳鮠
3638	膳の上にくへぬものあり桜貝	26	春	動物	桜貝
3639	蛤の荷よりこぼるゝうしほ哉	26	春	動物	蛤
3640	蛤を蹴て行く鹿や巖島	26	春	動物	蛤
3641	蛤の吐いたやうなる港かな	29	春	動物	蛤
3642	蛤の焼かれて口を開きける	29	春	動物	蛤
3643	蛤の中に泥鱧のもぐりたる	30	春	動物	蛤
3644	江の島の蛤分つ土産かな	31	春	動物	蛤
3645	蛤と海草をぬふ襦袢哉	31	春	動物	蛤
3646	野の方へひろがる町や蜷壳	33	春	動物	蜷
3647	面白や馬刀の居る穴居らぬ穴	26	春	動物	馬刀貝

3648	やどかりに我身の上を語らばや	26	春	動物	やどかり
3649	やどかりの家ふりすてゝ逃にけり	26	春	動物	やどかり
3650	やどかりの家を見すてゝ逃にけり	26	春	動物	やどかり
3651	やどかりも蟹のたくひか壇の浦	26	春	動物	やどかり
3652	やどかりやしはしは須磨の中納言	26	春	動物	やどかり
3653	二つ三つ一度に逃る寄居虫哉	33	春	動物	やどかり
3654	八重桜咲きけり芋に蛭汁	24	春	動物	蛭
3655	三寸の水を蛭のいのちかな	26	春	動物	蛭
3656	蛭堀闇一寸をさぐりけり	26	春	動物	蛭
3657	すり鉢に薄紫の蛭かな	26	春	動物	蛭
3658	よく見れば薄紫の蛭哉	26	春	動物	蛭
3659	桃柳桜の中を蛭壳	27	春	動物	蛭
3660	喃わらべ蛭はいくら蛤は	29	春	動物	蛭
3661	牛島や桜に早き蛭汁	30	春	動物	蛭
3662	手に満つる蛭うれしや友を呼ぶ	32	春	動物	蛭
3663	鶯の根岸の里や蛭汁	33	春	動物	蛭
3664	うつくしき砂に乏しき蛭哉	33	春	動物	蛭
3665	梅多き寺島村や蛭壳	33	春	動物	蛭
3666	からし菜の薑立つ頃や蛭汁	33	春	動物	蛭
3667	蛭籠提げ行く道の雫かな	33	春	動物	蛭
3668	蛭買ふ長屋の窓の高さ哉	33	春	動物	蛭
3669	蛭殻もとの流に捨てにけり	33	春	動物	蛭
3670	蛭掘るや閑居の村の境川	33	春	動物	蛭
3671	銭入れし袂結んで蛭掘	33	春	動物	蛭
3672	手拭に袂くゝりて蛭掘	33	春	動物	蛭
3673	花の背戸柳の路次や蛭壳	33	春	動物	蛭
3674	蛤は俗に墮ちたる蛭哉	33	春	動物	蛭
3675	紫の藤の細工や蛭殻	33	春	動物	蛭
3676	童行く道の雫や蛭籠	33	春	動物	蛭
3677	江戸詰モ已ニ久シヤ蛭汁	35	春	動物	蛭
3678	ある時は月にころがる田螺哉	25	春	動物	田螺
3679	馬引て松明ふれば田螺鳴く	26	春	動物	田螺
3680	売られては京の真中に鳴く田螺	26	春	動物	田螺
3681	売られてや京の真中に鳴く田螺	26	春	動物	田螺
3682	にぎやかに田螺鳴く夜や一軒家	26	春	動物	田螺
3683	雨晴れて夕月の欠を鳴く田螺	27	春	動物	田螺
3684	鶴下りて背戸の田螺をあさりける	27	春	動物	田螺
3685	塵塚や烏のつゝく田螺殻	28	春	動物	田螺
3686	小山田や田螺啼き出す雲の中	28	春	動物	田螺
3687	ころがりて住む世の中や田の田螺	29	春	動物	田螺
3688	八厘の飯や田螺は声で聞く	29	春	動物	田螺
3689	懼びぬれば田螺鳴くなり夜もすがら	29	春	動物	田螺
3690	水口に集まつて来る田螺哉	31	春	動物	田螺
3691	隠れ住む芹生の里や田螺和	32	春	動物	田螺
3692	水涸て草生えし田の田螺哉	32	春	動物	田螺
3693	もてなしの筍飯や田螺和	32	春	動物	田螺
3694	田螺売る野茶屋に藤の花早き	34	春	動物	田螺
3695	田螺取りて田螺売るなり家もなし	34	春	動物	田螺
3696	磊々として田螺落々として焼豆腐	34	春	動物	田螺
3697	梅のさく門は茶屋なりよきやすみ	18	春	植物	梅
3698	一枝やたましひかへす梅の花	20	春	植物	梅
3699	白梅やゆきかと見れば薫る枝	21	春	植物	梅
3700	うれしさや梅の盛を二度も見て	22	春	植物	梅
3701	風知らぬ梅もありけり片田舎	22	春	植物	梅
3702	瓶の梅吸ふやめじろの放し飼	22	春	植物	梅
3703	今年は二度まで見たり梅の花	22	春	植物	梅
3704	葉ばかりは窓を通すや梅の影	22	春	植物	梅
3705	老ひた木にからびつきけり梅の花	23	春	植物	梅
3706	きほひある老木のふりや梅の花	23	春	植物	梅
3707	咲き残る梅を力や春のかげ	23	春	植物	梅
3708	残梅を無残に折るや大入道	23	春	植物	梅
3709	白梅や雪かと見れば匂ふ枝	23	春	植物	梅
3710	開いたる文のかほるや窓の梅	23	春	植物	梅
3711	行く人に笑ひかゝるや野路の梅	23	春	植物	梅

3712	梅さくや藁屋四五軒犬の声	23	春	植物	梅
3713	鶯の奥に家あり梅の花	25	春	植物	梅
3714	梅ちらりちらりと松の木の間哉	25	春	植物	梅
3715	梅の花白きをもつてはじめとす	25	春	植物	梅
3716	片枝は磨鉢黒し梅の花	25	春	植物	梅
3717	くひついて古木に咲や梅の花	25	春	植物	梅
3718	古町より外側に古し梅の花	25	春	植物	梅
3719	白梅や煙草の煙消えて行く	25	春	植物	梅
3720	白梅やほつと朝日のふしの山	25	春	植物	梅
3721	大木に喰ひついてさく梅の花	25	春	植物	梅
3722	浪花津は梅もうけたり梅の花	25	春	植物	梅
3723	まだ咲いてゐまいと見れば梅の花	25	春	植物	梅
3724	万歳のお宿はどこぞ梅のはな	25	春	植物	梅
3725	万歳の鼓にひらく梅の花	25	春	植物	梅
3726	あはれなり大根畑の梅一木	26	春	植物	梅
3727	有明の山は豊後か梅の花	26	春	植物	梅
3728	銀杏とはどちらが古き梅の花	26	春	植物	梅
3729	家一つ梅五六本こゝもこゝも	26	春	植物	梅
3730	いも粥の名処よさて梅の花	26	春	植物	梅
3731	梅咲て夜食の粥のにがり哉	26	春	植物	梅
3732	梅さくや行尽江南数十程	26	春	植物	梅
3733	梅さくや泥田の中の下駄の跡	26	春	植物	梅
3734	梅にさへ都の人のさわぎ哉	26	春	植物	梅
3735	梅の散る頃より梅の開くまで	26	春	植物	梅
3736	梅の花ついたち頃の夕かな	26	春	植物	梅
3737	梅の花隣の蔵の黒さ哉	26	春	植物	梅
3738	梅もたぬ根岸の家はなかりけり	26	春	植物	梅
3739	うれしやな都出る日の梅日和	26	春	植物	梅
3740	老松を夫に見ばや梅の花	26	春	植物	梅
3741	老ながら一枝瘦せて梅の花	26	春	植物	梅
3742	面白や梅三本の旦那様	26	春	植物	梅
3743	蠣殻のうしろに白し梅の花	26	春	植物	梅
3744	柿畑に去来があとか梅の花	26	春	植物	梅
3745	傘さして雨の白梅折らはやな	26	春	植物	梅
3746	風引のあるじ持ちけり梅の花	26	春	植物	梅
3747	金杉や梅にかけたる売家札	26	春	植物	梅
3748	金杉や梅にかけたる貸家札	26	春	植物	梅
3749	鎌倉に旅人はなし梅の花	26	春	植物	梅
3750	京を出る旅人多し梅柳	26	春	植物	梅
3751	極楽や君が行く頃梅の花	26	春	植物	梅
3752	火燵から見える処に梅の花	26	春	植物	梅
3753	琴の尾や螺鈿に梅のちらし咲	26	春	植物	梅
3754	権妻の琴の稽古や梅の花	26	春	植物	梅
3755	咲くが如く萎むが如し梅の花	26	春	植物	梅
3756	さくまでは誰にも見せじ庵の梅	26	春	植物	梅
3757	三方は山めぐらして梅の花	26	春	植物	梅
3758	白梅に魂入りし月夜哉	26	春	植物	梅
3759	白梅やつひに都のものならず	26	春	植物	梅
3760	白梅や都にあれば三味の音	26	春	植物	梅
3761	旅人や鞍につけたる梅の花	26	春	植物	梅
3762	舎一つ二つは梅のすはえ哉	26	春	植物	梅
3763	豆腐屋も酒屋も近し梅の花	26	春	植物	梅
3764	どこまでも枯木と見せて梅の花	26	春	植物	梅
3765	名所に住むや梅さく只の家	26	春	植物	梅
3766	何といふ鳥かしらねど梅の枝	26	春	植物	梅
3767	日阪や宿とり外す梅の花	26	春	植物	梅
3768	鉢の梅浮世の義理に開きけり	26	春	植物	梅
3769	花になる枝とは見えず梅のふり	26	春	植物	梅
3770	春はまだ田舎の奥の梅の花	26	春	植物	梅
3771	ひしひしと杉の木の間や梅の花	26	春	植物	梅
3772	一枝は薬の瓶に梅の花	26	春	植物	梅
3773	病人が盆栽の梅咲きにけり	26	春	植物	梅
3774	病人が盆栽の梅も咲きにけり	26	春	植物	梅
3775	病人に一枝見せん梅の花	26	春	植物	梅

3776	また一つ星のふ糸けり梅の花	26	春	植物	梅
3777	松一木あちらむきけり梅の中	26	春	植物	梅
3778	瑞垣や杉ほの暗く梅白し	26	春	植物	梅
3779	簑虫は留守かお宿か梅の花	26	春	植物	梅
3780	室の梅花なき春は来たりけり	26	春	植物	梅
3781	山里や大根干す木に梅の花	26	春	植物	梅
3782	山寺に京の客あり梅の花	26	春	植物	梅
3783	夕飯をのぞいて行くや里の梅	26	春	植物	梅
3784	わりなしや櫛にまじる梅の花	26	春	植物	梅
3785	居酒屋へいでまゐらせん梅一枝	26	春	植物	梅
3786	岡あれば宮宮あれば梅の花	26	春	植物	梅
3787	いたづらに梅老いけりな藪の中	27	春	植物	梅
3788	板塀や梅の根岸の幾曲り	27	春	植物	梅
3789	家五百ことごとく梅咲きにけり	27	春	植物	梅
3790	薄曇り名もなき梅を見に行かん	27	春	植物	梅
3791	梅咲て仁王の面の赤さかな	27	春	植物	梅
3792	梅咲て焼芋の煙細りけり	27	春	植物	梅
3793	梅咲くや黒板塀の曲り角	27	春	植物	梅
3794	梅咲くや瑞光殿の鈴の音	27	春	植物	梅
3795	梅さくや竹垣杉垣小柴垣	27	春	植物	梅
3796	梅さくや納豆を鬻ぐ法師あり	27	春	植物	梅
3797	梅咲くや普請出来たる大師堂	27	春	植物	梅
3798	梅さくや箱根荷ふ破れ袴	27	春	植物	梅
3799	梅さくや水をめぐらす人家幾村々	27	春	植物	梅
3800	梅さくや居酒屋の主発句よむ	27	春	植物	梅
3801	梅の花寒水石の寒さかな	27	春	植物	梅
3802	梅の花つどこの木賃に宿からむ	27	春	植物	梅
3803	梅柳川に臨みて誰が楼ぞ	27	春	植物	梅
3804	梅折つて筏土の流れ行くへかな	27	春	植物	梅
3805	梅を見て野を見て行きぬ草加迄	27	春	植物	梅
3806	奥山や屋根に石おく梅の花	27	春	植物	梅
3807	大城の廓残りて梅の花	27	春	植物	梅
3808	垣つゞき梅さく横町横町哉	27	春	植物	梅
3809	こゝぢやある家あり梅も咲て居る	27	春	植物	梅
3810	古書千巻文質彬々として梅の花	27	春	植物	梅
3811	琴の音梅の立枝は見えにけり	27	春	植物	梅
3812	咲たりや若木ながらも梅の花	27	春	植物	梅
3813	詩僧あり酒僧あり梅の園城寺	27	春	植物	梅
3814	白梅の籠になるまで咲きにけり	27	春	植物	梅
3815	聖像や月の白梅這ひ上る	27	春	植物	梅
3816	丈山の梅さきにけり詩仙堂	27	春	植物	梅
3817	鳥居より三町奥や梅の花	27	春	植物	梅
3818	何といふ寺とは知らず梅の花	27	春	植物	梅
3819	鍋提げて梅折る里の女かな	27	春	植物	梅
3820	根岸にて梅なき宿と尋ね来よ	27	春	植物	梅
3821	野の道や梅から梅へ六阿弥陀	27	春	植物	梅
3822	袴ぬいで梅の日曜土曜かな	27	春	植物	梅
3823	日影薄く梅の野茶屋の寒哉	27	春	植物	梅
3824	鯉くふや草加の宿の梅の花	27	春	植物	梅
3825	瓢箪の看板は何梅の花	27	春	植物	梅
3826	星一つ落ちて夜明の梅寒し	27	春	植物	梅
3827	松青く梅白し誰が柴の戸ぞ	27	春	植物	梅
3828	右へ町左へ梅の別れかな	27	春	植物	梅
3829	道狭く梅さげて行く女あり	27	春	植物	梅
3830	門ありて梅あり玄関はるかなり	27	春	植物	梅
3831	やけ跡や釣鐘堂の梅の花	27	春	植物	梅
3832	山城の廓残りて梅の花	27	春	植物	梅
3833	山寺の大摺鉢や梅の花	27	春	植物	梅
3834	龍老てのど首に梅の二三輪	27	春	植物	梅
3835	六文の銭盗まれぬ梅の花	27	春	植物	梅
3836	藁屋根の折り曲りけり梅の花	27	春	植物	梅
3837	有明の杉に隠れて梅の花	28	春	植物	梅
3838	一樹仰ぎ一樹伏し梅溪に臨む	28	春	植物	梅
3839	梅咲て今年七つのうなゐかな	28	春	植物	梅

3840	梅咲くや三千坊のその一つ	28	春	植物	梅
3841	梅さくや朋あり天の一方に	28	春	植物	梅
3842	梅の花北野によらぬ車あり	28	春	植物	梅
3843	梅の花柴門深く鎖しけり	28	春	植物	梅
3844	梅持て女乗りたる車かな	28	春	植物	梅
3845	梅藁屋建仁寺垣衡門	28	春	植物	梅
3846	梅を折る娘の顔や垣の上	28	春	植物	梅
3847	奥山や雲に交りて梅の花	28	春	植物	梅
3848	驚くや旅地に早き梅柳	28	春	植物	梅
3849	大原や黒木の中の梅の花	28	春	植物	梅
3850	首巻に顔包む人や梅の花	28	春	植物	梅
3851	首まきに顔をつゝむや梅の花	28	春	植物	梅
3852	咲きにけり廃院の梅五百本	28	春	植物	梅
3853	杉垣の外に一枝梅の花	28	春	植物	梅
3854	裾山や皇の中の梅一本	28	春	植物	梅
3855	僧や俗や梅活けて発句十五人	28	春	植物	梅
3856	染物のそばに梅咲く根岸哉	28	春	植物	梅
3857	谷川や橋朽ちて梅おもしろき	28	春	植物	梅
3858	茶畑やところどころに梅の花	28	春	植物	梅
3859	人や住む梅に戸ざして笛の音	28	春	植物	梅
3860	舟で行き歩で行く梅の十ヶ村	28	春	植物	梅
3861	古寺や律の中の梅の花	28	春	植物	梅
3862	仏刻む小窓に古りぬ梅の花	28	春	植物	梅
3863	仏黒く賓頭留赤し梅の花	28	春	植物	梅
3864	宿の梅三日おくれて口をしき	28	春	植物	梅
3865	山に倚り水に臨みて梅の花	28	春	植物	梅
3866	横町の又横町や梅の花	28	春	植物	梅
3867	蓬生の中にくねりて梅一木	28	春	植物	梅
3868	女そゞる梅折りなやむけしき哉	28	春	植物	梅
3869	朝月夜梅に飯たく匂ひかな	29	春	植物	梅
3870	いたはしや梅見て人の泣き給ふ	29	春	植物	梅
3871	いつきても比丘尼佇む梅の門	29	春	植物	梅
3872	梅咲て赤前垂の女哉	29	春	植物	梅
3873	梅咲て稻荷祭るや藪の家	29	春	植物	梅
3874	梅咲いて稻荷を祭る小家かな	29	春	植物	梅
3875	梅咲くや剣に仗つて吾起き上る	29	春	植物	梅
3876	梅の花柱かくしは東湖なり	29	春	植物	梅
3877	梅痩せて麦まばら也藪皇	29	春	植物	梅
3878	加賀様の梅咲きにけり堀の内	29	春	植物	梅
3879	加賀様を大屋に持つて梅の花	29	春	植物	梅
3880	崖急に梅ことごとく斜なり	29	春	植物	梅
3881	川上は梅も桜もなかりけり	29	春	植物	梅
3882	きぬぎぬの使来りぬ梅の花	29	春	植物	梅
3883	きぬぎぬの使参りぬ梅の花	29	春	植物	梅
3884	故人来れり何もてなさん梅の宿	29	春	植物	梅
3885	字拙きをあはれみたまへ梅の神	29	春	植物	梅
3886	白梅の白きを以て強きかな	29	春	植物	梅
3887	杉谷や有明映る梅の花	29	春	植物	梅
3888	大砲や城跡荒れて梅の花	29	春	植物	梅
3889	竹垣や戸口二つありて梅の花	29	春	植物	梅
3890	禿筆を塚に築きて梅の花	29	春	植物	梅
3891	点うつたやうに梅咲く杉の中	29	春	植物	梅
3892	二三匹馬繋ぎけり梅の門	29	春	植物	梅
3893	日影薄き小藪の中や梅の花	29	春	植物	梅
3894	古庭や鶴の餌に散る梅の花	29	春	植物	梅
3895	又けふも比丘尼佇む梅の門	29	春	植物	梅
3896	道ばたの千本幟梅の花	29	春	植物	梅
3897	焼け跡の家まばら也梅の花	29	春	植物	梅
3898	夢に美人来れり曰く梅の精と	29	春	植物	梅
3899	烈公の冠正し梅の花	29	春	植物	梅
3900	江東の梅少しく月におくれたり	30	春	植物	梅
3901	江東の梅少しく月におくれけり	30	春	植物	梅
3902	板堀や道窮つて梅の花	30	春	植物	梅
3903	梅植ん障子に影のさすやうに	30	春	植物	梅

3904	梅さくや門を鎖して黒き旗	30	春	植物	梅
3905	梅と棕櫚と野寺の門の内広し	30	春	植物	梅
3906	梅をいけて薑菜の花をあしらひし	30	春	植物	梅
3907	奥に灯あり梅園の門鎖したる	30	春	植物	梅
3908	瓶の口寛くして梅の倒れ易く	30	春	植物	梅
3909	巡查梅提げし男を叱る	30	春	植物	梅
3910	僧房の広き窓に梅の影疎なり	30	春	植物	梅
3911	机二つ盆梅を隔てゝ話す	30	春	植物	梅
3912	中道を中に梅さく籬哉	30	春	植物	梅
3913	野の道や人行く方へ行けば梅	30	春	植物	梅
3914	梅林の遥かに見ゆる水田哉	30	春	植物	梅
3915	墨竹の上に瓶梅の影を印す	30	春	植物	梅
3916	山にこもる湖村一枝の梅を寄す	30	春	植物	梅
3917	山深く梅の木さへもなかりけり	30	春	植物	梅
3918	我梅を手折る隣の女かな	30	春	植物	梅
3919	有明や白けて残る梅の西	31	春	植物	梅
3920	板塀や此横町も梅の花	31	春	植物	梅
3921	梅遅き水戸街道や雲雀鳴く	31	春	植物	梅
3922	三味も引き笛も吹く梅の主哉	31	春	植物	梅
3923	取り合はぬ梅のけしきや庭の松	31	春	植物	梅
3924	海苔干した村を過ぎ行く梅見哉	31	春	植物	梅
3925	百姓の家をめぐるて梅の花	31	春	植物	梅
3926	梅咲て手を続きかへし仏哉	32	春	植物	梅
3927	苔多き梅の老木や二三輪	32	春	植物	梅
3928	白梅や机据ゑたる窓の外	32	春	植物	梅
3929	玉のやうな子をたび給へ梅の神	32	春	植物	梅
3930	星消えて暁梅の寒さかな	32	春	植物	梅
3931	水辺の梅を画きし屏風哉	32	春	植物	梅
3932	惜気なく梅折りくれぬ寺男	32	春	植物	梅
3933	石摺を壁に掛けたり梅の花	33	春	植物	梅
3934	石摺を壁に貼りけり梅の花	33	春	植物	梅
3935	梅及び柳さしたる手桶かな	33	春	植物	梅
3936	お梅見の白粉厚き寒さかな	33	春	植物	梅
3937	子に伝ふ笛の秘曲や梅の月	33	春	植物	梅
3938	太刀持は文章生や梅の花	33	春	植物	梅
3939	茶に匂ふ葵の紋や梅の花	33	春	植物	梅
3940	火を焚かぬ暖炉の下や梅の鉢	35	春	植物	梅
3941	鎌倉はやしきのあとの野梅哉	26	春	植物	野梅
3942	まだ寒し野梅力を入れて咲く	28	春	植物	野梅
3943	嵐には散らぬ野梅の怒りかな	29	春	植物	野梅
3944	侍の野梅折るなり落しざし	29	春	植物	野梅
3945	侍の野梅折りけりおとしざし	29	春	植物	野梅
3946	神の火や薄紅梅の夕まぐれ	23 ~ 25	春	植物	紅梅
3947	紅梅はまばら也けり窓の影	24	春	植物	紅梅
3948	紅梅は娘たのんで折らせけり	24	春	植物	紅梅
3949	紅梅や垣をへだてゝ娘同士	24	春	植物	紅梅
3950	紅梅や翠簾のすき影衣の音	24	春	植物	紅梅
3951	馬繫ぐ薄紅梅の戸口かな	25	春	植物	紅梅
3952	紅梅に琴の音きほふ根岸哉	25	春	植物	紅梅
3953	紅梅の一輪残る兜かな	25	春	植物	紅梅
3954	紅梅の可愛や雪の朝朗	25	春	植物	紅梅
3955	紅梅やさつとあいたる塗障子	25	春	植物	紅梅
3956	紅梅や式部納言の話し	25	春	植物	紅梅
3957	紅梅や雪洞遠き長廊下	25	春	植物	紅梅
3958	みあかしや薄紅梅の夕間ぐれ	25	春	植物	紅梅
3959	思ひ出す頃を紅梅のさかり哉	26	春	植物	紅梅
3960	紅梅に檐は古びぬ翠簾作り	26	春	植物	紅梅
3961	紅梅の咲くより猫の静か也	26	春	植物	紅梅
3962	紅梅の隣もちけり草の庵	26	春	植物	紅梅
3963	紅梅の二月は恋の鹿子哉	26	春	植物	紅梅
3964	紅梅の闇かと見れば月もあり	26	春	植物	紅梅
3965	紅梅や柴舟見ゆる垣の外	26	春	植物	紅梅
3966	紅梅や万歳ばかり烏帽子にて	26	春	植物	紅梅
3967	紅梅やものいひたげに枝のふり	26	春	植物	紅梅

3968	紅梅や女三の宮の立ち姿	26	春	植物	紅梅
3969	紅梅を折る手とゞむる人も哉	26	春	植物	紅梅
3970	其鼻や頬や紅梅の二三輪	26	春	植物	紅梅
3971	梅の中に紅梅さくや上根岸	27	春	植物	紅梅
3972	紅梅のかなた爪琴こなた笛	27	春	植物	紅梅
3973	紅梅も菜種もさくや門の中	27	春	植物	紅梅
3974	紅梅や一町奥に薬王寺	27	春	植物	紅梅
3975	紅梅や翠簾をこぼるゝ緋の袴	27	春	植物	紅梅
3976	紅筆に薄紅梅を染めて見ん	27	春	植物	紅梅
3977	雪ちらちら薄紅梅の妻戸哉	27	春	植物	紅梅
3978	京極の紅梅遅きことし哉	28	春	植物	紅梅
3979	京極の紅梅遅し古築地	28	春	植物	紅梅
3980	紅梅のちりぢりに敵逃げにけり	28	春	植物	紅梅
3981	紅梅や秘蔵の娘猫の恋	28	春	植物	紅梅
3982	柴の戸に紅梅咲きぬ巫が宿	28	春	植物	紅梅
3983	山本に紅梅咲きぬ一軒家	28	春	植物	紅梅
3984	山本の紅梅さきぬ一軒家	28	春	植物	紅梅
3985	温泉の町に紅梅早き宿屋哉	28	春	植物	紅梅
3986	温泉の山に紅梅早き宿屋哉	28	春	植物	紅梅
3987	友禅の紅梅染むる戸口哉	29	春	植物	紅梅
3988	君や来ると紅梅一枝門にさす	29	春	植物	紅梅
3989	緋の無尽きて紅梅の散らんとす	29	春	植物	紅梅
3990	紅梅に牛の涙も氷るらん	30	春	植物	紅梅
3991	紅梅の一枝檐の灯に映ず	30	春	植物	紅梅
3992	朝鮮の紅梅を手向け奉つる	30	春	植物	紅梅
3993	紅梅の蒼のやうな拳哉	31	春	植物	紅梅
3994	紅梅や指貫青き上達部	32	春	植物	紅梅
3995	紅梅や匠か宿の古烏帽子	32	春	植物	紅梅
3996	紅梅や返歌待ち居る文使	32	春	植物	紅梅
3997	紅梅のやうな唇吸ひにけり	33	春	植物	紅梅
3998	伐るも惜しき薄紅梅の老木かな	34	春	植物	紅梅
3999	紅梅のしだれし枝や鳥も来ず	34	春	植物	紅梅
4000	琴聞え紅梅見えて屋根見えて	34	春	植物	紅梅
4001	紅梅の鉢や寝て見る置処	35	春	植物	紅梅
4002	紅梅の落花をつまむ豊哉	35	春	植物	紅梅
4003	紅梅や平安朝の女だち	35	春	植物	紅梅
4004	梅か香を共にすひこむたはこ哉	22	春	植物	梅が香
4005	梅の記八昔の香にも匂ひけり	22	春	植物	梅が香
4006	公園の梅か香くはる風のむき	22	春	植物	梅が香
4007	さむくとも梅か香くはる風のむき	22	春	植物	梅が香
4008	残らめや花は散るとも梅か香は	22	春	植物	梅が香
4009	残らめや花は散るともかはかりは	22	春	植物	梅が香
4010	花の香にうらおもてなし余所の梅	22	春	植物	梅が香
4011	闇の夜は鼻で探るや梅の花	22	春	植物	梅が香
4012	梅か香のかすかに通ふ寝覚哉	23	春	植物	梅が香
4013	梅か香をくゝつて通る小路哉	23	春	植物	梅が香
4014	餅やくや床の梅か香炭の音	25	春	植物	梅が香
4015	梅が香にむせてこぼるゝ涙かな	26	春	植物	梅が香
4016	梅が香にむせて泣き出す涙かな	26	春	植物	梅が香
4017	梅が香のどちらを見ても月夜哉	26	春	植物	梅が香
4018	梅か香はうしろになりぬ朧月	26	春	植物	梅が香
4019	梅か香や尼寺のぞく弱法師	26	春	植物	梅が香
4020	梅かゝや二階の窓に笛を吹く	26	春	植物	梅が香
4021	梅の花其代其代の匂ひ哉	26	春	植物	梅が香
4022	梅が香や寂然として九寸五分	29	春	植物	梅が香
4023	こゝに梅ありと思ひつゝ闇の小路行く	30	春	植物	梅が香
4024	梅気深くして花も見ず月も見ず	30	春	植物	梅が香
4025	路に熟して闇に思ふ梅のあり処	30	春	植物	梅が香
4026	たそがれの月に垣根の梅白し	26	春	植物	夜の梅
4027	月と梅一夜一夜に近うなる	26	春	植物	夜の梅
4028	宿の月朧に余所の梅白し	26	春	植物	夜の梅
4029	夕月やうしろに匂ふ梅の花	26	春	植物	夜の梅
4030	梅か香に一村こもる月夜哉	27	春	植物	夜の梅
4031	梅折て戻る野道の月夜哉	27	春	植物	夜の梅

4032	雪洞の消ゆれば梅の月夜哉	27	春	植物	夜の梅
4033	紙燭して梅の中行く女かな	28	春	植物	夜の梅
4034	灯ともしや櫛子かけたる梅の花	29	春	植物	夜の梅
4035	一痕の月万樹の梅を失す	30	春	植物	夜の梅
4036	梅白く庭の禿倉に灯をともす	30	春	植物	夜の梅
4037	梅深く月下の門を人叩く	30	春	植物	夜の梅
4038	梅を尋ねて得ず月を踏んで帰る	30	春	植物	夜の梅
4039	奥に灯あり梅園の門鎖したり	30	春	植物	夜の梅
4040	影踏んで梅の小路を戻りけり	30	春	植物	夜の梅
4041	かへり見れば月梅林の上に出づ	30	春	植物	夜の梅
4042	黒塀や星に透かして梅を得たり	30	春	植物	夜の梅
4043	残梅の花二十日の月にいづれ	30	春	植物	夜の梅
4044	僧寝ねたり廊下に満つる梅の影	30	春	植物	夜の梅
4045	僧房の広き窓に梅の影を印す	30	春	植物	夜の梅
4046	月ある夜梅ある家に宿しけり	30	春	植物	夜の梅
4047	月二更廊下に満つる梅の影	30	春	植物	夜の梅
4048	月に望んで梅ありと思ふ江の南	30	春	植物	夜の梅
4049	月見ては月か瀬の梅を思ふ哉	30	春	植物	夜の梅
4050	築山に灯をともしけり梅の花	30	春	植物	夜の梅
4051	野の梅を折らば折るべく月の留守	30	春	植物	夜の梅
4052	図らざりき路に迷ひ月の梅を見る	30	春	植物	夜の梅
4053	散る梅は祇王桜はほとけ哉	20	春	植物	梅散る
4054	梅散りて何を捧げん神の前	24	春	植物	梅散る
4055	隠れ家や梅ちる時の面白き	26	春	植物	梅散る
4056	梅ちつて軒端にさわぐ雀哉	27	春	植物	梅散る
4057	梅散て苔なき庭の夕寒し	27	春	植物	梅散る
4058	梅散て又大仏の寒げなり	27	春	植物	梅散る
4059	梅ちるや一寸程の魚躍る	27	春	植物	梅散る
4060	梅散るや山の井をくむ人もなし	27	春	植物	梅散る
4061	鎌倉や野梅ちる日に我来たり	27	春	植物	梅散る
4062	僧の座す石ひやゝかに野梅散る	27	春	植物	梅散る
4063	溝川に梅散りかゝる家鴨哉	27	春	植物	梅散る
4064	夕月や梅ちりかゝる琴の上	27	春	植物	梅散る
4065	活けんとす梅こぼれけり維摩経	29	春	植物	梅散る
4066	梅白く散るや熊笹古禿倉	29	春	植物	梅散る
4067	梅ちるや米とぐ女二三人	30	春	植物	梅散る
4068	松明に梅散りかゝり幕黒し	30	春	植物	梅散る
4069	床の梅ちりぬ奈良茶をもてなさん	30	春	植物	梅散る
4070	御車に梅ちりかゝり幕黒し	30	春	植物	梅散る
4071	梅散るや海苔干す磯の汐曇	31	春	植物	梅散る
4072	梅散るや海苔干す浜の汐曇	31	春	植物	梅散る
4073	盆栽の梅散りかゝる硯哉	31	春	植物	梅散る
4074	紅梅の散りし軒端や雲雀籠	32	春	植物	梅散る
4075	白梅のちりて三十五日かな	33	春	植物	梅散る
4076	園の梅散るや火の無き煙草盆	34	春	植物	梅散る
4077	紅梅の散りぬ淋しき枕元	35	春	植物	梅散る
4078	ふく風をすなほにうけし柳哉	20	春	植物	柳
4079	見渡すや柳の緑り花の紅	22	春	植物	柳
4080	牛飼の鞭に柳のもつれけり	23	春	植物	柳
4081	くたびれて柳も眠る日和哉	23	春	植物	柳
4082	しばらくは風にまかせし柳哉	23	春	植物	柳
4083	球うける極秘は風の柳哉	23	春	植物	柳
4084	弁天のうしろ姿は柳かな	23	春	植物	柳
4085	風うける力柳は柳かな	24	春	植物	柳
4086	ふり帰るかほもかすむや柳原	24	春	植物	柳
4087	石橋に芽のすりきれる柳かな	25	春	植物	柳
4088	石橋の目にはさまりし柳かな	25	春	植物	柳
4089	いろいろに風のひろがる柳かな	25	春	植物	柳
4090	梅若の夢をしづむる柳哉	25	春	植物	柳
4091	瓦斯燈にかたよつて吹く柳哉	25	春	植物	柳
4092	不忍に風のはなれぬ柳かな	25	春	植物	柳
4093	しめ縄の風吹きつくる柳哉	25	春	植物	柳
4094	取りついて波引ち切る柳哉	25	春	植物	柳
4095	鍋墨を静かになてる柳かな	25	春	植物	柳

4096	春はまだ短うたるゝ柳哉	25	春	植物	柳
4097	吹きかける柳の風や不二筑波	25	春	植物	柳
4098	夕風の月なぶりある柳哉	25	春	植物	柳
4099	あちへゆらりこちへゆらりと柳哉	26	春	植物	柳
4100	幽霊の出るといふなる柳かな	26	春	植物	柳
4101	いざいでう柳の小籠梅の笠	26	春	植物	柳
4102	家二つ狭きが中の柳かな	26	春	植物	柳
4103	馬の尾の折々動く柳哉	26	春	植物	柳
4104	老い易くはた老い難き柳哉	26	春	植物	柳
4105	街道に余の木もませぬ柳哉	26	春	植物	柳
4106	風吹て枝もならさぬ柳哉	26	春	植物	柳
4107	川ありと見えてつらなる柳哉	26	春	植物	柳
4108	切り捨てゝ心しづめん糸柳	26	春	植物	柳
4109	逆髪は風に柳の名なるべし	26	春	植物	柳
4110	さし柳しだれんとして上に向く	26	春	植物	柳
4111	人道と車道を分る柳哉	26	春	植物	柳
4112	菅笠にはらりとかゝる柳哉	26	春	植物	柳
4113	辻まちの車の上に柳哉	26	春	植物	柳
4114	どちらともつかぬ柳や村境	26	春	植物	柳
4115	土橋あり柳かくれの馬の鈴	26	春	植物	柳
4116	生酔のもつれこんたる柳哉	26	春	植物	柳
4117	二三尺はや風うける柳哉	26	春	植物	柳
4118	野の牛を撫でゝ眠らす柳哉	26	春	植物	柳
4119	橋落てうしろ淋しき柳哉	26	春	植物	柳
4120	花の中に柳一木のあはれ也	26	春	植物	柳
4121	ひつたりと風のとまりし柳かな	26	春	植物	柳
4122	舟と岸柳へだつる別れ哉	26	春	植物	柳
4123	渺々と緑つらなる柳哉	26	春	植物	柳
4124	まちがへてほめし隣の柳哉	26	春	植物	柳
4125	三日月をいろいろに吹く柳哉	26	春	植物	柳
4126	身をなげた名所めでたき柳哉	26	春	植物	柳
4127	もつれたり解けたり風の糸柳	26	春	植物	柳
4128	物ありと見ればゆらゆら糸柳	26	春	植物	柳
4129	焼け跡の道になつたる柳哉	26	春	植物	柳
4130	柳とは酒屋が前のものならし	26	春	植物	柳
4131	柳見てまはれば庵の住み易き	26	春	植物	柳
4132	夕風や柳吹きこむ窓の内	26	春	植物	柳
4133	夜な夜なの辻君かくす柳哉	26	春	植物	柳
4134	井戸ばたと知らて芽ざすやさし柳	26	春	植物	柳
4135	浅妻の烏帽子をなでる柳哉	27	春	植物	柳
4136	雨一日風の絶えたる柳哉	27	春	植物	柳
4137	雨一日風を押へて柳哉	27	春	植物	柳
4138	石文の上にしだるゝ柳かな	27	春	植物	柳
4139	うつくしき手で一まねぐ柳かな	27	春	植物	柳
4140	馬車柳大路のひろさ哉	27	春	植物	柳
4141	馬車柳小路の広さかな	27	春	植物	柳
4142	馬の尾の東になびく柳哉	27	春	植物	柳
4143	大江戸は八百八町の柳哉	27	春	植物	柳
4144	大川に女船漕ぐやなぎ哉	27	春	植物	柳
4145	大柳小橋あるべきところかな	27	春	植物	柳
4146	居留地の街正しき柳哉	27	春	植物	柳
4147	草と見え柳と見えて村遠し	27	春	植物	柳
4148	この辺は名もなき家の柳哉	27	春	植物	柳
4149	酒船をつなぎとめたる柳哉	27	春	植物	柳
4150	史家村の入口見ゆる柳かな	27	春	植物	柳
4151	高殿に美人佇む柳かな	27	春	植物	柳
4152	竹馬に唐児友呼ぶ柳かな	27	春	植物	柳
4153	土手一里依々恋々と柳哉	27	春	植物	柳
4154	町中を小川流るゝ柳かな	27	春	植物	柳
4155	真直に堀割遠き柳かな	27	春	植物	柳
4156	柳あり橋あり風の酒旗々	27	春	植物	柳
4157	柳遠く人家の煙揺曳す	27	春	植物	柳
4158	柳わけて居酒屋の門はひりけり	27	春	植物	柳
4159	夕煙柳かくれの小寺かな	27	春	植物	柳

4160	洛陽の池をとりまく柳哉	27	春	植物	柳
4161	上下に道二つある柳かな	27	春	植物	柳
4162	大家の足場古びし柳かな	27	春	植物	柳
4163	大門につきあたりたる柳哉	27	春	植物	柳
4164	大門や柳かぶつて灯をともす	27	春	植物	柳
4165	大柳したれぬ程そおもしろき	28	春	植物	柳
4166	京人のいつはり多き柳かな	28	春	植物	柳
4167	金州の城門高き柳かな	28	春	植物	柳
4168	此橋も向ふの橋も柳かな	28	春	植物	柳
4169	駒繫ぐいくさのあとの柳かな	28	春	植物	柳
4170	柵結ふて柳の中の柳かな	28	春	植物	柳
4171	四五本の柳とりまく小家かな	28	春	植物	柳
4172	城門を出て遠近の柳かな	28	春	植物	柳
4173	白拍子柳の門に這入りけり	28	春	植物	柳
4174	とりつきて柳ひきゝる小舟哉	28	春	植物	柳
4175	はつきりと柳の中の桜かな	28	春	植物	柳
4176	ひつたりと風のなくなる柳かな	28	春	植物	柳
4177	広島は柳の多きところかな	28	春	植物	柳
4178	故郷にわが植ゑおきし柳哉	28	春	植物	柳
4179	渤海の平らにつゞく柳かな	28	春	植物	柳
4180	御車の昔過ぎたる柳かな	28	春	植物	柳
4181	柳桜柳桜と栽ゑにけり	28	春	植物	柳
4182	柳にも我はづかしゃ二千石	28	春	植物	柳
4183	柳見て物思はゞやと思ふかな	28	春	植物	柳
4184	屋根舟を招きよせたる柳かな	28	春	植物	柳
4185	藁屋根の上にしだるゝ柳かな	28	春	植物	柳
4186	大きなものを吹き出す柳かな	29	春	植物	柳
4187	門口に十日の雨の柳かな	29	春	植物	柳
4188	かへり見る門には柳ばかりなり	29	春	植物	柳
4189	鴉鳴く明礼宮の柳かな	29	春	植物	柳
4190	岸崩えて小魚たまりぬ川柳	29	春	植物	柳
4191	象肥えて戦ひ習ふ柳かな	29	春	植物	柳
4192	さし柳三尺にして緑ふく	29	春	植物	柳
4193	つゞきけりちまたの柳村の桃	29	春	植物	柳
4194	弁天をとりまく柳桜かな	29	春	植物	柳
4195	干網に取りまかれたる柳かな	29	春	植物	柳
4196	門外に川あり柳二三本	29	春	植物	柳
4197	楊弓に人の集まる柳かな	29	春	植物	柳
4198	柳あり舟待つ牛の二三匹	29	春	植物	柳
4199	板塀にしたるゝ雨の柳哉	30	春	植物	柳
4200	黒塀にしだるゝ雨の柳かな	30	春	植物	柳
4201	新阪を下りて根岸の柳哉	30	春	植物	柳
4202	新道に瘦せたる柳桜哉	30	春	植物	柳
4203	大道の柳依々として洛に入る	30	春	植物	柳
4204	柳あり桃あり家の前後	30	春	植物	柳
4205	柳多き花多き村にいでにけり	30	春	植物	柳
4206	柳がちに花がちに見ゆる村一つ	30	春	植物	柳
4207	柳がちに花がちに村はるかなり	30	春	植物	柳
4208	活けんとして柳置きたる置哉	31	春	植物	柳
4209	市中にひねもす動く柳哉	31	春	植物	柳
4210	家主の無残に伐りし柳哉	31	春	植物	柳
4211	裏店にあり来りたる柳哉	31	春	植物	柳
4212	裏門にかぶさる雨の柳哉	31	春	植物	柳
4213	枝長く柳活けたる花屋哉	31	春	植物	柳
4214	大店の檐つらねたる柳かな	31	春	植物	柳
4215	江東に緑の早き柳哉	31	春	植物	柳
4216	かりそめにさせし柳の芽をふきぬ	31	春	植物	柳
4217	草臥て行手を望む柳哉	31	春	植物	柳
4218	梢狭き二等道路の柳かな	31	春	植物	柳
4219	三味ならず子に銭投る柳哉	31	春	植物	柳
4220	新道に緑少き柳かな	31	春	植物	柳
4221	立琴にしだるゝ床の柳哉	31	春	植物	柳
4222	辻駕に朱鞘の出たる柳かな	31	春	植物	柳
4223	東門の外に舎栄す柳哉	31	春	植物	柳

4224	鳥逃げて吹矢の落る柳哉	31	春	植物	柳
4225	病人の門迄出たる柳哉	31	春	植物	柳
4226	本陣に幕張り廻す柳哉	31	春	植物	柳
4227	待合や柳しだるゝ狭き庭	31	春	植物	柳
4228	町の柳十本毎に灯をともす	31	春	植物	柳
4229	柳枯れし跡に柳を植る哉	31	春	植物	柳
4230	柳には柳の木こそ添ひよけれ	31	春	植物	柳
4231	王城や大路の柳小路の花	31	春	植物	柳
4232	旅立のあとに淋しき柳哉	32	春	植物	柳
4233	文君の酒屋ありける柳哉	32	春	植物	柳
4234	渡し場に橋の出来たる柳哉	32	春	植物	柳
4235	柳植ゑて善き名を彫りし小橋哉	33	春	植物	柳
4236	柳垂れて海を向いたる借家あらん	33	春	植物	柳
4237	君を送る狗ころ柳散る頃に	35	春	植物	柳
4238	青柳のしだれかゝるや不二の山	25	春	植物	青柳
4239	青柳に顔なでられて横へ向く	26	春	植物	青柳
4240	青柳の形定まらぬつむじかな	26	春	植物	青柳
4241	青柳は妹がかたみか洗ひ髪	26	春	植物	青柳
4242	青柳は其日其日の姿哉	26	春	植物	青柳
4243	青柳や人身御供の池も春	26	春	植物	青柳
4244	柳青し紅燈七十二青楼	27	春	植物	青柳
4245	青柳や思ふ事皆恋に近し	28	春	植物	青柳
4246	兀山の麓に青き柳かな	28	春	植物	青柳
4247	青柳の雨に鎖しぬ御成門	31	春	植物	青柳
4248	青柳や灯をともしたる石灯籠	31	春	植物	青柳
4249	くたひれをやすめる道の椿哉	22	春	植物	椿
4250	くたふれて立とまりたる椿哉	22	春	植物	椿
4251	障子までもえる様なり山椿	23 ~ 25	春	植物	椿
4252	馬の背に手を出して見る椿哉	24	春	植物	椿
4253	馬ほくほく椿にさわり桃にすれ	24	春	植物	椿
4254	馬ほくほく椿をくゝり桃をぬけ	24	春	植物	椿
4255	馬ほくほく桃と椿の垣のあひ	24	春	植物	椿
4256	一むねは花にうもるや赤椿	24	春	植物	椿
4257	一むね八花にうもるや花椿	24	春	植物	椿
4258	一むね八花にうもるや山椿	24	春	植物	椿
4259	両側の竹藪長し赤椿	24	春	植物	椿
4260	わらしの緒結ひ直すや山椿	24	春	植物	椿
4261	いもうとの袂探れば椿哉	25	春	植物	椿
4262	竹籠にみつや一木の花椿	25	春	植物	椿
4263	山椿昼間の月の白さ哉	25	春	植物	椿
4264	赤椿さいてもさいても一重哉	26	春	植物	椿
4265	赤椿盛りは過て小半月	26	春	植物	椿
4266	赤椿さかりもなくして小半月	26	春	植物	椿
4267	赤椿田舎の恋のあからさま	26	春	植物	椿
4268	見事なり白玉椿花一輪	26	春	植物	椿
4269	藪椿物干し竿の片日影	26	春	植物	椿
4270	兀として坊主椿の花一つ	27	春	植物	椿
4271	常盤木の林の中や赤椿	27	春	植物	椿
4272	鶏鳴くや椿の垣根梅の門	27	春	植物	椿
4273	鳥の声一樹に深き椿哉	27	春	植物	椿
4274	祝はゞや花婿花よめ花椿	29	春	植物	椿
4275	契らばや君は赤われ白椿	29	春	植物	椿
4276	ひねくりし一枝活けぬ花椿	29	春	植物	椿
4277	ひねくれし一枝活けぬ花椿	29	春	植物	椿
4278	赤門を入れれば椿の林哉	30	春	植物	椿
4279	うれしさよ接木の椿花一つ	30	春	植物	椿
4280	玉椿玉のやうな子すこやかに	30	春	植物	椿
4281	椿活けて香焚て仏を刻む哉	30	春	植物	椿
4282	椿活けて静かに刻む仏哉	30	春	植物	椿
4283	鉢植に蒼ばかりの椿哉	30	春	植物	椿
4284	鉢植に蒼久しき椿哉	30	春	植物	椿
4285	ひねくりし一輪椿活け得たり	30	春	植物	椿
4286	ひねくりし一輪椿活けにけり	30	春	植物	椿
4287	軸掛けて椿活けたる忌日哉	32	春	植物	椿

4288	投入の椿山吹調和せず	32	春	植物	椿
4289	投入や椿山吹調和せず	32	春	植物	椿
4290	二枝の椿くねりて活けられず	32	春	植物	椿
4291	蓑掛けて椿活けたる書斎哉	32	春	植物	椿
4292	いけかへし持仏の棚の椿哉	33	春	植物	椿
4293	公園の林の中に椿かな	34	春	植物	椿
4294	珍品は凡花に如かぬ椿かな	34	春	植物	椿
4295	日本の椿を愛す異人かな	34	春	植物	椿
4296	花の名を葉に書きつくる椿かな	34	春	植物	椿
4297	ひねくり者ありふくべ屋椿とぞ呼べる	34	春	植物	椿
4298	家越シテ椿ノ蕾ウレシカリ	35	春	植物	椿
4299	転居シテ椿咲ク庭梅ちる戸	35	春	植物	椿
4300	落したか落ちたか路の椿かな	23	春	植物	落椿
4301	落したか落ちたか道の山椿	23	春	植物	落椿
4302	お百度や落ちた椿を拾ふちご	23	春	植物	落椿
4303	竹籠にみつや一木の落椿	24	春	植物	落椿
4304	敲いては笠にうけるや落椿	24	春	植物	落椿
4305	流れ行椿追ひけり曲り道	24	春	植物	落椿
4306	落ちあてゝ二ツ落ちたる椿哉	25	春	植物	落椿
4307	賽銭のひゞきに落る椿かな	25	春	植物	落椿
4308	侍の首の脆さよ落椿	25	春	植物	落椿
4309	菅笠にみつや一木の落椿	25	春	植物	落椿
4310	灰吹にした跡もあり落椿	25	春	植物	落椿
4311	一鞭に其数知れず落椿	25	春	植物	落椿
4312	息杖のさきにひつゝく椿哉	26	春	植物	落椿
4313	落るだけ落て淋しき椿哉	26	春	植物	落椿
4314	から白の中に落ちたる椿哉	26	春	植物	落椿
4315	鶏のつゝき崩すや落椿	26	春	植物	落椿
4316	花椿こぼれて虻のはなれけり	26	春	植物	落椿
4317	ふみつけて蹄はなれぬ椿哉	26	春	植物	落椿
4318	山道や椿ころけて草の中	26	春	植物	落椿
4319	広前や小石の上の落椿	27	春	植物	落椿
4320	書机に白玉椿こぼれけり	27	春	植物	落椿
4321	山寺の屋根をころける椿哉	27	春	植物	落椿
4322	順礼の杓に汲みたる椿かな	28	春	植物	落椿
4323	ほつたりと笠に落ちたる椿哉	28	春	植物	落椿
4324	宮守のはき集めたる椿かな	28	春	植物	落椿
4325	慨然として起てば椿の花落つる	29	春	植物	落椿
4326	静かさや椿の花の又落つる	29	春	植物	落椿
4327	静かさや庭の椿の又落つる	29	春	植物	落椿
4328	鉢植の椿落ちけり鉢の中	29	春	植物	落椿
4329	笹原や笹の中なる落椿	30	春	植物	落椿
4330	流れ得ざる水のだよどみの椿哉	30	春	植物	落椿
4331	ぬかりたる森の阪道椿踏む	30	春	植物	落椿
4332	一つ落ちて二つ落たる椿哉	30	春	植物	落椿
4333	白椿落ちて腐りし日数かな	33	春	植物	落椿
4334	道入の楽の茶椀や落椿	34	春	植物	落椿
4335	うつぶせに椿散る也芝の上	26	春	植物	散椿
4336	うつぶせに椿ちるなり庭の隅	26	春	植物	散椿
4337	首塚や首のもけたるちり椿	26	春	植物	散椿
4338	古池にちりこむ梅かな椿かな	26	春	植物	散椿
4339	おびたゞしく椿散けり馬繫	30	春	植物	散椿
4340	椿ちりて泥にふみこむ上り阪	30	春	植物	散椿
4341	花一ツ竿でくづせし辛夷哉	25	春	植物	辛夷
4342	鴉来て踏落したる辛夷哉	26	春	植物	辛夷
4343	古宮の名代の辛夷咲きにけり	26	春	植物	辛夷
4344	唐人の辛夷を画く座興哉	31	春	植物	辛夷
4345	稽古矢のそれで飛たる辛夷哉	31	春	植物	辛夷
4346	稽古矢の高くそれたる辛夷哉	31	春	植物	辛夷
4347	石燈籠の位置定まらぬ辛夷かな	34	春	植物	辛夷
4348	辛夷咲く垣根もありて家まばら	34	春	植物	辛夷
4349	山陽の軸に配する辛夷かな	34	春	植物	辛夷
4350	題目の碑がある寺の辛夷かな	34	春	植物	辛夷
4351	花籠に皆蕾なる辛夷かな	34	春	植物	辛夷

4352	古庭の古き匂ひや沈丁花	32	春	植物	沈丁花
4353	沈丁や麦や大根やつかみさし	34	春	植物	沈丁花
4354	人に迫る沈丁の香や手水鉢	34	春	植物	沈丁花
4355	犬の子を負ふた子供や桃の花	22	春	植物	桃の花
4356	牛飼も牛も眠るや桃の花	23	春	植物	桃の花
4357	立ちのいて見てはやすむや桃のかけ	23	春	植物	桃の花
4358	繋がれて牛も眠るやもゝの花	23	春	植物	桃の花
4359	桃さくや三寸程の上り鮎	23	春	植物	桃の花
4360	うたゝねの窓に胡蝶やもゝの花	24	春	植物	桃の花
4361	海山をこの見具合や桃のかけ	24	春	植物	桃の花
4362	恋猫に留守あづけるや桃の花	24	春	植物	桃の花
4363	恋猫の留守あづかるや桃の花	24	春	植物	桃の花
4364	しばらくは桃なかむるや馬の糞	24	春	植物	桃の花
4365	白桃の花やこぼるゝ朝の露	24	春	植物	桃の花
4366	白桃の花やこぼれて松のつゆ	24	春	植物	桃の花
4367	白桃やのこるは花よちるは露	24	春	植物	桃の花
4368	ちご一人羊なぶるやもゝのはな	24	春	植物	桃の花
4369	はなれたる舟の流れず桃の花	24	春	植物	桃の花
4370	桃さくや紙のやうなるふしの山	24	春	植物	桃の花
4371	桃さくや脚半菅笠竹の杖	24	春	植物	桃の花
4372	桃さくやあなかは旧の雛祭	24	春	植物	桃の花
4373	行くやすむ気まゝな旅や桃の花	24	春	植物	桃の花
4374	薄紙のやうなふじあり桃の花	25	春	植物	桃の花
4375	白桃の露や花なる花や露	25	春	植物	桃の花
4376	ちご一人御手なふるや桃の花	25	春	植物	桃の花
4377	一本は物干しにせよ桃の花	26	春	植物	桃の花
4378	紅梅に咲き勝たれけり桃の花	26	春	植物	桃の花
4379	小娘の畑打つ頃や桃の花	26	春	植物	桃の花
4380	小娘も畑うつ頃や桃の花	26	春	植物	桃の花
4381	賤か家の垣根うつくし桃柳	26	春	植物	桃の花
4382	四方からよるや野中の桃の花	26	春	植物	桃の花
4383	並松をあとにひかへて桃の花	26	春	植物	桃の花
4384	灯を消せば許六の桃のかをり哉	26	春	植物	桃の花
4385	桃梅を笑へば梅も桃を笑らふ	26	春	植物	桃の花
4386	桃さくや李白は樽を枕にて	26	春	植物	桃の花
4387	桃の花人待ち顔の野中哉	26	春	植物	桃の花
4388	柳青しあひまあひまの桃の花	26	春	植物	桃の花
4389	魚浮くや桃の小川の水よどみ	27	春	植物	桃の花
4390	から尻に夫婦のりけり桃の花	27	春	植物	桃の花
4391	草屋二軒赤白の桃咲ける哉	27	春	植物	桃の花
4392	村童の異人にたかる桃の花	27	春	植物	桃の花
4393	てらてらと桃咲く中や何ヶ村	27	春	植物	桃の花
4394	てらてらと桃の中なり幾個村	27	春	植物	桃の花
4395	鶏鳴て村静かなり桃の花	27	春	植物	桃の花
4396	鍋提げて桃の中道妻帰る	27	春	植物	桃の花
4397	橋こえて桃の小村へいそぐ哉	27	春	植物	桃の花
4398	人載せて牛載せて桃の渡し哉	27	春	植物	桃の花
4399	路はたに桃の花咲く小村かな	27	春	植物	桃の花
4400	桃咲くや可愛いと思ふ女あり	27	春	植物	桃の花
4401	桃咲くや妻になる人誰誰そ	27	春	植物	桃の花
4402	桃畑白桃ひとつ目立ちけり	27	春	植物	桃の花
4403	桃柳河に臨みて誰が楼ぞ	27	春	植物	桃の花
4404	草鞋かけて桃の一枝たわみけり	27	春	植物	桃の花
4405	鍬を肩に橋行く人や桃の花	28	春	植物	桃の花
4406	ことぶりしいくさ咄や桃の花	28	春	植物	桃の花
4407	燕の家尋ぬるや桃の花	28	春	植物	桃の花
4408	鶏鳴くや小富士の麓桃の花	28	春	植物	桃の花
4409	荷車に娘載せけり桃の花	28	春	植物	桃の花
4410	畑中に一本咲くや桃の花	28	春	植物	桃の花
4411	故郷はいとこの多し桃の花	28	春	植物	桃の花
4412	桃の花鏡は知らぬ姿哉	28	春	植物	桃の花
4413	桃の花鏡を知らぬ娘かな	28	春	植物	桃の花
4414	駕吊りし庄屋の門や桃の花	29	春	植物	桃の花
4415	川上は桃も桜もなかりけり	29	春	植物	桃の花

4416	唐人を吠ゆる犬あり桃の花	29	春	植物	桃の花
4417	不言問木尚妹与兄桃李	29	春	植物	桃の花
4418	此里に美女二人あり桃の花	29	春	植物	桃の花
4419	其中に家四五軒や桃林	29	春	植物	桃の花
4420	茶店あり白馬繫ぐ桃の花	29	春	植物	桃の花
4421	出女が恋持つ桃に花が咲く	29	春	植物	桃の花
4422	原中や突然として桃の花	29	春	植物	桃の花
4423	人住まぬ山と思へば桃の花	29	春	植物	桃の花
4424	湖に臨む小村や桃の花	29	春	植物	桃の花
4425	桃咲いて牛行く背戸の小山かな	29	春	植物	桃の花
4426	桃咲いて機織る村の戸口かな	29	春	植物	桃の花
4427	桃咲くや隣の娘婚礼す	29	春	植物	桃の花
4428	世の中のいくさに逃げて桃の花	29	春	植物	桃の花
4429	料理屋は川魚ばかり桃の花	29	春	植物	桃の花
4430	出女が恋する桃に花が咲く	30	春	植物	桃の花
4431	舟ありて人居らぬ桃の渡し哉	30	春	植物	桃の花
4432	桃の背戸柳の門や二三軒	30	春	植物	桃の花
4433	城東に住みける桃の翁哉	31	春	植物	桃の花
4434	水仙の花のさかりや桃の花	31	春	植物	桃の花
4435	仏壇に桃活けてある三日哉	31	春	植物	桃の花
4436	桃赤し山の東の古砦	31	春	植物	桃の花
4437	桃咲くや古き都の子守唄	31	春	植物	桃の花
4438	白桃や日永うして西王母	32	春	植物	桃の花
4439	背戸並ぶ小家小家や桃の花	32	春	植物	桃の花
4440	盗或る夜桃の小村を掠め去る	32	春	植物	桃の花
4441	百姓の娘うつくし桃の花	32	春	植物	桃の花
4442	昔爺と婆と住みけり桃の花	32	春	植物	桃の花
4443	三年にして六尺の桃の花	34	春	植物	桃の花
4444	故郷に桃咲く家や知らぬ人	34	春	植物	桃の花
4445	飯くはず小店もなく桃の村	34	春	植物	桃の花
4446	風寒し人のきほひにさく桜	20	春	植物	桜
4447	風寒し人の陽気にさく桜	20	春	植物	桜
4448	桜から人にうつるや山の風	23	春	植物	桜
4449	ぬり膳にうつる桜や椽の先	23	春	植物	桜
4450	松のあひに桜、桜のあひに松	23	春	植物	桜
4451	孝行は筍よりも桜かな	25	春	植物	桜
4452	桜より奥に桃さく上野哉	25	春	植物	桜
4453	猿引は猿に折らする桜哉	25	春	植物	桜
4454	白桃の桜にまじる青さ哉	25	春	植物	桜
4455	谷底に樵夫の動く桜かな	25	春	植物	桜
4456	西山に桜一木のあるじ哉	25	春	植物	桜
4457	日の本の桜にふしの夜明かな	25	春	植物	桜
4458	ふつつつと彼岸ざくらの蒼哉	25	春	植物	桜
4459	町はつれ桜桜と子供哉	25	春	植物	桜
4460	まづ青む彼岸桜のつぼみ哉	25	春	植物	桜
4461	もやもやとかたまる岨の桜かな	25	春	植物	桜
4462	洋本の間にはさむ桜かな	25	春	植物	桜
4463	敦盛の鎧に似たる桜哉	26	春	植物	桜
4464	雨やいつ外山の桜曇りけり	26	春	植物	桜
4465	有明に三分傾く桜哉	26	春	植物	桜
4466	牛部屋の薄花桜さきにけり	26	春	植物	桜
4467	馬方の桜見かけて唄ひけり	26	春	植物	桜
4468	奥山に樵夫が桜さきにけり	26	春	植物	桜
4469	木の間白きもの皆桜哉	26	春	植物	桜
4470	咲かせばや我家桜庭桜	26	春	植物	桜
4471	桜咲く片山里の喇叭かな	26	春	植物	桜
4472	さけば咲く桜海棠梨季	26	春	植物	桜
4473	遠山の薄花桜身うけせん	26	春	植物	桜
4474	鳥鳴て奥の知られぬ桜哉	26	春	植物	桜
4475	名をもたぬ京の桜はなかりけり	26	春	植物	桜
4476	南朝の桜今年も咲きにけり	26	春	植物	桜
4477	ひやひやと風吹き入るゝ桜哉	26	春	植物	桜
4478	真上から見たき吉野の桜哉	26	春	植物	桜
4479	蕤織折々のぞく桜哉	26	春	植物	桜

4480	山里に恋をはなれし桜哉	26	春	植物	桜
4481	山寺に咲て名もなき桜哉	26	春	植物	桜
4482	牛黒く見ゆる尾上の桜哉	27	春	植物	桜
4483	海見ゆる桜の中の床几哉	27	春	植物	桜
4484	黒門を出れば這入れば桜哉	27	春	植物	桜
4485	観音の大悲の桜咲きにけり	27	春	植物	桜
4486	西行の桜になりし月夜かな	27	春	植物	桜
4487	桜咲てお白粉売や紅粉売や	27	春	植物	桜
4488	島原の一本桜古りにけり	27	春	植物	桜
4489	大臣の別荘赤き桜かな	27	春	植物	桜
4490	大仏の小袖かはゆきさくらかな	27	春	植物	桜
4491	何見るそ桜の茶屋の遠見鏡	27	春	植物	桜
4492	何者が死んで此墓此桜	27	春	植物	桜
4493	白雲の上に家あり桜あり	27	春	植物	桜
4494	弁天の参詣絶えぬ桜かな	27	春	植物	桜
4495	鳳輦の桜の上に見ゆるかな	27	春	植物	桜
4496	屋の棟の五重にたゝむ桜哉	27	春	植物	桜
4497	芳野出て桜は雪に帰りけり	27	春	植物	桜
4498	井戸端の秋色桜零せよ	27	春	植物	桜
4499	敦盛の塚に桜もなかりけり	28	春	植物	桜
4500	一里来て下に見下す桜かな	28	春	植物	桜
4501	一杯に下戸の酔ひたる桜かな	28	春	植物	桜
4502	うちかけの並んで通る桜かな	28	春	植物	桜
4503	面白う舟に見て行く桜かな	28	春	植物	桜
4504	虚無僧の頤長き桜かな	28	春	植物	桜
4505	山腹に灯見えぬあれや桜寺	28	春	植物	桜
4506	出陣や桜見ながら宇品迄	28	春	植物	桜
4507	釣鐘の雲にぬれたる桜哉	28	春	植物	桜
4508	何奴ぞ桜に掛けし長檜子	28	春	植物	桜
4509	はつきりと桜の中の柳かな	28	春	植物	桜
4510	人の背に桜折るなり築地越	28	春	植物	桜
4511	人を踏んで桜折るなり築地越	28	春	植物	桜
4512	古庭に一重ばかりの桜かな	28	春	植物	桜
4513	盆栽の小桜早し京の市	28	春	植物	桜
4514	道端に桜咲くなり興福寺	28	春	植物	桜
4515	三芳野や桜の中の山一つ	28	春	植物	桜
4516	山の端の桜尋ねん遠眼鏡	28	春	植物	桜
4517	世の中は桜が咲いて笑ひ声	28	春	植物	桜
4518	世の中や桜が咲て笑ひ声	28	春	植物	桜
4519	をかしようもなくて桜に笑ひけり	28	春	植物	桜
4520	入口に風船飛ばす桜かな	29	春	植物	桜
4521	入口も桜出口も桜かな	29	春	植物	桜
4522	うそのやうな十六日桜咲きにけり	29	春	植物	桜
4523	枝ながら桜流れぬ大堰川	29	春	植物	桜
4524	黒門も摺鉢山も桜かな	29	春	植物	桜
4525	この国の男に生れ桜かな	29	春	植物	桜
4526	小坊主の太刀はきたがる桜哉	29	春	植物	桜
4527	阪道や桜の上に寺一つ	29	春	植物	桜
4528	桜咲くこれは尾上の菊五郎	29	春	植物	桜
4529	桜々帰りは酔ふて白拍子	29	春	植物	桜
4530	桜ばかり女ばかりの上野かな	29	春	植物	桜
4531	桜折る女の綱や雨の中	29	春	植物	桜
4532	知らぬ人に盃強ひる桜かな	29	春	植物	桜
4533	すうと出た桜の枝に目白哉	29	春	植物	桜
4534	杉の杜の出口に白き桜かな	29	春	植物	桜
4535	名のれ名のれ桜ぬす人髷奴	29	春	植物	桜
4536	名は桜通禁は花と申しけり	29	春	植物	桜
4537	日暮るゝや桜の茶屋の繋ぎ馬	29	春	植物	桜
4538	人を見ん桜は酒の肴なり	29	春	植物	桜
4539	古宮の桜咲きけり杉の奥	29	春	植物	桜
4540	古宮の桜咲くなり杉の奥	29	春	植物	桜
4541	弥次郎兵衛喜多八帰る桜かな	29	春	植物	桜
4542	山荒れて鐘も桜も雷の音	29	春	植物	桜
4543	岡ぞひの桜は赤き蕾かな	29	春	植物	桜

4544	うかれ心瓶の桜に灯をともす	30	春	植物	桜
4545	植半の鼓聞ゆる桜かな	30	春	植物	桜
4546	鏡掛けて御魂を移す桜哉	30	春	植物	桜
4547	球燈高く音楽聞ゆる桜哉	30	春	植物	桜
4548	汽車の窓に見上る岡の桜哉	30	春	植物	桜
4549	公園の入口見えて桜かな	30	春	植物	桜
4550	古白死して二年桜咲き我病めり	30	春	植物	桜
4551	写真取る桜がもとの小女郎哉	30	春	植物	桜
4552	茶番去り茶番来る隅田の桜哉	30	春	植物	桜
4553	柳北が寄附せし土手の桜かな	30	春	植物	桜
4554	雨晴るゝ桜に杉の雫かな	31	春	植物	桜
4555	江戸桜越後の熊を肴哉	31	春	植物	桜
4556	大寺の松も桜もなかりけり	31	春	植物	桜
4557	京町の火事や桜は恙なし	31	春	植物	桜
4558	金屏に風防く鉢の桜哉	31	春	植物	桜
4559	雑報子報ず公園の桜咲く	31	春	植物	桜
4560	千万言一時に開く桜哉	31	春	植物	桜
4561	常盤津の会ある寺の桜哉	31	春	植物	桜
4562	馬車の上に垂るゝホテルの桜哉	31	春	植物	桜
4563	昼中や桜にこもる人の息	31	春	植物	桜
4564	我王の桜咲くなり三十年	31	春	植物	桜
4565	我病で桜に思ふ事多し	31	春	植物	桜
4566	子を負ふた手に桜持つうしろ哉	32	春	植物	桜
4567	弁天の楼門赤き桜哉	32	春	植物	桜
4568	行き行きて桜なくなる堤哉	32	春	植物	桜
4569	料理屋の紅梅散りて桜哉	32	春	植物	桜
4570	氷解けて桜咲く也榛名山	33	春	植物	桜
4571	橋長く水青うして松桜	33	春	植物	桜
4572	名物の蜷乏しき桜哉	33	春	植物	桜
4573	雪国の桜の花は小粒哉	33	春	植物	桜
4574	徳川の桜残りて哀れなり	34	春	植物	桜
4575	名ある寺の桜に多き石碑かな	34	春	植物	桜
4576	徳川の桜明治の桜かな	35	春	植物	桜
4577	南朝の恨を残す桜かな	35	春	植物	桜
4578	水分の神が霧ふく桜哉	35	春	植物	桜
4579	六田越えて桜に近し一の坂	35	春	植物	桜
4580	吉野山第一本の桜哉	35	春	植物	桜
4581	両側の桜咲きけり登り口	35	春	植物	桜
4582	糸桜下の方より咲きにけり	26	春	植物	糸桜
4583	家二つ狭きが中の糸桜	26	春	植物	糸桜
4584	さき交る柳の中の糸桜	26	春	植物	糸桜
4585	くれなるの絹糸桜綻びぬ	27	春	植物	糸桜
4586	女生徒の遊びところや糸桜	31	春	植物	糸桜
4587	垂れかゝるしたれ桜や石燈籠	31	春	植物	糸桜
4588	山さくら何の苦もなく咲にけり	23	春	植物	山桜
4589	此風は都を吹かす山桜	24	春	植物	山桜
4590	制札にちりかゝりけり山桜	24	春	植物	山桜
4591	谷川にうづまく波や山桜	24	春	植物	山桜
4592	二三日はちりさかりけり山桜	24	春	植物	山桜
4593	折りくれは半分は散るや山さくら	24	春	植物	山桜
4594	雲といふたわけを殺せ山さくら	25	春	植物	山桜
4595	黒門に丸の跡あり山さくら	25	春	植物	山桜
4596	山桜さく手際よりちる手際	25	春	植物	山桜
4597	酔ふて寝て夢に泣きけり山桜	25	春	植物	山桜
4598	山桜杉の闇よりもれにけり	26	春	植物	山桜
4599	敦盛の鎧に似たり山桜	26	春	植物	山桜
4600	あら壁のあつてかひなし山桜	26	春	植物	山桜
4601	石摺のその跡黒し山桜	26	春	植物	山桜
4602	草臥てよし足引の山桜	26	春	植物	山桜
4603	阪本の人家暮れたり山桜	26	春	植物	山桜
4604	古井戸にもたれて咲きぬ山桜	26	春	植物	山桜
4605	弁慶の指のあとあり山桜	26	春	植物	山桜
4606	目隠しの女あぶなし山桜	26	春	植物	山桜
4607	山桜恋をはなれて哀れ也	26	春	植物	山桜

4608	山桜杉の闇よりもれてけり	26	春	植物	山桜
4609	山桜仁王の腕はもけてけり	26	春	植物	山桜
4610	山桜夢を埋めて散りにけり	26	春	植物	山桜
4611	男より女の多し山桜	26	春	植物	山桜
4612	炭竈のつめたき頃や山桜	27	春	植物	山桜
4613	何物が死んで此墓山桜	27	春	植物	山桜
4614	山桜いくさのあとゝ思はれず	27	春	植物	山桜
4615	三つまたやどの道行かば山桜	28	春	植物	山桜
4616	門前に児待つ母や山桜	28	春	植物	山桜
4617	山桜あたりに雲もなかりけり	28	春	植物	山桜
4618	いとさまの手を引く道や山桜	29	春	植物	山桜
4619	大仏の顔よごれたり山桜	29	春	植物	山桜
4620	大仏の耳かくれけり山桜	29	春	植物	山桜
4621	大仏のよごれた顔や山桜	29	春	植物	山桜
4622	提灯の短冊赤し山桜	29	春	植物	山桜
4623	陣笠に霽散る也山桜	29	春	植物	山桜
4624	十許り灯の並びけり山桜	29	春	植物	山桜
4625	日暮るゝや寺に灯ともす山桜	29	春	植物	山桜
4626	夕月や風吹き入るゝ山さくら	29	春	植物	山桜
4627	兵燹に杉は残りて山桜	31	春	植物	山桜
4628	一重づゝ一重つゝ散れ八重桜	19	春	植物	八重桜
4629	八重さくら時絵書手のなとやらん	25	春	植物	八重桜
4630	金くさき人の往来や八重桜	26	春	植物	八重桜
4631	古寺や心強くも八重桜	26	春	植物	八重桜
4632	吉原や雪洞多き八重桜	29	春	植物	八重桜
4633	料理屋の廁うつくし八重桜	33	春	植物	八重桜
4634	傘なくもぬれながら見る初桜	20	春	植物	初桜
4635	蝶一ツ優しく出たり初桜	20	春	植物	初桜
4636	むら鳥のさわぐ処や初桜	20	春	植物	初桜
4637	初花や同じ枝より散りはじめ	23	春	植物	初桜
4638	大かたの枯木の中や初桜	25	春	植物	初桜
4639	西行の命なりけりはつさくら	25	春	植物	初桜
4640	日うけよき水よき処初桜	25	春	植物	初桜
4641	別荘の注進來たりはつ桜	25	春	植物	初桜
4642	此雨で初桜にもなりさうな	26	春	植物	初桜
4643	五六本咲くや吉野の初桜	26	春	植物	初桜
4644	島台に梅も残りて初さくら	26	春	植物	初桜
4645	旅人のはやかけよるや初桜	26	春	植物	初桜
4646	初桜木曾の手紙に雪がふる	26	春	植物	初桜
4647	初桜二番桜も咲きにけり	26	春	植物	初桜
4648	初桜まづ老木よりあらはるゝ	26	春	植物	初桜
4649	初花や物見車をつくるはん	26	春	植物	初桜
4650	無住寺の鐘ぬすまれて初桜	26	春	植物	初桜
4651	これはこれはあちらこちらの初桜	27	春	植物	初桜
4652	板塀の折り曲りけり初桜	28	春	植物	初桜
4653	めづらしや梅の蒼に初桜	28	春	植物	初桜
4654	折り参らせて初桜とぞ申しける	28	春	植物	初桜
4655	椽端へにしりいでたり初桜	30	春	植物	初桜
4656	新海苔の市に上りぬ初桜	33	春	植物	初桜
4657	新海苔の市に上るや初桜	33	春	植物	初桜
4658	門に立て園児待つ母やおそ桜	28	春	植物	遅桜
4659	尼寺の留守覗ふやおそ桜	25	春	植物	遅桜
4660	さききつて張合もなし遅桜	25	春	植物	遅桜
4661	遅桜静かに詠められにけり	26	春	植物	遅桜
4662	大方は忘れられけり遅桜	26	春	植物	遅桜
4663	片枝は夏へまたげて遅桜	26	春	植物	遅桜
4664	老人のすきな花なり遅桜	26	春	植物	遅桜
4665	遅桜遅きを花の上手かな	27	春	植物	遅桜
4666	勾欄に人顔明けぬおそ桜	28	春	植物	遅桜
4667	遅桜見に来る人はなかりけり	29	春	植物	遅桜
4668	大方の緑の中や遅桜	29	春	植物	遅桜
4669	遅桜花見ぬ人の来りけり	31	春	植物	遅桜
4670	池の端に書画の会あり遅桜	32	春	植物	遅桜
4671	うしろから支へ柱や姥桜	26	春	植物	姥桜

4672	十三の年より咲て姥桜	26	春	植物	姥桜
4673	花守は妻こそなけれ姥桜	26	春	植物	姥桜
4674	我知らじ老いたるをこそ姥桜	26	春	植物	姥桜
4675	朝桜駒のひづめのひやひやと	25	春	植物	朝桜
4676	白馬の一騎かけたり朝桜	25	春	植物	朝桜
4677	しんとして露に音あり朝桜	25	春	植物	朝桜
4678	しんとして露をこぼすや朝桜	25	春	植物	朝桜
4679	花守の女房出るやあさくら	25	春	植物	朝桜
4680	傾城のお白粉はげて朝桜	26	春	植物	朝桜
4681	横雲もたのみありげや朝桜	26	春	植物	朝桜
4682	灯の残る有明桜露深し	27	春	植物	朝桜
4683	傾城の息酒くさし夕桜	25	春	植物	夕桜
4684	ちることは禿もしらず夕桜	25	春	植物	夕桜
4685	月夜には切なりかねつ夕桜	25	春	植物	夕桜
4686	夕くれを背戸へ見に行桜哉	25	春	植物	夕桜
4687	月代やたそがれ桜風ふくむ	26	春	植物	夕桜
4688	風鈴のみだれそめけり夕桜	26	春	植物	夕桜
4689	ほのめくや墨染桜夕月夜	26	春	植物	夕桜
4690	三井寺をのぼるともしや夕桜	26	春	植物	夕桜
4691	夕桜うしろは月になりかゝる	26	春	植物	夕桜
4692	夕桜鐘つき殿に物申す	26	春	植物	夕桜
4693	月代の桜に動く夕かな	27	春	植物	夕桜
4694	灯のともるたそがれ桜静かなり	27	春	植物	夕桜
4695	清水のともし火深し夕桜	29	春	植物	夕桜
4696	灯ともして帰る禰宜あり夕桜	29	春	植物	夕桜
4697	夕桜何がさはつて散りはじめ	34	春	植物	夕桜
4698	ながながと桜の上や月一つ	23	春	植物	夜桜
4699	雪と見る桜の上や月一つ	23	春	植物	夜桜
4700	夜桜や松を境に花明り	23	春	植物	夜桜
4701	夜桜の中に火ともす小家哉	25	春	植物	夜桜
4702	夜桜や露ちりかゝる辻行燈	25	春	植物	夜桜
4703	夜桜や蒔絵に似たる三日の月	25	春	植物	夜桜
4704	うつくしき桜の雨や電気燈	26	春	植物	夜桜
4705	門の花夜行く人の小唄哉	26	春	植物	夜桜
4706	電燈の雨うつくしき桜哉	26	春	植物	夜桜
4707	灯のともる雨夜の桜いちらしや	26	春	植物	夜桜
4708	ふるへとも朧夜桜露もなし	26	春	植物	夜桜
4709	持重る月夜桜の雫かな	26	春	植物	夜桜
4710	夜桜や雨ふる中の電気燈	26	春	植物	夜桜
4711	夜桜や辻燈籠の片うつり	26	春	植物	夜桜
4712	吉原の朧夜桜露もなし	26	春	植物	夜桜
4713	大門や夜桜深く灯ともれり	27	春	植物	夜桜
4714	月よひよひ桜の一重二重哉	27	春	植物	夜桜
4715	月よひよひ桜日に日に満てる哉	27	春	植物	夜桜
4716	夜桜や大雪洞の空うつり	27	春	植物	夜桜
4717	夜桜や十二欄干灯幽かなり	27	春	植物	夜桜
4718	夜桜や人静まりて雨の音	27	春	植物	夜桜
4719	塔高し桜に落つる三日の月	28	春	植物	夜桜
4720	清水や桜の上の鉄燈籠	29	春	植物	夜桜
4721	更くる夜を静まる里の桜哉	29	春	植物	夜桜
4722	更くる夜をしづまる村の桜かな	29	春	植物	夜桜
4723	夜桜にこもる茶店の煙かな	29	春	植物	夜桜
4724	誰そや上野の月夜桜に詩を吟す	30	春	植物	夜桜
4725	半玉が燭の心剪る桜かな	30	春	植物	夜桜
4726	九時の鐘に茶店を鎖す桜かな	32	春	植物	夜桜
4727	夜桜や上野を通る戻り道	32	春	植物	夜桜
4728	吉原や雨の夜桜蛇目傘	32	春	植物	夜桜
4729	ちる花にもつるゝ鳥の翼かな	20	春	植物	散桜
4730	散る花のうしろに動く風見哉	20	春	植物	散桜
4731	散る花の行くへも見たし苔の下	20	春	植物	散桜
4732	けふはまだ知らぬ桜を二日酔	23	春	植物	散桜
4733	散りかけた花におそろし下駄の音	23	春	植物	散桜
4734	谷川やうつまく中へちる桜	24	春	植物	散桜
4735	とぶ蝶にさそはれてちる桜哉	24	春	植物	散桜

4736	花ちるや寂然として石仏	24	春	植物	散桜
4737	おとつさんこんなに花がちつてるよ	25	春	植物	散桜
4738	笈摺の重みになるなちる桜	25	春	植物	散桜
4739	傘張のたゝみこんたり散る桜	25	春	植物	散桜
4740	小娘のからかさすやちる桜	25	春	植物	散桜
4741	桜ちる此時木魚猶はげし	25	春	植物	散桜
4742	石炭の車ならぶや散る桜	25	春	植物	散桜
4743	ちる花にまぶれてゐるや都とり	25	春	植物	散桜
4744	ちる花にもぶれてゐるや都鳥	25	春	植物	散桜
4745	ちる花の中におし行く筏かな	25	春	植物	散桜
4746	散る花は散らぬ花より美しき	25	春	植物	散桜
4747	花散た中や一筋舟の道	25	春	植物	散桜
4748	花ちるや人なき夜の葎茶屋	25	春	植物	散桜
4749	花守の笠きて出たりちる桜	25	春	植物	散桜
4750	わびしらに桜散るなり女人堂	25	春	植物	散桜
4751	わびしらに桜ちるなり緋の袴	25	春	植物	散桜
4752	井戸端の桜ちりけり鍋の底	25	春	植物	散桜
4753	曙や桜ちりしく鬨の水	26	春	植物	散桜
4754	おほけなや大内山にちる桜	26	春	植物	散桜
4755	高德の墨染桜散りにけり	26	春	植物	散桜
4756	小柄杓の底にひつゝく桜哉	26	春	植物	散桜
4757	桜ちるこの曙の廓かな	26	春	植物	散桜
4758	さそはれて面白く散る桜哉	26	春	植物	散桜
4759	炭竈の上にくづるゝ桜かな	26	春	植物	散桜
4760	散らば散れ花こそ春の物狂	26	春	植物	散桜
4761	散る桜たゞ悲しさよ嬉しさよ	26	春	植物	散桜
4762	花散て此頃はやる頭痛哉	26	春	植物	散桜
4763	花散て籠駕都を出で給ふ	26	春	植物	散桜
4764	桜散るたゞこひしさよ嬉しさよ	26	春	植物	散桜
4765	花ちるや思ひきつたる小夜嵐	26	春	植物	散桜
4766	花散るや座禅の眼覚束な	26	春	植物	散桜
4767	花ちるや人にうつりしはやり風	26	春	植物	散桜
4768	花ちるや法華の太鼓禅の鐘	26	春	植物	散桜
4769	花散るや昔に戻る蛙茶屋	26	春	植物	散桜
4770	花守や風ふるへばちる桜	26	春	植物	散桜
4771	一雨や桜まきこむ伊よ簾	26	春	植物	散桜
4772	一つ家に赤子泣く夜やちる桜	26	春	植物	散桜
4773	一つ家の赤子鳴く夜やちる桜	26	春	植物	散桜
4774	人は皆去て静かにちる桜	26	春	植物	散桜
4775	筆とれば短冊の上に桜ちる	26	春	植物	散桜
4776	ほろほるとひとりこぼるゝ桜哉	26	春	植物	散桜
4777	宮守の風折烏帽子桜散る	26	春	植物	散桜
4778	踊れ踊れ花のちる迄暮るゝ迄	26	春	植物	散桜
4779	悪僧の定に入る日やちる桜	27	春	植物	散桜
4780	金堂の桜吹きすて炎かな	27	春	植物	散桜
4781	桜ちる勿来と馬士の唄ひけり	27	春	植物	散桜
4782	滋賀の湖や波のうねうね桜ちる	27	春	植物	散桜
4783	石塔や一本桜散りかゝる	27	春	植物	散桜
4784	ちりかゝる桜の茶屋のともし哉	27	春	植物	散桜
4785	ちる時を狂へ桜の物狂ひ	27	春	植物	散桜
4786	ちる時を待ては帰らぬ桜人	27	春	植物	散桜
4787	花散つて雨面白き一日かな	27	春	植物	散桜
4788	花散て帰山の法師寒げ也	27	春	植物	散桜
4789	花散て静かにくるるかもめ哉	27	春	植物	散桜
4790	花散て檻に居眠る狐かな	27	春	植物	散桜
4791	花散るや五尺に余る大木魚	27	春	植物	散桜
4792	人もなし花散る雨の館船	27	春	植物	散桜
4793	吹きまくる風さまさまの桜かな	27	春	植物	散桜
4794	夕月や一かたまりに散る桜	27	春	植物	散桜
4795	いそがしや花散りかゝる二三日	28	春	植物	散桜
4796	うちかけや一かたまりの桜散る	28	春	植物	散桜
4797	お忍びの編笠に散る桜かな	28	春	植物	散桜
4798	帰るさや暮れて一人に桜散る	28	春	植物	散桜
4799	熊谷の鎧脱ぐ日や散る桜	28	春	植物	散桜

4800	散る花に又酒酌まん二三人	28	春	植物	散桜
4801	花散つて水は南へ流れけり	28	春	植物	散桜
4802	花散りぬ曰く大仏曰く鐘	28	春	植物	散桜
4803	故郷の目に見えてたゞ桜散る	28	春	植物	散桜
4804	行かばわれ筆の花散る処まで	28	春	植物	散桜
4805	鬼事や女の鬼に花が散る	29	春	植物	散桜
4806	今年又花散る四月十二日	29	春	植物	散桜
4807	散つた桜散る桜散らぬ桜哉	29	春	植物	散桜
4808	陣笠に桜散るなり六七騎	29	春	植物	散桜
4809	羽衣に桜吹きこむ舞台哉	29	春	植物	散桜
4810	花散つて心やすくも寝入りけん	29	春	植物	散桜
4811	花ちらちら鳥田の男酒を呑む	29	春	植物	散桜
4812	花に寝て花散る雨は知らざりし	29	春	植物	散桜
4813	万人の鼻息に散る桜かな	29	春	植物	散桜
4814	引窓に花散る朝の日和かな	29	春	植物	散桜
4815	夕暮の花散りかゝる団子かな	29	春	植物	散桜
4816	夕月や桜流るゝ橋の下	29	春	植物	散桜
4817	吉原や鳥鳴いても散る桜	29	春	植物	散桜
4818	夕暮の花散りかゝる群衆哉	31	春	植物	散桜
4819	桜散つて山吹咲きぬ御法事	33	春	植物	散桜
4820	桜散り芝居鎖して暮の春	33	春	植物	散桜
4821	富士筑波西には花よあすか山	18	春	植物	花
4822	さく花もつきいだしけりあけの鐘	19	春	植物	花
4823	限りなき花のとまりやつくば山	20	春	植物	花
4824	さく花のあはひあはひの波の色	20	春	植物	花
4825	花に寝て顔うつ露や酔のさめ	20	春	植物	花
4826	人さればまだ風寒し花の下	20	春	植物	花
4827	隅田の花都へはこぶおきな哉	21	春	植物	花
4828	花を折る人ははいるなよしの山	21	春	植物	花
4829	一ひらの花にあつまる目高哉	21	春	植物	花
4830	昨日見た花は跡なし夜の風	22	春	植物	花
4831	けふ見めや昨日の雨にさいた花	22	春	植物	花
4832	鳥なくや独りたゝすむ花の奥	22	春	植物	花
4833	山の花下より見れば花の山	22	春	植物	花
4834	雪の不尽その外は花の芳野山	22	春	植物	花
4835	月と河、なかに一すじ土手の花	23	春	植物	花
4836	土手三里花をはなれぬ月夜哉	23	春	植物	花
4837	ともし火の花には暗し夜の雨	23	春	植物	花
4838	浪華津の花散りはてゝ江戸の花	23	春	植物	花
4839	花咲くや彼岸へいそぐ渡し守	23	春	植物	花
4840	花十日五日は雨にふられけり	23	春	植物	花
4841	一枝の花おもさうや酒の酔	23	春	植物	花
4842	吹かずとも花は十日の命也	23	春	植物	花
4843	まてよ棹夫水に月影花の影	23	春	植物	花
4844	灯をけせば窓一はいや花の影	23 ~ 25	春	植物	花
4845	あとさきもしらぬ心や花に鳥	24	春	植物	花
4846	肩の荷をかへるや花の折勝手	24	春	植物	花
4847	七丈の空やさく花おちる花	24	春	植物	花
4848	鳥や来て障子に動く花の影	24	春	植物	花
4849	のりあひの僧の見にくし花戻り	24	春	植物	花
4850	花の唇未た動かす谷の陰	24	春	植物	花
4851	ひがきえて窓一めんや花のかげ	24	春	植物	花
4852	火がきえて窓に一枝花のかげ	24	春	植物	花
4853	火をけせば窓一めんや花のかげ	24	春	植物	花
4854	火をけせば窓に一枝花のかげ	24	春	植物	花
4855	目がさめて見れば人なし花に月	24	春	植物	花
4856	磯浜や花打ちあぐる波の跡	25	春	植物	花
4857	家一つ花より上に見ゆるかな	25	春	植物	花
4858	烏帽子着た人も見ゆるや嵯峨の花	25	春	植物	花
4859	籠一つ花に押きる夜明かな	25	春	植物	花
4860	籠一つ花を押きる夜明哉	25	春	植物	花
4861	土器に花のひつつく神酒哉	25	春	植物	花
4862	小蒸気のとにゆさぶる花の波	25	春	植物	花
4863	小蒸気やあとにゆさぶる花の波	25	春	植物	花

4864	さて花は四国になりて六十里	25	春	植物	花
4865	棹少し花に短き筏哉	25	春	植物	花
4866	さん候いかさま花の都かな	25	春	植物	花
4867	四斗樽を床几に花の木陰哉	25	春	植物	花
4868	茶屋もなく酒屋も見えず花一木	25	春	植物	花
4869	西山の花に抱きつく涙哉	25	春	植物	花
4870	花に来て花にこがるゝ夕かな	25	春	植物	花
4871	花にさへぬす人の名のものものし	25	春	植物	花
4872	花を見ぬ人の心そ恐ろしき	25	春	植物	花
4873	桮から道見定めて峰の花	25	春	植物	花
4874	兵卒は国の花なりけふの花	25	春	植物	花
4875	待つ恋の心を花に覚えけり	25	春	植物	花
4876	峯々の花や樵夫の道すがる	25	春	植物	花
4877	山鳥の木玉すさまし花のおく	25	春	植物	花
4878	宵闇を花におしきる筏哉	25	春	植物	花
4879	有明や忠度花をいでゝ行く	26	春	植物	花
4880	謠ひ一曲亡魂花にうかれ出よ	26	春	植物	花
4881	大比枝や小比枝つるりと花もなし	26	春	植物	花
4882	垣こしに花ぬすむ手をとられけり	26	春	植物	花
4883	伽羅くさい風かふく也京の花	26	春	植物	花
4884	伽羅くさき風が吹く也京の花	26	春	植物	花
4885	この花に泣き上戸あり十五日	26	春	植物	花
4886	其杖のそのまゝ花と生ひけらし	26	春	植物	花
4887	大仏や花にもならぬ雲の上	26	春	植物	花
4888	旅人の為にとて咲く花もあらん	26	春	植物	花
4889	なくも哉花こそ人の喧嘩なれ	26	春	植物	花
4890	蓮根堀少し上野の花も見よ	26	春	植物	花
4891	花下りて飯粒ひろふ雀哉	26	春	植物	花
4892	花咲てけふや飛鳥の花七日	26	春	植物	花
4893	花咲て王子の森の黒さ哉	26	春	植物	花
4894	花にあけ月にくれ行旅路哉	26	春	植物	花
4895	花にぬれて樽に綿衣をぬきかけし	26	春	植物	花
4896	花に妾世に一日の閑を得たり	26	春	植物	花
4897	花三日お白粉くさき山路哉	26	春	植物	花
4898	まほろしや花の夕の蝉衣	26	春	植物	花
4899	やとり木にさく花匂ふ松の下	26	春	植物	花
4900	我泣かばちりやとまらん御所の花	26	春	植物	花
4901	我泣かんに散ることなかれ御所の花	26	春	植物	花
4902	明寺や花咲て人往来す	27	春	植物	花
4903	有様は酒のみに来て花の宿	27	春	植物	花
4904	色里や白頭の翁花を売る	27	春	植物	花
4905	江戸入りや花の中行く大鳥毛	27	春	植物	花
4906	奇麗のがぞろりぞろりと花の山	27	春	植物	花
4907	傾城の花に泣く夜となりけり	27	春	植物	花
4908	磬の声花なき寺の静かなり	27	春	植物	花
4909	此花がいやぢやいやぢやと死なれけん	27	春	植物	花
4910	咲く咲かぬ花にも嘘の世なりけり	27	春	植物	花
4911	其まゝに花を見た目を瞑がれぬ	27	春	植物	花
4912	中々に錦小路は花もなし	27	春	植物	花
4913	花咲て今人の親の病かな	27	春	植物	花
4914	花咲て知らぬ男の出入かな	27	春	植物	花
4915	花咲て笋飯のさかりかな	27	春	植物	花
4916	花咲て老葉の親の病かな	27	春	植物	花
4917	花の寺濁酒売の這入けり	27	春	植物	花
4918	花の山浮世画の美人来る哉	27	春	植物	花
4919	花を見た其目を直に瞑がれぬ	27	春	植物	花
4920	晴れつ降りつ花にもならで狐雨	27	春	植物	花
4921	山ぞひや花の根岸の一くるわ	27	春	植物	花
4922	軍かな我も出で立つ花に劍	28	春	植物	花
4923	軍かな我も行くなり花に劍	28	春	植物	花
4924	軍にと我も出で立つ花に劍	28	春	植物	花
4925	軍にと我も行くなり花に劍	28	春	植物	花
4926	軍へと我も出で立つ花に劍	28	春	植物	花
4927	軍へと我も行くなり花に劍	28	春	植物	花

4928	家見ゆる花の麓の郭かな	28	春	植物	花
4929	うき世とは下戸の嘘也花に酒	28	春	植物	花
4930	恐る恐る花見る爺や丸の内	28	春	植物	花
4931	勾欄に人顔明けて花寒し	28	春	植物	花
4932	小娘の花の使の文箱かな	28	春	植物	花
4933	小娘は花の使の文箱かな	28	春	植物	花
4934	銭湯で上野の花の噂かな	28	春	植物	花
4935	年々の花に同じき顔もなし	28	春	植物	花
4936	花咲いて妻なき宿ぞ口をしき	28	春	植物	花
4937	花咲いて坊主の顔の黒さ哉	28	春	植物	花
4938	花に瘦せる千里の駒の蹄かな	28	春	植物	花
4939	花の酔さめずと申せ司人	28	春	植物	花
4940	乱れ咲く花に未の太鼓かな	28	春	植物	花
4941	吾は寝ん君高樓の花に酔へ	28	春	植物	花
4942	暁の花咲く山の緑かな	29	春	植物	花
4943	有明の花静かなり角櫓	29	春	植物	花
4944	うれしげに小便するや花の山	29	春	植物	花
4945	交番やこゝにも一人花の酔	29	春	植物	花
4946	佳人花の如し我衣破れたり	29	春	植物	花
4947	此花に酒千斛とつもりけり	29	春	植物	花
4948	大仏を見に行く花の小道哉	29	春	植物	花
4949	なくさみや花はなけれど松葉閑	29	春	植物	花
4950	寝て聞けば上野の花のさわぎかな	29	春	植物	花
4951	寝て聞けば上野は花のさわぎ哉	29	春	植物	花
4952	花咲いて思ひ出す人皆遠し	29	春	植物	花
4953	花咲きぬあそこは社こゝは寺	29	春	植物	花
4954	花ながら既に梢の若葉かな	29	春	植物	花
4955	花七日堤沈むこと一寸	29	春	植物	花
4956	花に雪駄ちやりと人の機嫌かな	29	春	植物	花
4957	花の山鐘楼ばかりぞ残りける	29	春	植物	花
4958	松杉も花に隠れてしまひけり	29	春	植物	花
4959	世の中は花に振袖松に鳶	29	春	植物	花
4960	世の花にわれ家も無き旅人かな	29	春	植物	花
4961	浪人や敵を尋ね江戸の花	29	春	植物	花
4962	楽聞え花ふり御魂降るらし	30	春	植物	花
4963	闇に座す花の梢の十万戸	30	春	植物	花
4964	花將に咲かんとす大雨夜一夜	30	春	植物	花
4965	水垢離や裸に花を吹きつける	30	春	植物	花
4966	山寺の花や庭木の間より	30	春	植物	花
4967	吉原を見下す花の茶店哉	30	春	植物	花
4968	遡る花の小川のボートかな	31	春	植物	花
4969	三味提げて大仏見るや花の山	31	春	植物	花
4970	花暮れし上野に虎の吼ゆる哉	31	春	植物	花
4971	花に群集松の葉白き埃哉	31	春	植物	花
4972	花に酔ふて頭痛すといふ女哉	31	春	植物	花
4973	花の気を杉の林にさましけり	31	春	植物	花
4974	花の村にハネームーンの名残かな	31	春	植物	花
4975	我病んで花の発句もなかりけり	31	春	植物	花
4976	工夫して花にラムプを吊しけり	32	春	植物	花
4977	銅像に集まる人や花の山	32	春	植物	花
4978	花多く蜜蜂を飼ふ小家哉	32	春	植物	花
4979	花に遠く手を引かれたる病者哉	32	春	植物	花
4980	花の歌添へし吉野の写真哉	32	春	植物	花
4981	宮方や花の御宴の主人役	32	春	植物	花
4982	いたわしさ花見ぬ人の瘦せやうや	33	春	植物	花
4983	花の手紙見て頼襄へ廻しけり	33	春	植物	花
4984	松杉や花の上野の後側	34	春	植物	花
4985	西行庵花も桜もなかりけり	35	春	植物	花
4986	花に来て銭掏られけり田舎人	35	春	植物	花
4987	花に来て芳雲館に昼餉哉	35	春	植物	花
4988	花の中に運動会の囲ひかな	35	春	植物	花
4989	花の山足踏み鳴らす上登り口	35	春	植物	花
4990	花の山蔵王権現静まりぬ	35	春	植物	花
4991	花見えて足踏み鳴らす登り口	35	春	植物	花

4992	六田越えて花に急ぐや一の坂	35	春	植物	花
4993	指さすや花の木の間の如意輪寺	35	春	植物	花
4994	我病んで花の句も無き句帖かな	35	春	植物	花
4995	月落ちて鴉鳴く也花明り	23	春	植物	花明り
4996	桜花夢の浮世のさかり哉	25	春	植物	花盛
4997	花盛知らぬ男のいだきつく	25	春	植物	花盛
4998	花さかり月に雨もつよもすから	25	春	植物	花盛
4999	庵に居て山のさわぎや花盛	26	春	植物	花盛
5000	釣鐘の寄進出来たり花盛	26	春	植物	花盛
5001	花盛りくどかば落ちん人許り	26	春	植物	花盛
5002	有りやうは酒のみに来て花盛	27	春	植物	花盛
5003	大桜只一もとのさかり哉	27	春	植物	花盛
5004	吉原や道の真中の花盛	27	春	植物	花盛
5005	絵の島や石も五色の花盛	27	春	植物	花盛
5006	観音で雨に逢ひけり花盛	28	春	植物	花盛
5007	花盛故郷や今衣がへ	28	春	植物	花盛
5008	むつかしき雲が出てけり花盛	28	春	植物	花盛
5009	競漕の雨にやむ日や花盛	30	春	植物	花盛
5010	お祭の日和になりぬ花盛	31	春	植物	花盛
5011	京に来てひたと病みつきぬ花盛	31	春	植物	花盛
5012	金尽きて京に入る日や花盛	32	春	植物	花盛
5013	銭尽きて京に入る日や花盛	32	春	植物	花盛
5014	江戸に来て銭掏られけり花盛り	35	春	植物	花盛
5015	花の雲かゝりにけりな人の山	20	春	植物	花の雲
5016	はいつて八くゞつて八出て八花の雲	25	春	植物	花の雲
5017	花の雲臙をくたく筏哉	25	春	植物	花の雲
5018	花のくもおぼろをやぶる筏哉	25	春	植物	花の雲
5019	花の雲博覧会にかゝりけり	25	春	植物	花の雲
5020	がけ端やあぶなくかゝる花の雲	26	春	植物	花の雲
5021	清水の浮みて高し花の雲	26	春	植物	花の雲
5022	少しつゝ在在所の花の雲	26	春	植物	花の雲
5023	花の雲一日々々に太りけり	26	春	植物	花の雲
5024	花の雲一日一日はふとりけり	26	春	植物	花の雲
5025	ぼんやりと埃の中に花の雲	26	春	植物	花の雲
5026	大仏の膝にかゝるや花の雲	27	春	植物	花の雲
5027	花の雲鐘つき堂は埋れぬ	27	春	植物	花の雲
5028	花の雲王城細く見ゆる哉	27	春	植物	花の雲
5029	鉄橋や左に見ゆる花の雲	28	春	植物	花の雲
5030	岩角や一かたまりの花の雲	29	春	植物	花の雲
5031	新阪や向ふに見ゆる花の雲	29	春	植物	花の雲
5032	隣隣屋根の上より花の雲	29	春	植物	花の雲
5033	花の雲言問団子桜餅	29	春	植物	花の雲
5034	大仏を埋めて白し花の雲	30	春	植物	花の雲
5035	花の雪つく波の山にふりかゝる	26	春	植物	花の雪
5036	水棹ふれぬ一かたまりの花の雪	27	春	植物	花の雪
5037	牛島や牛帰る頃の花吹雪	26	春	植物	花吹雪
5038	牛の背や鹿の子まだらの花吹雪	26	春	植物	花吹雪
5039	朱の鞍や花の吹雪の馬つなぎ	26	春	植物	花吹雪
5040	簀笠や花の吹雪の渡し守	26	春	植物	花吹雪
5041	山里や月もなき夜の花吹雪	26	春	植物	花吹雪
5042	山里や人もなき夜の花ふゝき	26	春	植物	花吹雪
5043	我庭や上野の花の花吹雪	26	春	植物	花吹雪
5044	馬一騎嵐の花のみだれ哉	27	春	植物	花吹雪
5045	横に吹く落花の雪や杉の前	33	春	植物	花吹雪
5046	落花樹にかへれど人の行へ哉	20	春	植物	落花
5047	馬車二輛落花の風にかけり行	25	春	植物	落花
5048	くれかゝる春はきよせし落花哉	26	春	植物	落花
5049	大鼓小鼓落花狂へとよ	27	春	植物	落花
5050	紙にうけて落花を包む禿哉	27	春	植物	落花
5051	流れ行く大盃の落花哉	27	春	植物	落花
5052	晩鐘や簪の花のちりかゝる	27	春	植物	落花
5053	めらめらと落花燃けり大篝	27	春	植物	落花
5054	狩衣に落花を惜む歌あらむ	29	春	植物	落花
5055	此上に落花つもれと思ふかな	29	春	植物	落花

5056	宮守の釵拾ふ落花かな	29	春	植物	落花
5057	酒酣に落花を吹て剣に舞ふ	30	春	植物	落花
5058	夜嵐や落花吹付る電気燈	30	春	植物	落花
5059	風起る落花の中の群集哉	32	春	植物	落花
5060	向つ家の屋根吹き越ゆる落花かな	34	春	植物	落花
5061	千本が一時に落花する夜あらん	35	春	植物	落花
5062	風吹て裏は入江や花杏	26	春	植物	杏の花
5063	山梨の中に杏の花さかり	26	春	植物	杏の花
5064	一村は杏と柳ばかりかな	28	春	植物	杏の花
5065	もろこしに杏の花の名所かな	28	春	植物	杏の花
5066	もろこしは杏の花の名所かな	28	春	植物	杏の花
5067	山間や村は杏の花曇り	28	春	植物	杏の花
5068	都督府の杏咲くなり門の内	29	春	植物	杏の花
5069	豕飼ふて杏の咲かぬ家もなし	29	春	植物	杏の花
5070	西門の杏東門の柳かな	31	春	植物	杏の花
5071	李の花に宮司の姫の端居哉	25	春	植物	李の花
5072	羽はたきに李雪ちる鳥哉	26	春	植物	李の花
5073	真白に李散りけり手水鉢	26	春	植物	李の花
5074	山里は李さく頃の寒さ哉	27	春	植物	李の花
5075	桃李李は少しおくれけり	29	春	植物	李の花
5076	李白く桃紅の裏家かな	32	春	植物	李の花
5077	しばられた棚にうら見や梨の花	24	春	植物	梨の花
5078	梨子の花ふしは月夜に粉れけり	25	春	植物	梨の花
5079	有明をはなれて白し梨の花	26	春	植物	梨の花
5080	梨の花折るべき枝はなかりけり	26	春	植物	梨の花
5081	小原女の薪にまじる梨の花	26	春	植物	梨の花
5082	有明のきえきえに梨の花淋し	27	春	植物	梨の花
5083	梨老いて花まばらなり萼畠	28	春	植物	梨の花
5084	梨咲くやいくさのあとの崩れ家	28	春	植物	梨の花
5085	鞦韆の影静かなり梨花の月	28	春	植物	梨の花
5086	金州や東門の外に梨の花	29	春	植物	梨の花
5087	対の屋に灯の残りけり梨の花	29	春	植物	梨の花
5088	梨の花団十郎をひみきかな	29	春	植物	梨の花
5089	居酒屋の窓に梨咲く薄月夜	29	春	植物	梨の花
5090	居酒屋の窓に梨さく夕月夜	29	春	植物	梨の花
5091	灯ともせば梨の花散る寒さかな	30	春	植物	梨の花
5092	灯ともせば梨の花散る夕かな	30	春	植物	梨の花
5093	夕寒み翠簾に散る梨の花吹雪	30	春	植物	梨の花
5094	梨花白し此頃美女を見る小家	30	春	植物	梨の花
5095	梨花の雪どびの雪翠簾の夢寒し	30	春	植物	梨の花
5096	朝起の鏡に寒し梨の花	31	春	植物	梨の花
5097	雨に鎖す紗窓の外や梨花の雪	31	春	植物	梨の花
5098	裏畑の小便溜や梨の花	31	春	植物	梨の花
5099	川崎を汽車で通るや梨の花	31	春	植物	梨の花
5100	鴉飛ぶ後園の月や梨の花	31	春	植物	梨の花
5101	灯の映る閨の小窓や梨の花	31	春	植物	梨の花
5102	滅びたる国の形見や梨の園	31	春	植物	梨の花
5103	実を盗む隣の梨の花咲ぬ	31	春	植物	梨の花
5104	麦荒れて梨の花さく畠哉	31	春	植物	梨の花
5105	落第の人を送るや梨の花	31	春	植物	梨の花
5106	徒歩で行く大師詣や梨の花	32	春	植物	梨の花
5107	万両にゆすらの花の白き散る	30	春	植物	ゆすらの花
5108	海棠の檐に鸚鵡の宙がへり	23	春	植物	海棠
5109	海棠や蜂の巣見ゆる花の陰	25	春	植物	海棠
5110	海棠の寝顔に見ゆる笑くほ哉	26	春	植物	海棠
5111	海棠は鏡見せたき姿哉	26	春	植物	海棠
5112	海棠やほんやりうつる人の影	26	春	植物	海棠
5113	海棠をつゝいてまはる胡蝶哉	26	春	植物	海棠
5114	海棠に反魂香の煙かな	27	春	植物	海棠
5115	海棠の雫にそだつ金魚かな	27	春	植物	海棠
5116	海棠や雪洞消えて人の声	27	春	植物	海棠
5117	紙燭取て女海棠に立てりけり	27	春	植物	海棠
5118	海棠に瘦せて女の佇めり	28	春	植物	海棠
5119	海棠の花に紅さす局かな	28	春	植物	海棠

5120	生垣に海棠咲くや上根岸	29	春	植物	海棠
5121	福助は海棠の花の男かな	29	春	植物	海棠
5122	海棠に大名とまる日は高し	31	春	植物	海棠
5123	杉垣に海棠咲くや上根岸	31	春	植物	海棠
5124	海棠に遊ぶ二人の禿哉	32	春	植物	海棠
5125	海棠に麩の細き美人哉	32	春	植物	海棠
5126	海棠に鏡立てたる化粧哉	32	春	植物	海棠
5127	海棠に障子明けたる化粧哉	32	春	植物	海棠
5128	海棠の鉢植置きし衣桁哉	32	春	植物	海棠
5129	海棠の鉢をかゝへて歩行きけり	32	春	植物	海棠
5130	海棠やきのふ娶りし宿の妻	32	春	植物	海棠
5131	海棠やともし火うつる閨の窓	32	春	植物	海棠
5132	楊貴妃の化粧道具や海棠花	33	春	植物	海棠
5133	木蓮花小窓のすゝび見えにけり	25	春	植物	木蓮
5134	木蓮花鉄燈籠の黒さかな	25	春	植物	木蓮
5135	風吹て裸なりけり木蓮花	26	春	植物	木蓮
5136	木蓮の花一斉に開きけり	27	春	植物	木蓮
5137	鈍き木に木蓮の花大なる	30	春	植物	木蓮
5138	木蓮花咲くや剣術指南番	30	春	植物	木蓮
5139	木蓮の花は落ちたる青芽哉	32	春	植物	木蓮
5140	木蓮の蕾少き若木かな	34	春	植物	木蓮
5141	木蓮や読書の窓の外側に	34	春	植物	木蓮
5142	風にゆられ水にゆられて藤の花	24	春	植物	藤
5143	蝶蝶のはいる透なし藤の花	25	春	植物	藤
5144	藤の芽は花さきさうになかりけり	25	春	植物	藤
5145	まだ風のたけも短し藤の花	25	春	植物	藤
5146	水までとはどかぬ風や藤の花	25	春	植物	藤
5147	あはれさは牛仰むかす藤の花	26	春	植物	藤
5148	風吹て逃るやうなり藤の花	25	春	植物	藤
5149	かんざしの蝶ちらつくや藤の花	26	春	植物	藤
5150	去年より一尺長し藤の花	26	春	植物	藤
5151	束髪の余り背高し藤の花	26	春	植物	藤
5152	反橋や藤紫に鯉赤し	26	春	植物	藤
5153	誰やらの紋に結ばん藤の花	26	春	植物	藤
5154	永き日やそのしだり尾の下り藤	26	春	植物	藤
5155	何色に振袖そめん藤の花	26	春	植物	藤
5156	行く春や昔に届きし藤の花	26	春	植物	藤
5157	我笠に藤振りかゝる山路哉	26	春	植物	藤
5158	明寺に藤の花咲く枯木哉	27	春	植物	藤
5159	今日はまた西へ吹かれつ藤の花	27	春	植物	藤
5160	吹かれてはもつれてとけて藤の花	27	春	植物	藤
5161	藤咲きぬ松に一夜を寝て見やう	27	春	植物	藤
5162	古寺に藤の花さく枯木哉	27	春	植物	藤
5163	まつの藤しきりに露をこほしけり	27	春	植物	藤
5164	深山路や松の闇より藤の花	27	春	植物	藤
5165	落ちかゝる石を抱えて藤の花	28	春	植物	藤
5166	落ちかゝる岩を抱えて藤の花	28	春	植物	藤
5167	掛茶屋や頭にさはる藤の花	29	春	植物	藤
5168	木の末をたわめて藤の下りけり	29	春	植物	藤
5169	刺繍に倦んで女あくびす藤の花	29	春	植物	藤
5170	藤咲いて眼やみ籠るや薬師堂	29	春	植物	藤
5171	藤さがるあちらこちらの梢かな	29	春	植物	藤
5172	松の木に藤さがる画や百人首	29	春	植物	藤
5173	持ちそふる狩衣の袖に藤の花	29	春	植物	藤
5174	物好に藤咲かせけり庭の松	29	春	植物	藤
5175	山藤や短き房の花ざかり	29	春	植物	藤
5176	今日も伸び伸びけり藤の花	30	春	植物	藤
5177	藤棚や池をめぐりて屈曲す	30	春	植物	藤
5178	大津画に似た塗笠や藤の花	32	春	植物	藤
5179	手に提げし藤土につくうれしさよ	32	春	植物	藤
5180	橋際に藤棚のある茶店哉	32	春	植物	藤
5181	藤棚のある料理屋や町はづれ	32	春	植物	藤
5182	絵を習ふ絵師か娘や藤の花	32	春	植物	藤
5183	御慶事を祝ふや藤の造り花	33	春	植物	藤

5184	御婚儀を祝ふや藤の作り花	33	春	植物	藤
5185	反橋や池を巡りて藤の棚	33	春	植物	藤
5186	藤棚に赤提灯をつるしけり	33	春	植物	藤
5187	藤棚に提灯つりし茶店哉	33	春	植物	藤
5188	藤の花長うして雨ふらんとす	33	春	植物	藤
5189	藤を見に行きしきのふの疲れ哉	33	春	植物	藤
5190	藤活けて酒をさしたるきほひかな	34	春	植物	藤
5191	念仏に季はなけれとも藤の花	35	春	植物	藤
5192	風吹て馬酔木花散る門も哉	26	春	植物	馬酔木
5193	大岩のわれめわれめや岩つゝし	24	春	植物	つつじ
5194	下り舟岩に松ありつゝじあり	24	春	植物	つつじ
5195	妹が門つゝじをむしる別れ哉	25	春	植物	つつじ
5196	かけはしやあぶないところに山つゝし	25	春	植物	つつじ
5197	菟蓐につゝじの名あれ太山寺	25	春	植物	つつじ
5198	さゝやかな金魚の波や山つゝし	25	春	植物	つつじ
5199	馬引てつゝじの小道帰り行く	26	春	植物	つつじ
5200	箕ありつゝじは赤く米黒し	26	春	植物	つつじ
5201	風吹てつゝじの花の流れよる	26	春	植物	つつじ
5202	風吹て花ふる竿のつゝじ哉	26	春	植物	つつじ
5203	築山の裏に淋しきつゝじ哉	26	春	植物	つつじ
5204	つみこんで四角に咲きしつゝじ哉	26	春	植物	つつじ
5205	二日路や高野にそふて山つゝじ	26	春	植物	つつじ
5206	塀ごしに庄屋のつゝじ見ゆる也	26	春	植物	つつじ
5207	餅くふやよしずに見すく山つゝじ	26	春	植物	つつじ
5208	裏山につゝじ許りのいはほ哉	27	春	植物	つつじ
5209	大岩のつゝじ小さく見ゆる哉	27	春	植物	つつじ
5210	つゝじ咲て飴売る木曾の山家哉	27	春	植物	つつじ
5211	つゝじ折るつゝじが茶屋の女哉	27	春	植物	つつじ
5212	ところどころつゝじ咲く也屏風岩	27	春	植物	つつじ
5213	紫の夕山つゝじ家もなし	27	春	植物	つつじ
5214	山陰や檐より上につゝじ咲く	27	春	植物	つつじ
5215	山寺や石あつて壇あつてつゝじ咲く	27	春	植物	つつじ
5216	岩角やつゝじ花さく齒朶隠れ	28	春	植物	つつじ
5217	瀬をはやみ舟流れ行くつゝじ哉	28	春	植物	つつじ
5218	つゝじ咲く巖の上に橋かけたり	28	春	植物	つつじ
5219	手を出せば舟流れ行くつゝじ哉	28	春	植物	つつじ
5220	岡にそふてつゝじの多き小道哉	28	春	植物	つつじ
5221	岡にそひてつゝじの多き小道哉	28	春	植物	つつじ
5222	こまがりに刈り残されて山つゝじ	29	春	植物	つつじ
5223	旅人のつゝじ引き抜く山路哉	29	春	植物	つつじ
5224	築山につゝじ咲くなり石の間	29	春	植物	つつじ
5225	つき山のつゝじ咲く也石の間	29	春	植物	つつじ
5226	つゝじ多く石碑立たる茶店哉	29	春	植物	つつじ
5227	つゝじ咲く絶壁の凹み仏立つ	29	春	植物	つつじ
5228	松若くつゝじがちなる小山かな	29	春	植物	つつじ
5229	名物の菟蓐黒きつゝじかな	29	春	植物	つつじ
5230	大磯や庭砂にして松つゝじ	30	春	植物	つつじ
5231	大木のつゝじ名に立つ野寺哉	31	春	植物	つつじ
5232	大木のつゝじ見に来る野寺哉	31	春	植物	つつじ
5233	大木のつゝじ見による野寺哉	31	春	植物	つつじ
5234	つゝじ多き田舎の寺や花御堂	31	春	植物	つつじ
5235	つゝじ咲く庭や昔の御本陣	32	春	植物	つつじ
5236	白壁につゝじ咲たる庄屋哉	33	春	植物	つつじ
5237	燃ゆる如きつゝじが中の白つゝじ	33	春	植物	つつじ
5238	高台に家構へたるつゝじかな	34	春	植物	つつじ
5239	つゝじまだ咲かで淋しき園生哉	35	春	植物	つつじ
5240	住吉に花なき松はなかりけり	26	春	植物	松の花
5241	月のなき夜の朧なり松の花	26	春	植物	松の花
5242	鶴舞や風吹きこぼす松の花	26	春	植物	松の花
5243	松の花伊勢の朝日の匂ひ哉	26	春	植物	松の花
5244	松の花禰宜がやしきの庭作り	26	春	植物	松の花
5245	松山の天主崩れず松の花	26	春	植物	松の花
5246	汐風や羽衣の松花さきぬ	27	春	植物	松の花
5247	花も咲かで須磨の浜松老にけり	27	春	植物	松の花

5248	年老ていよいよ松の緑かな	26	春	植物	松の緑
5249	によきによきと松の緑の立てけり	26	春	植物	松の緑
5250	真ン丸き庭の小松の緑立つ	29	春	植物	松の緑
5251	たのもしや二尺の松の若緑	30	春	植物	松の緑
5252	南風に粉を散す松の若緑	30	春	植物	松の緑
5253	船形に造りし松の緑哉	32	春	植物	松の緑
5254	繡球花をたが織りそめて紅小袖	25	春	植物	小粉団
5255	山吹の垣うら白し小米花	26	春	植物	小米花
5256	井戸ばたにこほれて白し小米花	26	春	植物	小米花
5257	此春も早連翹の散りかゝる	26	春	植物	連翹
5258	連翹の雨に乱れてしどろ也	27	春	植物	連翹
5259	連翹に一閑張の机かな	29	春	植物	連翹
5260	連翹やたばねられたる庭の隅	29	春	植物	連翹
5261	鉢栽の連翹に来る小鳥哉	31	春	植物	連翹
5262	連翹や紅梅散りし庭の隅	33	春	植物	連翹
5263	連翹に似て非なる木の花黄なり	35	春	植物	連翹
5264	地についた様ナリ土手のぼけの花	22	春	植物	木瓜の花
5265	地についた様にはえたりぼけの花	22	春	植物	木瓜の花
5266	にくらしきものゝ愛らし木瓜の花	24	春	植物	木瓜の花
5267	愛らしきものゝにくらし木瓜の花	25	春	植物	木瓜の花
5268	近江路や茶店茶店の木瓜の花	26	春	植物	木瓜の花
5269	江戸を出て木瓜の花垣珍らしき	26	春	植物	木瓜の花
5270	江戸を出て木瓜の花垣めづらしや	26	春	植物	木瓜の花
5271	草むらや董まじりに木瓜の花	26	春	植物	木瓜の花
5272	初旅や木瓜もうれしき物の数	26	春	植物	木瓜の花
5273	木瓜咲くや土手の上下道二つ	26	春	植物	木瓜の花
5274	溝ありて背戸は垣なし木瓜の花	26	春	植物	木瓜の花
5275	道ばたや踏まれて瘦せる木瓜の花	26	春	植物	木瓜の花
5276	よく見れば木瓜の蒼や草の中	26	春	植物	木瓜の花
5277	吾妹子が門忘れめや木瓜の花	26	春	植物	木瓜の花
5278	野を行くや木瓜の細道幾曲り	27	春	植物	木瓜の花
5279	木瓜董中を車のわだち哉	27	春	植物	木瓜の花
5280	むく犬のくゞり出けり木瓜の花	27	春	植物	木瓜の花
5281	草むらや一寸程の木瓜の花	29	春	植物	木瓜の花
5282	妻一人娘一人や木瓜の花	29	春	植物	木瓜の花
5283	妻をつれ娘をつれて木瓜の花	29	春	植物	木瓜の花
5284	木瓜董かゞとの豆になやみけり	29	春	植物	木瓜の花
5285	山吹に古衣洗ふをとめ哉	23	春	植物	山吹
5286	山吹や水にひたりし花の枝	23	春	植物	山吹
5287	山路きて山吹白く顔黒し	24	春	植物	山吹
5288	此頃は井出の山吹面白し	25	春	植物	山吹
5289	山吹の垣にとなりはなかりけり	25	春	植物	山吹
5290	山吹の中に顔出す白のおと	25	春	植物	山吹
5291	山吹の中に米つくよめ御かな	25	春	植物	山吹
5292	山吹の中に米つく女哉	25	春	植物	山吹
5293	山吹の中へわたすや丸木はし	25	春	植物	山吹
5294	山吹や折折はねる水の月	25	春	植物	山吹
5295	風吹て山吹さわぐ早瀬哉	26	春	植物	山吹
5296	風吹て山吹蝶をはね返し	26	春	植物	山吹
5297	風吹て山吹に灯のみだれ哉	26	春	植物	山吹
5298	風吹て山吹の垣定まらず	26	春	植物	山吹
5299	水かぶや山吹つゞく馬の鼻	26	春	植物	山吹
5300	むかばきに八重山吹の乱れけり	26	春	植物	山吹
5301	山吹に雪解の水の青々し	26	春	植物	山吹
5302	山吹の上に家あり雪操居	26	春	植物	山吹
5303	山吹の下へはいるや鱧取	26	春	植物	山吹
5304	山吹のちるや布にも河原にも	26	春	植物	山吹
5305	山吹や月の戸叩く武者一騎	26	春	植物	山吹
5306	山吹や人形かわく一むしろ	26	春	植物	山吹
5307	山吹や藁屋を叩く武者一騎	26	春	植物	山吹
5308	比丘尼来て山吹折て帰りけり	27	春	植物	山吹
5309	山吹の外向いて咲く垣根かな	27	春	植物	山吹
5310	山吹の中に引つ込む小牛哉	27	春	植物	山吹
5311	山吹を踏んで驚く雀かな	27	春	植物	山吹

5312	傘さして山吹提げて橋の上	28	春	植物	山吹
5313	山吹の岸も過ぎけり下り舟	28	春	植物	山吹
5314	山吹の岸も過ぎけり渡し舟	28	春	植物	山吹
5315	山吹の濡れてひつゝく鎧かな	28	春	植物	山吹
5316	山吹の花の雫や宵の雨	28	春	植物	山吹
5317	山吹の花の雫やよべの雨	28	春	植物	山吹
5318	山吹や雨雲垂るゝ野のほとり	28	春	植物	山吹
5319	山吹や水うつくしき多摩の里	28	春	植物	山吹
5320	裏門や山吹提げて人戻る	29	春	植物	山吹
5321	背戸川の山吹散るや鍋茶釜	29	春	植物	山吹
5322	竹垣や雨の山吹土に臥す	29	春	植物	山吹
5323	山吹の背戸口狭し鍋茶釜	29	春	植物	山吹
5324	山吹に張物乾く日は高し	30	春	植物	山吹
5325	山吹の毎日散つて井浅し	30	春	植物	山吹
5326	山吹や小鮎入れたる桶に散る	30	春	植物	山吹
5327	等閑に山吹咲ける名所かな	31	春	植物	山吹
5328	古井戸や山吹散つて魚遊ぶ	31	春	植物	山吹
5329	山吹に木瓜のまじりし垣根哉	31	春	植物	山吹
5330	山吹の散るや盥の忘れ水	31	春	植物	山吹
5331	山吹の流れ去りけり一しきり	31	春	植物	山吹
5332	山吹の花くふ馬を叱りけり	31	春	植物	山吹
5333	山吹の花を渦巻く井堰かな	31	春	植物	山吹
5334	山吹の溝に垂れたる垣根哉	31	春	植物	山吹
5335	山吹や公事に上りて借屋敷	31	春	植物	山吹
5336	山吹や尋ねあたらぬ乳母が家	31	春	植物	山吹
5337	山吹や花散り尽す水の上	31	春	植物	山吹
5338	雨晴れて山吹黄なる蕾哉	32	春	植物	山吹
5339	杉垣に山吹咲ける裏戸哉	32	春	植物	山吹
5340	庭先の山吹を折る法事かな	32	春	植物	山吹
5341	干傘に山吹散るや狭き庭	32	春	植物	山吹
5342	山吹に柳しだるゝ小池かな	32	春	植物	山吹
5343	山吹の上にしだるゝ柳かな	32	春	植物	山吹
5344	山吹の咲くや武蔵の玉川に	32	春	植物	山吹
5345	山吹の散りそめて皆散にけり	32	春	植物	山吹
5346	山吹の花流れよる芥かな	32	春	植物	山吹
5347	山吹や池に臨みて亭一つ	32	春	植物	山吹
5348	山吹や鶉飼ふたる市の家	32	春	植物	山吹
5349	仏壇の山吹散りし茶湯哉	33	春	植物	山吹
5350	山吹と見ゆるガラスの曇哉	33	春	植物	山吹
5351	山吹に蝶吹き飛ばす嵐哉	33	春	植物	山吹
5352	山吹も菜の花も咲く小庭哉	33	春	植物	山吹
5353	山吹や荷をおろしたる蜆売	33	春	植物	山吹
5354	山吹を三たびめぐつて蝶去りぬ	33	春	植物	山吹
5355	山吹に燃えて尽きたる屑火かな	34	春	植物	山吹
5356	山吹の雨やガラスの窓の外	34	春	植物	山吹
5357	山吹やいくら折つても同じ枝	34	春	植物	山吹
5358	山吹や三角の蕾一列に	34	春	植物	山吹
5359	山吹や何がさはつて散りはじめ	34	春	植物	山吹
5360	裏道やおこん花咲く小笹垣	27	春	植物	枸杞
5361	面白や月に山椒の皮剥げば	26	春	植物	山椒
5362	木の芽とは豆腐の上に生ふる者なり	26	春	植物	山椒
5363	切口の摺鉢とれば木芽哉	26	春	植物	山椒
5364	枯枝と知れてものうし木芽時	26	春	植物	木の芽
5365	蒼とも見えてうれしき木芽哉	26	春	植物	木の芽
5366	鉦あげてきらんとすれば木芽哉	26	春	植物	木の芽
5367	草鞋はく園女か旅や木の芽時	26	春	植物	木の芽
5368	木芽ふいてうこぎ長屋の人もなし	27	春	植物	木の芽
5369	しほらしき老木の株の木芽哉	27	春	植物	木の芽
5370	そばふるや黒木の鳥居木芽ふく	27	春	植物	木の芽
5371	つぶつぶと芽をふいて居る老木哉	27	春	植物	木の芽
5372	何の木としらで芽を吹く垣根哉	27	春	植物	木の芽
5373	木の芽ふく垣根つゞきや牛の声	28	春	植物	木の芽
5374	大木の切株芽ばる垣根かな	28	春	植物	木の芽
5375	はきだめの榎芽をふく日和哉	28	春	植物	木の芽

5376	鼻つけて午の嗅きたる木芽哉	28	春	植物	木の芽
5377	鼻つけて午の嗅き居る木芽哉	28	春	植物	木の芽
5378	珍らしき鳥の来て鳴く木芽哉	28	春	植物	木の芽
5379	切株のぐるりよりふく木の芽哉	29	春	植物	木の芽
5380	紅も萌黄も見ゆる木の芽かな	29	春	植物	木の芽
5381	とかくして木の芽ふく也枳殻垣	29	春	植物	木の芽
5382	何の木と知れずわづかに芽をふきぬ	29	春	植物	木の芽
5383	老木の枯枝多く芽少し	29	春	植物	木の芽
5384	老木の梢は遅き芽出しかな	29	春	植物	木の芽
5385	足の立つ嬉しさに萩の芽を検す	30	春	植物	木の芽
5386	きのふも見けふも見る萩の芽さすかと	30	春	植物	木の芽
5387	大砲のどろどろと鳴る木の芽哉	30	春	植物	木の芽
5388	鳥啼いて老木芽を吹く梢かな	30	春	植物	木の芽
5389	萩の芽に犬ころ愛す小庭哉	30	春	植物	木の芽
5390	老木の半ば枯れたる木の芽哉	30	春	植物	木の芽
5391	榛の芽に毎日鳴くよ四十雀	31	春	植物	木の芽
5392	おしめほす低き小枝の木の芽哉	32	春	植物	木の芽
5393	下りたちて見廻る庭の木の芽哉	32	春	植物	木の芽
5394	雷の始めて青き木芽哉	32	春	植物	木の芽
5395	枯れし木の枯れざる枝に若芽哉	32	春	植物	木の芽
5396	枯れし木の枯れざる枝や芽をふきぬ	32	春	植物	木の芽
5397	木々の芽や新宅の庭とゝのはす	32	春	植物	木の芽
5398	木芽ふく朽木何とも知れぬ也	32	春	植物	木の芽
5399	桐の木の低き芽を皆欠ぎにけり	32	春	植物	木の芽
5400	新宅や植木芽をふく窓の先	32	春	植物	木の芽
5401	百姓の庭も垣根も木の芽哉	32	春	植物	木の芽
5402	草鞋はく園女か旅や木の芽山	32	春	植物	木の芽
5403	木の芽ふく庭の鳥籠や猫来る	33	春	植物	木の芽
5404	牡丹の芽ひたふる霜を恐れけり	33	春	植物	木の芽
5405	藁すばや霜を恐るゝ牡丹の芽	33	春	植物	木の芽
5406	あづま屋に巻煙草ふく木の芽かな	34	春	植物	木の芽
5407	汽車過ぎて煙のかゝる木の芽かな	34	春	植物	木の芽
5408	木の芽ふく十坪の庭を散歩かな	34	春	植物	木の芽
5409	すたれたる昔御園の木の芽かな	34	春	植物	木の芽
5410	たらの芽や結城のたより聞えざる	34	春	植物	木の芽
5411	萩の芽に並びて赤し牡丹の芽	35	春	植物	木の芽
5412	たらの芽を煮ても焼てもくふ処	不詳	春	植物	木の芽
5413	蘆はまだ難波のうらの竹の秋	26	春	植物	竹の秋
5414	麦を抱く人画に似たり竹の秋	26	春	植物	竹の秋
5415	世の春に我家は竹の秋深し	26	春	植物	竹の秋
5416	片なりにのびし芭蕉の若芽哉	29	春	植物	芭蕉の芽
5417	それぞれに名のつく菊の芽生哉	20	春	植物	菊の芽
5418	菊の芽に蝶も近づくことなかれ	29	春	植物	菊の芽
5419	菊の芽の一寸にして名むつかし	29	春	植物	菊の芽
5420	菊の芽を摘んで夕立つ夕かな	29	春	植物	菊の芽
5421	植えかへてつひに枯れけり菊の苗	22	春	植物	菊の苗
5422	菊植ゑて雨ふりにけり晴にけり	26	春	植物	菊の苗
5423	菊植ゑて天気予報を見る日哉	26	春	植物	菊の苗
5424	札つけたまゝでもらふや菊の苗	26	春	植物	菊の苗
5425	瘦畑に菊植ゑばやと思ふかな	29	春	植物	菊の苗
5426	菊苗に水やる土の乾きかな	33	春	植物	菊の苗
5427	わびたりや小鍋にまじる雪若菜	25	春	植物	菊の苗
5428	をさな子の雪をつかみし若菜哉	25	春	植物	菊の苗
5429	牛の子の柵に首出す若菜哉	26	春	植物	菊の苗
5430	幸の鍋に摘みこむ若菜哉	26	春	植物	菊の苗
5431	嵯峨へ行き御室へ戻り若菜哉	26	春	植物	菊の苗
5432	白妙の君が手見せよ若菜摘	26	春	植物	菊の苗
5433	半分は泥の重みや若菜籠	26	春	植物	菊の苗
5434	真間は今入江のあとの若菜哉	26	春	植物	菊の苗
5435	雪のけて見ればうれしき若菜哉	26	春	植物	菊の苗
5436	料理場にもて余したる若菜哉	26	春	植物	菊の苗
5437	畦道に若菜つむ少女並びけり	27	春	植物	菊の苗
5438	雨晴れて妹が若菜はのびにけり	27	春	植物	菊の苗
5439	大江戸へ馬でつみ出す若菜哉	27	春	植物	菊の苗

5440	籠さげて若菜つみつみ関屋迄	27	春	植物	菊の苗
5441	塗盆に禿のはこぶ若菜かな	27	春	植物	菊の苗
5442	春日野の若菜喰ひ居る男鹿かな	28	春	植物	菊の苗
5443	毛氈に土こぼしたる若菜かな	28	春	植物	菊の苗
5444	からし菜の一畝を老のたつき哉	26	春	植物	芥菜
5445	春菊や今豆腐屋の声す也	26	春	植物	春菊
5446	春菊や豆腐屋の声聞ゆ也	26	春	植物	春菊
5447	春菊や長屋の庭の夕ながめ	26	春	植物	春菊
5448	麦と菜の花の間を白帆哉	22	春	植物	菜の花
5449	麦と菜の花の中から白帆哉	22	春	植物	菜の花
5450	菜の花やはつとあかるき町はつれ	23	春	植物	菜の花
5451	一日の路や菜の花浪の花	24	春	植物	菜の花
5452	菜の花のかほりめてたき野糞哉	24	春	植物	菜の花
5453	菜の花のかほりめてたや野らの糞	24	春	植物	菜の花
5454	菜の花つゝむ小家や路一つ	24	春	植物	菜の花
5455	菜の花の露ひゝやりと顔をうつ	24	春	植物	菜の花
5456	菜の花の露ひいやりと尻をうつ	24	春	植物	菜の花
5457	菜の花の露ひやゝかや顔と尻	24	春	植物	菜の花
5458	菜の花の中に道あり一軒家	24	春	植物	菜の花
5459	菜の花に居あまる蝶の石地藏	26	春	植物	菜の花
5460	菜の花の上に淀舟動きけり	26	春	植物	菜の花
5461	菜の花のさく頃里の餅赤し	26	春	植物	菜の花
5462	菜の花の野末に低し天王寺	26	春	植物	菜の花
5463	菜の花や奥州通ふ汽車の笛	26	春	植物	菜の花
5464	菜の花や道者よびあふ七曲り	26	春	植物	菜の花
5465	菜の花や野中の寺の椽の下	26	春	植物	菜の花
5466	菜の花や昼も蛙の鳴く処	26	春	植物	菜の花
5467	菜の花や物見に上る姫御前	26	春	植物	菜の花
5468	菜の花や焼場の煙たえだえに	26	春	植物	菜の花
5469	ふらふらと行けば菜の花はや見ゆる	26	春	植物	菜の花
5470	やせ村に今菜の花のさかり哉	26	春	植物	菜の花
5471	上り帆の菜の花の上に見ゆるかな	27	春	植物	菜の花
5472	家遠近暮れて菜の花はるか也	27	春	植物	菜の花
5473	兼平の塚をとりまく菜種哉	27	春	植物	菜の花
5474	菜種咲いて小村近しと見ゆる哉	27	春	植物	菜の花
5475	菜の花にそふて道あり村稻荷	27	春	植物	菜の花
5476	菜の花の小村ゆたかに見ゆる哉	27	春	植物	菜の花
5477	菜の花の少しばかりは見ゆる哉	27	春	植物	菜の花
5478	菜の花や海をへだてゝ淡路島	27	春	植物	菜の花
5479	菜の花やよう似た顔の姉妹	27	春	植物	菜の花
5480	菜の花や岡崎女郎衆人を呼ぶ	27	春	植物	菜の花
5481	上り帆の菜の花の上に見ゆる哉	27	春	植物	菜の花
5482	村ところどころ菜の花見ゆるかな	27	春	植物	菜の花
5483	菜の花に婚礼したる狐哉	28	春	植物	菜の花
5484	菜の花の上にかさなる生駒かな	28	春	植物	菜の花
5485	菜の花の四角に咲きぬ麦の中	28	春	植物	菜の花
5486	菜の花の中に稻荷の鳥居かな	28	春	植物	菜の花
5487	菜の花の中に川あり渡し舟	28	春	植物	菜の花
5488	菜の花の中に三條四條かな	28	春	植物	菜の花
5489	菜の花や牛の尿する渡し船	28	春	植物	菜の花
5490	菜の花や雲は茶色の入日影	28	春	植物	菜の花
5491	菜の花や小娘ひとり此大家	28	春	植物	菜の花
5492	菜の花や獅子の頭の行く小道	28	春	植物	菜の花
5493	菜の花や余念もなしに蝶の舞	28	春	植物	菜の花
5494	寺ありて菜種咲くなり西の京	29	春	植物	菜の花
5495	菜の花の中に夕日の黄なるかな	29	春	植物	菜の花
5496	菜の花の向ふに見ゆる都かな	29	春	植物	菜の花
5497	菜の花や金蓮光る門徒寺	29	春	植物	菜の花
5498	菜の花や仁王の草鞋提げて行く	29	春	植物	菜の花
5499	菜の花や娘に出あふ田舎道	29	春	植物	菜の花
5500	古壁に菜の花咲くや浄土寺	29	春	植物	菜の花
5501	菜の花や雨やんで日未なり	30	春	植物	菜の花
5502	菜や麦や杉の木の間に野が見ゆる	30	春	植物	菜の花
5503	菜や麦や森の中より野が見ゆる	30	春	植物	菜の花

5504	麦を出て道菜の花の中に入る	30	春	植物	菜の花
5505	兼平の塚取り巻いて菜種咲く	31	春	植物	菜の花
5506	菜の花や絵馬売る店の夕日影	32	春	植物	菜の花
5507	飼鳥の餌にする菜種折にけり	33	春	植物	菜の花
5508	菜種散る泥の小道の轍哉	33	春	植物	菜の花
5509	菜の花の中に狐の祠哉	33	春	植物	菜の花
5510	菜の花やあちらこちらに七大寺	33	春	植物	菜の花
5511	菜の花や雨にぬれたる嫁狐	33	春	植物	菜の花
5512	菜の花や駅から駅へ三里半	33	春	植物	菜の花
5513	菜の花や視学迎へる村の口	33	春	植物	菜の花
5514	菜の花や小学校の昼餉時	33	春	植物	菜の花
5515	菜の花や勅使の車通りけり	33	春	植物	菜の花
5516	菜の花や海苔干す家の裏畠	33	春	植物	菜の花
5517	菜の花や一人乗りたる二人乗	33	春	植物	菜の花
5518	覚束な夕くれ時の大根花	25	春	植物	大根の花
5519	虻なりと遊べ大根の花ざかり	26	春	植物	大根の花
5520	中庭の一本大根花咲きぬ	27	春	植物	大根の花
5521	城跡や大根花咲く山の上	28	春	植物	大根の花
5522	榛の木や大根花咲く畑の隅	31	春	植物	大根の花
5523	門口や大根花咲く百姓家	32	春	植物	大根の花
5524	寒食の里や大根の花盛	32	春	植物	大根の花
5525	桑の芽の僅に青し花大根	32	春	植物	大根の花
5526	蚕飼せぬ村静かなり花大根	32	春	植物	大根の花
5527	雀啼く大根の花やひな曇	32	春	植物	大根の花
5528	大根の一本咲くや榛の下	32	春	植物	大根の花
5529	大根の花さく彼岸日和哉	32	春	植物	大根の花
5530	大根の花散る里や雛祭	32	春	植物	大根の花
5531	大根の花に淋しや西の京	32	春	植物	大根の花
5532	大根の花の隣や春大根	32	春	植物	大根の花
5533	菜の花や大根の花はうら淋し	32	春	植物	大根の花
5534	桃散るや大根の花は実になりぬ	32	春	植物	大根の花
5535	大根の花咲く雨や間居の詩	34	春	植物	大根の花
5536	大根の花に神鳴る初かな	34	春	植物	大根の花
5537	名所を行くや大根の花盛	34	春	植物	大根の花
5538	草化して胡蝶になるか豆の花	23	春	植物	豆の花
5539	豆の花さくや小川の水の勢	25	春	植物	豆の花
5540	公事に勝ちて里に帰れば豆の花	31	春	植物	豆の花
5541	蒲団干す下にいちごの花白し	29	春	植物	苺の花
5542	一たばは道に捨てけり蓮花草	23	春	植物	れんげ
5543	極楽の道へ迷ふや蓮華草	24	春	植物	れんげ
5544	極楽へ迷ひこんたり蓮華草	24	春	植物	れんげ
5545	南無日蓮安房は妙法蓮華草	24	春	植物	れんげ
5546	蓮華草我も一度は小供なり	24	春	植物	れんげ
5547	上ヶ土のあひにわりなし蓮華草	25	春	植物	れんげ
5548	右によけ左によけて蓮華草	25	春	植物	れんげ
5549	あぜ道のうねり見えけり蓮華草	26	春	植物	れんげ
5550	もの出来ぬ瘦田うつくし蓮華草	26	春	植物	れんげ
5551	蓮華草咲くや野中の土饅頭	27	春	植物	れんげ
5552	木もなしに小庭は嫁菜蓮華草	29	春	植物	れんげ
5553	我庭にげんげん咲けるうれしさよ	29	春	植物	れんげ
5554	我庭のげんげん肥えて色薄し	29	春	植物	れんげ
5555	げんげんに座して女のものを喰ふ	30	春	植物	れんげ
5556	げんげんに弁当喰ひ居る女かな	30	春	植物	れんげ
5557	野道行けばげんげんの束のすてゝある	30	春	植物	れんげ
5558	げんげんの下で仏は生れけり	31	春	植物	れんげ
5559	げんげんを打ち起したる瘦田哉	31	春	植物	れんげ
5560	げんげんの花うちおこす瘦田かな	32	春	植物	れんげ
5561	手に余るげんげんの束捨にけり	32	春	植物	れんげ
5562	手に取るなやはり野に置け蓮華草	32	春	植物	れんげ
5563	字にかいて蒲公英の名ぞなつかしき	24	春	植物	蒲公英
5564	字にかいて鼓草の名ぞなつかしき	24	春	植物	蒲公英
5565	たんほゝやこれもなのある花の内	24	春	植物	蒲公英
5566	たんほゝやたかくたひれたしりの跡	24	春	植物	蒲公英
5567	ふまれてもまだたんほゝの盛哉	25	春	植物	蒲公英

5568	たんほゝや根岸あたりの貸地札	26	春	植物	蒲公英
5569	春老てたんほゝの花吹けば散る	26	春	植物	蒲公英
5570	街道の蒲公英馬糞に肥にけり	27	春	植物	蒲公英
5571	外側に蒲公英咲ける台場哉	28	春	植物	蒲公英
5572	蒲公英の垣根とばかり上根岸	29	春	植物	蒲公英
5573	蒲公英やそこらだらけの牛の糞	29	春	植物	蒲公英
5574	道古りて蒲公英開く砦かな	30	春	植物	蒲公英
5575	馬借りて蒲公英多き野を過る	31	春	植物	蒲公英
5576	蒲公英に砲台古りし岬かな	31	春	植物	蒲公英
5577	蒲公英に人の参らぬ地藏かな	31	春	植物	蒲公英
5578	蒲公英に描きそへたる土筆哉	31	春	植物	蒲公英
5579	蒲公英の小路左へ分れけり	31	春	植物	蒲公英
5580	蒲公英や記念碑を彫る路の端	31	春	植物	蒲公英
5581	蒲公英や釣鐘一つ寺の跡	31	春	植物	蒲公英
5582	蒲公英やローンテニスの線の外	31	春	植物	蒲公英
5583	名を埋む野辺や蒲公英一坏の土	31	春	植物	蒲公英
5584	庭に咲く蒲公英に詩の思ひあり	31	春	植物	蒲公英
5585	蒲公英に胡粉こぼすや土細工	32	春	植物	蒲公英
5586	道芝や蒲公英の花低く咲く	32	春	植物	蒲公英
5587	蒲公英や細工ニスベキ花ノ形	35	春	植物	蒲公英
5588	蒲公英やボールコロゲテ通りケリ	35	春	植物	蒲公英
5589	剥製ノ雉蒲公英ノ造り花	35	春	植物	蒲公英
5590	寝た牛の下にしかれし董哉	22	春	植物	董
5591	我庭に一本さきしすみれ哉	22	春	植物	董
5592	犬糞に腰をすえけり花すみれ	24	春	植物	董
5593	落ちさふなかけの雫や董草	24	春	植物	董
5594	草刈の籠をもれけり花董	24	春	植物	董
5595	ぬるゝともいざこゝでねん董草	24	春	植物	董
5596	ぬるゝともいざこゝで寝ん花董	24	春	植物	董
5597	花程の雫こぼすや董草	24	春	植物	董
5598	花程の雫こぼすや壺董	24	春	植物	董
5599	一本のすみれにやすむ気楽さよ	24	春	植物	董
5600	微酔の足覚束な花董	24	春	植物	董
5601	水はしらすたゝあしもとの花すみれ	24	春	植物	董
5602	女にも生れて見たし花董	24	春	植物	董
5603	御白粉に白うよごれし董かな	25	春	植物	董
5604	一本のすみれにやすむ独りたび	25	春	植物	董
5605	山八しらすたゝあしもとの花すみれ	25	春	植物	董
5606	山八野八しらすたゝあしもとの花すみれ	25	春	植物	董
5607	山八水八しらすたゝあしもとの花すみれ	25	春	植物	董
5608	世の人にふまれなからや花すみれ	25	春	植物	董
5609	石かけや石に根をもつ花董	26	春	植物	董
5610	一本の董あらそふ局かな	26	春	植物	董
5611	色薄し夕山陰の花董	26	春	植物	董
5612	牛の子にくひ残されし董哉	26	春	植物	董
5613	うつくしき蜷蛸も出たり花董	26	春	植物	董
5614	春日野の女くさゝよ花董	26	春	植物	董
5615	組打の勝負のあとや壺董	26	春	植物	董
5616	傾城の董は痩せて鉢の中	26	春	植物	董
5617	小娘が足の血に泣く董かな	26	春	植物	董
5618	土ともに紙に包みしすみれ哉	26	春	植物	董
5619	橋杭に児のほしかるすみれ哉	26	春	植物	董
5620	橋本は董さく野と成にけり	26	春	植物	董
5621	花董牛を恐れる子供あり	26	春	植物	董
5622	百姓の背戸の中まで董かな	26	春	植物	董
5623	堀崩す土手のはづれの董かな	26	春	植物	董
5624	松の根に薄むらさきの董哉	26	春	植物	董
5625	むさしのゝはつと開きて董かな	26	春	植物	董
5626	山鳥の遊びに出たる董かな	26	春	植物	董
5627	行き悩む順礼若し花董	26	春	植物	董
5628	頼朝の墓はと問へばすみれ哉	26	春	植物	董
5629	山賊が飯たくあとの董哉	27	春	植物	董
5630	繋ぎ捨てゝ舟を上れば花董	27	春	植物	董
5631	飛石に一もとづゝの董かな	27	春	植物	董

5632	花菫討死の塚ところところ	27	春	植物	菫
5633	紫の菫咲くなり野雪隠	27	春	植物	菫
5634	陸軍省建築用地の菫かな	27	春	植物	菫
5635	石垣の崩れかゝりし菫かな	28	春	植物	菫
5636	下草に菫咲くなり小松原	28	春	植物	菫
5637	芝青く土手平らかに花菫	28	春	植物	菫
5638	古城や菫花咲く石の間	28	春	植物	菫
5639	あやしくも菫咲きけり塚の前	29	春	植物	菫
5640	枯草の中にゆかしき菫かな	29	春	植物	菫
5641	笹舟の菫の岸に到着す	30	春	植物	菫
5642	笹舟や菫の岸に到着す	30	春	植物	菫
5643	笹舟や菫の岸に著にけり	30	春	植物	菫
5644	笹舟の菫の岸に著にけり	30	春	植物	菫
5645	笹舟や菫の岸に流れ著く	30	春	植物	菫
5646	菫咲て台場荒れぬ明治三十年	30	春	植物	菫
5647	神の子の菫の露を吸ふ画かな	31	春	植物	菫
5648	結婚を菫に契る男女かな	31	春	植物	菫
5649	船長の愛す菫の小鉢哉	31	春	植物	菫
5650	女生徒の遊ぶ処や花菫	31	春	植物	菫
5651	等閑に菫見て行く旅路哉	31	春	植物	菫
5652	東門を出づれば野辺の菫哉	31	春	植物	菫
5653	日本派の句集に画く菫かな	31	春	植物	菫
5654	日一日菫の花に遊びけり	31	春	植物	菫
5655	フランスの菫を封す書信かな	31	春	植物	菫
5656	貝塚へ曲る小道の菫かな	32	春	植物	菫
5657	角力場は荒れたるまゝの菫哉	32	春	植物	菫
5658	菫より小さき花を摘にけり	32	春	植物	菫
5659	鼻血ふく紙を捨てたる菫かな	33	春	植物	菫
5660	美の神の抱きあふて居る菫かな	33	春	植物	菫
5661	カナリヤの餌に束ねたるはこべ哉	32	春	植物	はこべ
5662	売らるゝと知らで咲きけり桜草	26	春	植物	桜草
5663	植木屋の裏は小田なり桜草	26	春	植物	桜草
5664	風吹て桜ちる日よ桜草	26	春	植物	桜草
5665	市へ行く植木車や桜草	32	春	植物	桜草
5666	蝶々の来べき庭なり桜草	33	春	植物	桜草
5667	振袖をかざして通るあざみ哉	26	春	植物	薊
5668	花薊毛虫生るゝ思ひあり	27	春	植物	薊
5669	世をいとふ心薊を愛すかな	30	春	植物	薊
5670	紫の花に刺ある薊哉	32	春	植物	薊
5671	水鳥のつゝき出したる根芹哉	24	春	植物	芹
5672	うれしくも芹生ひけらし井戸の端	26	春	植物	芹
5673	芹売に出して見せたる小判哉	26	春	植物	芹
5674	大名の芹つむ女見そめけり	26	春	植物	芹
5675	一籠の蜆にまじる根芹哉	26	春	植物	芹
5676	古沢や泥にひゝつく芹なずな	26	春	植物	芹
5677	古沢や泥にまみるゝ芹薺	26	春	植物	芹
5678	この岡に田芹つむ妹名のらさね	27	春	植物	芹
5679	この岡に根芹つむ妹名のらさね	27	春	植物	芹
5680	泥川を芹生ひ隠すうれしさよ	27	春	植物	芹
5681	古川や昔女の根芹摘む	27	春	植物	芹
5682	継橋知れず野芹を摘んで戻りけり	28	春	植物	芹
5683	芹生ひて家鴨の足の赤さかな	29	春	植物	芹
5684	芹目高乏しき水のぬるみけり	32	春	植物	芹
5685	芹生えし泥溝の流れや菖蒲の芽	33	春	植物	芹
5686	田の中や芹摘みて去る足の跡	33	春	植物	芹
5687	雨に友あり八百屋に芹を求めける	35	春	植物	芹
5688	芹薺汽車道越えて三河島	35	春	植物	芹
5689	引きぬけば小さき根のつく薺哉	25	春	植物	薺
5690	をさな子に教へてつまず薺哉	25	春	植物	薺
5691	砧うつ拍子でたゝく薺哉	26	春	植物	薺
5692	妻もたぬ家に手あらき薺哉	26	春	植物	薺
5693	手鞠つく拍子にあはず薺哉	26	春	植物	薺
5694	薺打つ人ところぞ見れ五百石	26	春	植物	薺
5695	摘み残す薺は花にあらはれぬ	32	春	植物	薺の花

5696	君知るや三味線草は薺なり	29	春	植物	三味線草
5697	どれも皆うしろ姿や嫁菜つみ	26	春	植物	嫁菜
5698	嫁菜つむ王子は京の田舎哉	26	春	植物	嫁菜
5699	道ばたや漁村の娘蓬摘む	29	春	植物	蓬
5700	灸にする餅にする蓬摘みにけり	33	春	植物	蓬
5701	学校へ行かぬ子達か蓬摘	35	春	植物	蓬
5702	枕もとに長命菊のさかりかな	30	春	植物	長命菊
5703	新わさびくるしからずば聞しめせ	26	春	植物	山葵
5704	こりこりと老が齒なやむ防風哉	25	春	植物	防風
5705	大名の独活刈たしとの給ひぬ	25	春	植物	独活
5706	独活ひとり御膳に山の匂ひ哉	26	春	植物	独活
5707	花そとも見えぬ哀れや落の薑	24	春	植物	落の薑
5708	庄内や雪の中より落の薑	26	春	植物	落の薑
5709	落の薑福寿草にも似たりけり	26	春	植物	落の薑
5710	落の薑藪の隅より現はれし	26	春	植物	落の薑
5711	山里や雪の中より落のとう	26	春	植物	落の薑
5712	其花をさゝげて伸びぬ落の薑	27	春	植物	落の薑
5713	開くとも咲くともいはず落の薑	27	春	植物	落の薑
5714	藪裏や横に生えたる落の薑	28	春	植物	落の薑
5715	店先に蜜柑腐りぬ落の薑	31	春	植物	落の薑
5716	落の薑ほうけて瓶にさゝれけり	32	春	植物	落の薑
5717	山陰に虎杖森の如くなり	26	春	植物	虎杖
5718	分け入って谷は虎杖ばかりなり	27	春	植物	虎杖
5719	虎杖モ蕨モ伸ビヌ山ノ様	35	春	植物	虎杖
5720	春蘭や無名の筆の俗ならず	33	春	植物	春蘭
5721	小包みに小杜若のしほれたる	31	春	植物	小杜若
5722	枯蘆の下から青む湖辺かな	28	春	植物	芦の芽
5723	牛の子の水のむ川や蘆の角	26	春	植物	芦の角
5724	しほらしき物を名つけて蘆の角	26	春	植物	芦の角
5725	難波江や干潟の限り蘆の角	26	春	植物	芦の角
5726	橋もなし飛ばれぬ小川蘆の角	28	春	植物	芦の角
5727	若芝や檜葉の木長く松丸し	28	春	植物	若芝
5728	あれにけりつばなまじりの一ノ坪	25	春	植物	茅花
5729	三日月のほのかに白し茅花の穂	25	春	植物	茅花
5730	おそろしきまでに穂に出るつばなかな	26	春	植物	茅花
5731	おそろしき迄穂に出る茅花哉	26	春	植物	茅花
5732	茅花さく家を傾城のなれのはて	26	春	植物	茅花
5733	故郷や芽花ぬきしは十余年	26	春	植物	芽花
5734	遊女老いて茅花まじりの垣根哉	27	春	植物	芽花
5735	古株の底やもやもや薄の芽	29	春	植物	薄の芽
5736	古庭や刈株少し薄の芽	30	春	植物	薄の芽
5737	むさしのやすくろの薄小雨ふる	26	春	植物	未黒の薄
5738	ふむまいそ小道にすみれつくつくし	22	春	植物	土筆
5739	一もとのつくしに飛ぶや野の小川	23	春	植物	土筆
5740	親子らしならぶつくしの長短	24	春	植物	土筆
5741	喧嘩した小共のあとやつくつくし	24	春	植物	土筆
5742	つくつくしゆるしてくれよ杖のとが	24	春	植物	土筆
5743	つみもせずすわつて見るやつくつくし	24	春	植物	土筆
5744	手のとゞくだけは短しつくづくし	24	春	植物	土筆
5745	手のとゞくところは短しつくつくし	24	春	植物	土筆
5746	ふむまいとすみれをよけてつくつくし	24	春	植物	土筆
5747	ふむまいとよけた方にもつくつくし	24	春	植物	土筆
5748	ほうけたるまゝ也つくし落の薑	24	春	植物	土筆
5749	伏兵の鉄砲倒すつくし哉	25	春	植物	土筆
5750	ほうけたるつくし陽炎になりもせん	25	春	植物	土筆
5751	ほくほくとつくしのならぶ焼野哉	25	春	植物	土筆
5752	見て行くや小道小道の土筆	25	春	植物	土筆
5753	迷ひ子のすてゝて行きけりつくづくし	26	春	植物	土筆
5754	よく見ればあとさき多きつくし哉	26	春	植物	土筆
5755	畦道や曲り曲りの土筆	27	春	植物	土筆
5756	籠さげて土筆つみつみ関屋まで	27	春	植物	土筆
5757	枯草の中やすいすい土筆	27	春	植物	土筆
5758	竹籠の若菜にまじる土筆哉	27	春	植物	土筆
5759	たけ高し棘の中の土筆	27	春	植物	土筆

5760	土筆野中の石碑字消えたり	27	春	植物	土筆
5761	二三本土筆生えけり池の端	28	春	植物	土筆
5762	麻生田にいま短し土筆	29	春	植物	土筆
5763	砂原やほうしこ抜けばとなゝがら	29	春	植物	土筆
5764	萱深く土筆あるべき目利かな	30	春	植物	土筆
5765	枯萱の色に出でたるつくしかな	30	春	植物	土筆
5766	砂原に頭ばかりの土筆哉	30	春	植物	土筆
5767	土筆多き土手に日暮るゝ恨かな	30	春	植物	土筆
5768	土筆を得ず虎杖を得て帰る	30	春	植物	土筆
5769	つれづれや病床に土筆の袴取る	30	春	植物	土筆
5770	墓原の杉菜に交る土筆かな	30	春	植物	土筆
5771	節多く頭がちなる土筆哉	30	春	植物	土筆
5772	町近き野辺に乏しき土筆	30	春	植物	土筆
5773	女ばかり土筆摘み居る野は浅し	30	春	植物	土筆
5774	仏を話す土筆の袴剥きながら	33	春	植物	土筆
5775	見てすぐる土手の土筆や蓬摘	33	春	植物	土筆
5776	土筆煮て飯くふ夜の台所	34	春	植物	土筆
5777	一つ長く一つ短しつくづくし	34	春	植物	土筆
5778	道のべにたまたま土筆一つかな	34	春	植物	土筆
5779	家を出でゝ土筆摘むのも何年目	35	春	植物	土筆
5780	看病や土筆摘むのも何年目	35	春	植物	土筆
5781	里人は土筆も食わず蓬摘	35	春	植物	土筆
5782	杉菜多き堤二出タリ土筆狩	35	春	植物	土筆
5783	病床を三里はなれて土筆取	35	春	植物	土筆
5784	すさましや杉菜許りの岡一つ	26	春	植物	杉菜
5785	何もなき杉菜ばかりの砂地哉	27	春	植物	杉菜
5786	いたづらに土筆尋ぬる杉菜哉	30	春	植物	杉菜
5787	家ヲ出テ根岸田圃ノ杉菜力ナ	35	春	植物	杉菜
5788	のびすぎて風にあぶなきわらびかな	23	春	植物	蕨
5789	おぼこ気を握りつめけり初蕨	26	春	植物	蕨
5790	早蕨の庭に手を出す山家哉	26	春	植物	蕨
5791	苔の雨奥山わらび匂ひけり	26	春	植物	蕨
5792	山里や簀の子の下のかぎ蕨	26	春	植物	蕨
5793	老僧の如意に持ちそふ蕨哉	26	春	植物	蕨
5794	ゆらゆらと比良の尾上の蕨哉	27	春	植物	蕨
5795	奥山のおどろが下や蕨取	28	春	植物	蕨
5796	奥山のおどろの下やわらひ取	28	春	植物	蕨
5797	蕨己に手を広げたる広げざる	30	春	植物	蕨
5798	早蕨の手も握られず此別れ	32	春	植物	蕨
5799	山焼イテ十日ノ市ヤ初蕨	35	春	植物	蕨
5800	見えかゝる叔父の閑居や葱のぎぼ	26	春	植物	葱の擬宝
5801	傘さして葎つむ人のにくさ哉	26	春	植物	葎
5802	葎剪つて酒借りに行く隣哉	32	春	植物	葎
5803	露の臺のわすれかたみや茗荷の子	25	春	植物	茗荷
5804	かくれ家の四隅を見れば茗荷哉	26	春	植物	茗荷
5805	此畑も親が譲りの茗荷哉	26	春	植物	茗荷
5806	すさましや庫裏のうしろの茗荷竹	26	春	植物	茗荷
5807	すさましや野寺の庭の茗荷竹	26	春	植物	茗荷
5808	茗荷とは虫さへくはぬ名也けり	26	春	植物	茗荷
5809	山里の春は淋しき茗荷かな	29	春	植物	茗荷
5810	菜の花をはさんで麦の畝青し	25	春	植物	青麦
5811	青麦やあふてもあふてもしらぬ人	26	春	植物	青麦
5812	青麦やところどころに菜種咲く	26	春	植物	青麦
5813	麦の葉や緑うなつく五六寸	27	春	植物	青麦
5814	青麦や畑の末の大和尚	28	春	植物	青麦
5815	草臥る青麦道や病ミ上り	31	春	植物	青麦
5816	青麦に床几立てたる写生哉	34	春	植物	青麦
5817	青麦に山も見えざる地形かな	34	春	植物	青麦
5818	青麦に山も見えざる地勢哉	35	春	植物	青麦
5819	種芋を種ゑて二日の月細し	28	春	植物	種いも
5820	京人は葉の形知らぬ野老哉	26	春	植物	野老
5821	花も葉もなしや野老の老の髭	26	春	植物	野老
5822	野老堀見れば髭なき翁哉	27	春	植物	野老
5823	君か代の苗代見せう都人	24	春	植物	苗代

5824	苗代や月をおさえてなく蛙	25	春	植物	苗代
5825	苗代や月をふまえて鳴く蛙	25	春	植物	苗代
5826	苗代やところどころに不二のきれ	25	春	植物	苗代
5827	苗代や物をかぶつてなく蛙	25	春	植物	苗代
5828	市中や苗代時の鯨売	26	春	植物	苗代
5829	君が代や苗代時の物しづか	26	春	植物	苗代
5830	すみきるや苗代水の上流れ	26	春	植物	苗代
5831	苗代のへりをつたふて目高哉	26	春	植物	苗代
5832	苗代や蛙の座敷青みたり	26	春	植物	苗代
5833	夜の雨や苗代青むさゝ濁り	26	春	植物	苗代
5834	鷺下りて苗代時の寒哉	27	春	植物	苗代
5835	苗代の雨緑なり三坪程	28	春	植物	苗代
5836	野の森や苗代時の薄曇り	29	春	植物	苗代
5837	水足りて苗代青むはじめかな	29	春	植物	苗代
5838	苗代の濁り流れて芹の花	33	春	植物	苗代
5839	苗代へ分るゝ水の目高哉	33	春	植物	苗代
5840	苗代や許六の蛙史邦の亀	33	春	植物	苗代
5841	苗代やげんげの束の捨てゝある	33	春	植物	苗代
5842	苗代や短冊形と色紙形	33	春	植物	苗代
5843	苗代や札立てゝある試験田	33	春	植物	苗代
5844	苗代や水を離るゝ針の尖	33	春	植物	苗代
5845	苗代や林檎の花は散りつくす	33	春	植物	苗代
5846	農会や苗代時の蛾の話	33	春	植物	苗代
5847	苗代や第一番は善通寺	35	春	植物	苗代
5848	芒芽をふきぬ病もいえるべく	30	春	植物	芽立
5849	附木立てゝ鶏頭葉鶏頭など芽ざす	30	春	植物	芽立
5850	庭踏んで木の芽草の芽など見る	30	春	植物	芽立
5851	物の芽の中に桔梗の芽出し哉	32	春	植物	芽立
5852	萱草やこゝに芽をふく忘草	33	春	植物	芽立
5853	芽をふかぬ小庭淋しや下駄の跡	33	春	植物	芽立
5854	松を伐れ日陰の草の芽を惜み	30	春	植物	草の芽
5855	葉鶏頭の苗養ふや絵師が家	31	春	植物	草の芽
5856	古庭やいろいろの鉢いろいろの芽	33	春	植物	草の芽
5857	下萌にせばめられたる野道哉	26	春	植物	下萌
5858	下萌にせばめられ行く野道哉	26	春	植物	下萌
5859	下萌に引く大砲の車かな	27	春	植物	下萌
5860	下萌や寝牛の尻のこそばゆき	27	春	植物	下萌
5861	下萌を嗅ありく鹿の只一つ	28	春	植物	下萌
5862	日あたりや下萌えあへず馬嘶ふ	28	春	植物	下萌
5863	くるしさや恋の下萌ほの緑	29	春	植物	下萌
5864	下萌のきほひにこける仏かな	29	春	植物	下萌
5865	下萌やこゝにいひなづけの女あり	29	春	植物	下萌
5866	下萌を催す頃の地震哉	29	春	植物	下萌
5867	下萌の小庭に来るや知らぬ鶏	31	春	植物	下萌
5868	下萌や音無川の上流れ	32	春	植物	下萌
5869	ところどころ緑萌え立つ砂漠かな	28	春	植物	草萌
5870	萩桔梗撫子など萌えにけり	29	春	植物	草萌
5871	萩薄撫子など萌えにけり	29	春	植物	草萌
5872	草少し地蔵の膝に萌えんとす	30	春	植物	草萌
5873	武蔵野は若草の色空の色	22	春	植物	若草
5874	若草やねころびし子のつらやまし	22	春	植物	若草
5875	若草や草履の裏に塵もなし	23	春	植物	若草
5876	小窓から若草見るや奈良の山	26	春	植物	若草
5877	立白をのけて若草まばら也	26	春	植物	若草
5878	若草に薄桃色の小袖哉	26	春	植物	若草
5879	若草に嵯峨野の昔哀れ也	26	春	植物	若草
5880	若草にはや風やどる二月かな	26	春	植物	若草
5881	若草に雲雀と遊ぶ子供哉	26	春	植物	若草
5882	若草に見る見る馬の肥にけり	26	春	植物	若草
5883	若草ははや風宿る二月哉	26	春	植物	若草
5884	若草や川中島の水かれて	26	春	植物	若草
5885	若草や君は何とかよみいでし	26	春	植物	若草
5886	若草や小亀引ずる泥の足	26	春	植物	若草
5887	若草や嵯峨野の昔哀れ也	26	春	植物	若草

5888	若草や富士の裾野をせり上る	26	春	植物	若草
5889	若草や蒔絵兀たる小重箱	26	春	植物	若草
5890	離々として若草生ゆる那須野哉	27	春	植物	若草
5891	若草や一寸程の馬走る	27	春	植物	若草
5892	若草や駅のはつれの馬頭尊	27	春	植物	若草
5893	若草や鶏のとさかの一二寸	27	春	植物	若草
5894	春日野や草若くして鹿の糞	28	春	植物	若草
5895	若草に座つて見ゆや川いくつ	28	春	植物	若草
5896	若草に座つて見ゆやそこらぢう	28	春	植物	若草
5897	若草や西大門のあとはこれ	28	春	植物	若草
5898	若草や土手にくひつく牛のむれ	28	春	植物	若草
5899	ちよぼちよぼと若草生える小庭かな	29	春	植物	若草
5900	二三人若草に座して握り飯	29	春	植物	若草
5901	若草のものもまじらず土饅頭	29	春	植物	若草
5902	若草や子供集まりて球を打つ	29	春	植物	若草
5903	若草に線香たてたる地蔵哉	31	春	植物	若草
5904	若草の頃習志野を通りけり	31	春	植物	若草
5905	ねころんで書よむ人や春の草	18	春	植物	春の草
5906	下駄ぬいでふんでも見たり春の草	23	春	植物	春の草
5907	まり投げて見たき広場や春の草	23	春	植物	春の草
5908	おふた子のさしづにつむや春の草	24	春	植物	春の草
5909	これつみて誰に送らん春の草	24	春	植物	春の草
5910	たれつみて誰に送らん春の草	24	春	植物	春の草
5911	つむもをしつまぬもをしや春の草	24	春	植物	春の草
5912	似た花も似ぬ花もあり春の草	24	春	植物	春の草
5913	水はしらすたゝあしもとの春の草	24	春	植物	春の草
5914	山はしらすたゝあしもとの春の草	24	春	植物	春の草
5915	吹殻はもえて人なし春の草	25	春	植物	春の草
5916	山八野八しらすたゝあしもとの春の草	25	春	植物	春の草
5917	山八水八しらすたゝあしもとの春の草	25	春	植物	春の草
5918	どこやらに牛の匂ひや春の草	26	春	植物	春の草
5919	道筋のあらはれそめつ春の草	26	春	植物	春の草
5920	焼くからに萌ゆる也けり春の草	26	春	植物	春の草
5921	石原やほちほち青き春の草	27	春	植物	春の草
5922	春の草殺生石はこれかとよ	27	春	植物	春の草
5923	焼石や春の裾山草もなし	27	春	植物	春の草
5924	荒寺や簀子の下の春の草	28	春	植物	春の草
5925	牛引て書読む人や春の草	28	春	植物	春の草
5926	血の跡の井戸に尽きたり春の草	28	春	植物	春の草
5927	なき人のむくろを隠せ春の草	28	春	植物	春の草
5928	牛飼はどこに眠りて春の草	29	春	植物	春の草
5929	古御所に人住まずなりぬ春の草	29	春	植物	春の草
5930	春草葎々馬肥えていくさを思ふ哉	30	春	植物	春の草
5931	馬市のあとや馬糞春の草	31	春	植物	春の草
5932	春の草東に水の見ゆる哉	31	春	植物	春の草
5933	野辺の草草履の裏に芳しき	26	春	植物	芳草
5934	三十六宮荒れ尽して草芳しき	27	春	植物	芳草
5935	落花流水草芳シキ裾模様	35	春	植物	芳草
5936	七草は七ツ異なる風情かな	22	春	植物	七草
5937	萍や池の真中に生ひ初る	26	春	植物	萍生いそむ
5938	萍や漫々たる江に生ひ初る	26	春	植物	萍生いそむ
5939	江の雨や春の浮草ちらほらと	26	春	植物	萍生いそむ
5940	さゝ波のちゞめよせたる若加布哉	25	春	植物	和布
5941	さゝ波のなりにちゞまる和布哉	25	春	植物	和布
5942	白魚の又めぐりあふ若和布哉	25	春	植物	和布
5943	中国の山どれどれぞ若和布取	26	春	植物	和布
5944	若和布とる人か夕日の磯歩行	26	春	植物	和布
5945	若和布干す蟹が垣根の日和哉	26	春	植物	和布
5946	髪置は海松房かつけ海人の子等	26	春	植物	海松
5947	海松刈る君が姿そなつかしき	28	春	植物	海松
5948	海松かゝるつ波のあとの木立かな	29	春	植物	海松
5949	青海苔や海にさしこむ日の光	25	春	植物	海苔
5950	青海苔や水にさしこむ日の光	25	春	植物	海苔
5951	青海苔や海の匂ひのまだぬけず	26	春	植物	海苔

5952	海苔搔の股の下なり安房の山	26	春	植物	海苔
5953	海苔搔きや伊勢越の海人の水鏡	26	春	植物	海苔
5954	女漕ぐ棚無し小船海苔の中	26	春	植物	海苔
5955	海苔の香の向ふに安房の岬哉	27	春	植物	海苔
5956	海苔はちく音や磯家の夕日和	27	春	植物	海苔
5957	砲台に海苔麩朶つゞく浅瀬哉	27	春	植物	海苔
5958	荷を解けば浅草海苔の匂ひ哉	28	春	植物	海苔
5959	海苔麩朶の中を走るや帆掛船	28	春	植物	海苔
5960	さゝ波や海苔になる日の風もなし	29	春	植物	海苔
5961	海苔麩朶にさゝ波よする入江哉	29	春	植物	海苔
5962	海苔を干す家ばかり也南向	32	春	植物	海苔
5963	画にかきし海苔採り舟の女哉	32	春	植物	海苔
5964	軍艦の海苔麩朶に遠く掛りけり	33	春	植物	海苔
5965	新海苔の一帖づゝを土産かな	33	春	植物	海苔
5966	新海苔や肴乏しき精進落	33	春	植物	海苔
5967	海苔漉を見による梅の廻り道	33	春	植物	海苔
5968	孕女の海苔取る頃ぞいそがしき	33	春	植物	海苔
5969	闇に座して海苔採舟の眺め哉	35	春	植物	海苔
5970	白魚の雲にかゝりし海雲哉	25	春	植物	海雲
5971	白魚のもつれこんだる海雲哉	26	春	植物	海雲
5972	わりなくも箸にかゝらぬ海雲哉	26	春	植物	海雲